CA05462-Y875-01

fit7400
プリンタ装置

取扱説明書

富士通アイソテック株式会社

製品を安全に使用していただくために

● 本書の取り扱いについて

本書には、お買い上げいただいた製品を安全に正しく使用するための重要なことがらが記載されています。製品を使用する前に本書をよくお読みください。
特に、本書に記載されている「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、内容をよく理解したうえで製品を使用してください。
本書はお読みになった後も製品の使用中いつでも参照できるように、大切に保管してください。

● VCCI 適合基準について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

● 電源の瞬時低下について

この装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。

（社団法人日本電子工業振興協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

● 電源高調波について

この装置は、高調波抑制対策ガイドラインに適合しております。

● 国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

● 本製品のハイセイフティ用途について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。
お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。
ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。
・原子力核制御、航空機飛行制御、航空交通管制、大量輸送運行　制御、生命維持、兵器発射制御など

はじめに

このたびは、fit7400 プリンタをお買い求めいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、プリンタが十分に機能を発揮できますよう正しい取り扱いをお願いいたします。

2001 年 4 月

ESC/P は、セイコーエプソン㈱の登録商標です。
Microsoft、Windows、Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

● 本文中の略語について

本文中では、Microsoft® Windows NT® Workstation operating system Version 4.0 日本語版および Microsoft® Windows NT® Server operating system Version 4.0 日本語版を Windows NT 4.0、Microsoft® Windows 2000 Professional 日本語版および Microsoft® Windows 2000 Server 日本語版を Windows 2000 と表記しています。Windows NT 4.0 と Windows 2000 を同時に示す場合は Windows NT 4.0/2000 と表記しています。また、Microsoft® Windows® 95 operating system 日本語版を Windows 95、Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版を Windows 98、Microsoft® Windows® Millennium Edition 日本語版を Windows Me と表記しています。Windows 95 と Windows 98 及び Windows Me を同時に示す場合は Windows 95/98/Me と表記しています。

● 警告表示マークについて

本書では、製品を安全にかつ正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられる恐れのある危害や損害を未然に防止するために、次のような表示をしています。

警告	注意
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみが想定される内容を示しています。

絵記号の例とその意味	
	△で示した記号は、警告、注意を促す事項があることを告げるものです。記号の中には、具体的な警告内容を表す絵（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⃠で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中には、具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントか抜いてください）が描かれています。

安全上のご注意

■　プリンタ設置および移動時のご注意

プリンタの上にまたは近くに「花びん・植木鉢・コップ」などの水の入った容器、金属物を置かないでください。

感電・火災の原因となります。

湿気・ほこり・油煙の多い場所、通気性の悪い場所、火気のある場所におかないでください。

感電・火災の原因となります。

電源プラグは、交流100V、10A未満の専用コンセントには差しこまないでください。また、タコ足配線をしないでください。

感電・火災の原因となります。

添付の電源コード以外は使用しないでください。

感電・火災の原因となります。

電源を接続する前に必ず以下のいずれかにアース接続してください。

・電源コンセントのアース線

・銅片などを650㎜以上地中に埋めたもの

・接地工事（第3種）を行っている接地端子

アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、感電・火災の原因となります。

風呂場、シャワー室など、水のかかる場所で使用しないでください。

火災や感電の原因となります。

オプション機器の取り付けや取り外しを行う場合は、プリンタ本体およびパソコン本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いたあとに行ってください。

感電の原因となります。

オプション機器を接続する場合には、当社推奨品以外の機器は接続しないでください。

感電・火災または故障の原因となります。

⚠注意

プリンタの開口部（通風孔など）をふさがないでください。

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

プリンタの上に重いものを置かないでください。また、衝撃を与えないでください。

バランスが崩れて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

振動の激しい場所や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。

落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

直射日光の当たる場所や炎天下の車内など、高温になる場所に長時間放置しないでください。

高温によってカバーなどが加熱・変形・溶解する原因となったり、プリンタ内部が高温になり、火災の原因となることがあります。

プリンタを移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。接続ケーブルなどもはずしてください。作業は足元に十分注意して行ってください。

電源コードが傷つき、感電・火災の原因となったり、本プリンタが落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

プリンタケーブルの抜き差しは、必ずパソコンとプリンタの電源を切ってから行ってください。

電源を切らずに行うと、パソコンやプリンタが故障する原因となることがあります。

■ プリンタ使用時のご注意

⚠ 警告

異常音がするなどの故障状態で使用しないでください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

プリンタに水をかけたり、濡らしたりしないでください。

感電・火災の原因となります。

電源コードを傷つけたり、加工したりしないでください。

重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりすると電源コードを傷め、感電・火災の原因となります。

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

カバーを外した状態でコンセントを差したり、電源を入れたりしないでください

感電・火災の原因となります。

開口部（通風孔など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。

感電・火災の原因となります。

プリンタ本体のカバーや差し込み口についているカバーは、必要な場合を除いて取り外さないでください。

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。

プリンタをお客様自身で改造しないでください。

感電・火災の原因となります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

感電の原因となります。

⚠ 警告

万一、プリンタから発熱や煙、異臭や音がするなどの異常が発生した場合は、ただちにプリンタ本体の電源スイッチを切り、その後、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
煙が消えるのを確認してください。

お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。

異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。

異物（水・金属片・液体など）がプリンタの内部に入った場合は、ただちにプリンタ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

そのまま使用すると感電・火災の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

プリンタを落としたり、カバーなどを破損した場合は、プリンタ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

電源プラグの金属部分、およびその周辺にほこりが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。

そのまま使用すると、火災の原因となります。

⚠注意

電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。

火災・故障の原因となることがあります。

プリンタが動作しているとき、給紙口や排紙口に髪やネクタイなどが巻き込まれないように注意してください。

けがの原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードを引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜いてください。

電源コードを引っ張ると、コードの芯線が露出したり断線して、火災・感電の原因となることがあります。

使用中のプリンタは布などでおおったり、包んだりしないでください。

熱がこもり、火災の原因となることがあります。

電源コードを束ねて使用しないでください。

発熱して、火災の原因となることがあります。

長期間プリンタを使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

感電・火災の原因となることがあります。

近くで雷が起きたときは、電源コードのプラグを電源コンセントから抜いてください。

入れたままにしておくと、プリンタを破壊し、お客様の財産に損害を及ぼす原因となることがあります。

使用中や使用直後は、印字ヘッドが高温になります。温度が下がるまで触らないでください。

やけど・けがの原因となることがあります。

⚠ 注意

プリンタが動作しているとき、給紙口や排紙口に手を触れないでください。

けがの原因となることがあります。

プリンタケーブルコネクタや印字ヘッドの金属部には触らないでください。

けがやプリンタの破壊の原因となることがあります。

印字ヘッドが動いているときは、印字ヘッドに触れないでください。

やけど・けがの原因となることがあります。

本書の構成

本書は、プリンタ装置の設置や操作について説明する「プリンタ編」と、プリンタドライバのインストールについて説明する「ソフトウェア編」からなります。

【プリンタ編】

本プリンタをお使いになる前の準備、プリンタの機能とその使いかた、用紙のセットのしかた、保守と点検のしかたなどについて順を追って説明します。

◆ 第 1 章　お使いになる前に

プリンタで印字する前に知っておいていただきたいことについて説明します。

◆ 第 2 章　プリンタの機能とその使いかた

オペレータパネルの機能や機能設定の変えかたなど、プリンタのもつ機能と、その使いかたについて説明します。

◆ 第 3 章　用紙のセット

用紙のセットのしかたを、連続帳票用紙と単票用紙に分けて説明します。

◆ 第 4 章　用紙について

このプリンタで使用できる用紙と取り扱い上の注意点について説明します。

◆ 第 5 章　保守と点検

リボンカセットの交換や、用紙づまりなどトラブルの対処のしかたなど、プリンタを使用している上で必要になることがらについて説明します。

◆ 第 6 章　オプション

このプリンタのオプションの取り付けおよび取り外しをはじめ、基本的な使いかたについて説明しています。

◆ 付録

このプリンタの仕様、インタフェース仕様、コマンドなどの技術情報を列記してあります。

【ソフトウェア編】

◆ 第 1 章　ソフトウェアの概要

プリンタに添付されているソフトウェアの基本的なことがらやインストール方法について説明しています。

◆ 第 2 章　プリンタドライバの設定

プリンタドライバのインストールと設定方法について説明しています。

目　次

プリンタ編

第1章

お使いになる前に

この章では、プリンタの主な特長や製品の内容、使用上の注意事項、各部の名称とはたらき、設置のしかた、リボンカセットの取り付け、電源の投入/切断について説明します。

主な特長

◆ 優れた印字品質

・ピン径 0.2mm の 24 ピン印字ヘッドは、日本語の表現に適した見やすく優れた印字品質を実現します。

◆ 印字処理時間の短縮

・同一行内に漢字、ANK が混在したときは、自動的に速度を切り替えて高速度で印字します。

・自動的に正逆方向の最短距離を判別して印字します。

・印字中に新しいデータを受信するダブルバッファ方式を採用し、印字処理時間の短縮をはかっています。

・ドットの間引き印字（高速印字モード）により、さらに高速度で印字できます。

・漢字 80 字/秒の印字速度(漢字 160 字/秒：高速)

◆ 専用 Windows プリンタドライバ添付

・Windows 95/98/Me、Windows NT4.0/2000 対応の専用プリンタドライバを添付しています。

・専用プリンタドライバを使用する事で、用紙サイズ選択の他に用紙給紙口の切り替え、印字速度の切り替え、紙厚設定がプリンタドライバで設定可能です。

◆ 多彩な印字（内蔵フォント）機能

・JIS 第一水準および第二水準漢字を印字できます。

・漢字、ANK の標準文字のほかに拡大文字、縮小文字なども印字できます。

・グラフィック印字が可能です。

◆ 優れた操作性

・水平用紙パスの採用により、連帳、単票ともにプリンタの前後から用紙吸入が可能であり、多様な設置環境に対応できます。

・単票の排出方向が前後に設定でき、後部には用紙スタックが可能です。

・APTC 機構（自動紙厚調整機構）、HCPP 機構（連単自動切換機構）、単票セットフリー機能（手差し口に簡単に用紙をセットする機構）を標準装備することで、媒体ハンドリングを容易にしています。

◆ 複写紙対応のカットシートフィーダ（オプション）

・オプションのカットシートフィーダはプリンタの前後に搭載可能で、最大 5P までの複写紙が使用できます。
(前側にセットする場合は、前側のトラクタは使用できなくなります。)

◆ 着脱式トラクタ

・標準装備のトラクタは、着脱式で用途に合わせてプリンタの前後に装着して使用できます。また、オプションのトラクタユニットを追加することで、前後同時装着も可能です。

◆ 高い複写能力

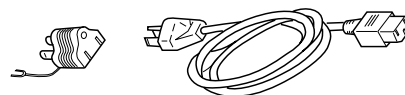
標準モードで 5P までの複写能力を実現しています。さらに、高複写モードにすることにより、最大 8P まで使用可能です。

◆ 省資源対応

待機時 10W 以下の省エネルギー設計です。

製品の内容

お使いになる前に、以下の製品が揃っていることを確認してください。

なお、プリンタが入っていた箱は、プリンタの保管・輸送の際に必要になりますので捨てないでください。

プリンタ本体　　変換プラグ　　電源コード

リアスタッカ　　リボンカセット（黒、1個）

fit プリンタ
セットアップディスク

取扱説明書(本書)

お客様登録カード

お願い

・添付の**『お客様登録カード』**に必要事項をご記入の上、**必ずご返送ください**。ご返送くださったお客様に**「保証書」を送付**いたします。詳しくは『第5章 保守点検』「アフターサービス」(151ページ)をご参照ください。
・本プリンタにプリンタケーブルは含まれていません。プリンタケーブルは、別途用意してください。
・保証書は大切に保管してください。

使用上のお願い

このプリンタを使用する際には、以下の点に十分留意されるようお願いします。

■　設置について場所

・長時間直射日光の当たる場所や、エアコンの前など極端に温度や湿度が変わる場所には設置しないでください。
温度と湿度が、以下の範囲内の場所に設置してください。

・周囲温度：5℃～35℃
・周囲湿度：30%～80%（結露しないこと）

・ほこり、腐食性ガス、潮風にさらされる場所は避けてください。

・磁石はもちろん、テレビやスピーカなど磁気の強いものの近くに設置しないでください。

・プリンタを設置するときに必要なスペースは下図のとおりです。

十分なスペースがないと正しい設置や操作ができません。図を参考にしてゆとりのある設置場所を確保してください。

■　電源について

次の電圧、周波数の範囲の電源を使用してください。

・電源電圧　：AC100V±10%

・電源周波数：50/60±1Hz

■　使用方法について

・用紙およびリボンカセットをセットしていない状態で、印字しないでください。印字ヘッドやプラテンが傷む原因となります。

・印字ヘッドが動いているときは、電源を切らないでください。プリンタの故障の原因となります。

■　用紙について

お使いになる用紙については、「第４章　用紙について」の内容を事前に確認してください。また、次のような用紙を使用しないでください。次のような用紙を使用すると、用紙送りが不安定になり、用紙づまり、用紙折れ、および印字ずれの原因となります。最悪の場合には、印字ヘッドのピンが折れる可能性もあります。

・極端に薄い紙または厚い紙（用紙規格を満たさないもの）

・小さすぎる紙または大きすぎる紙（用紙規格を満たさないもの）

・切り抜き部分や窓のある紙

・ピン、クリップ、ホチキスの針など金属の付いている紙

・のり付け面が露出している紙、波打っている紙、はがれている紙

・浮き彫りのある紙

・連続帳票用紙の横ミシン目以外で折りたたんだ紙

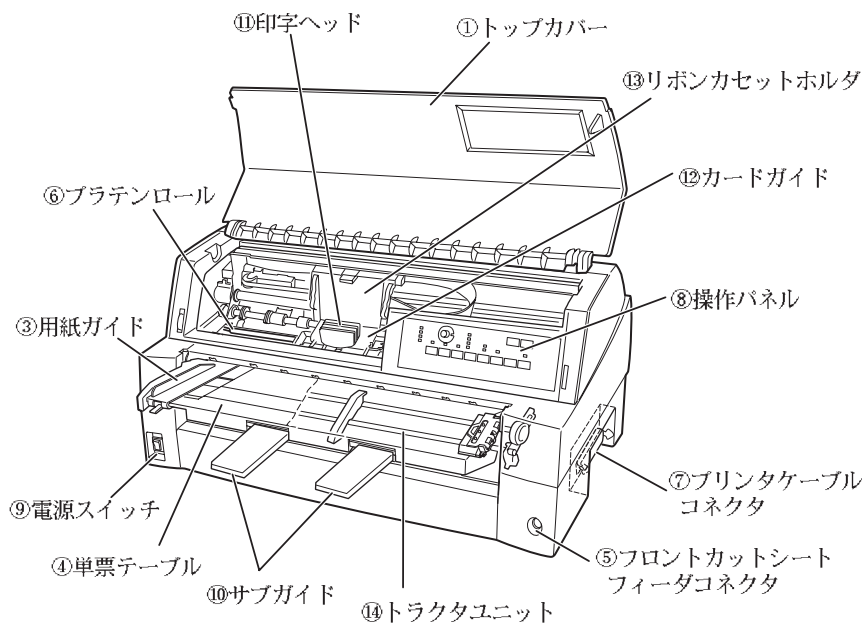
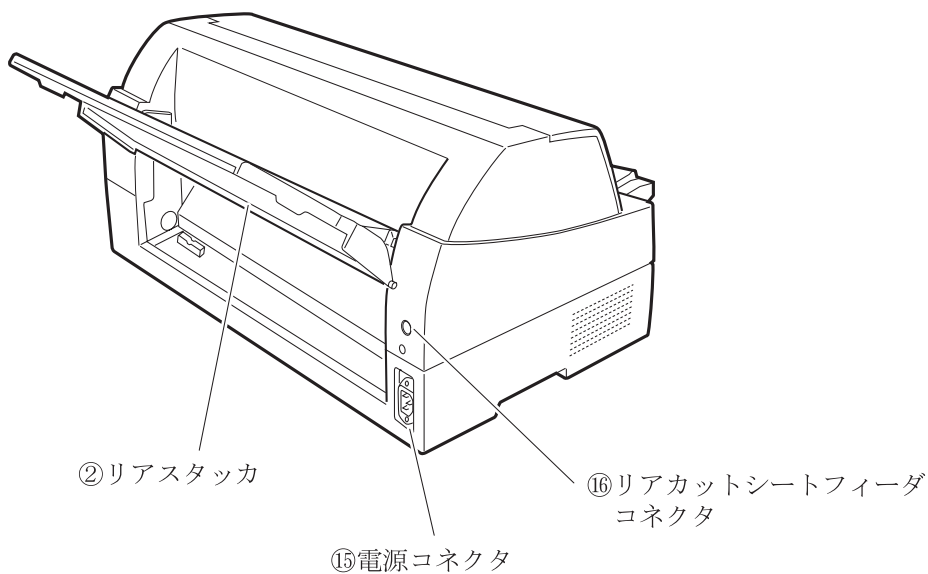
・複写紙において、オリジナルと複写紙で大きさの異なる紙、または部分的に複写枚数が異なる紙

・端または角が破れていたり、折れている紙

・束のりとじの複写用紙

各部の名称とはたらき

■ 各部の名称

◆ 正　面

◆ 背　面

■　各部のはたらき

各 部 の 名 称	は た ら き
①トップカバー	オペレータが動作中の印字ヘッドに触れない様に保護します。また印字ヘッドをホコリやチリから守ります。トップカバーを開けるとプリンタは動作を停止します。引き続き印字を行う場合は、トップカバーを閉じて、オンライン状態としてください。
②リアスタッカ	単票用紙をスタックします。
③用紙ガイド	単票セットフリーオフの場合に、単票手差し時に用紙の左端を支えます。印字開始位置に対して用紙ガイドを移動することにより、左端余白を調整できます。 単票セットフリーオンの場合は使用しないので、左端に寄せておきます。
④単票テーブル	単票用紙を挿入するときのガイドです。単票用紙は１枚ずつ挿入します。
⑤フロントカットシートフィーダコネクタ	オプションのカットシートフィーダを前部に取り付けて使用する場合、ケーブルを接続するコネクタです。
⑥プラテンロール	印字時に用紙を支えます。
⑦プリンタケーブルコネクタ	プリンタケーブルをここに接続して、プリンタとパソコンをつなぎます。
⑧操作パネル	プリンタの状態を示すランプ、プリンタを操作するための各種スイッチがあります。（詳細は、「操作パネルの機能」（30 ページ）を参照）
⑨電源スイッチ	「｜」側を押すと電源が入り、「○」側を押すと電源が切れます。
⑩サブガイド	長い単票を使用するとき、引き伸ばして用紙がプリンタから外れないようにするものです。
⑪印字ヘッド	用紙に印字する部分です。
⑫カードガイド	用紙を送るときの案内板です。また、カードガイド上の二本線は、行方向の印字位置を合わせるための目安です。
⑬リボンカセットホルダ	リボンカセットを取り付けるところです。
⑭トラクタユニット	連続帳票用紙をプリンタ内部へ送ります。プリンタの前部または後部に取り付けることができます。
⑮電源コネクタ	電源コードを接続します。
⑯リアカットシートフィーダコネクタ	オプションのカットシートフィーダを後部に取り付けて使用する場合、ケーブルを接続するコネクタです。

お願い

・印字ヘッドが動いているときは、印字ヘッドに触れたり、無理な力を加えたりしないでください。
・印字中は、トップカバーを開けないでください。
印字の途中でトップカバーを開けると、データ保護のためにオンライン状態のまま停止することがあります。この場合は、速やかにトップカバーを閉めてください。

プリンタを設置する

■ 設置手順

プリンタは下記の手順を確認しながら設置してください。

1 製品がすべてそろっていることを確認する

梱包されている製品は「製品の内容」（6 ページ）を参照してください。

2 カバー部品を固定しているテーピング、固定部材を外す

（テープは 6 本あります。）

3 単票テーブルをセットする

単票テーブルのセットについては「単票テーブルのセット」（14 ページ）を参照してください。

4 トップカバーを開けて輸送用固定材を外す

輸送用固定材の取り外しについては「輸送用固定材の取り外し」（13 ページ）を参照してください。

5 リアスタッカを取り付ける

リアスタッカの取り付けについては「リアスタッカの取り付け」（16 ページ）を参照してください。

6 トラクタの前後の位置を選択する

トラクタ前後の選択については「トラクタの位置を決める」（23 ページ）を参照してください。トラクタの位置変更については、「トラクタユニットの着脱について」（24 ページ）を参照してください。

7 電源コードを接続する

電源コードの接続については「電源コードの接続」（18 ページ）を参照してください。

8 リボンカセットを取り付ける

リボンカセットの取り付けについては、「リボンカセットを取り付ける」（21 ページ）を参照してください。

9　必要に応じて機能設定を変更する

機能設定の変更方法については「機能設定を変える」（38 ページ）を参照してください。

10　パソコンと接続する

プリンタケーブル（別売り）を準備します。パソコンとの接続については「パソコンとの接続」（17 ページ）を参照してください。

11　ドライバをインストールする

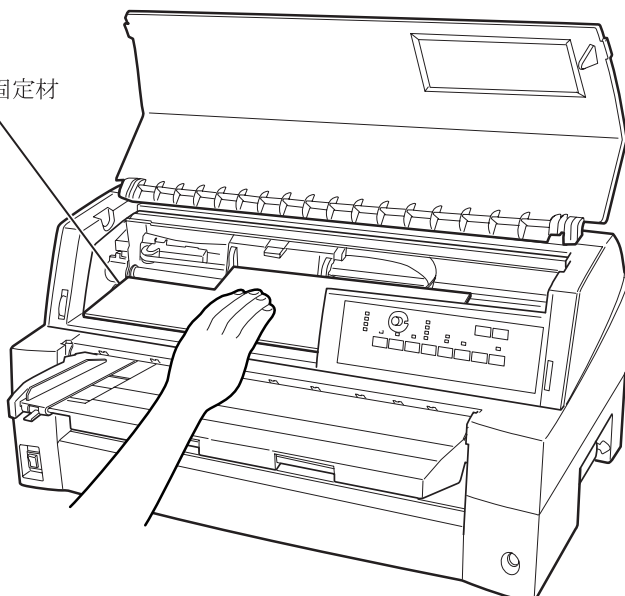
ドライバのインストールについては、『ソフトウェア編』を参照してください。

■　輸送用固定材の取り外し

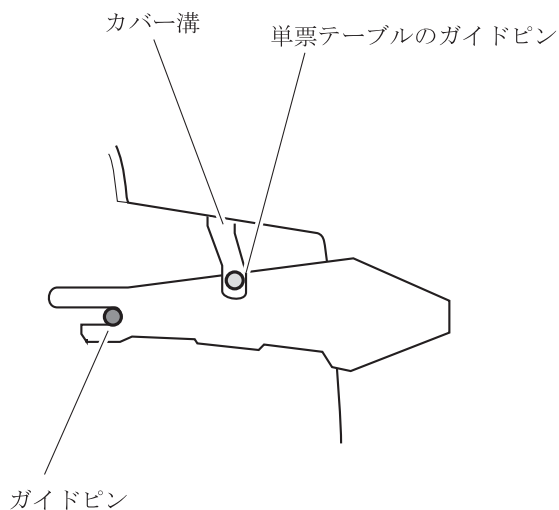
輸送中の振動などから印字ヘッドを保護するため、輸送用固定材が取り付けられています。プリンタを使用する前に、必ず取り外してください。

お願い

取り外した輸送用固定材は、箱と一緒に保管しておき、再びプリンタを輸送する場合や保管する場合に使用してください。

トップカバーを開けて、印字ヘッドを固定している輸送用固定材を抜き取ります。

■　単票テーブルのセット

下図のように単票テーブルを回転させた（①）のち、奥に押し込んで（②）セットします（③）。

セット完了状態は下図のように、単票テーブルの先端がプリンタのガイドピンに挿入され単票テーブルのガイドピンがカバーの溝に入っていることを確認してください。

お願い

単票テーブルの操作の途中で、無理な力をかけないでください。破損の原因となります。また、途中の状態で放置しないようにしてください。単票テーブルをセットしている途中の状態で使用すると、用紙づまりの原因となります。

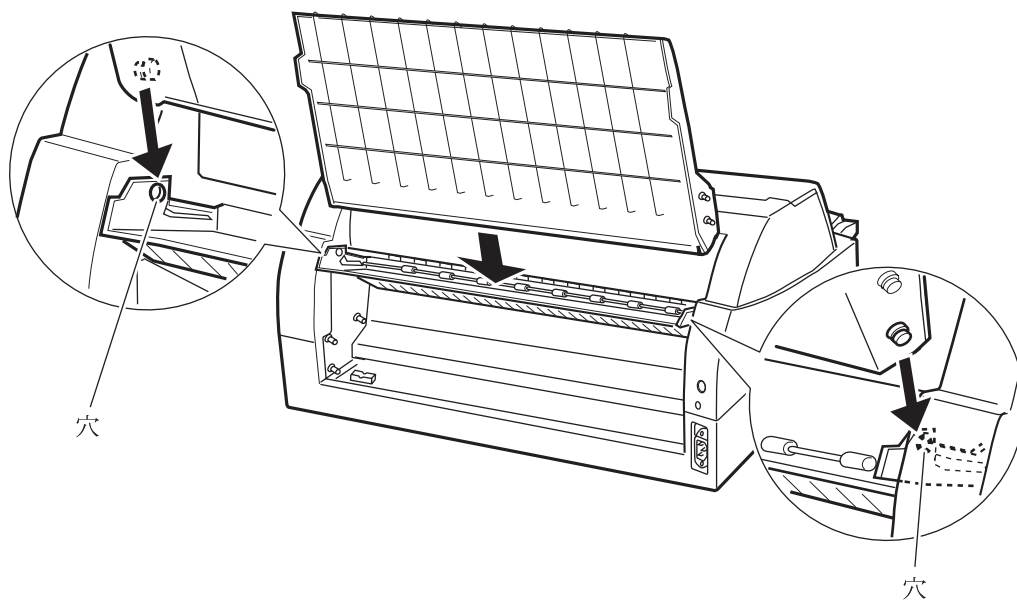
■　単票テーブルの取り扱いについて

単票テーブルは、連続帳票用紙を前トラクタ給紙するときや、カットシートフィーダをプリンタ前部に取り付けるときに、いったん開閉する必要があります。

◆　通常時

通常は下図のような状態です。

■　リアスタッカの取り付け

下図の様にプリンタ背面のスタッカガイドの内側の穴にリアスタッカ両側の突起をはめます。

■　パソコンとの接続

このプリンタは、セントロニクス仕様のパラレルインタフェースを備えています。プリンタケーブルは接続するパソコンによって異なります。別途用意してください。

感　電	**プリンタケーブルを抜き差しするときは、必ずパソコンと本プリンタの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあとに行なってください。感電の原因となります。**

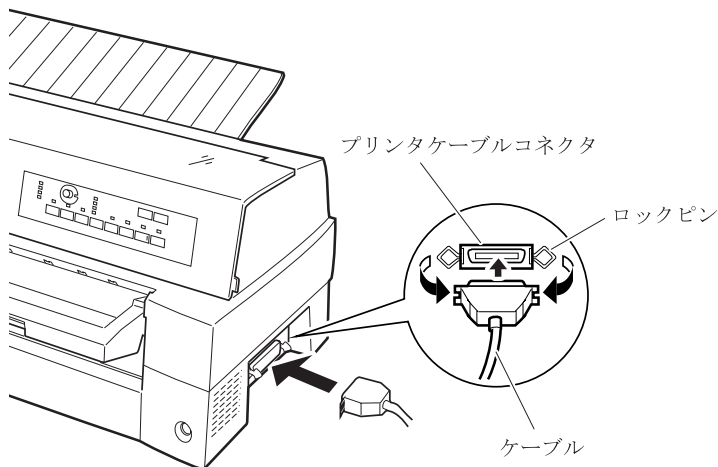
感　電	**ケーブルの接続は間違いがないようにしてください。** **誤った接続状態で使用すると、プリンタ本体およびパソコン本体が故障する原因となることがあります。**

パソコンとの接続は、次の手順で行います。

1　プリンタとパソコンの電源を切る

電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

2　プリンタケーブルをプリンタに接続する

プリンタケーブルの一方を、プリンタ右側面のプリンタケーブル接続コネクタに差し込み、左右のロックピンで固定します。

3　ケーブルのもう一方をパソコンに接続する

接続の方法は、お使いになるパソコンのマニュアルをご覧ください。

■　電源コードの接続

感　電　添付の電源コード以外は使用しないでください。変換プラグを使用する場合、プラグから出ている緑色のアース線を、必ず次のいずれかに取り付けてください。

・電源コンセントのアース線

・銅片などを 650㎜ 以上地中に埋めたもの

・接地工事（第 3 種）を行なっている接地端子

アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、感電・火災の原因となります。

電源コードの接続は、次の手順で行います。

1　プリンタとパソコンの電源を切る

電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

2　プリンタに電源コードを差し込む

プリンタ背面の電源コネクタに電源コードを接続します。

3　電源プラグをコンセントに差し込む

できるだけ３ピンの電源プラグを使用してください。もし３ピンのコンセントがない場合は、添付の変換プラグを使って電源コードとアース線を接続してください。

お願い

電源プラグは、根元まで確実に差し込んでください。

電源の投入と切断

プリンタの電源の入れかたと切りかたについて説明します。

■　電源を入れる

お願い

購入後初めてプリンタに電源を入れるときは、次の点を確認してください。
- 輸送用固定材（印字ヘッド部保護用固定材）が取り外してあること
- 電源コンセントの電源電圧が 100V、周波数が 50 または 60Hz であること
- トップカバーを閉じていること

プリンタの前面にある電源スイッチを（｜）側に倒します。

「電源」ランプが点灯します。

■　電源を切る

お願い

- 電源の切断は、必ず電源スイッチで行ってください。電源プラグを抜いて電源を切ると、プリンタ内の回路を傷めたり、印字データを壊したりする場合があります。
- 印字ヘッドが動いているときは、電源を切らないでください。
- 電源を切った後、再び電源を入れる場合は、4 秒以上待ってください。間隔を開けずに電源を入れると、故障の原因になります。

「電源」ランプが点灯しているときは、電源スイッチを（○）側に倒します。

「電源」ランプが消灯します。

リボンカセットを取り付ける

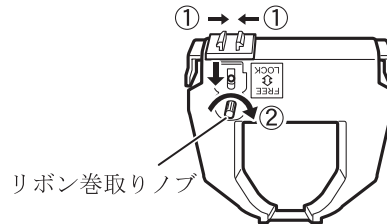
リボンカセットの取り付けは、次の手順で行います。

1 リボンのたるみを取る

リボンカセットのローラ離反ツメのロックを外し(矢印①)、ローラを"Free"側にします。リボン巻取りノブを時計方向に回して(矢印②)、リボンのたるみを取ります。

お願い

リボン巻取りノブは、反時計方向に回さないでください。

リボン巻取りノブ

2 プリンタをリボンが交換できる状態にする

印字ヘッドの輸送用固定材が取り外されていることを確認した後、トップカバーを閉じた状態で電源を投入します。印字ヘッドが移動し、リボン交換位置に停止することを確認します。

ガイド

トップカバーが開いていると印字ヘッドは動作しません。トップカバーを閉めて電源を投入してください。

3 プリンタの電源を切る

電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

4 トップカバーを開ける

5 印字ヘッドがリボン交換位置（プリンタ本体に刻印があります）にあることを確認する

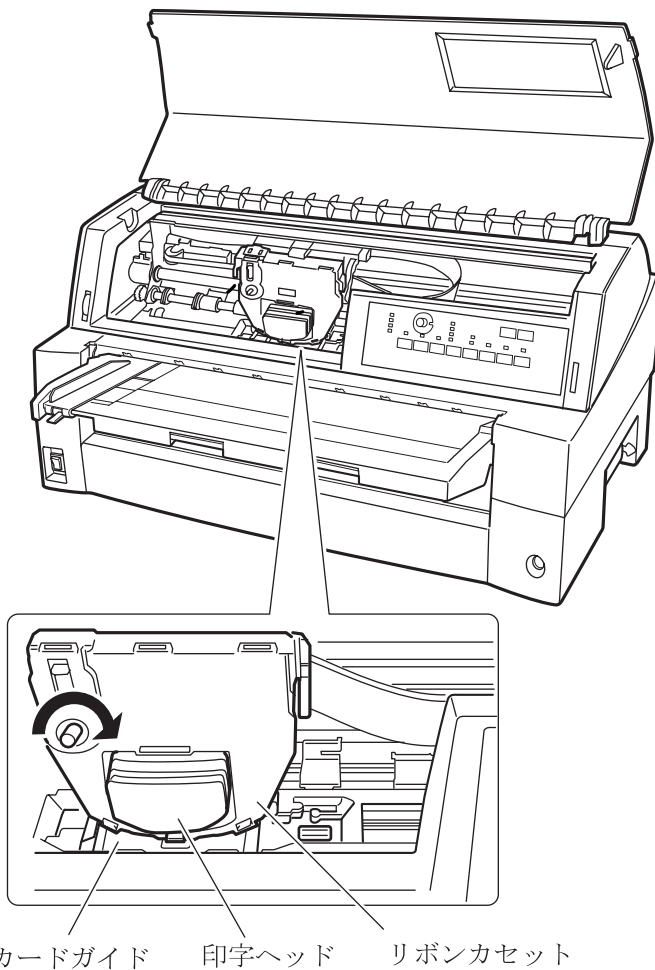
印字ヘッドがリボン交換位置にない場合は、印字ヘッド部分を持ち、ゆっくり横方向へ移動させてください。

高　温　使用中や使用直後は、印字ヘッドが高温になります。温度が下がるまで触らないでください。

6　リボンカセットを取り付ける

印字ヘッドとカードガイドの間にリボンを通し、リボンカセットをゆっくり押し込みます。

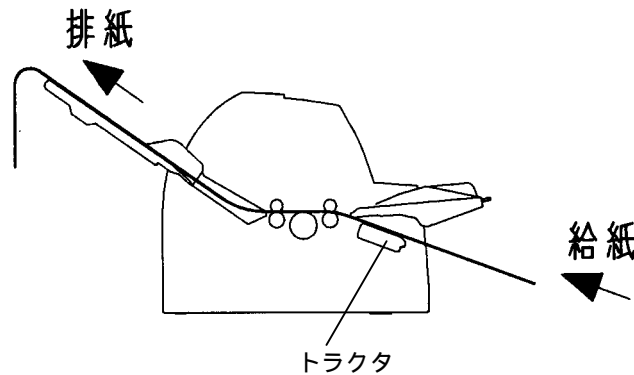
7　リボンのたるみを取る

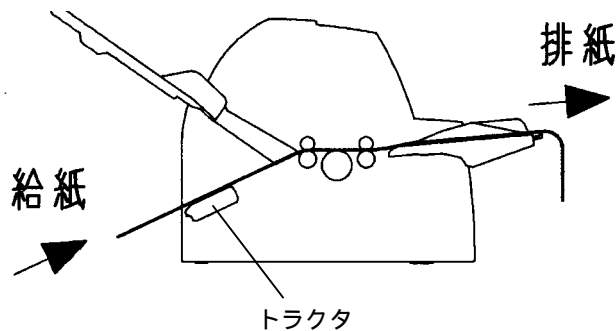
リボン巻取りノブを時計方向に回して、リボンのたるみを取ります。

8　トップカバーを閉める

トラクタユニットの位置を決める

ガイド

本プリンタは前後共通の着脱式トラクタを使用しているため、設置条件、業務形態に応じてトラクタの前後の位置を選択して使用できます。工場出荷時は前側に搭載されいますが、必要に応じて後ろに付け替えてご使用ください。なお、オプションのトラクタユニットを追加すれば、前後にトラクタを取り付けて使用することができます。

◆ トラクタを前に搭載したときの特長

手前側より連続用紙を交換することができ、頻繁に用紙を交換する業務に適しています。

◆ トラクタを後に搭載したときの特長

手前側で用紙のカットが行いやすく、頻繁に用紙をカットするような業務に適しています。用紙のカット方法は「連続帳票用紙をカット位置に送る」(58 ページ)を参照してください。

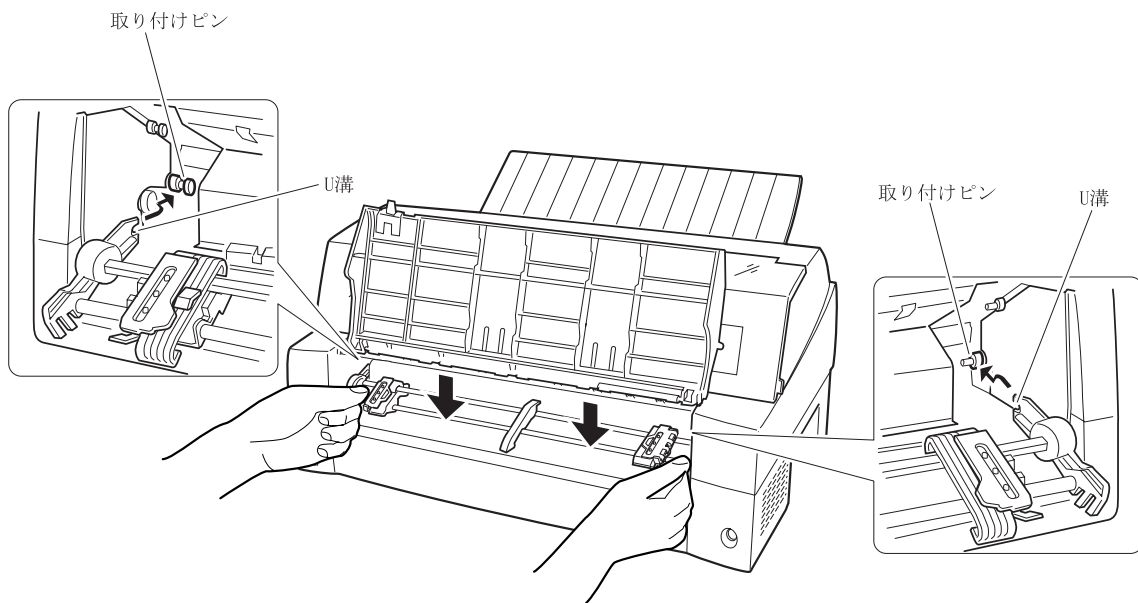
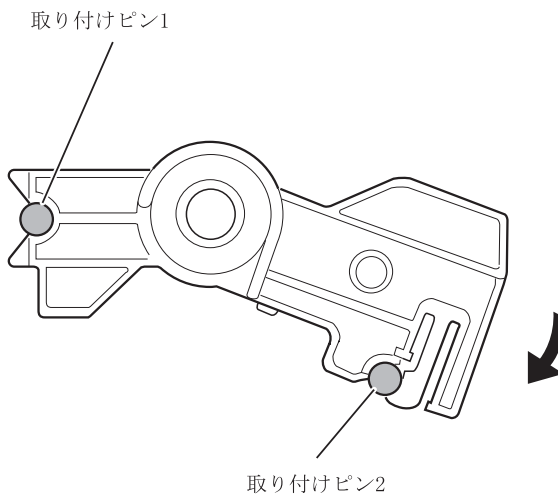
■　トラクタユニットの着脱について

◆ 前側のトラクタユニットの場合

【取り外しかた】

トラクタユニットの手前側のシャフトの左右を上方に持ち上げてロックを外し、取り外します。

【取り付けかた】

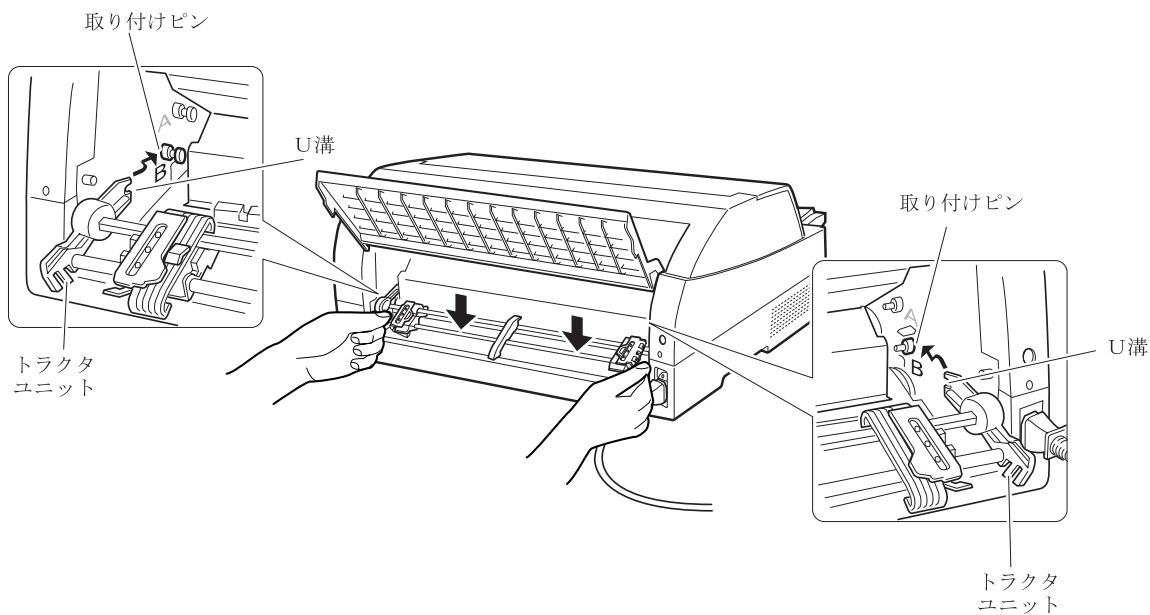
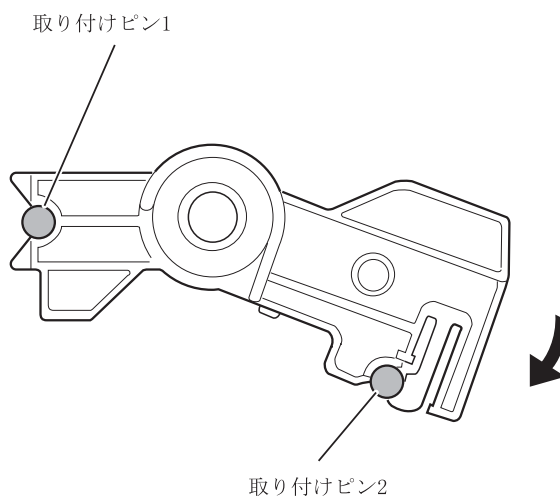
1）　トラクタユニット左右のＵ溝をプリンタの取り付けピンに合わせます。（左側の取り付けピンの溝に合わせて取り付けます。右側の取り付けピンには、溝はありません。）
2）　トラクタユニット手前側のシャフトをカチッと音がするまで押し下げてロックします。

3）　下図のように取り付けピン２にトラクタユニットの左右のロック部が固定されていることを確認してください。

◆ 後側のトラクタユニットの場合

【取り外しかた】

トラクタユニットの手前側のシャフトの左右を上方に持ち上げてロックを外し、取り外します。

【取り付けかた】

1）　トラクタユニット左右の U 溝をプリンタの取り付けピン(刻印 B 部)に合わせます。（左側の取り付けピンの溝に合わせて取り付けます。右側の取り付けピンには、溝はありません。）

2）　トラクタユニット手前側のシャフトをカチッと音がするまで押し下げてロックします。

3）　下図のように取り付けピン 2 にトラクタユニットの左右のロック部が固定されていることを確認してください。

第2章

プリンタの機能とその使いかた

この章では、操作パネルの機能、機能設定の変えかた、行間ズレの修正のしかた、用紙吸入量の調整のしかた、および自動検出機能などプリンタの機能とその使いかたについて説明します。

操作パネルの機能

操作パネルには、プリンタの状態を示すランプとプリンタを操作するためのスイッチおよびダイヤルが付いています。

ガイド

各スイッチの真上のランプは、各スイッチと連動した機能になります。

■ ランプ

各ランプの機能は下表のとおりです。

ランプ名称	色	機　能
電源	緑	電源スイッチを入れる((｜)側に倒す)と点灯します。
用紙切れ	橙	用紙がなくなると点灯します。アラーム発生時に点滅します。
用紙抜取 (注 1)	緑	手前に排出した用紙が抜き取り待ち状態のときに点滅します。
ESC/P	緑	ESC/P モードの場合に点灯します。ESC/P ハガキモードのときは点滅します。
単票セットフリー	緑	単票セットフリー機能がオンの状態で点灯します。
自動紙厚調整	緑	自動紙厚調整の場合に点灯します。
高複写	緑	高複写印字モードのときに点灯します。
前トラクタ	緑	前トラクタからの用紙を使用する場合に点灯します。
後トラクタ	緑	後トラクタからの用紙を使用する場合に点灯します。
単票手差し	緑	単票手差しからの用紙を使用する場合に点灯します。
カットシートフィーダ	緑	カットシートフィーダまたは単票手差しからの用紙を使用する場合に点灯します。

ランプ名称	色	機　能
高速	緑	高速印字モード（間引き印字）のときに点灯します。
低騒音	緑	低騒音印字モード（間引き印字）のときに点灯します。
手前排出	緑	単票の排出方向が「手前排出」のときに点灯します。手前に排出した単票用紙が抜き取り待ち状態のときに点滅します。
オンライン (注 2)	緑	オンライン状態で点灯します。

注 1）　単票用紙の抜き取り待ち状態とは、下記の不具合を防止するために単票テーブルに排出した用紙が除去されるまで動作を停止し、用紙抜取ランプを点滅させ、オペレータに排出された用紙の除去を促します。
・単票テーブルに排出した用紙が誤って再吸入される。
・単票テーブルに連続排出された用紙が単票テーブルから落下する。

注 2）　電源投入時およびパソコンからのリセットによる初期診断時に印字ヘッドの交換時期を検知すると、5 秒間「オンライン」ランプが点滅します。（「第 5 章　保守と点検」参照）

◆ オンライン状態、オフライン状態とは

プリンタにはオンライン状態とオフライン状態があります。
オンライン状態とはパソコンからのデータを受信し、印字することができる状態です。
オフライン状態とはパソコンからのデータの受信と印字を停止している状態です。

オンライン状態からオフライン状態にして印字を停止した場合に、受信バッファにデータが残っていることがあります。再度オンライン状態にすると、印字を続行します。

■ スイッチ

用紙カット/用紙吸入/排出、手前排出/改行、印字モード/改ページのように、スイッチの上下に名称が書かれている場合、そのスイッチの機能はオンライン状態のときは上側、オフライン状態のときは下側になります。

ガイド

プリンタのトップカバーが開いていると、スイッチは操作できません。ただし微小改行▼、微小改行▲スイッチは操作できます。

注) 印字ヘッドが動いているときに、トップカバーを開けた場合は微小改行▼、微小改行▲スイッチも操作できません。

スイッチ名称	機　能
オンライン （「オンライン」ランプに連動）	・オンライン状態とオフライン状態を切り替えます。 オンライン状態のときは、「オンライン」ランプが点灯します。 「用紙切れ」ランプ点灯後にオフライン状態になった場合に、本スイッチを押すと、下端余白部に強制的に 1 行印字します（オーバーライド機能といいます）。
用紙カット	オンライン状態のとき 前/後トラクタ時に本スイッチを押すと、あらかじめセットしたプリンタの用紙がカット位置にくるように用紙送りを行います。（58 ページ参照） 再度押すと、元の位置（ページ先頭位置）に戻ります。 単票モードの場合は、本スイッチは無効になります。
用紙吸入／排出	オフライン状態のとき (給紙口を「前トラクタ」または「後トラクタ」選択時) 用紙無し状態の場合、前トラクタ、または後トラクタにセットしてある連帳用紙を印字開始位置まで吸入します。 用紙有り状態の場合、前トラクタ、または後トラクタにセットしてある連帳用紙を待機位置まで後退します。

スイッチ名称	機　能
用紙吸入／排出	オフライン状態のとき 単票用紙セット（手差しモード）時 (給紙口を「単票手差し」選択時) 機能設定「装置機能設定」の「ｵｰﾄﾛｰﾃﾞｨﾝｸﾞ」(43 ページ参照)を「無効」に設定している場合、単票テーブルに単票用紙をセットした状態で本スイッチを押すと、単票用紙を印字開始位置まで吸入します。 用紙有り状態で本スイッチを押すと、単票用紙の排出を行います。 ・排出方向は、「手前排出」ランプの表示状態に従い手前または後方です。 単票用紙セット（カットシートフィーダ搭載）時 (給紙口を「カットシートフィーダ」選択時) フロントカットシートフィーダまたはリアカットシートフィーダにセットした用紙が未吸入状態で本スイッチを押すと、単票用紙を印字開始位置まで吸入します。 用紙吸入状態で本スイッチを押すと、単票用紙を排出します。 ・排出方向は、「手前排出」ランプの表示状態に従い手前または後方です。 カットシートフィーダが前後に搭載されている場合、前カットシートフィーダおよび後カットシートフィーダのどちらをビン 1、ビン 2 に割り当てるかは、機能設定「その他の設定」の「CSF ビン 1 選択」（52 ページ参照）に従います。
手前排出 （「手前排出」ランプに連動）	オンライン状態のとき ・単票用紙の排出方向の切り替えを行います。 単票用紙の排出方向には、手前（テーブル側）と後方（スタッカ側）の 2 つがあります。 ・「手前排出」ランプ消灯時に本スイッチを押すと、「手前排出」ランプが点灯し、単票用紙の排出方向は手前排出となります。 ・「手前排出」ランプ点灯時に本スイッチを押すと、「手前排出」ランプが消灯し、単票用紙の排出方向は後方排出となります。 排出方向は、単票手差し、前カットシートフィーダ、後カットシートフィーダとも用紙繰り出し方向です。 Windows から印字する場合、プリンタドライバのプロパティ設定が優先します。プロパティが「自動排出」設定の場合は、プリンタ側の排出方向設定が有効となります。

スイッチ名称	機　能
改行	オフライン状態のとき 本スイッチを１回押すと、正改行（用紙繰り出し方向）動作を行います。 正改行の方向は、プリンタ前面から吸入する用紙（前トラクタ、単票、前カットシートフィーダ）と、プリンタ背面から吸入する用紙（後トラクタ、後カットシートフィーダ）では、用紙繰り出し方向が異なります。 押し続けると、連続正改行動作となります。 (正改行の送り量は、1/6 インチ固定です。)
印字モード （「高速」「低騒音」ランプに連動）	オンライン状態のとき 『標準印字モード』→『高速印字モード』 『低騒音印字モード』 の順に切り替わります。 標準印字モード　：　180dpi の解像度で印刷します。 高速印字モード　：　間引き印字することにより、標準の２倍の速度で印字します。 低騒音印字モード：　高速印字モード（間引き印字）のパターンを標準印字速度で印字し、騒音を低減します。プリンタドライバからの高速印字、高品質（標準印字）の指定は、低騒音印字モードが解除されると有効になります。 Windows から印字する場合、プリンタドライバのプロパティ設定が優先します。プロパティが「プリンタ設定優先」の場合は、プリンタ側の印字モード設定が有効となります。

スイッチ名称	機　能
改ページ	オフライン状態のとき 前トラクタ/後トラクタ時 （給紙口を「前トラクタ」または「後トラクタ」選択時） 用紙を次のページの先頭行に送ります。このときのページの長さは、機能設定「ESC/P 設定」で「連帳ページ長」により設定されます。(初期設定 11 インチ)(51 ページ参照)。 印刷実行後はプリンタドライバ、アプリケーションから設定した値になりますが、その後に電源の切断、リセットコマンド送出によるリセットを実行した場合は、機能設定「ESC/P 設定」の「連帳ページ長」で設定したページ長になります。 単票用紙セット(手差しモード)時 (給紙口を「単票手差し」選択時) 用紙を排出します。 (機能設定「その他の設定」の「単票モード時の FF コード」を「ページ長送り」（51 ページ参照）に変更した場合はページ長分用紙を送ります) 単票用紙セット（カットシートフィーダ搭載）時 (給紙口を「カットシートフィーダ」選択時) フロントカットシートフィーダまたはリアカットシートフィーダにセットした用紙が未吸入状態で本スイッチを押すと、単票用紙を印字開始位置まで吸入します。 用紙吸入状態で本スイッチを押すと、この単票用紙を排出後、フロントカットシートフィーダまたはリアカットシートフィーダにセットした次の単票用紙を印字開始位置まで吸入します。 カットシートフィーダが前後に搭載されている場合、フロントカットシートフィーダおよびリアカットシートフィーダのどちらをビン 1、ビン 2 に割り当てるかは、機能設定「その他の設定」の「CSF 1ﾋﾞﾝ選択」(52 ページ参照)に従います
給紙口 （「前トラクタ」「後トラクタ」「単票手差し」「カットシートフィーダ」ランプに連動）	オフライン状態のとき 使用する給紙口を選択します。 本スイッチを1回押すごとに、給紙口が、 『前トラクタ』→『後トラクタ』→『単票手差し』→『カットシートフィーダ』→（『前トラクタ』に戻る） の順に切り替わり、選択した用紙に対応するランプが点灯します。(『カットシートフィーダ』はカットシートフィーダ搭載時のみ点灯します)。 Windows から印字する場合、プリンタドライバのプロパティで設定が優先します。

スイッチ名称	機　能
高複写 （「高複写」ランプに連動）	オンライン状態、オフライン状態のとき 高複写モードにします。 高複写モードのときは、「高複写」ランプが点灯します。 高複写印字モードを解除する（標準印字モードにする）ときは、高複写スイッチを押して「高複写」ランプを消灯させます。 Windows から印字する場合、プリンタドライバのプロパティで設定する必要があります。
自動紙厚調整 （「自動紙厚調整」ランプに連動）	オフライン状態のとき 2 秒間押すと自動紙厚調整と手動紙厚調整とを切り替えます（自動紙厚調整の場合はランプが点灯します）。 自動紙厚調整の場合は、プリンタドライバのプロパティでの用紙厚設定が優先されるので、プリンタドライバのプロパティで用紙厚を正しく設定する必要があります。 手動紙厚調整の場合は、プリンタドライバのプロパティで設定した内容を無視し、手動紙厚調整ダイヤルの設定値が有効となります。
単票セットフリー （「単票セットフリー」ランプに連動）	オンライン状態、オフライン状態のとき 単票手差しの方法を切り替えます。 ・単票セットフリーオフ時 用紙ガイドに用紙左端を沿わせてセットします。印字開始位置は、用紙ガイド（左）を移動させて余白を調整してください。 単票セットフリーオフの場合のみ「装置機能設定」の「ｵｰﾄﾛｰﾃﾞｨﾝｸﾞ」の時間設定が有効となります。 ・単票セットフリーオン時 用紙を単票テーブルの用紙吸入口に軽く押し込むだけで用紙がセットされます。「単票セットフリー」ランプが点灯します。印字開始位置は「余白量設定」の「単票左端余白量」で設定した値になります（45 ページ参照）。オートローディングが無効の場合（43 ページ参照）は、**用紙吸入/排出**スイッチを押さないと用紙を吸入しません。
微小改行▲	オンライン状態、オフライン状態のとき 本スイッチを 1 回押すと、1/180 インチの微小改行動作を行います。改行方向は、スイッチの上に表示されている▲（順送り）の方向です。単票用紙、フロントカットシートフィーダの用紙および前トラクタの用紙に対しては正改行（用紙繰り出し方向）となります。 リアカットシートフィーダの用紙および後連帳の用紙に対しては逆方向が用紙繰り出し方向となります。本スイッチを押し続けると、連続微小改行動作となります。

スイッチ名称	機　能
微小改行▼	オンライン状態、オフライン状態のとき 本スイッチを 1 回押すと、1/180 インチの微小改行動作を行います。改行方向は、スイッチの上に表示されている▼（逆送り）の方向です。単票用紙、フロントカットシートフィーダの用紙および前トラクタの用紙に対しては逆改行となります。リアカットシートフィーダの用紙および後トラクタの用紙に対しては正改行となります。本スイッチを押し続けると、連続微小改行動作となります。

■　ダイヤル

ダイヤル名称	機　能
手動紙厚調整 （「自動紙厚調整」ランプに連動）	手動紙厚調整時の紙厚を設定します。 電源スイッチを入れ((｜)側に倒し)、オフライン状態にします。**自動紙厚調整**スイッチを 2 秒間押して、「自動紙厚調整」ランプを消灯させ、手動紙厚調整ダイヤルを回してセットします。（「自動紙厚調整」ランプが点灯しているときは、働きません。）

ガイド

手動紙厚調整ダイヤルの位置の詳細は「用紙厚を調整する」（87 ページ）を参照してください。

機能設定を変える

ここでは、機能設定の変えかたと動作モード（FM、ESC/P）ごとに設定できる機能の内容ついて説明します。

■　機能設定の変えかた

機能設定は、「オフラインセットアップモード」で行います。

オフラインセットアップモードによる設定手順は次のとおりです。

1　プリンタに単票用紙をセットする

2　オフラインセットアップモードへ入る

ESC/P モードの場合、**用紙カット/用紙吸入/排出**スイッチを押しながら電源を入れます。一度すべてのランプが点灯してからスイッチを離してください。
以下のトップメニューを印字します。

FM モードの場合、**印字モード/改ページ**スイッチを押しながら電源を入れます。一度すべてのランプが点灯してからスイッチを離してください。

```
セットアップ開始
設　定　　終　了　　設定一覧　　　　初期化
```

メニューの内容は次のとおりです。

メニュー名	内　容
設定	プリンタの機能設定を変更します。
終了	プリンタの機能設定を終了します。
設定一覧	現在の設定内容をすべて印字します。
初期化	現在の設定内容を初期設定に戻します。

3　オフラインセットアップを実行する

操作パネルによる操作により、選択項目に印字ヘッドを移動させ、オフラインセットアップを行います。オフラインセットアップモードによる機能設定の操作は以下のスイッチで行います。

	操作内容	使用するスイッチ
1	印字ヘッドを移動し、メニューを選択する。	**印字モード/改ページ**
2	印字ヘッド位置の機能を確定し、次の設定項目に進む。	**微小改行▼**
3	印字ヘッド位置の機能を確定し、一つ前の設定項目に戻る。	**微小改行▲**
4	用紙無し状態時の用紙吸入を行う。	**用紙カット/用紙吸入/排出**
5	機能設定開始状態（トップメニュー）に戻る。	**オンライン**

■　オフラインセットアップモードでの設定変更例(設定一覧を印字する場合)

印字結果の例

セットアップ開始

設　定　　終　了　　設定一覧　　初期化　　………………………（１）

装置機能設定
　ホストインタフェース　　＝ＡＴ
　モード設定　　　　　　　＝ＥＳＣ／Ｐ（点灯）
　用紙厚さ調整　　　　　　＝自動
　印字圧モード　　　　　　＝標準印字圧
　・　・
　・　・
　・　・
ＳＬＣＴＩＮ　　　　　　＝有効
ＤＣ１／ＤＣ３　　　　　＝無効
ＳＬＣＴ　　　　　　　　＝ＨＩＧＨ固定
受信バッファ（１６ＫＢ）＝有り

補正量設定
　単票(手差し)改行補正量　＝0㎜
　前ＣＳＦ改行補正量　　　＝0㎜
　後ＣＳＦ改行補正量　　　＝0㎜
　前連帳改行補正量　　　　＝0㎜
　・　・
　・　・　……（２）
　・　・

設　定　　終　了　　設定一覧　　初期化　　………………………（３）

セットアップ終了

1)　Ａ４タテ以上の用紙をセットして、**用紙カット／用紙吸入／排出**スイッチを押しながら電源を投入してトップメニューを印字します。（１）

2)　**印字モード／改ページ**スイッチを２回押し、印字ヘッドを「設定一覧」の位置に移動させ、**微小改行▼**スイッチを押すと設定一覧を印字します。

3）　途中用紙がなくなり、用紙が排出されたら、新しい用紙をセットします。（２）

4）　設定一覧の印字が終了したら**オンライン**スイッチを押すとトップメニューが印字されます（３）

5）　**印字モード／改ページ**スイッチを１回押し、印字ヘッドを「終　了」の位置に移動させ**微小改行▼**スイッチを押すと、オフラインセットアップモードを終了します。

注)　カットシートフィーダを取り付けているときは、用紙設定状態に関わらず機能設定に入れません。

■　モード設定で ESC/P(点灯)を FM(消灯)に変更する例

印字結果の例

セットアップ開始						
設　定	終　了	設定一覧	初期化		………	（１）
装置機能設定	余白量設定	ＥＳＣ／Ｐ設定 (注１)	補正量設定	その他設定	RS232C 設定 (注２) …	（２）
ホストインタフェース						
自動	ＦＭ	ＡＴ			………	（３）
自動	ＦＭ	ＡＴ				
モード設定						
自動	ＦＭ（消灯）	ＥＳＣ／Ｐ（点灯）			………	（４）
自動	ＦＭ（消灯）	ＥＳＣ／Ｐ（点灯）				
用紙厚さ調整						
自動	手動				………	（５）
装置機能設定	余白量設定	ＥＳＣ／Ｐ設定	補正量設定	その他設定	RS232C 設定 …	（６）
設　定	終　了	設定一覧	初期化		………	（７）
セットアップ終了						

1）　Ａ４タテ以上の用紙をセットして、**用紙カット／用紙吸入／排出**スイッチを押しながら電源を投入してトップメニューを印字します。（１）

2）　印字ヘッドが「設　定」の位置に移動していることを確認し、**微小改行▼**スイッチを押すと、各設定項目の大項目メニューを印字します。（２）

3）　印字ヘッドが「装置機能設定」の位置に移動していることを確認し、**微小改行▼**スイッチを押すと最初の設定項目を印字します（「AT」が選択されており、その位置に印字ヘッドが移動している）。（３）

4)　印字された設定項目を変更する必要が無い場合は**微小改行▼**スイッチを押すと、次の設定項目を印字します(「ESC/P（点灯）」が選択されており、その位置に印字ヘッドが移動している）。（４）

5)　ここで、**印字モード/改ページ**スイッチを２回押し、印字ヘッドを「FM（消灯）」の位置に移動させ、**微小改行▼**スイッチを押すと、選択した項目が決定され、次の項目を印字します。（５）

6)　変更する作業が終了した後、**オンライン**スイッチを押すと、各設定項目の大項目メニューを印字します。（６）

7)　もう一度**オンライン**スイッチを押すと、トップメニューを印字します。（７）

8)　**印字モード/改ページ**スイッチを１回押し、印字ヘッドを「終　了」の位置に移動させ、**微小改行▼**スイッチを押すと、オフラインセットアップモードを終了します。

注 1)　FM セットアップモードの場合は「FM 設定」になります。

注 2)　「RS232C 設定」は、RS232C ボードが搭載されている場合のみ印字されます。

注 3)　機能設定を変更中に電源が切れた場合には、設定した内容は保証されません。

■　設定を工場出荷値に戻す

オンラインスイッチと**用紙カット/用紙吸入/排出**スイッチを押しながら、電源を投入します。一度、すべてのランプが点灯し、印字可能状態になったら完了です。すべての設定が工場出荷値に戻ります。

■　機能設定の種類

機能設定で設定できる項目の一覧を次の表に示します。
表中の初期設定とは、ご購入時にすでに設定してある値をいいます。
○印のついている設定項目が初期設定です。
FM モードと ESC/P モードで機能設定が可能な項目が異なります。

◆　機能設定の項目

機能名の「CSF」とは、カットシートフィーダの略称です。

設定項目名	機能名	設定内容	初期設定	内　容
装置機能設定	インタフェースタイプ	自動	○	セントロニクスインタフェースを使用するか、RS232C インタフェースを使用するかを設定します。 本項目は RS232C ボードが搭載されている場合のみ設定可能となります。 RS232C ボードが搭載されていない場合は本項目は表示されません。 選択したインタフェースにより、本項目以降の設定項目が異なります。
		セントロ		
		RS232C		
	ホストインタフェース	自動		プリンタが接続されているホストを設定します。
		FM		
		AT	○	
	モード設定	自動		電源投入直後のエミュレーションモードを設定します。
		FM（消灯）		
		ESC/P（点灯）	○	

設定項目名	機能名	設定内容	初期設定	内　容
装置機能設定	用紙厚さ調整	自動	○	電源投入時の紙厚調整方法を選択します。 ・自動の場合は、プリンタドライバのプロパティ設定にしたがいます。 ・手動の場合は、プリンタドライバのプロパティ設定を無視し、指定した設定に従います。
		手動		
	印字圧モード	標準印字圧	○	電源投入時の印字圧モードを設定します。
		高印字圧		
	オートローディング (注 1) (注 2)	無効		単票用紙に印刷するときに、自動的に給紙するかどうかを設定します。自動的に給紙する場合は、単票用紙がセットされてから用紙の吸入が開始されるまでの時間を選択します。単票用紙セットの操作性に合わせ設定を変更してください。
		1.0 秒		
		1.5 秒	○	
		2.0 秒		
	単票セットフリー	有効	○	電源投入時の手差し単票用紙の単票セットフリー機能の有効/無効を設定します。
		無効		

注 1)　「ﾓｰﾄﾞ設定」が「FM」モードでカットシートフィーダ搭載時は、オートローディングは無効です。

注 2)　「単票ｾｯﾄﾌﾘｰ」が「有効」に設定されている場合は、本設定での時間は無効です。

設定項目名	機能名	設定内容	初期設定	内　容
装置機能設定	排出方向(単票)	手前排出	○	電源投入時の手差しモード時の単票用紙の排出方向を設定します。操作パネルにより変更できます。また、プリンタドライバで設定することができます。
		後方排出		
	排出方向(CSF)	手前排出	○	電源投入時のカットシートフィーダ搭載時の単票用紙の排出方向を設定します。
		後方排出		
	単票用紙 無し検出	検出する	○	カットシートフィーダ未搭載時の、単票用紙無しを検出する/しないを設定します。カットシートフィーダ搭載時は、単票手差し口から吸入した用紙に対しても、本設定は無効となります。
		検出しない		
	漢字書体	明朝体	○	電源投入時の全角漢字および半角漢字の書体を、明朝体またはゴシック体に設定します。
		ゴシック体		
	単票自動 排出	排出する	○	単票用紙無し検出が有効に設定されているとき、単票用紙無しを検出したときに用紙を自動的に排出するかしないかを設定します。
		排出しない		
	ブザー	鳴動する	○	ブザーの鳴動する/しないを設定します。鳴動しないを選択すると、一切鳴らなくなります。
		鳴動しない		
	印字方向	両方向	○	電源投入時の印字方向を、両方向または片方向に設定します。プリンタドライバからの設定が優先されるので、プリンタドライバのプロパティ設定を行う必要があります。
		片方向		

設定項目名	機能名	設定内容	初期設定	内　容
余白量設定	上端余白量指定	ドライバ指定優先	○	「ドライバ指定優先」にすると、本セットアップモードで設定されている上端余白量にかかわらず、プリンタドライバで指定した上端余白量となります(前後トラクタ選択時は4.2㎜)。 「セットアップ優先」にすると、本セットアップモードで設定されている上端余白量になります。
		セットアップ優先		
	前連帳下端余白量	4.2㎜	○	前トラクタ用紙の下端余白量を用紙下端から印字可能最終行の文字の下端までの量で設定します。 ESC/P モード、FM モード共通。
		101㎜		
	後連帳下端余白量	4.2㎜	○	後トラクタ用紙の下端余白量を用紙下端から印字可能最終行の文字の下端までの量で設定します。 ESC/P モード、FM モード共通。
		157㎜		
	単票左端余白量	5㎜	○	単票セットフリーオン時の左端余白量（用紙の左端から第一印字開始文字の第一ドット目までの量）を設定します。
		10㎜		
		15㎜		
		20㎜		
		25㎜		
		30㎜		
	印字領域	標準	○	単票セットフリー機能無効時の印字開始位置を設定します。 この設定は、すべての用紙に有効になります。 「標準」の場合、第一ドット目印字開始位置が目盛り(81ページ参照)の位置となり、「左寄せ」の場合、12.7㎜左になります。
		左寄せ		

設定項目名	機能名	設定 内容	初期 設定	内　容
ＥＳＣ／Ｐ 設定 (ESC/P モード時のみ設定可能)	単票 （前 CSF） 上端余白量 (注 1)	4.2mm		手差し口およびフロントカットシートフィーダから用紙を吸入後の第一印字開始行の位置を、用紙の上端から第一行印字文字上端までの量で設定します。
		8.5mm	○	
		22.0mm		
	後 CSF 上端余白量 (注 1)	4.2mm		リアカットシートフィーダから用紙を吸入後の第一印字開始行の位置を、用紙の上端から第一行印字文字上端までの量で設定します。
		8.5mm	○	
		22.0mm		
	前連帳 上端余白量 (注 1)	4.2mm		前トラクタ用紙吸入後の第一印字開始行の位置を、用紙の上端から第一行印字文字上端までの量で設定します。
		8.5mm	○	
		22.0mm		
	後連帳 上端余白量 (注 1)	4.2mm		後トラクタ用紙吸入後の第一印字開始行の位置を、用紙の上端から第一行印字文字上端までの量で設定します。
		8.5mm	○	
		22.0mm		
	連帳 ページ長	11 インチ	○	連帳用紙のページ長を設定します。 前トラクタおよび後トラクタ用紙の両方に有効な値です。Windows から印字した場合は、ドライバからの指定値に変更されます。
		12 インチ		
	連帳 ミシン目 スキップ	0 インチ	○	連帳用紙のミシン目の手前でスキップする量を設定します。前トラクタおよび後トラクタ用紙の両方に有効な値です。Windows でユーザ定義サイズを指定して印字した場合、本機能は動作しません。
		1 インチ		
	文字品位	LQ	○	文字品位を設定します。
		DRAFT		
	縮小文字	標準印字	○	印字文字の大きさ（標準文字/縮小文字）を設定します。
		縮小印字		

注 1)　「上端余白量指定」の設定が「ドライバ指定優先」のときは、ドライバで設定した上端余白量となります。

設定項目名	機能名	設定内容	初期設定	内　容
ＥＳＣ／Ｐ設定	コードテーブル	カタカナ	○	ANK コード表を設定します。
		拡張グラフィックス		
	ANK 書体	クーリエ	○	ANK 文字の書体を設定します。
		サンセリフ		
	ゼロフォント字体	スラッシュ無し	○	ANK コードの 0（ゼロ）の字体を「0」とするか「 」とするかを設定します。クーリエフォントに対してのみ有効となります。
		スラッシュ有り		
	国際文字	日本	○	国際文字の出力種類を設定します。
		アメリカ		
	文字間	10CPI	○	ANK 文字の文字ピッチの大きさを設定します。
		12CPI		
	行間	6LPI	○	改行ピッチの大きさを設定します。
		8LPI		
	CR コード (注 1)	CR	○	CR コードの機能を印字指令とするか、印字改行指令とするかを設定します。
		CR＋LF		
		＊AFXT		
	オートティアオフ	有効		連帳用紙のオートティアオフの有効/無効を設定します。
		無効	○	
	SLCTIN	有効	○	SLCTIN 信号の有効/無効を設定します。本項目は、「インタフェースタイプ」設定において、自動またはセントロニクスインタフェースを選択した場合のみ設定可能となります。
		無効		
	DC1/DC3	有効		DC1/DC3 コマンドの有効/無効を設定します。
		無効	○	
	SLCT	HIGH 固定	○	SLCT 信号を HIGH 固定とするか、プリンタの状態により可変とるすかを設定します。
		可変		
	受信バッファ(16KB)	有り	○	受信バッファの有無を設定します。
		無し		

注 1)　ハード信号の制御にしたがいます。
　　　詳しくは、171 ページの＊AUTO FEED XT を参照してください。

設定項目名	機能名	設定内容	初期設定	内　容
ＦＭ設定 (FM モード時のみ設定可能)	単票 （前CSF） 上端余白量	4.2㎜		手差し口およびフロントカットシートフィーダからの用紙を吸入後の第一印字開始行の位置を、用紙の上端から第一行印字文字上端までの量で設定します。 9.1㎜　：はがき（横）印刷時 14.3㎜ ：はがき（縦）印刷時
		9.1㎜		
		14.3㎜		
		22.0㎜	○	
	後CSF 上端余白量	4.2㎜		リアカットシートフィーダから用紙を吸入後の第一印字開始行の位置を、用紙の上端から第一行印字文字上端までの量で設定します。 9.1㎜　：はがき（横）印刷時 14.3㎜ ：はがき（縦）印刷時
		9.1㎜		
		14.3㎜		
		22.0㎜	○	
	前連帳 上端余白量	4.2㎜		前トラクタ用紙吸入後の第一印字開始行の位置を、用紙の上端から第一行印字文字上端までの量で設定します。
		22.0㎜	○	
	後連帳 上端余白量	4.2㎜		後トラクタ用紙吸入後の第一印字開始行の位置を、用紙の上端から第一行印字文字上端までの量で設定します。
		22.0㎜	○	
	受信バッファ （16KB）	有り	○	受信バッファ（16KB）の有無を設定します。
		無し		

設定項目名	機能名	設定内容	初期設定	内　容
補正量設定	単票（手差し）改行補正量	+1.0㎜		手差し単票用紙に対する累積改行補正量を設定します。(約254㎜改行した時の改行ズレ量を補正します。印字位置が上にズレている場合は、＋方向の補正を行います。)
		+0.6㎜		
		+0.3㎜		
		0㎜	○	
		-0.3㎜		
		-0.6㎜		
		-1.0㎜		
	前CSF改行補正量	+1.0㎜		フロントカットシートフィーダ用紙に対する累積改行補正量を設定します。(約254㎜ 改行した時の改行ズレ量を補正します。印字位置が上にズレている場合は、＋方向の補正を行います。)
		+0.6㎜		
		+0.3㎜		
		0㎜	○	
		-0.3㎜		
		-0.6㎜		
		-1.0㎜		
	後CSF改行補正量	+1.0㎜		リアカットシートフィーダ用紙に対する累積改行補正量を設定します。(約254㎜改行した時の改行ズレ量を補正します。印字位置が上にズレている場合は、＋方向の補正を行います。)
		+0.6㎜		
		+0.3㎜		
		0㎜	○	
		-0.3㎜		
		-0.6㎜		
		-1.0㎜		
	前連帳改行補正量	+1.0㎜		前トラクタ用紙に対する累積改行補正量を設定します。(１ページ目に対する、その後のページの印字位置ズレ量を補正します。印字位置が上にズレている場合は、＋方向の補正を行います)。
		+0.6㎜		
		+0.3㎜		
		0㎜	○	
		-0.3㎜		
		-0.6㎜		
		-1.0㎜		
	後連帳改行補正量	+1.0㎜		後トラクタ用紙に対する累積改行補正量を設定します。(１ページ目に対する、その後のページの印字位置ズレ量を補正します。印字位置が上にズレている場合は、＋方向の補正を行います)。
		+0.6㎜		
		+0.3㎜		
		0㎜	○	
		-0.3㎜		
		-0.6㎜		
		-1.0㎜		

設定項目名	機能名	設定内容	初期設定	内　容
補正量設定	前連帳改行補正量（最終頁）	+1.0㎜		前トラクタ用紙の最終頁に対する累積改行補正量を設定します。(最終ページの下端から約100㎜間の改行ズレ量を補正します。印字位置が上にズレている場合は、＋方向の補正を行います)。
		+0.6㎜		
		+0.3㎜		
		0㎜	○	
		-0.3㎜		
		-0.6㎜		
		-1.0㎜		
	後連帳改行補正量（最終頁）	+1.0㎜		後トラクタ用紙の最終頁に対する累積改行補正量を設定します。(最終ページの下端から約155㎜間の改行ズレ量を補正します。印字位置が上にズレている場合は、＋方向の補正を行います)。
		+0.6㎜		
		+0.3㎜		
		0㎜	○	
		-0.3㎜		
		-0.6㎜		
		-1.0㎜		
その他の設定	前用紙吸入時のキャリア位置	ポジション１	○	単票手差し、前トラクタ、フロントカットシートフィーダから用紙を吸入するときの印字ヘッドキャリアの位置を設定します。 ・ポジション 1：約 31 桁目 ・ポジション 2：約 42 桁目 帳票用紙を事前に印刷したプレプリント用紙を使用する場合、用紙上端が正しく検出できない場合があります。その場合は、ポジションを変更してください。 「単票セットフリー機能」が「有効」に設定されている場合、単票手差し口からの用紙に対しては、本設定は無効です。
		ポジション２		

設定項目名	機能名	設定内容	初期設定	内　容
その他の設定	後用紙吸入時のキャリア位置	ポジション 1	○	後トラクタ、リアカットシートフィーダから用紙を吸入するときの印字ヘッドキャリアの位置を設定します。 ・ポジション 1：約 31 桁目 ・ポジション 2：約 42 桁目 帳票用紙を事前に印刷したプレプリント用紙を使用する場合、用紙上端が正しく検出できない場合があります。その場合は、ポジションを変更してください。
		ポジション 2		
	用紙吸入時の斜行検出	有効	○	単票用紙を吸入するときに斜行を検出するかしないかを設定します。
		無効		
	斜行検出値 (注 1)	1.0㎜		単票用紙を吸入するときの用紙斜行検出量を設定します。
		1.5㎜	○	
		2.0㎜		
	単票自動オンライン	有効	○	単票用紙吸入後、自動的にオンラインとするかしないかを設定します。
		無効		
	連帳自動オンライン	有効	○	連帳用紙吸入後、自動的にオンラインとするかしないかを設定します。
		無効		
	単票モード時の FF コード	ページ長送り		単票用紙セット時（手差しモード時）の FF コードおよび **改ページ** スイッチの処理方法を設定します。
		排出	○	
	用紙外印字防止 (注 2)	有効	○	用紙の左右端を検出し、印字領域を超えるデータの処理方法を設定します。
		無効		

注 1)　「装置機能設定」の「単票セットフリー」が「有効」(43 ページ参照)に設定されて、なお且つ「用紙吸入時の斜行検出」が「有効」(51 ページ参照)に設定されている場合のみ本設定値が有効となります。

注 2)　カットシートフィーダおよび連帳使用時は、用紙外印字防止が有効の場合でも、114 桁を越える媒体(約 A4 横以上の単票、約 11 インチ幅以上の連帳)では、右側の用紙外印字防止が作動しませんので、注意してください。

設定項目名	機能名	設定内容	初期設定	内　容
その他の設定	CSF ビン１選択	前 CSF	○	フロント/リアカットシートフィーダを同時搭載した場合に、どのカットシートフィーダをビン１として使用するかを設定します。 選択されなかったカットシートフィーダがビン２となります。 本項目は、フロント/リアカットシートフィーダを同時搭載した場合のみ有効となる設定です。
		後 CSF		
	前 CSF 吸入方式	方式 A	○	フロントカットシートフィーダからの吸入方式を設定します。 「方式 A」は、カットシートフィーダホッパから用紙を直接吸入する方式です。「方式 B」に比べ、カットシートフィーダ処理時間が短縮されます。 「方式 B」は、カットシートフィーダホッパの用紙を一旦単票テーブルへ排出させた後に、もう一度単票テーブルから吸入する方式です。「方式 A」に比べ、改行精度が向上します。
		方式 B		

設定項目名	機能名	設定内容	初期設定	内　容
その他の設定	連帳給紙精度（注１）	精度優先	○	連帳用紙の吸入方式を設定します。「精度優先」は、用紙吸入時に用紙厚さ検出動作を行い、吸入された用紙の厚さに最適な用紙送り制御をします。「速度優先」に比べ改行精度が向上します。「速度優先」は、用紙厚さ検出をしないで直接印字開始位置まで用紙を吸入します。「精度優先」に比べ用紙吸入時間が短縮されますが、「精度優先」と比べ改行精度が悪くなります。
		速度優先		
	逆改行抑制制御	有効	○	逆改行抑制制御を行うかどうかを設定します。
		無効		
	連帳改行時リボン保護制御 (注２)	有効		連帳改行時に印字ヘッドが用紙送り穴位置に停止した場合、用紙送り穴位置を避けて改行し、リボンを保護するかしないかを設定します。
		無効	○	
	ヘッド交換表示	有効	○	印字ヘッドの交換表示をするかしないかを設定します。「有効」に設定の場合、印字ヘッドの交換時期が近づくと電源投入時に「オンライン」ランプの点滅で通知します。設定一覧を印刷すると、詳細内容をパーセントで表示します。
		無効		
	オーバーライド	有効	○	オーバーライド機能(32 ページ参照)を有効とするか無効とするかを設定します。
		無効		

注 1) 手動紙厚調整モードの場合は、設定に関わらず「速度優先」による吸入制御になります。

注 2) 「その他の設定」の「用紙外印字防止」が「有効」(51 ページ参照)と設定されている場合のみ、本設定が有効となります。

設定項目名	機能名	設定内容	初期設定	内　容
RS232C 設定 (注1)	ボーレート	150		ボーレートを設定します。
		300		
		600		
		1200		
		2400		
		4800		
		9600	○	
		19200		
	データフォーマット	7/E/2		データ長/パリティ/ストップビットを設定します。
		7/O/2		
		7/E/1		
		7/O/1		
		8/N/2		
		8/N/1	○	
		8/E/1		
		8/O/1		
		○/○/○ 1:ストップビット　1bit 2:ストップビット　2bit N:パリティなし、O:奇数パリティ E:偶数パリティ 7:データ長 7bit 8:データ長 8bit		
	プロトコル	XON/XOFF	○	プロトコルの設定をします。
		DTR		
	CD 信号	有効		CD 信号を有効とするか無効とするかを設定します。
		無効	○	
	CTS 信号	有効		CTS 信号を有効とするか無効とするかを設定します。
		無効	○	
	DSR 信号	有効		DSR 信号を有効とするか無効とするかを設定します。
		無効	○	
	受信バッファサイズ	2K		受信バッファのサイズをKB(ｷﾛﾊﾞｲﾄ)単位で設定します。
		8K		
		16K	○	

注1) 本ページの「RS232C 設定」は RS232C ﾎﾞｰﾄﾞが搭載されている場合にのみ表示され設定可能となります。

行間ズレを直す

縦罫線などを正逆両方向で印字したときに生じる行間の横方向の印字位置の不揃いを直します。
標準印字圧と高複写モードの 2 つの印字圧についてそれぞれ標準印字モード、高速印字モード、ドラフト印字モードの行間ズレを直すことができます。ドラフト印字モードとは 60dpi の解像度の内蔵フォントを使用して標準の 3 倍の速度で印字するモードです。行間ズレは、次の手順で直します。行間ズレを直すときは、必ず用紙をセットしておいてください。

1　前側より 15 インチ幅以上の連続用紙または A4 タテ以上の単票用紙をセットする

2　用紙カット/用紙吸入/排出スイッチと印字モード/改ページスイッチを押しながら電源を入れる

標準印字圧の標準印字モードで調整用パターンを印字します。
矢印（←と→）は、印字ヘッドの移動方向を示します。

3　調整用パターンの印字が始まったら調整を行う

印字ヘッドの移動方向と同じ方向に印字結果を移動させるとき

微小改行▲スイッチを押します。
押し続けると、印字ヘッドの移動方向が変わるたびに 0.03mm ずつ矢印と同じ方向に印字結果が移動します。

印字ヘッドの移動と逆の方向に印字結果を移動させるとき

微小改行▼スイッチを押します。
押し続けると、印字ヘッドの移動方向が変わるたびに約 0.03mm ずつ矢印と逆の方向に印字結果が移動します。

4 印字モードを切り替えて、高速印字モード、ドラフト印字モードで手順 *3* の調整を行う

印字モードの切り替えかた

調整パターン印字中に**印字モード/改ページ**スイッチを押します。
印字モード/改ページスイッチを押すたびに、以下の順に印字速度が切り替わります。

▶ 高速印字モード→ドラフト印字モード→標準印字モード

5 高複写スイッチを押して高複写モードにする

6 高複写モードの標準印字モード、高速印字モード、ドラフト印字モードそれぞれで手順 *3* の調整を行う

7 調整が終わったらオンラインスイッチを押す

調整した内容がプリンタに記憶され、調整パターンの印字が終了して、オンライン状態になります。

注）　**オンライン**スイッチを押さないと調整した内容がプリンタに登録されず、電源を切ると元の状態に戻ります。
調整は、標準印字モード、高速印字モード、およびドラフト印字モードの順で行ってください。

用紙吸入量を調整する

用紙の自動吸入（オートロード）時の用紙吸入位置を、行方向に微調整します。工場出荷時に用紙の吸入量（印字開始位置）は、初期設定値に調整されていますが、ずれている場合はこの機能で調整してください。連続帳票用紙、単票用紙それぞれの吸入量を調整できます。

用紙の吸入量は、次の手順で調整します。

1　用紙をセットする

2　オフライン状態でオンラインスイッチを押しながら、用紙カット/用紙吸入/排出スイッチを押す

用紙吸入量調整モードになります。

3　本モード中にし、手前排出/改行スイッチを押すと、　が印字され、用紙吸入量を確認できる

4　用紙の吸入位置を調整する

- 前方から吸入された用紙に対して上端余白を大きくしたいときは、**微小改行▲**スイッチを押します。
  後方から吸入された用紙に対しては、上端余白が小さくなります。
- 前方から吸入された用紙に対して上端余白を小さくしたいときは、**微小改行▼**スイッチを押します。
  後方から吸入された用紙に対しては、上端余白が大きくなります。

1 回押すたびに、約 0.14㎜ 補正されます。

- 用紙位置の補正は、単票(フロントカットシートフィーダも含む)、リアカットシートフィーダ、前トラクタ、および後トラクタを各々独立して行うことができます。
- **給紙口**スイッチで用紙パスを選択し、補正を行います。

5　調整が終わったらオンラインスイッチを押す

調整した内容がプリンタに記憶され、オフライン状態になります。

注）**オンライン**スイッチを押さないと、調整した内容がプリンタに登録されず、電源を切ると元の状態に戻ります。

ガイド

微小改行スイッチを押して調整した用紙の吸入位置は、常に積算されます。

連続帳票用紙をカット位置に送る

あらかじめセットした連続帳票用紙のミシン目がカットしやすい位置（カット位置）にくるように、用紙を送る機能です。

■ カット位置に送る

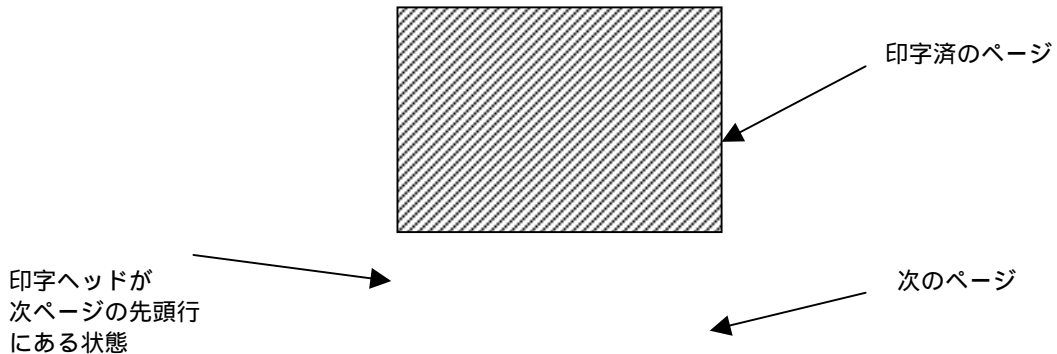
次の手順で、連続帳票用紙をカット位置に送ります。

1 オンライン状態で[用紙カット/用紙吸入/排出]スイッチを押す

ミシン目が用紙カット位置まで送られます。
ESC/P モード時、機能設定で「オートティアオフ」を「有効」に設定している場合は（「機能設定を変える」38 ページ参照）、印刷が終わる（または印刷データを印刷し終わる）毎に自動的に用紙カット位置まで用紙が送られます。

〈連続帳票用紙を前方からセットした場合〉

〈連続帳票用紙を後方からセットした場合〉

印字ヘッドの位置が次のページの先頭行にあるときには、ミシン目がカット位置まで送られます。

注）　ページ長設定が正しくないとき、および微小改行▲ 微小改行▼スイッチで用紙を移動させた場合はカット位置が合わなくなります。

2　用紙を切り取る

3　もう一度、用紙カット/用紙吸入/排出を押す

用紙が印字開始位置に戻ります。

この操作を行わない場合は、次の印字データを受信すると自動的に元の位置に戻ります。

◆ カット位置の補正方法

カット位置に用紙を送り出したときに、プリンタの用紙カッタ位置と用紙のミシン目がずれている場合は次の手順で位置を補正できます。前トラクタと後トラクタでの送り出し量をそれぞれ補正できます。約９mmの補正が可能です。

1　オンライン状態で用紙カット/用紙吸入/排出スイッチを押し用紙をカット位置に送る

2　用紙送り出し後もスイッチを押したまま、微小改行▲または微小改行▼スイッチを押しカット位置を合わせる

3　用紙カッタ位置に用紙のミシン目が合ったら用紙カット/用紙吸入/排出スイッチを離す

新たな用紙カットの送り出し量として設定されます。

・正方向（用紙を送り出す方向）に補正するとき

微小改行▲スイッチを押します。

1 回スイッチを押すごとに前トラクタ用紙を正方向に 1/180 インチ補正されます。後トラクタ用紙の場合は逆方向に補正されます。

・逆方向（用紙を戻す方向）に補正するとき

微小改行▼スイッチを押します。

1 回スイッチを押すごとに後トラクタ用紙を正方向に 1/180 インチ補正されます。前トラクタ用紙の場合は逆方向に補正されます。

注)　用紙ｶｯﾄ/用紙吸入/排出ｽｲｯﾁを離した時点で送り出し量が設定されますので、途中でｽｲｯﾁを離した場合は手順 1 から やり直してください。

自動検出機能

このプリンタには、次の 4 つの自動検出機能があります。

◆ 用紙無し検出

印字中に用紙がなくなると、印字動作が停止して「用紙切れ」ランプが点灯し、ブザーが鳴ってオフライン状態になります。
このとき（用紙無し検出時）に強制的に一行分印字させることができます。この機能をオーバーライド機能といいます。

用紙無しを検出して印字動作が停止（オフライン状態）のまま **オンライン** スイッチを押すと、後続のデータがある場合、1 行だけ印字を行います。この操作は何度も繰り返しできますが、プラテン面に用紙があることを確認しながら印字させてください。

◆ 印字ヘッド昇温検出

印字ヘッドの加熱状態を検出すると、1 行を 3 回に分けて印字して印字ヘッドの劣化を防止します。

◆ ヘビーデューティ検出

高密度の印字（50%以上）を行うと、1 行を 3 回に分けて印字します。

◆ 異常電流検出

プリンタ内で異常電流が流れたときは、プリンタ保護のために、自動的に電流を切断します。この状態で電源スイッチを“ ON"にしても、約 5 分間は電源が投入できません。数分後、電源を再投入してください。
この状態で電源が投入できないときは、プリンタの故障ですので、電源プラグをコンセントから抜いてください。

第3章

用紙のセット

この章では、用紙のセットのしかた、用紙厚の調整のしかた、および印字開始位置について説明します。

用紙をセットする

このプリンタでは、連続帳票用紙および単票用紙が使用できます。

ガイド

トラクタユニットは、着脱式でプリンタの前後に取り付け可能です。
オプションのトラクタユニットをプリンタ後面にセットすることにより、前後同時搭載が可能となります。

■ 連続帳票用紙をセットする（前トラクタ給紙の場合）

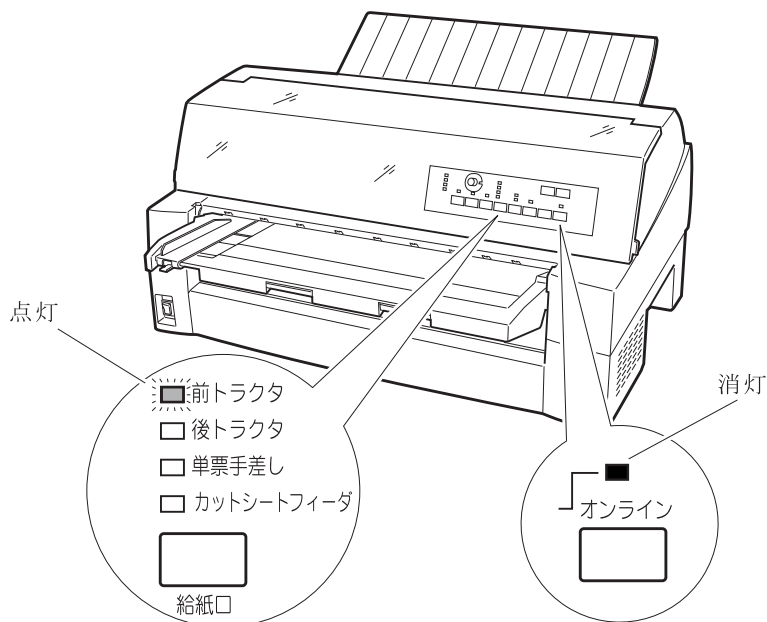
連続帳票用紙のセットは、次の手順で行います。

1 プリンタの電源を入れる

電源スイッチが「｜」側に倒れていることを確認します。

2 オフライン状態にする

オンラインスイッチを押して、プリンタをオフライン状態（「オンライン」ランプ消灯）にします。

3 給紙口スイッチを押して、「前トラクタ」状態にする

4　単票テーブルを開く

単票テーブルを開くと、単票検知センサーに外乱光が入り誤動作することがあります。電源が入った状態で単票テーブルを開くときには給紙口を「前トラクタ」に変更してから以下の操作を行ってください。

単票テーブルの先端を少し持ち上げ（①）、手前に引いた後（②）、回転させて開きます（③）。

5　用紙送りトラクタのロックを外し、用紙押さえを開く

左右の用紙トラクタにあるロックレバーを､矢印方向に動かして(①)､トラクタが左右に移動できるようにします。次に用紙押さえを開き（②）、用紙をセットできる状態にします。

6　用紙送りトラクタに用紙をはさむ

用紙送りトラクタのピンに用紙送り穴を通し､用紙押さえを閉じます。

お願い

- 用紙送りトラクタの用紙押さえを開いたまま単票テーブルを倒さないでください。用紙送りトラクタおよび単票テーブルの破損の原因となります。
- 用紙づまりを防ぐために、次の点に注意してください。
- 用紙を用紙送りトラクタにセットするとき、用紙を張りすぎないように用紙送りトラクタの幅を調整してください。（用紙送りトラクタのピンと用紙の用紙送り穴の中心が一致するようにします。）
- 用紙がたるんでいると、用紙づまりの原因となりますので注意してください。

7 左側の用紙送りトラクタを用紙基準位置（桁スケール）に合わせ、右側の用紙送りトラクタを用紙が軽く張るくらい右へ動かし、ロックレバーを矢印方向に倒して固定する

用紙の左端を「0」の位置に合わせると、左端余白が最小 11.43㎜（用紙左端からの余白)となり、第１ドットが「▼」の位置となります。

8 単票テーブルを倒す

お願い

単票テーブルを上方向に開いたまま連帳用紙を吸入させると、用紙づまりを起こす場合があります。必ず、単票テーブルを倒してから用紙を吸入させてください。

単票テーブルは下図のように回転させた（①）のち、奥に押し込んで（②）閉じます（③）。

9 印字開始位置に用紙をセットする

用紙カット/用紙吸入/排出スイッチを押します。
用紙が印字開始位置まで送られます。

印字開始位置の微調整については、91 ページを参照してください。

お願い

- 用紙吸入時に用紙づまりが発生した場合、吸入動作失敗としてブザーが鳴ります。
  用紙づまりが発生した場合は、124 ページの「用紙づまりのとき」を参照してつまった用紙を取り除き再度用紙をセットし直してください。
- 単票テーブルに用紙が残ったまま連帳用紙を吸入させると、単票テーブルの用紙も同時に吸入してしまう場合があります。連帳使用時には、単票テーブルの上に用紙をセットしないでください。

10 オンライン状態を確認し、パソコンから印刷データを送る

用紙が吸入されると自動でオンライン状態（「オンライン」ランプ点灯）になります（出荷時の設定）。
「その他の設定」**(51 ページ参照)**で「連帳自動オンライン」を「無効」に変更している場合は**オンライン**スイッチを押して、プリンタをオンライン状態にしてパソコンからの印刷データを送ります。

注）　用紙を排出するには、次の方法があります。
印字ヘッドがページの先頭印字位置にあるときは、オンライン状態にして**用紙カット/用紙吸入/排出**スイッチを押すと、用紙がカット位置まで送られます。
オフライン状態にして**印字モード/改ページ**スイッチを押します。
１回押すたびに１ページ分の用紙が送られます。

ガイド

用紙をカット位置にした状態では、パソコンから印字データが送られてくると用紙を自動的に印字位置（元の位置）に引き込んで印字を行います。

◆ 前連続帳票用紙の置きかた

連続帳票用紙は、下図（〇印）のように置いてください。用紙が机の角などに当たって妨げられると、正しく用紙が送られないので注意してください。

	〇	×
プリンタ側面		
プリンタ正面	プリンタの用紙出口と、用紙の置く位置のズレをなくしてください。	用紙を置く位置が下図のようにずれていると正しく用紙が送られない場合がありますので、注意してください。

お願い

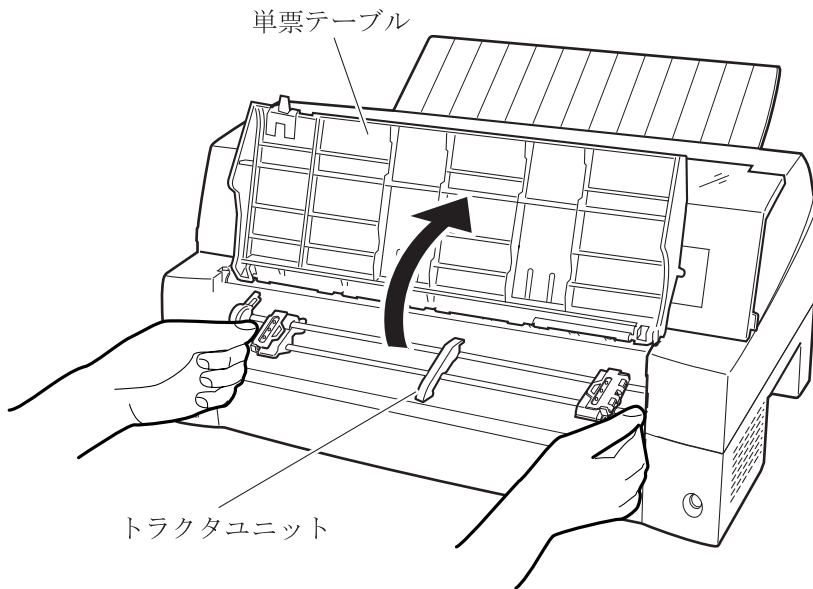
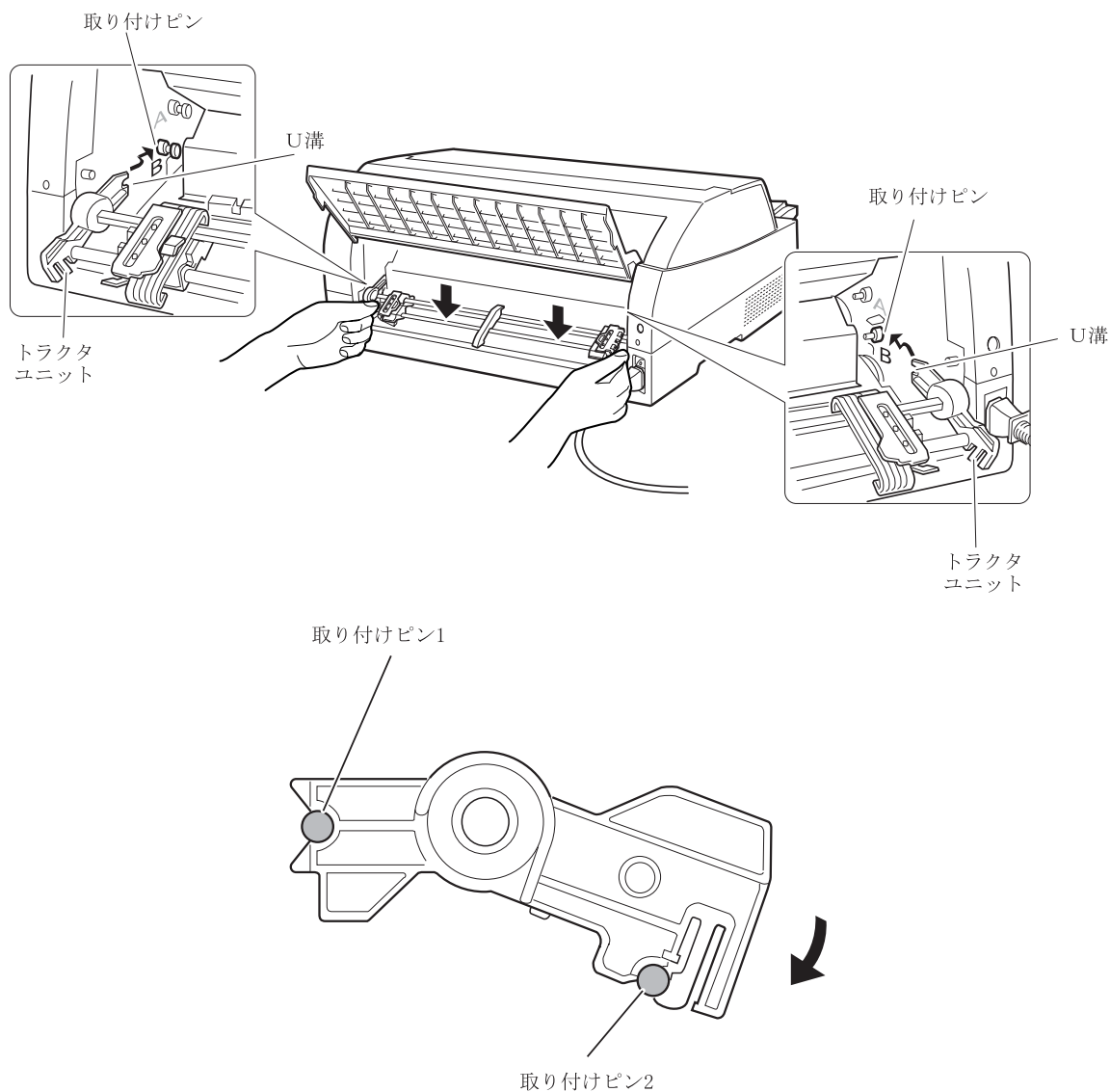
連帳用紙は、連続して逆送りをさせると用紙送りトラクタから外れることがありますので注意してください。

■　連続帳票用紙をセットする（後トラクタ給紙の場合）

連続帳票用紙のセットは、次の手順で行います。

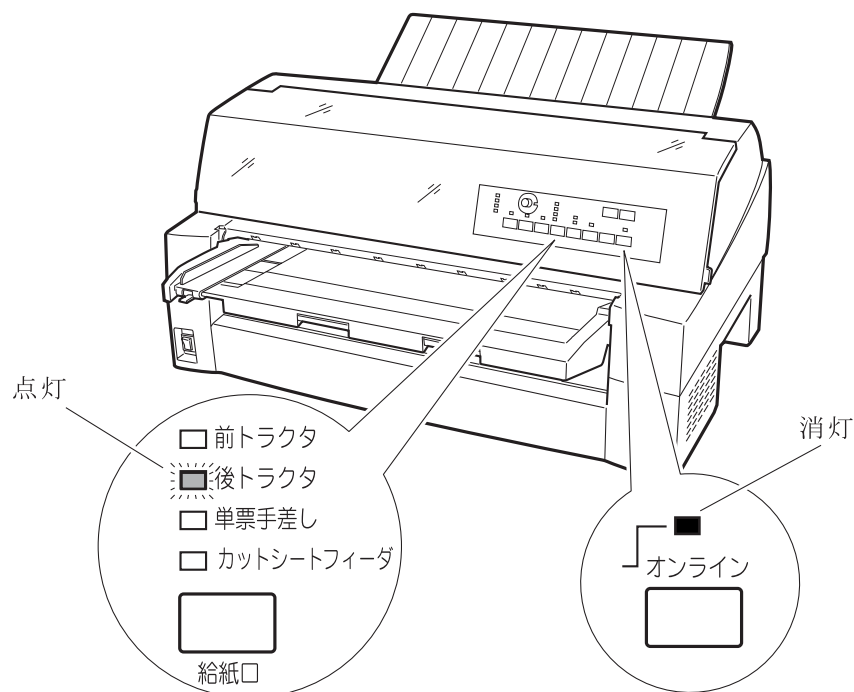
1　トラクタユニットをプリンタの後面にセットする

前トラクタユニットを後トラクタとして使用する場合は、単票テーブルを開いて、トラクタユニットを取り外します。（24 ページ参照）

オプションのトラクタユニットを後トラクタとして使用する場合は、前トラクタを外す必要はありません。

取り付けはトラクタユニットの左右のＵ溝を､プリンタ取り付けピンに合わせます。（トラクタユニットの刻印 B とプリンタ側の刻印 B を合わせます。）トラクタユニット手前側のシャフトをカチッと音がするまで押し下げてロックします。

2　プリンタの電源を入れる

電源スイッチが「｜」側に倒れていることを確認します。

3　オフライン状態にする

オンラインスイッチを押して、プリンタをオフライン状態（「オンライン」ランプ消灯）にします。

4　**給紙口スイッチを押して、「後トラクタ」状態にする**

5　用紙送りトラクタのロックを外し、用紙押さえを開きます

左右の用紙トラクタにあるロックレバーを、矢印方向に動かして（①）トラクタ左右のロックを外し、用紙押さえを開きます（②）。

6　用紙送りトラクタに用紙をはさむ

左右の用紙送りトラクタの用紙押さえを開きます。用紙送りトラクタのピンに用紙送り穴を通し、用紙押さえを閉じます。

7　左側の用紙送りトラクタを用紙基準位置（桁スケール）に合わせ、右側の用紙送りトラクタを用紙が軽く張るくらい右へ動かし、ロックレバーを矢印の方向に倒して固定する

用紙の左端を「0」の位置に合わせると、左端余白が最小11.43㎜(用紙左端からの余白)となり、第1ドットが「▼」の位置となります。

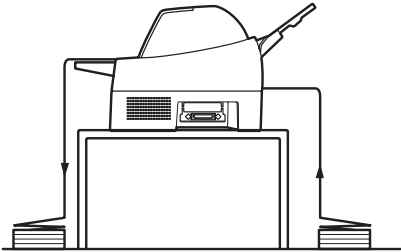
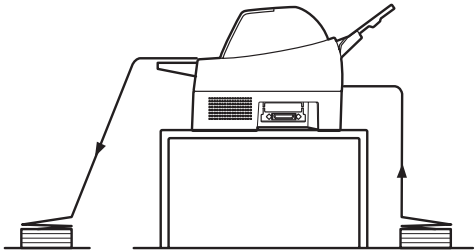
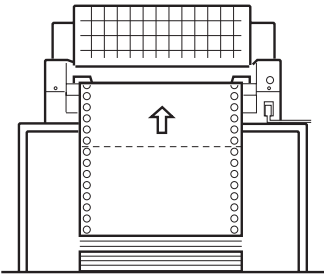
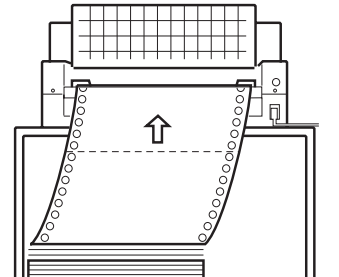
お願い

用紙づまりを防ぐために、次の点に注意してください。
・用紙を用紙送りトラクタにセットするとき、用紙を張りすぎないように用紙トラクタの幅を調整してください。（用紙送りトラクタのピンと用紙の用紙送り穴の中心が一致するようにします。
・用紙がたるんでいると、用紙づまりの原因となりますので注意してください。

8　印字開始位置に用紙をセットする

用紙カット/用紙吸入/排出スイッチを押します。
用紙が印字開始位置まで送られます。
印字開始位置の微調整については、91 ページを参照してください。

9　オンライン状態を確認し、パソコンから印刷データを送る

用紙が吸入されると自動でオンライン状態（「オンライン」ランプ点灯）になります（出荷時の設定）。
「その他の設定」**(51** ページ参照**)**で「連帳自動オンライン」を「無効」に変更している場合は**オンライン**スイッチを押して、プリンタをオンライン状態にしてパソコンからの印刷データを送ります。

注）　用紙を排出するには、次の方法があります。
印字ヘッドがページの先頭印字位置にあるときは、オンライン状態にして**用紙カット/用紙吸入/排出**スイッチを押すと、用紙がカット位置まで送られます。（詳細については、58 ページの「カット位置に送る」を参照してください。）
オフライン状態にして**印字モード/改ページ**スイッチを押します。1 回押すたびに 1 ページ分の用紙が送られます。

◆ 後連続帳票用紙の置きかた

連続帳票用紙は、下図（○印）のように置いてください。用紙が机の角などに当たって妨げられると、正しく用紙が送られないので注意してください。

	○	×
プリンタ側面		
プリンタ正面	プリンタの用紙出口と、用紙の置く位置のズレをなくしてください。	用紙を置く位置が下図のようにずれていると正しく用紙が送られない場合がありますので、注意してください。

お願い

連帳用紙は、連続して逆送りをさせると用紙送りトラクタから外れることがありますので注意してください。

■　単票用紙をセットする（単票セットフリーオン時）

単票セットフリー機能を使用すると、単票テーブルの中央に用紙を差し込むと自動的に吸入されます。なお、単票用紙は一枚ずつ差し込んでください。使用できる用紙サイズは、はがき～B4 です（詳細は「第４章　用紙について」を参照）。単票セットフリーオンで使用できない用紙は単票セットフリーオフにして使用してください。（80 ページ参照）

1　プリンタの電源を入れる

スイッチが「｜」側に倒れていることを確認します。

2　オフライン状態にする

オンラインスイッチを押して、プリンタをオフライン状態（「オンライン」ランプ消灯）にします。

3　「単票セットフリー」ランプが点灯していることを確認する

消灯している場合は**単票セットフリー**スイッチを１回押してください。

4　給紙口スイッチを押して「単票手差し」状態にする

このとき連帳用紙が吸入されたままの場合は、連帳用紙の退避動作を行ってから、単票用紙に切り替わります。

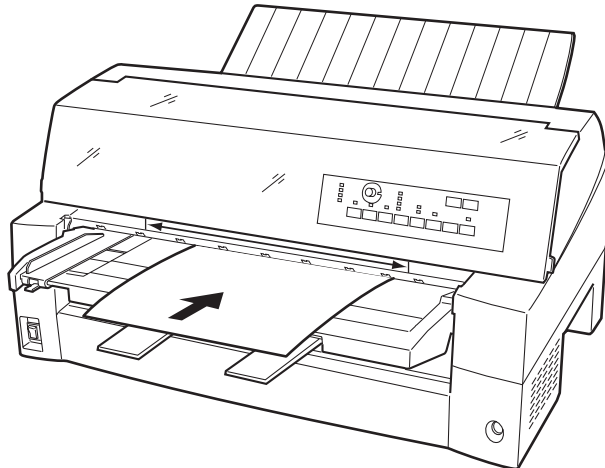
お願い

連帳用紙の退避動作が終了する前に単票テーブルに用紙をセットすると、「単票手差し」状態に切り替わらない場合があります。連帳用紙の退避動作が終了し、「単票手差し」状態に切り替わった後に単票をセットするようにしてください。

5　用紙ガイドを単票テーブル左端に突き当たるまで左側に寄せる

6　用紙サイズに応じてサブガイドを引き出す

7　用紙をセットする

印字する面を上にし、『単票セットフリー』の用紙セット範囲に単票用紙を一枚ずつ差し込むと、自動的に吸入されます。

注 1)　サブガイドを引き出して使用する場合は、上図の様に２つのサブガイドの上に用紙を乗せ、サブガイドの長い辺から用紙がはみ出さないようにセットしてください。サブガイドからはみ出した状態で用紙をセットすると、用紙の端がサブガイドに引っかかり、正しく吸入されない場合があります。

注 2)　「装置機能設定」(43 ページ) で「ｵｰﾄﾛｰﾃﾞｨﾝｸﾞ」を「無効」に設定している場合は、自動的に吸入されませんので、オフラインにしてから、**用紙カット/用紙吸入/排出**スイッチで用紙を吸入してください。

印字開始位置は、「余白量設定」の「単票左端余白量」(45 ページ) の左端余白量に従います。工場出荷時は、用紙左端より 5.08mm の位置になります。

注 3)　印字開始位置を帳票に合わせて細かく設定したい場合は、単票ｾｯﾄﾌﾘｰをオフにして用紙ガイドで調整してください。

8　オンライン状態を確認し、パソコンから印刷データを送る

用紙が吸入されると自動でオンライン状態（「オンライン」ランプ点灯）になります（出荷時の設定）。
「その他の設定」(51 ページ参照)で「単票自動オンライン」を「無効」に変更している場合は**オンライン**スイッチを押して、プリンタをオンライン状態にしてパソコンからの印刷データを送ります。

注)　「その他の設定」(51 ページ参照)で「単票自動ｵﾝﾗｲﾝ」を「有効」に設定されている場合は、自動的にｵﾝﾗｲﾝ状態になり、印字を開始します。

◆ 用紙左端位置に関する注意

プリンタのラベル　　　部（「単票セットフリー」の用紙セット範囲）に対して、用紙の左端を下記の×で示す位置にセットした場合、用紙は吸入後排出されます。〇で示す位置にセットしてください。

注)　ﾌﾟﾘﾝﾀのﾗﾍﾞﾙ　　　部 (「単票ｾｯﾄﾌﾘｰ」の用紙ｾｯﾄ範囲) 近傍に用紙をｾｯﾄする場合、用紙ｶﾞｲﾄﾞと単票テーブルの隙間に用紙の先端がもぐり込む場合がありますので注意願います。

◆ 用紙右端位置に関する注意

プリンタのラベル　　　部(「単票セットフリー」の用紙セット範囲)に対して、用紙の右端を下記の×で示す位置にセットすると、印字データがカットされることがあるので、○の位置にセットしてください。

◆ 用紙に関するご注意

・用紙の先端や先端のコーナー部に折れや曲がりがあると、うまく吸入できないことがあります。折れや曲がりのない用紙を使用してください。

・単票セットフリーで使用できる用紙は下記のサイズです。
用紙幅　　100～364㎜（はがき～B4 サイズ）
用紙長さ　70～364㎜（はがき～B4 サイズ）
詳細は「第 4 章　用紙について」を参照してください。

・束のりとじの単票は、とじ部分が分離しやすくジャムが発生するので、使用を避けてください。

束とじ：単票の厚み部分だけでのりとじを行っているものです。

・単票セットフリーで、宅配便伝票などの連続帳票用紙を１枚ごと手切りでご使用になる場合は、用紙先端のカールなどにより、うまく吸入できないことがあります。
用紙のカールなどを取り除いてからご使用ください。

■　単票用紙をセットする（単票セットフリーオフ時）

単票用紙は一枚ずつセットしてください。また、連続帳票用紙をセットしたままでもセットできます。
単票用紙のセットは、次の手順で行います。

1　プリンタの電源を入れる

スイッチが「｜」側に倒れていることを確認します。

2　オフライン状態にする

オンラインスイッチを押して、プリンタをオフライン状態（「オンライン」ランプ消灯）にします。

3　単票セットフリースイッチを押して「単票セットフリー」ランプを消灯させる

4　給紙口スイッチを押して「単票手差し」状態にする

「単票手差し」状態にします。
このとき連帳用紙が吸入されたままの場合は、連帳用紙の退避動作を行ってから、単票用紙に切り替わります。

お願い

連帳用紙の退避動作が終了する前に単票テーブルに用紙をセットすると、「単票手差し」状態に切り替わらない場合があります。
連帳用紙の退避動作が終了し、「単票手差し」状態に切り替わった後に単票をセットするようにしてください。

5　印字開始位置に合わせて用紙ガイドを移動する

用紙ガイドの左端を単票テーブルの目盛り０（㎜）の位置にして、ロックレバーを下側に倒してロックします（第１ドット目が用紙の左端より5.08㎜の位置に印字します）。

6　単票用紙をセットする

印字する面を上にし、単票用紙の左端を必ず用紙ガイドに当てて、一枚ずつ差し込みます。
用紙が奥に軽く突き当たるまで、まっすぐに差し込んでください。
用紙が自動的に印字開始位置まで送られます。

注1)　「装置機能設定」(43ページ)で「ｵｰﾄﾛｰﾃﾞｨﾝｸﾞ」を「無効」に設定している場合は、**用紙カット/用紙吸入/排出**スイッチを押して用紙をセットしてください。

注2)　幅のせまい媒体(100mm 未満の媒体)をセットする場合は、用紙ガイドを目盛り0(mm)の位置に合わせます。

注3)　用紙ガイドは目盛り0(mm)の位置より右側にはしないでください。

7　オンライン状態を確認し、パソコンから印刷データを送る

用紙が吸入されると自動でオンライン状態（「オンライン」ランプ点灯）になります（出荷時の設定）。
「その他の設定」(51 ページ参照)で「単票自動オンライン」を「無効」に変更している場合は**オンライン**スイッチを押して、プリンタをオンライン状態にしてパソコンからの印刷データを送ります。

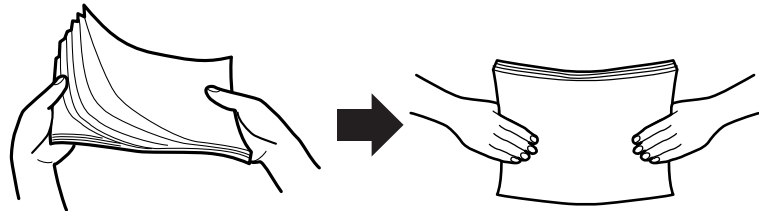
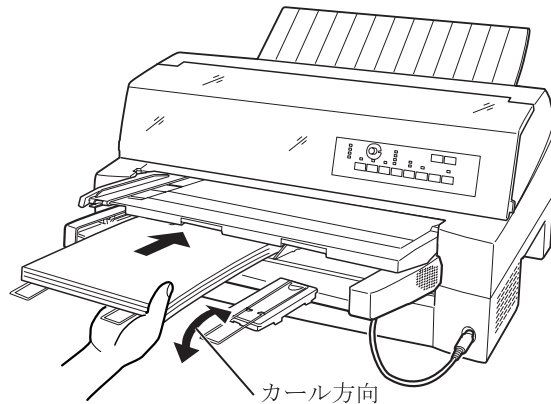
送られた用紙がまっすぐセットされなかった場合は、オフライン状態にして**用紙カット/用紙吸入/排出**スイッチを押し、一旦単票用紙を排出してから再度セットしてください。

注)　「その他の設定」(51 ページ参照)で「単票自動オンライン」を「有効」に設定されている場合は、自動的にオンライン状態になり、印字を開始します。

■ 単票用紙をセットする（カットシートフィーダを取り付けた場合）

カットシートフィーダをプリンタに取り付け場合に用紙をセットする方法について説明します。
カットシートフィーダの取り付けについては、「カットシートフィーダを取り付ける」(155 ページ)を参照してください。

ガイド

・セットするときは、図のように用紙をさばき、机の上などで用紙の上下、左右をきちんと揃えてください。

・用紙はカールを取り除いた上でセットしてください。用紙は、湿度などの影響でカールしていることがあります。カールした用紙を補充する場合や別梱包の用紙を合わせてセットする場合、カールを取り除いた上、カール方向を合わせてセットしてください。(背中合わせでセットすると複数枚数が同時に吸入される場合があります。)また、少しカールのある場合は、カール方向を下図のようにセットしてください。

ガイド

・紙質は同一種類のものをセットしてください。
銘柄や連量(紙厚)などが異なるものを一緒にしてセットしないでください。

1　プリンタの電源を入れる

電源スイッチが「|」側に倒れていることを確認します。

2　オフライン状態にする

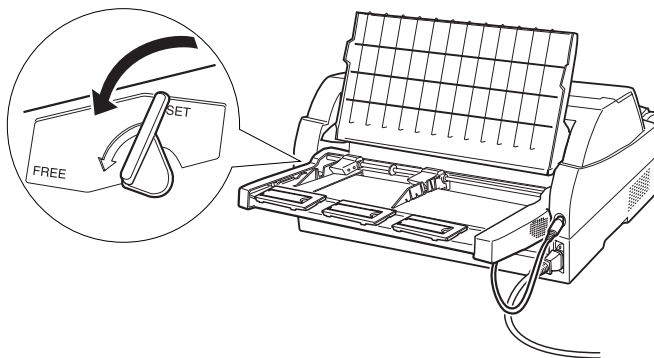
オンラインスイッチを押して、プリンタをオフライン状態(「オンライン」ランプ消灯)にします。

3　給紙口スイッチを押して「カットシートフィーダ」ランプを点灯させる

4　カットシートフィーダがプリンタ前部に取り付けられている場合は単票テーブルを、プリンタ後部に取り付けられている場合はリアスタッカを開く

5　カットシートフィーダのセットレバーを「FREE」の位置にする

【カットシートフィーダがプリンタ前部に取り付けられている場合】

【カットシートフィーダがプリンタ後部に取り付けられている場合】

6　用紙ガイドに沿って用紙を載せる

用紙を揃え、左側の用紙ガイドに沿って用紙を載せます。右側の用紙ガイドの赤線が、一度にセットできる用紙の高さを示します。

お願い

左側の用紙ガイドは通常の場合、「▽」の位置(最も内側)に寄せてご使用ください。

A3 用紙を横にセットするときは、「←」の位置に用紙ガイドを移動してください。

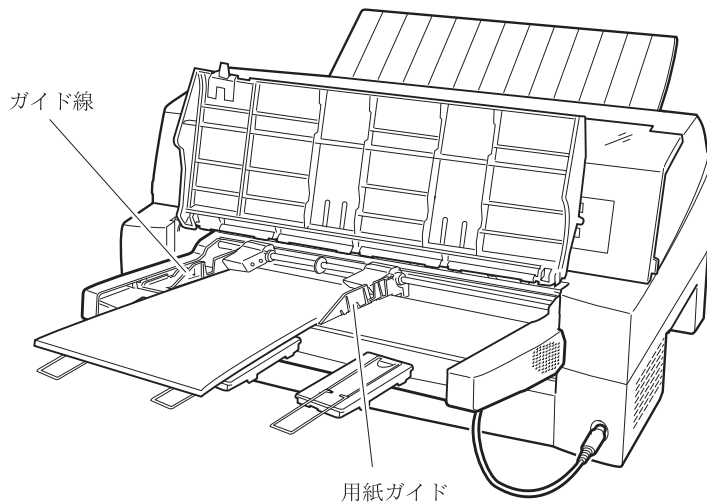
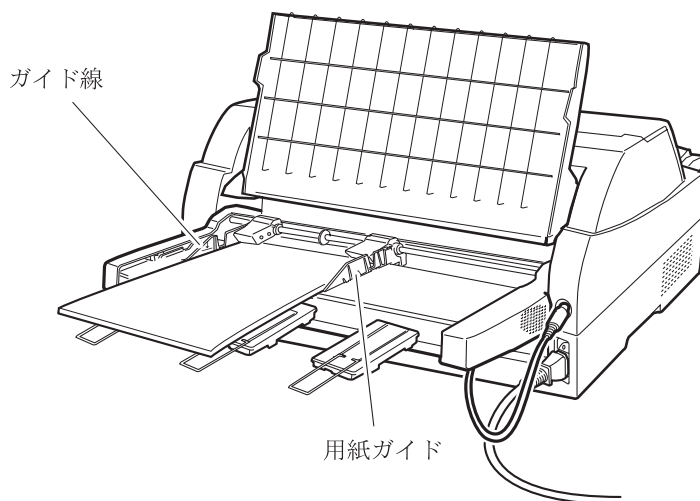
ガイド

55kg 紙の場合、総枚数が 120 枚となります。

7　長い用紙をセットする場合は、エクステンション、エクステンションワイヤを展開する

(「カットシートフィーダを取り付ける」155 ページ参照)

8　右側用紙ガイドの位置を、セットする用紙に合わせる

【カットシートフィーダがプリンタ前部に取り付けられている場合】

【カットシートフィーダがプリンタ後部に取り付けられている場合】

ガイド

用紙と用紙ガイドとの間に隙間がある場合は、右側用紙ガイドを左へ動かして隙間をなくしてください。なお、ガイドを用紙に押しつけ過ぎますと、吸入不良を起こすことがありますのでご注意ください。

9 カットシートフィーダのセットレバーを「SET」の位置に戻し、単票テーブル、リアスタッカを元に戻す

10 オンライン状態にする

オンラインスイッチを押して、プリンタをオンライン状態(「オンライン」ランプ点灯)にし、パソコンからの印字データを送ります。

お願い

リアスタッカへ印字後の用紙をスタックしすぎると用紙づまりなどが発生します。スタック可能枚数は 120 枚（上紙 55kg 用紙でカットシートフィーダにセット可能な枚数）を目安に適度に取り除いてください。

用紙厚を調整する

用紙厚の調整とは、印字ヘッドとプラテンの間隔を使用する用紙の厚みに合わせることです。

本プリンタは、使用する用紙の厚さ、枚数に応じて自動的に印字ヘッドの位置を上下に調整する自動紙厚調整機能を装備しており、通常は紙厚調整の必要はありません。

宅配便伝票などの段差のある用紙に印字するときに、自動紙厚調整ではうまく印字できない場合に、以下の手順で手動紙厚調整を設定してください。

1) ドライバのプロパティで用紙厚を指定する。このとき、操作パネルの自動紙厚調整はオンのままにしておいてください。

2) 操作パネルの自動紙厚調整を手動にし、ダイヤル設定を行ってください。この場合、紙厚に関するドライバの全ての設定を無視し、ダイヤル設定に従います。ダイヤル設定は印字が開始するときに作動します。

用紙厚を調整するときは、89 ページの表を参考にしてください。
操作パネルの手動紙厚調整ダイヤルが“１”の位置にあるとき、印字ヘッドとプラテンの間隔は最も狭くなり、“ R"の位置のとき最も広くなります。

用紙厚さ調整を、手動紙厚調整に変更する方法について説明します。

下記の 3 つの変更方法があります。

■ オフラインセットアップモードにて機能設定を変える方法

1　オフラインセットアップモードにより、「装置機能設定」の「用紙厚さ調整」の項目を「手動」に設定する。

(詳細は 43 ページ参照願います)。

2　使用する用紙に応じて、手動紙厚調整ダイヤルを設定する。

■ 操作パネルにより変える方法(その 1)

1　プリンタをオフライン状態にする。

2　自動紙厚調整スイッチを 2 秒間押して「自動紙厚調整」ランプを消灯する。

3　使用する用紙に応じて、手動紙厚調整ダイヤルを設定する。

注）　オフラインセットアップで「用紙厚さ調整」を「自動」に設定してある場合、この方法で手動紙厚調整にしても電源を入れ直した場合の初期状態は「自動紙厚調整」ランプが点灯し「自動」になります。(一時的に、手動紙厚調整をご使用される場合には有効な方法です)

■ 操作パネルにより変える方法(その 2)

1　プリンタの電源を切る。

プリンタの電源が「○」側に倒れていることを確認します。

2　操作パネルの自動紙厚調整スイッチと微小改行▼スイッチを押しながら電源を入れる。

3　使用する用紙に応じて、手動紙厚調整ダイヤルを設定する。

注）　この方法はオフラインセットアップで「用紙厚さ調整」を設定する方法と同じく設定されます。逆に「手動」から「自動」に変更する場合は自動紙厚調整スイッチと微小改行▲スイッチを押しながら電源を入れますと「自動」に設定されます。

用紙の種類と厚さ			手動紙厚調整ダイヤルの位置													
1 枚紙	複写紙	推奨厚さ (㎜)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	R
連量 40～70kg	一般的な 1P(連量 34kg)	0.08	○													
連量 70～110kg	一般的な 2P	0.13		○												
連量 110～135kg	一般的な 3P	0.18			○											
ハガキ各種封筒特殊紙など	一般的な 4P	0.23				○										
	一般的な 5P	0.28					○									
	一般的な 6P	0.33						○								
	一般的な 7P	0.38							○							
	一般的な 8P	0.43								○						
	各種宅配伝票（ゆうパックなど）	0.48									○					
		0.53										○				
		0.58											○			
		0.63												○		
		0.68													○	
リボン交換時（注）																○

注）　ﾘボン交換の作業が完了したら適正な値にｾｯﾄしてください。

お願い

手動でお使いになる場合は、用紙の厚さに対して下記の目安に沿って手動紙厚調整ダイヤルをセットしてください。
手動紙厚調整ダイヤル位置は数字 1～9、英字 A～D、R の 14 段階あり、ダイヤルの回転によって 1 番の位置から 1 目盛増す毎に約 0.05㎜ 単位で用紙と印字ヘッドの間隔が広くなります。おおよその目安として 1～2 番の設定で 1 枚、1 目盛増すごとに用紙 1 枚分間隔が広くなります。
使用する用紙の複写枚数、厚さに応じて適切な印字品質となるように手動紙厚調整ダイヤルを設定してください。
使用する用紙に対して、手動紙厚調整ダイヤルのセットが適切でないときは、次のような現象が起こることがあります。

用紙厚に対して手動紙厚調整ダイヤルのセットが広すぎるとき
印字抜けが生じることがあります。

用紙厚に対して手動紙厚調整ダイヤルのセットが狭すぎるとき
- 印字中にリボンがはずれたり、たるんだりして印字ヘッドの故障の原因になることがあります。
- 用紙の端面が切れたり、しわになったりすることがあります。
- リボンによって用紙が汚れることがあります。
- 用紙の送りが悪くなることがあります。
- キャリッジが正常に動かなくなることがあります。

◆ 紙厚調整の動作タイミングについて

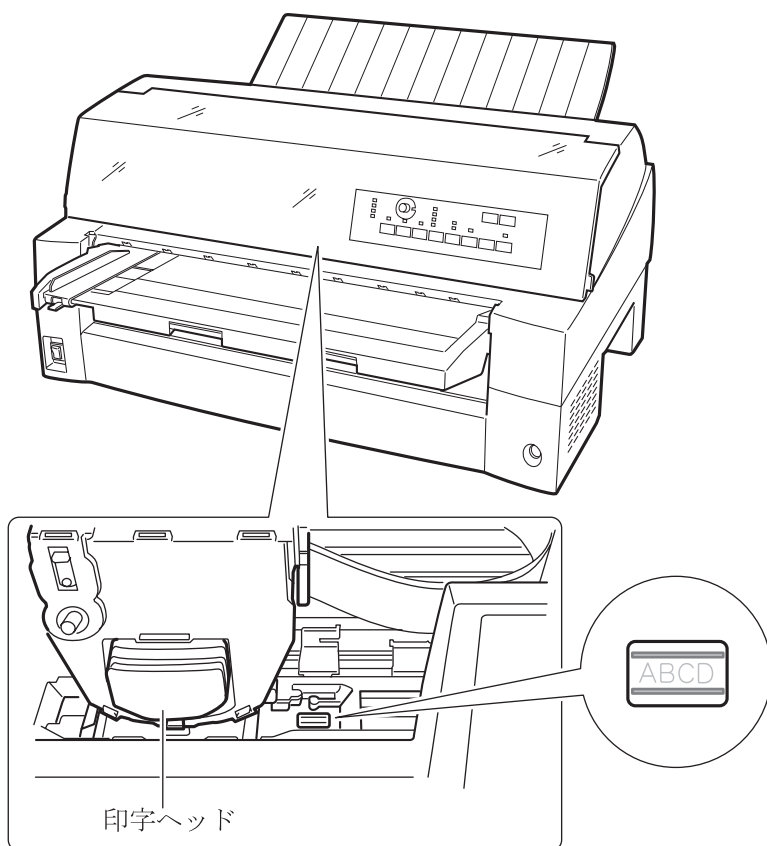
・自動紙厚調整モードのとき
印字動作を開始するときに、自動的に用紙厚が調整されます。

・手動紙厚調整モードのとき
ダイヤル操作後、次の印字動作を開始するときに、設定した用紙厚に調整されます。また、印字中にダイヤルを回すと、次の改行時に変更した用紙厚に調整されます。

印字開始位置について

必要に応じてセットした用紙の行方向の印字開始位置を変えます。

注）　用紙セット直後は Windows ドライバの上端余白に対応するため、上端余白が最小値となる位置に仮吸入されます。最初に**微小改行▲**スイッチ、**微小改行▼**スイッチ、または**改行**スイッチを押したとき、機能設定で設定した上端余白量に移動した後、スイッチ操作分用紙を移動します。

印字開始位置を調整するとき、カードガイドの右側窓のラインが文字の上下端を示しているので、これを目安にして用紙を合わせます。

■　印字開始位置（行方向）を微調整する

操作パネルの操作で行方向の印字位置を微調整できます。トップカバーを開いている場合でも**微小改行▲**スイッチ、**微小改行▼**スイッチのみ操作可能です。

◆　正方向（用紙を送り出す方向）に微調整するとき

微小改行▲スイッチを押します。
単票用紙、フロントカットシートフィーダの用紙、および前トラクタの用紙は、正方向に 1/180 インチ改行します。
押し続けると連続して正改行します。
リアカットシートフィーダの用紙および後トラクタの用紙に対しては、逆改行となります。

◆　逆方向（用紙を戻す方向）に微調整するとき

微小改行▼スイッチを押します。
単票用紙、フロントカットシートフィーダの用紙、および前トラクタの用紙は、逆方向に 1/180 インチ改行します。
押し続けると連続して逆改行します。
リアカットシートフィーダの用紙および後トラクタの用紙に対しては、正改行となります。

ガイド

連続帳票用紙の印字開始位置を**微小改行▲**スイッチまたは**微小改行▼**スイッチを押して変更した場合は、変更した分が次ページでも加減されます。また、1 インチカット（ミシン目カット）機能についても用紙の繰り出し量は加減した値になります。

第4章

用紙について

この章では、使用できる用紙と取り扱い上の注意点について説明します。

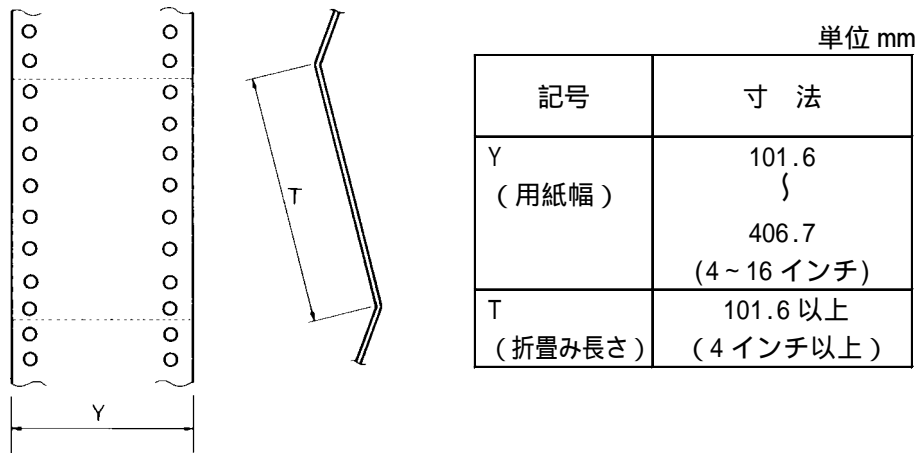
連続帳票用紙

このプリンタで使用できる連続帳票用紙は、次のとおりです。

◆ 用紙の寸法

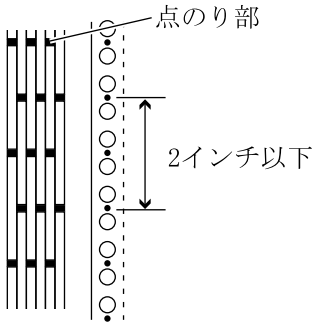
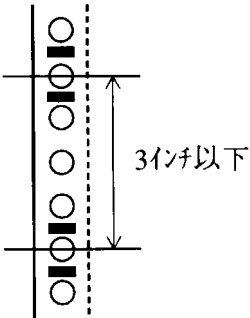
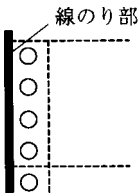
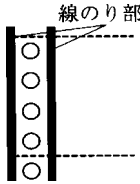
連続帳票用紙の寸法を下図に示します。

単位 mm

記号	寸　法
Y（用紙幅）	101.6 ～ 406.7（4～16 インチ）
T（折畳み長さ）	101.6 以上（4 インチ以上）

◆ 用紙の構成枚数

オリジナルを含む用紙の構成枚数と用紙の厚さ（連量）の組合わせは、下表のとおりです。下表以外の用紙の組み合わせでは、用紙送り精度の乱れなどがより発生しやすくなります。

用紙の構成枚数

用紙種類	枚数	連量（kg）	備考
一枚用紙	1P	45,55,70	
ノンカーボン紙	2P 3P 4P 5P 6P 7P 8P	34,43,55,(70) 34,43,(55,70) 34,(43,55,70) 34,(43,55) 34,(43,55) 34,(43,55) 34,(43,55)	（　）内の連量の用紙は、複数つづりの一番下の用紙のみ使用可能です。

用紙種類	枚数	連量（kg）	備考
裏 カーボン紙	2P	34,45,55,(70)	
	3P	34,45,(55,70)	
	4P	34,(45,55,70)	
	5P	34,(45,55)	
	6P	34,(45,55)	
	7P	34,(45,55)	
	8P	34,(45,55)	
中 カーボン紙	2P	30,40,45,(55,70)	
	3P	30,40,(45,55)	
	4P	30,40,(45,55)	

連量 70kg を超える用紙については、はがき用紙を参照してください。
（99 ページ参照）

注 1)　連量とは、四六判(788×1091mm)の用紙 1000 枚の重量を kg で示した値です。

注 2)　ノンカーボン紙および裏カーボン紙の連量は、用紙メーカによって多少異なる場合があります。その場合、表の数値に近いものを選んでください。なお、裏カーボン紙は、多湿環境で使用しないでください。

注 3)　中カーボン紙は、間に挿入されるカーボン紙を用紙 1 枚に相当するものとして数え、複写枚数は 4P までです。(後連帳は 3P までです。)
中カーボン紙に使用するカーボン紙の厚さは、0.03mm 以下としてください。

注 4)　用紙の種類および保管状況により、印字品質に差が出る場合があります。不具合が発生する用紙については、その度合いが容認できるものであるかどうか判断の上ご使用ください。

注 5)　全体の用紙厚さは、0.57mm 以下にしてください。

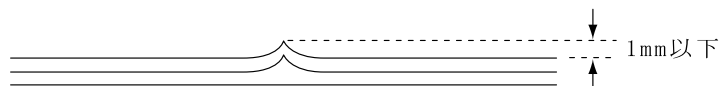
注 6)　とじられた用紙の大きさは、各層とも互いに同一になるようにしてください。

◆ 用紙のとじかた

連続帳票用紙の重ね合わせのとじ方は、「点のりとじ」にしてください。のり付け方法にはいろいろありますが、折り曲げやすいように点のりで、各層間で交互の位置にのり付けする方法をおすすめします。

綴じ方法			適用する用紙枚数	備　考
点のりとじ	点のり部 2インチ以下		8 枚まで	本プリンタに最も適したとじ方です。
ダブルギャザー	3インチ以下		8 枚まで	用紙枚数が多くなるほど、用紙層ズレが出やすくなります。
線のりとじ	一列 線のり部	二列 線のり部	8 枚まで	用紙のしなやかさが失われ堅くなってしまうので、用紙ジャム等が出やすくなります。

注 1)　上記説明図では帳票の片側のみ示していますが、実際には両側をのり付けしてください。

注 2)　完成した用紙の折畳み部分を平らに伸ばしたときのふくらみは、下図に示すように 1mm 以下になるようにしてください。

注 3)　プリンタ故障の原因になるので、金属ホチキスとじは使用しないでください。

注 4)　帳票の用紙送り穴の層間でのズレは、0.4mm 以下のものを使用してください。

注 5)　用紙綴じ部でリボンがズレて印字の上下が欠ける場合は、機能設定の「連帳改行時ﾘﾎﾞﾝ保護機能」を「有効」(53 ページ参照)にしてください。

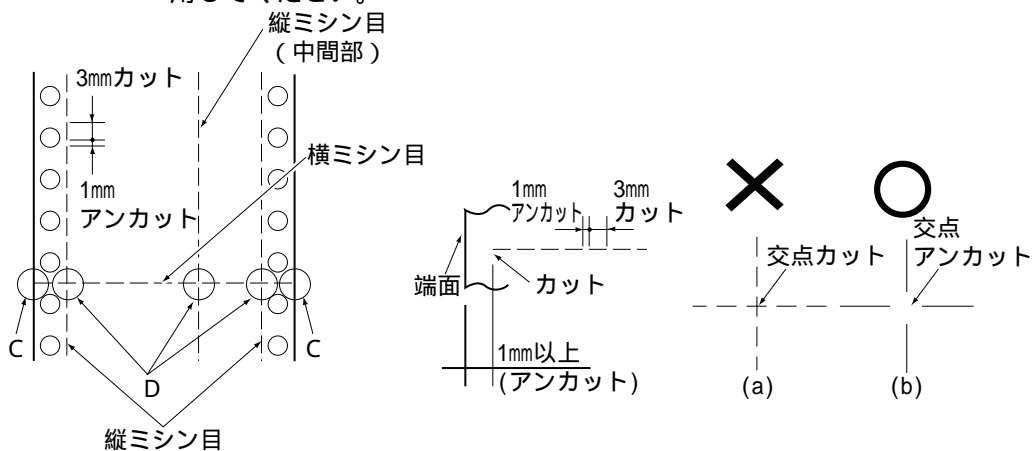
◆ ミシン目の入れ方

ミシン目の入れ方によっては、用紙送りに悪影響を与えることがあります。特に１枚用紙の場合、ミシン目を強く入れると使用中にミシン目から破けることがあります。
ミシン目の入れ方は、次のようにしてください。

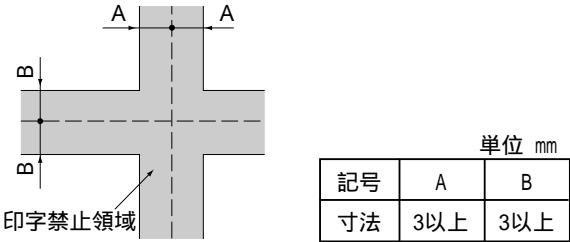
・１枚用紙のミシン目（縦、横ミシン目共）のカット（切る部分）およびアンカット（切らない部分）の比率は、約３：１にしてください。

・横ミシン目の端面アンカット寸法（両端部 C）は、1㎜ 以上にしてください。

・縦ミシン目と横ミシン目の交点（D）部は交点アンカット（b）の方法にしてください。交点カット（a）は、行わないでください。

・複写用紙についても同様の注意が必要です。あらかじめ確認の上、使用してください。

注)　ミシン目上に印字すると、用紙にキズがついたりプリンタの故障となることがありあますので、下の図に示す斜線部には印字しないでください。

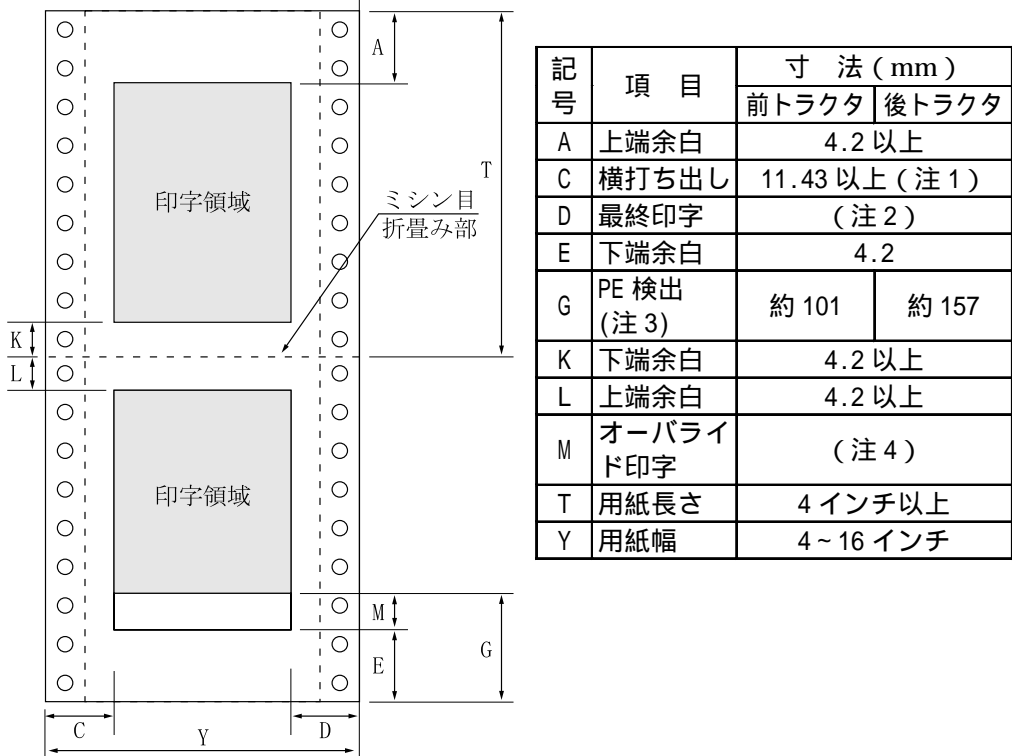
単位 ㎜

記号	A	B
寸法	3以上	3以上

■　一般用紙（前・後トラクタ）

連続帳票用紙の印字領域を下図に示します。

◆　用紙サイズおよび印字領域

連続帳票用紙の印字領域を下図に示します。

記号	項　目	寸　法（mm）	
		前トラクタ	後トラクタ
A	上端余白	4.2 以上	
C	横打ち出し	11.43 以上（注 1）	
D	最終印字	（注 2）	
E	下端余白	4.2	
G	**PE 検出 (注 3)**	約 101	約 157
K	下端余白	4.2 以上	
L	上端余白	4.2 以上	
M	オーバライド印字	（注 4）	
T	用紙長さ	4 インチ以上	
Y	用紙幅	4〜16 インチ	

注 1）　C 値は用紙幅 15 インチ以下の場合です。16 インチの場合は、14〜30mm となります。

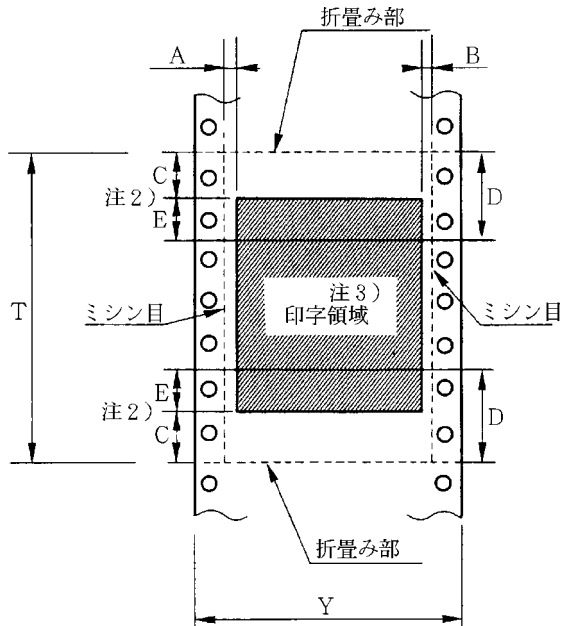
注 2）　D 値については用紙幅と印字桁数によりますが、最小 11.43mm とします。

注 3）　PE 検出位置は、機能設定の連帳下端余白量の設定により変更できます。初期設定は 4.2mm です。この設定を変更すると、トラクタの位置（前トラクタ約 101mm、後トラクタ約 157mm）で PE 検知を行うようになります。
トラクタから外れた後の改行がうまく行かない場合や、逆改行を行う場合は、トラクタの位置で PE を検知するように設定変更してください。

注 4）　オーバライド印字は**オンライン**スイッチを押して 1 行まで可能ですが、改行が乱れることがあります。また、逆改行は禁止します。プラテンに空打ちしないように注意してください。
オーバライド印字については、「その他の設定」の「オーバライド」で「有効」および「無効」の設定が可能です。（53 ページ参照）

■　はがき用紙（前トラクタ）

このプリンタで連続帳票のはがき用紙を使用できます。はがき用紙を使用する場合は、前方（操作パネル側）から用紙をセットします。

◆　用紙サイズおよび印字領域

記号	項　目	寸法（mm）
A	横打ち出し	5.08 以上 (1/5 インチ)
B	最終印字	5.08 以上 (1/5 インチ)
C	縦打ち出し （注 1）	8.46 以上 (1/3 インチ)（注 2）
D	縦打ち出し (推奨値)	25.4 (1 インチ)（注 2）
Y	用紙幅	228.6〜330.2 (9〜13 インチ)
T	用紙長さ	203.2〜355.6 (8〜14 インチ)

注 1）　C 領域では印字ユニットの横移動はさせないでください。
（用紙のふくらみなどにより、リボン汚れおよび用紙引っ掛けの原因になります。）

注 2）　E の印字領域内では、多少改行が乱れることがあります。

注 3）　印字領域内にミシン目がある場合、印字はそのミシン目から 5.08mm 以上離してください。ただし、折畳み部以外のミシン目は、カットおよびアンカット比を 2:1 にしてください。

◆　連量紙

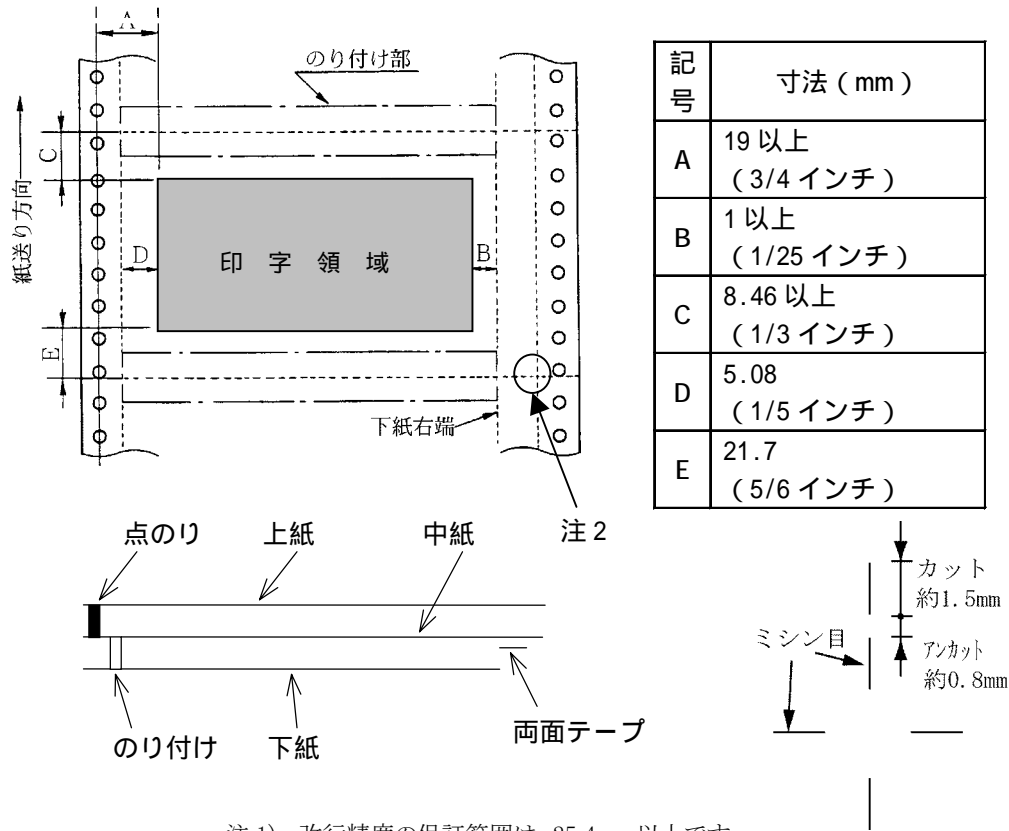
135kg 以下とし、枚数は 1 枚のみとします。

◆　ミシン目の入れ方

一般連続帳票用紙と同様です。

■　封筒用紙（前・後トラクタ）

◆　用紙サイズおよび印字領域

記号	寸法（mm）
A	19 以上 （3/4 インチ）
B	1 以上 （1/25 インチ）
C	8.46 以上 （1/3 インチ）
D	5.08 （1/5 インチ）
E	21.7 （5/6 インチ）

注 1）　改行精度の保証範囲は、25.4mm 以上です。

注 2）　ミシン目の寸法は、右図をおすすめします。
（ミシン目の強い場合は、破れやすくなります。）
縦ミシン目と横ミシン目の交点部は交点アンカットの方法にしてください。
（「ミシン目の入れ方」97 ページ参照）

注 3）　のり付けの幅は、1/6 インチ以下とします。

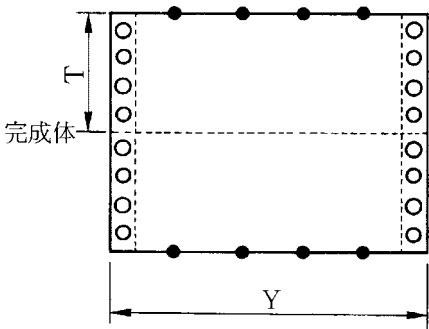
注 4）　のり付けによる厚み増加は、0.1mm 以下とします。

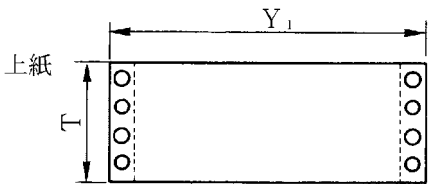
注 5）　穴ズレは、0.3mm 以下とします。

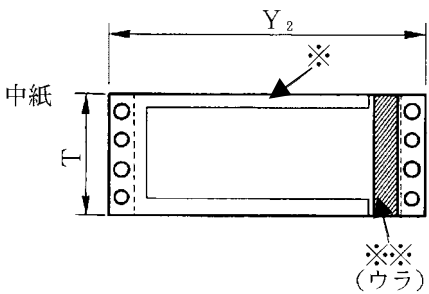
◆　紙質構成および連量

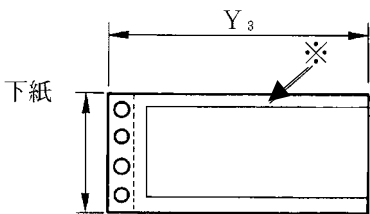
	上紙	中紙	下紙
紙質	裏カーボン紙	ノンカーボン紙	ノンカーボン紙
連量（kg）	33.5	70	70

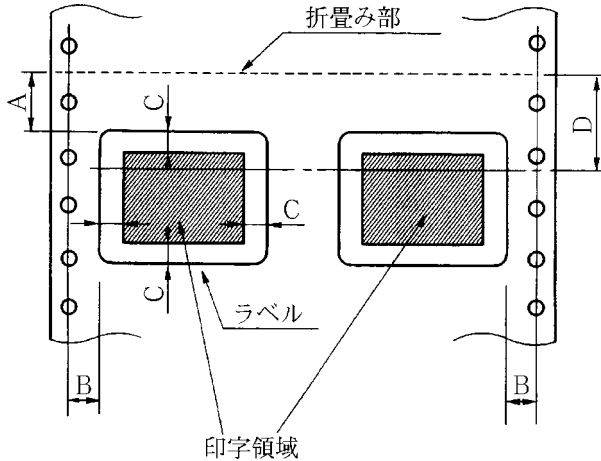
◆ 形状および構造

- - - - - - - - - - - -　：ミシン目
———●———　：ミシン目＋折り目

(a) 大きさ

記号	寸法（㎜）
T	127（5インチ）
Y	254（10インチ）
Y1	254（10インチ）
Y2	254（10インチ）
Y3	228.6（9インチ）

(b) とじ方法

とじ方法	上紙／下紙	中紙／下紙
種類	点のり	棒のり
位置	両端	左端・上下端 1/6インチ幅 （※印）

両面テープ使用（※※印）

銘柄		アスコットテープ
幅 （㎜）	はくり紙	12
	肉のり	10

■　タック用紙（前・後トラクタ）

◆　用紙サイズおよび印字領域

記号	寸法（mm）
A	2.54 以上 （1/10 インチ）
B	6.35 以上 （1/4 インチ）
C	2.54 以上 （1/10 インチ）
D	25.4 （1 インチ）（注）

用紙サイズ（台紙）は、一般連続帳票用紙と同じです。

注）　D 範囲内での印字領域では、多少改行が乱れる場合があります。（改行量が 1/6 インチ以上の場合は、となり合う印字行の文字同士が重なり合うことは有りません。）

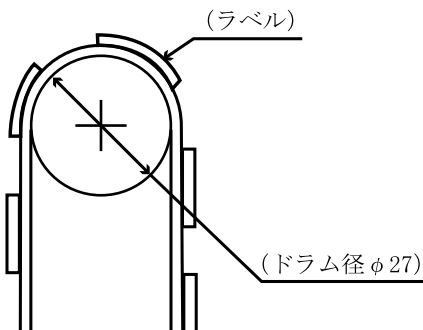
◆　用紙厚さ

・用紙厚さは、ラベル＋台紙が 0.2mm 以下となるようにしてください。

・台紙の厚さは、0.1mm 以下としてください。

・ラベルの厚さは、0.1mm 以下としてください。

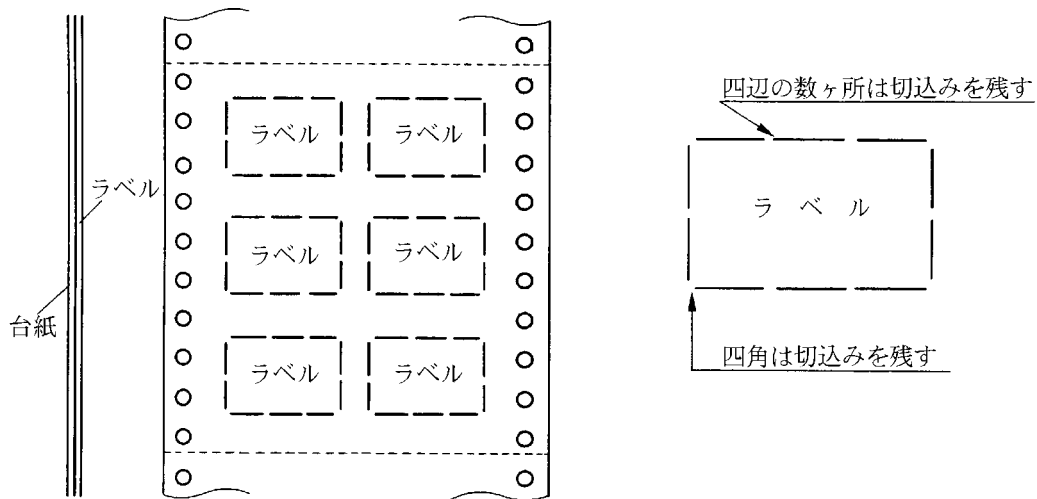
◆　ラベルの貼付け強度

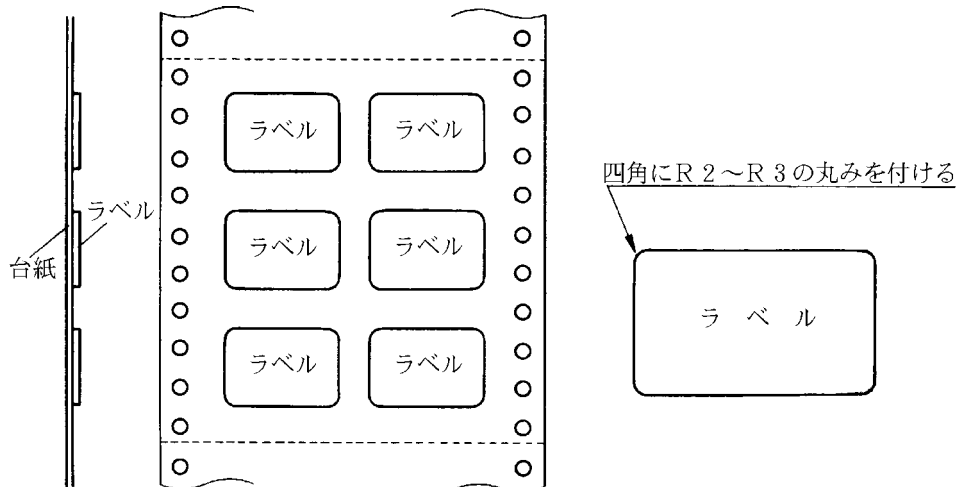
・次の条件で、ラベルが台紙からはがれないものを使用してください。ラベルのめくれのあるもの、折れ曲がりのあるものは使用しないでください。

項　目	条　件
巻付ドラム径	φ27
巻付角度	180 °
巻付時間	24 時間
周囲温度	40℃
周囲湿度	30%RH

◆ 用紙の形態

・ラベルのはがれによる用紙送行不能、または印字ヘッドの損傷など、重大なトラブルを防止するために下記用紙形態をおすすめいたします。

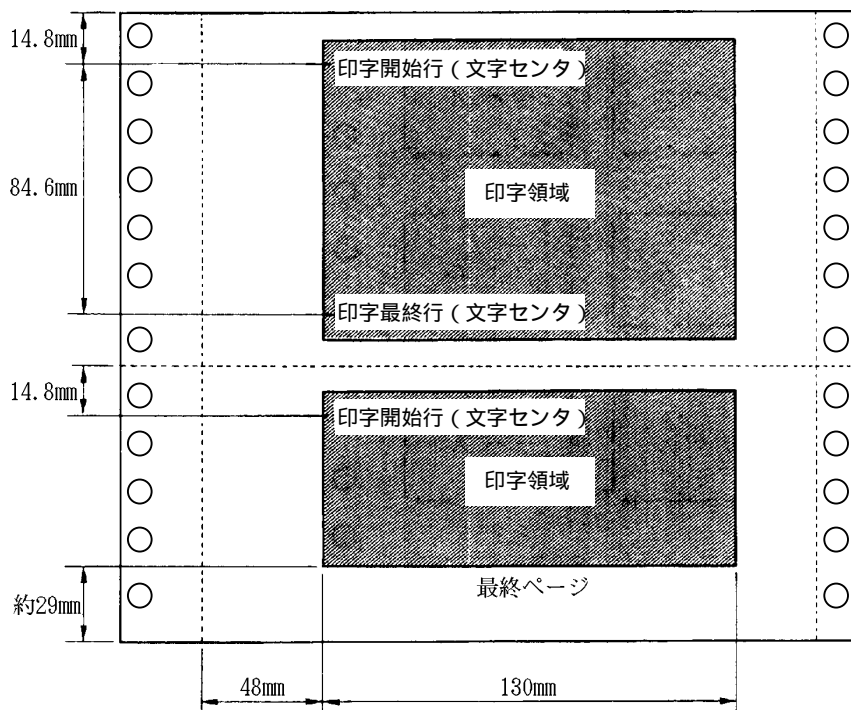
1)カストリは行わず、ラベルの四角および他の四辺に切込みを残した用紙。

※カストリとは、台紙全体に張られた粘着シールをラベルの部分だけを残してはぎ取ることを言います。

※この形態は、ほぼ完全にラベルのはがれを防止することができ、最もおすすめするものです。できる限りこの形態を使用するようにしてください。

2)カストリを行う場合、必ずラベルの四角に丸みを付けてください。

■　宅配伝票（前トラクタ）

ここでは宅配伝票としての代表的な郵便小包ラベル（ゆうパック B、B-2、B-3）について規定します。
他の宅配伝票を使用する場合は、十分確認の上ご使用願います。

◆　印字領域

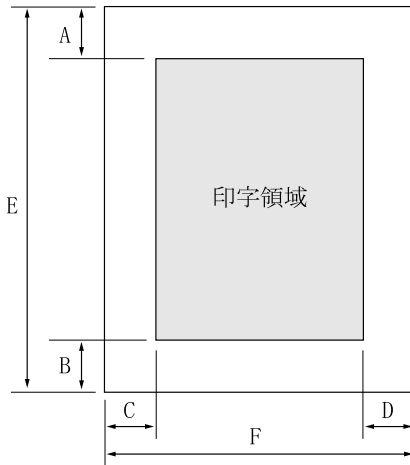
郵便小包ラベル

注 1）　印字領域内の用紙段差は、最大 0.15mm 以下としてください。

注 2）　用紙厚段差のある伝票を印字すると、自動紙厚調整機構(APTC)の故障の原因となりますので、手動紙厚調整に切り替えて使用してください。(97 ページ参照)

注 3）　印字領域外への印字は禁止します。

手差しで使用する単票用紙

■　一般用紙

◆　用紙サイズおよび印字領域

記号	項　目	寸法（㎜）	
		単票セットフリーオフの場合	単票セットフリーオンの場合
A	上端余白（注 2）	4.2 以上	4.2 以上
B	下端余白（注 2）	4.2 以上	4.2 以上
C	左端余白（注 3）（注 4）	5.08 以上	5.08
D	右端余白（注 3）	5.08 以上	5.08 以上
E	用紙長さ	70～420(注 5)	70～364
F	用紙幅	55～420	100～364

注 1）　印字領域以外への印字は禁止します。

注 2）　A、B 値は、ドットピッチが 1/180 インチのときの値です。

注 3）　B4 横より幅の大きな用紙を使用する場合は、C 値と D 値は同時に実現できません。

注 4）　A3 横を使用する場合は、C 値は 33～38.5mm となります。
※機能設定（45 ページ）で印字領域を「左寄せ」に設定している場合は、C 値は 23.7～29.2㎜ となります。

注 5）　単票セットフリーオフの場合、用紙長さが 90mm 以下の用紙は、セットしにくくなります。
また、前カットシートフィーダを取り付けたとき、用紙長さは 90～420 mm となります。

◆ 用紙枚数

用紙種類	枚数	連量（kg）（注 1）	備考
一枚用紙	1P	45,55,70,90,110,135	
ノンカーボン紙 (注 2)	2P 3P 4P 5P 6P 7P 8P	34,43,55,(70) 34,43,(55,70) 34,(43,55,70) 34,(43,55) 34,(43,55) 34,(43,55) 34,(43,55)	・（　）内の連量の用紙は、複数つづりの一番下の用紙のみ使用可能です。
裏カーボン紙 (注 2)	2P 3P 4P 5P 6P 7P 8P	34,44,55,(70) 34,44,(55,70) 34,(44,55,70) 34,(45,55) 34,(45,55) 34,(45,55) 34,(45,55)	

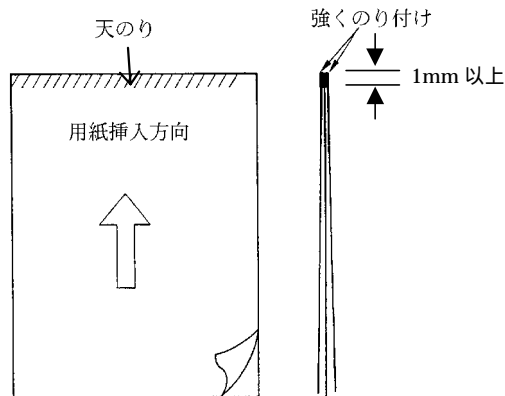
注 1)　連量とは、四六判(788mm×1091mm)の用紙 1000 枚の重量を kg で示します。

注 2)　ノンカーボン紙および裏カーボン紙の連量は、メーカによって多少異なる場合がありますが、その場合は表の数値に近いものを選んでください。

注 3)　中カーボン紙は、単票用紙の場合使用しないでください。

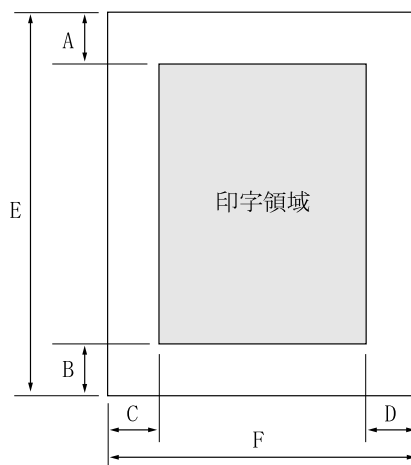
注4)　単票用紙で用紙の排出方向を手前排出(テーブル側)を行った時に、用紙下端部の角折れが発生する場合には、排出方向を後方排出(スタッカ側)に排出方向を切り替えてご使用ください。
(用紙下端部の印字デューティが高い時に、角折れが発生する場合があります)
切り替え方法は、操作パネルの手前排出スイッチを押して「手前排出」ランプを消灯します。(33 ページ参照)または、「装置機能設定」の「排出方向(単票)」を「後方排出」に設定します。(44 ページ参照)

■　用紙のとじ方法

とじ方法は、必ず下図のように天のりとじにしてください。

注 1）　のり付け部が波打ったり硬くなったりしないように、のりの量と種類に注意してください。

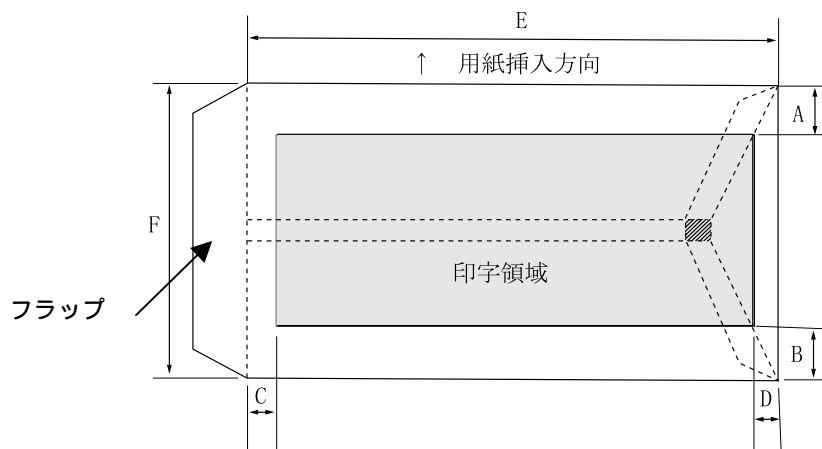
注 2）　束のりとじの用紙はとじ力が弱いことから分離したり、のりがはみ出したりしてジャムが発生する可能性がありますので、使用を避けてください。

■　はがき

◆　用紙サイズおよび印字領域

記号	項　目	寸法（mm）
A	上端余白	4.2 以上
B	下端余白	4.2 以上
C	左端余白	5.08 以上
D	右端余白	5.08 以上
E	用紙長さ	100,148,200
F	用紙幅	100,148,200

注）　往復はがきは、折り目のないものを使用してください。
私製はがきを使用する場合は、十分に確認を行ってから使用してください。

■　封筒

◆　用紙サイズおよび印字領域

記号	項　目	寸法（mm）
A	上端余白	7.38 以上
B	下端余白	7.38 以上
C	左端余白	12 以上
D	右端余白	12 以上
E	用紙幅	148〜332
F	用紙長さ	90〜240

◆ 封筒サイズおよび坪量

封筒の種類	寸法		坪量（g/㎡）		最大用紙厚（㎜）
	E（㎜）	F（㎜）	クラフト紙	その他の紙	
長形 2 号	277	119	70,85	70 以上 85 以下	0.48
長形 3 号	235	120	50，60，70，85	55 以上 85 以下	0.48
長形 4 号	205	90			
長形 5 号	185	90			
角形 2 号	332	240	70,85	70 以上 85 以下	0.48
角形 3 号	277	216			
角形 4 号	267	197			
角形 5 号	240	190			
角形 6 号	229	162			
角形 7 号	205	142			
角形 8 号	197	119	50,60,70,85	55 以上 85 以下	0.48
洋形 1 号	176	120	50，60，70，85	70 以上 85 以下	0.46
洋形 2 号	162	114			
洋形 3 号	148	98			
洋形 4 号	235	105			
洋形 5 号	217	95			
洋形 6 号	190	98			
洋形 7 号	165	92			
US10	239	105	81 以下	81 以下	0.46
ジャーマンタイプ	220	111			

注 1）印字領域以外への印字を禁止します。

注 2）封筒印字時は、印字汚れ・かすれなどが発生しやすくなりますので、十分確認の上使用してください。また、自動紙厚調整機構（APTC）の故障の原因となりますので、手動紙厚調整に切り替えて使用してください。（87 ページ参照）

注 3）印字領域内の用紙の段差は、最大 0.15mm 以下としてください。

注 4）のり付け部の上およびその周辺 5mm 以内への印字を禁止します。

注 5）フラップ部破線の食込みが封筒肩より 12mm 以上の場合は、破線部の右側で印字してください。

注 6）フラップ部などがのり付け加工された封筒は、使用しないでください。

注 7）切手およびシールなどを貼付けた封筒は、使用しないでください。

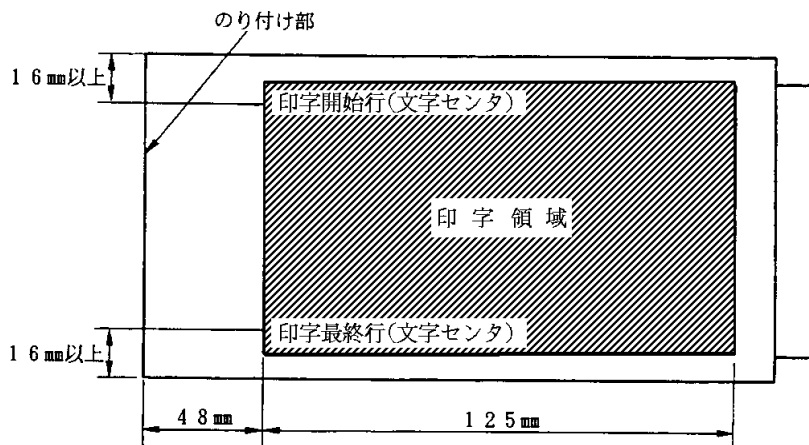
注 8）斜線部への印字は、リボン汚れが発生し易いのでさけてください。

注 9）封筒は単票セットフリーオフにして印字してください。単票セットフリーオンで印字すると、封筒のフラップ部(斜めの部分)を用紙端面と判断し、印字開始位置がズレることがあります。

注 10）封筒のフラップ部（斜めの部分）は第1ドットの左側となるように用紙ガイドを移動して使用してください。（118 ページ参照）

■　宅配伝票

ここでは宅配伝票としての代表的な郵便小包ラベル（ゆうパック）について規定します。他の宅配伝票を使用する場合は、十分確認の上ご使用願います。郵便小包ラベル（普通用 A、C）

◆　印字領域

注 1)　印字領域以外の印字は禁止します。

注 2)　用紙厚段差のある伝票を印字すると、自動紙厚調整機構(APTC)の故障の原因となりますので、手動紙厚調整に切り替えて使用してください。(97 ページ参照)

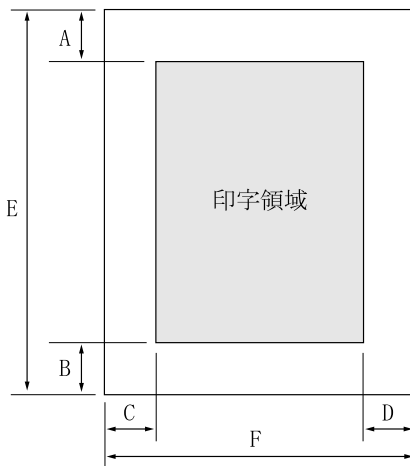
注 3)　印字領域内の用紙の段差は、最大 0.15mm 以下としてください。

注 4)　用紙の最大厚さは、ゆうパック伝票(Max 0.6mm)以下としてください。

注 5)　折れ曲がりのある用紙は、斜行、角折れ、および用紙づまりの原因になります。

カットシートフィーダ（オプション）で使用する単票用紙

■　一般用紙

◆　用紙サイズおよび印字領域

記号	項　目	寸法（mm）	
		フロントカットシートフィーダ	リアカットシートフィーダ
A	上端余白（注 2）	4.2 以上	4.2 以上
B	下端余白（注 2）	4.2 以上	4.2 以上
C	左端余白（注 3）（注 4）	5.08 以上	5.08 以上
D	右端余白（注 3）	5.08 以上	5.08 以上
E	用紙長さ	70～420	100～420
F	用紙幅（注 5）	100～420	100～420

注 1)　印字領域以外への印字は禁止します。

注 2)　A、B 値は、ドットピッチが 1/180 インチのときの値です。

注 3)　B4 横より幅の大きな用紙を使用する場合は、C 値と D 値は同時に実現できません。

注 4)　A3 横を使用する場合は、C 値は約 37.3mm となります。
※機能設定（45 ページ）で印字領域を「左寄せ」に設定している場合は、C 値は約 28mm となります。

注 5)　カットシートフィーダで複写紙を使用する場合、F 値は 182mm 以上のものを使用してください。

◆ 用紙枚数

<table>
<tr><th>用紙種類</th><th>枚数</th><th>連量（kg）　注 1)</th><th>備　考</th></tr>
<tr><td>一枚用紙</td><td>1P</td><td>45,55,70,90,135</td><td></td></tr>
<tr><td>ノンカーボン紙
注 2)</td><td>2P
3P
4P
5P</td><td>34,43,55,(70)
34,43,(55,70)
34,(43,55,70)
34,(43,55)</td><td rowspan="2">・（　）内の連量の用紙は、複数つづりの一番下の用紙のみ使用可能です。</td></tr>
<tr><td>裏カーボン紙
注 2)</td><td>2P
3P
4P
5P</td><td>34,44,55,(70)
34,44,(55,70)
34,(44,55,70)
34,(45,55)</td></tr>
</table>

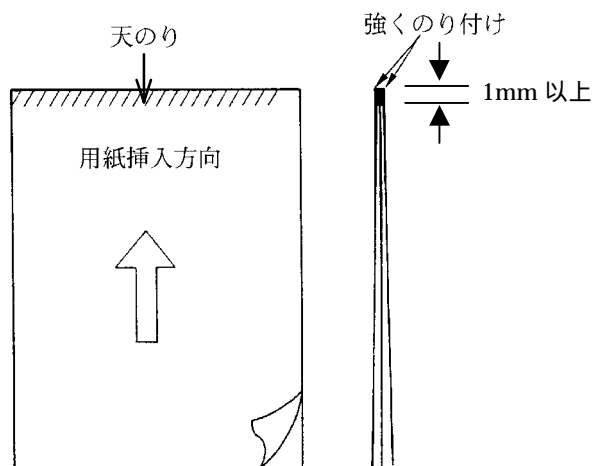
注 1)　連量とは、四六判(788mm×1091mm)の用紙 1000 枚の重量を kg で示します。

注 2)　ノンカーボン紙、裏カーボン紙の連量は、メーカによって多少異なる場合がありますが、その場合表の数値に近いものを選んでください。

注 3)　中カーボン紙は、単票用紙の場合使用しないでください。

注4)　用紙の排出方向を手前排出(テープル側)を行った時に、用紙下端部の角折れが発生する場合には、排出方向を後方排出(スタッカ側)に排出方向を切り替えてご使用ください。
（用紙下端部の印字デューティが高い時に、角折れが発生する場合があります）
切り替え方法は、操作パネルの手前排出スイッチを押して「手前排出」ランプを消灯します。(33 ページ参照)または、「装置機能設定」の「排出方向(CSF)」を「後方排出」に設定します。(44 ページ参照)

■　用紙のとじ方法

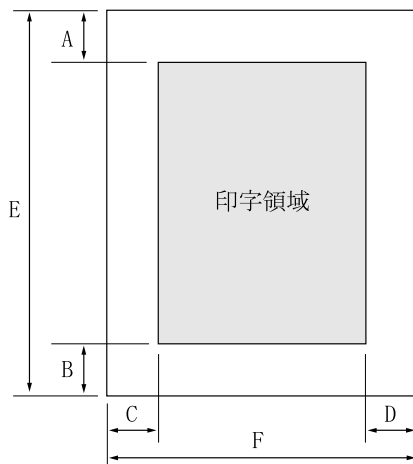
とじ方法は、必ず下図のように天のりとじにしてください。

注 1）　のり付け部が波打ったり硬くなったりしないように、のりの量と種類を注意してください。

注 2）　東のりとじの用紙はとじ力が弱いことから分離したり、のりがはみ出したりしてジャムが発生する可能性がありますので、使用を避けてください。

◆　ホッパ容量

（1）　一般用紙（55kg、1P）・・120 枚
（2）　5P（34kg）用紙・・・・・・・・25 枚
（3）　官製はがき・・・・・・・・・・・・40 枚

■　はがき

◆　用紙サイズおよび印字領域

記号	項　目	寸法（mm）
A	上端余白	4.2 以上
B	下端余白	4.2 以上
C	左端余白	5.08 以上
D	右端余白	5.08 以上
E	用紙長さ	100,148,200
F	用紙幅	100,148,200

注 1)　往復はがきは、折り目のないものを使用してください。

注 2)　私製はがきを使用する場合は、十分に確認を行ってから使用してください。

■　封筒

◆　印字領域および用紙サイズ

手差しの場合と同様です。108 ページを参照してください。

◆　封筒サイズおよび坪量

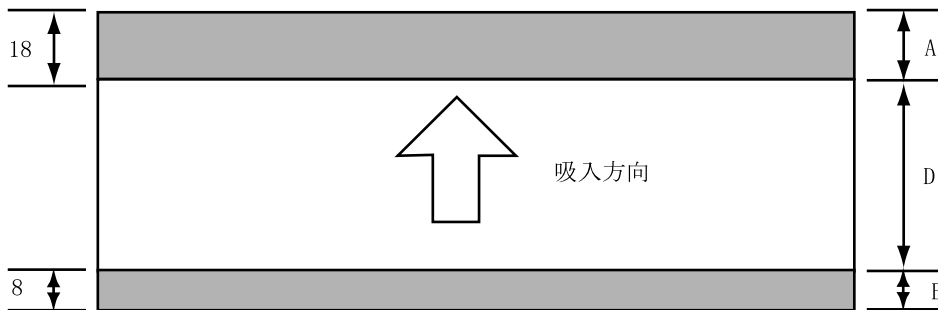
封筒の種類	寸　法		坪量（g/m²）		最大用紙厚（mm）
	E（mm）	F（mm）	クラフト紙	その他の紙	
長形 3 号	235	120	50，60，70	55 以上 70 以下	0.40
長形 4 号	205	90			
長形 5 号	185	90			
角形 6 号	229	162	70	70 以下	0.40
角形 7 号	205	142			
角形 8 号	197	119	50，60，70	70 以下	0.40
洋形 3 号	148	98	50，60，70	70 以上 81 以下	0.46
洋形 4 号	235	105			
US10	239	105	81 以下	81 以下	0.46
ジャーマンタイプ	220	111			

とじ穴の開けかた

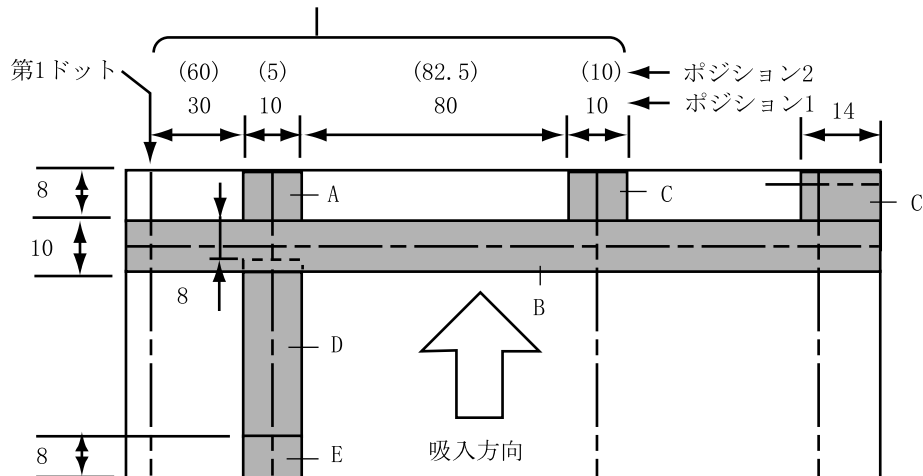
印字領域内にとじ穴をあけないでください。やむを得ず印字領域内にとじ穴をあけるときは、とじ穴部と印字が重ならないようにしてください。

プレプリント用紙を使用するとき

あらかじめ文字や枠などを印刷してある用紙（プレプリント用紙）を作成したり、使用したりするときは、次の点に注意してください。

◆ 単票セットフリーオン時の手差し単票のプレプリント禁止領域

（単位:mm）

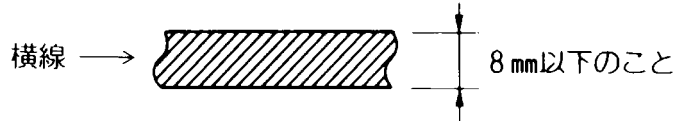
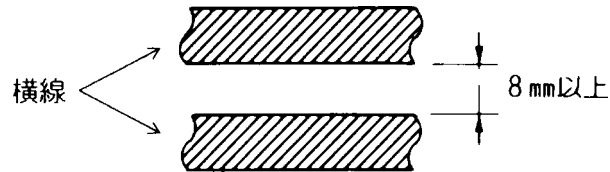
（1） A 部、E 部は光反射率 60%以下の色(例えば黒)は使用しないでください。
（2） D 部に反射率 60%以下の色(例えば黒)を使用する場合は、117 ページに示す幅の条件に従ってください。

◆ 単票セットフリーオフ時の手差し単票、カットシートフィーダで使用する単票、連帳の場合のプレプリント禁止領域

(単位:mm)

（1） A、B、C、E 部は光反射率 60%以下の色(例えば黒)は使用しないでください。
（2） D 部に反射率 60%以下の色(例えば黒)を使用する場合は、117 ページに示す幅の条件に従ってください。
（3） B、C 部は「その他の設定」の「用紙吸入時の斜行検出」と「用紙外印字防止」を「無効」にすると、プレプリントの制約はなくなります。

◆ プレプリント禁止領域に印刷するとき

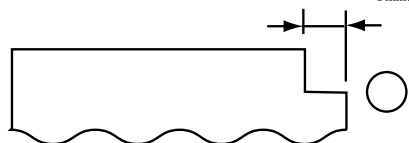
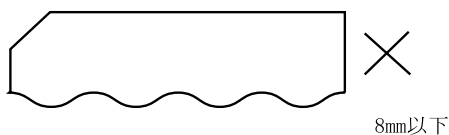
やむを得ず D 部内に印刷するときは、次のようにしてください。

（1） 斜線内に印刷する横線の太さは、下図に示すように 8mm 以下にしてください。

（2） （1）の横線が連続するときは、下図に示すようにすきまを 8mm 以上あけてください。

注）　線の太さが 0.5mm 以下のときは、すきまが 4mm 以上でも可能です。

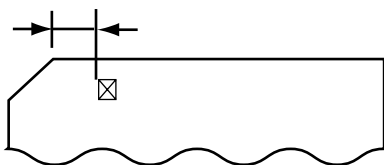
（3） 斜線内に縦線を入れるときは、線の太さを 0.5mm 以下とし、斜線内に 1 本までとしてください。

やむを得ず A、B、C、E 部内に印刷するときは、線の太さを 0.5mm 以下とし、すきまを 4mm 以上あけてください。

用紙の形状について

◆ 単票セットフリーオン時の用紙上端について

このような用紙はセット位置によって打ち出し位置がズレることがありますので、単票セットフリーオフで使用してください。

用紙右上部の切り欠きは 8mm 以下としてください。

◆ 単票セットフリーオフ時の用紙上端について

左端部の面取は第 1 ドットの左側となるように用紙ガイドを移動して使用してください。

用紙上端の切り欠きや面取が 8mm を越える場合は、「その他の設定」で「用紙吸入時の斜行検出」を「無効」にして、使用してください。

取り扱い上のご注意

◆ 用紙の保管および取扱いについて

用紙を保管したり、取り扱ったりするときは、変形、破損が生じないように注意してください。湿気の多い所での保管は、絶対に避けてください。

◆ 特殊用紙について

・この章に記述した仕様と異なる特殊用紙を使用するときは、用紙づまりなどのトラブルを予防するため、サンプルを作成して十分なためし印字を行い、使えることを確認してから使用してください。

・再生紙の種類によっては、インクリボンの寿命が短くなったり、用紙づまりが起きたりすることがあります。このときは、使用を中止し、紙質の良いものに変更してください。

◆ 使用できない用紙

次のような用紙は使用しないでください。次のような用紙を使用すると、用紙送りが不安定になり、紙づまり、折れ、および印字ずれの原因となります。最悪の場合には、印字ヘッドのピンが折れる可能性もあります。

・極端に薄い紙または厚い紙（用紙規格を満たさないもの）

・小さすぎる紙または大きすぎる紙（用紙規格を満たさないもの）

・切り抜き部分や窓のある紙

・ピン、クリップ、ホチキスの針など金属の付いている紙

・のり付け面が露出している紙、波打っている紙、はがれている紙

・浮き彫りのある紙

・連続帳票用紙の横ミシン目以外で折りたたんだ紙

・複写紙において、オリジナルと複写紙で大きさの異なる紙、または部分的に複写枚数が異なる紙

・端または角が破れていたり、折れている紙

・束のりとじの複写用紙

第5章

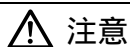
保守と点検

この章では、リボンカセットの交換、用紙づまりやプリンタがうまく動かないときの処置、テスト印字のしかた、清掃のしかた、輸送のしかたおよびアフタサービスについて説明します。

リボンカセットを交換する

◆ リボンカセットの種類

このプリンタで使用するリボンカセットは、下表のとおりです。

商品名	サプライ番号	備考
リボンカセット DPK3800(黒)	0325210	黒色インクリボンが入ったリボンカセットです。
サブリボンカセット DPK3800(黒)	0325220	つめかえ用インクリボンです。

⚠ 注意

誤　飲　インクリボンをお子様が口に入れたりなめたりしないようにしてください。健康を損なう原因となることがあります。

お願い

・リボンカセットは、指定の純正品を使用してください。
指定以外のリボンカセットを使用すると、インクリボンがからまったり、印字ヘッドが傷んだりしてプリンタの故障を引き起こすことがあります。
・インクリボンがたるんだ状態で使用しないでください。たるんだまま印字を開始すると、インクリボンがからまったり、巻きとりがロックすることがあります。
・使用済みのリボンカセットは、不燃物として処理してください。

◆ 交換のしかた

リボンカセットの交換は、次の手順で行います。

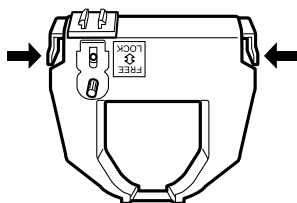
1　印字ヘッドをリボン交換位置に移動する

トップカバーを閉じて、電源を投入すると、印字ヘッドがリボン交換位置に移動します。

2　電源を切る

（電源スイッチが（○）側に倒れた状態になります。）

3　トップカバーを開ける

4　リボンカセットの両脇を押して、プリンタから取り外す

5　新しリボンカセットを取り付ける

新しいリボンカセットの取り付けは、21 ページの「リボンカセットを取り付ける」を参照してください。

⚠ 注意	高　温	印字した直後は、印字ヘッドが高温になります。温度が下がったことを確かめてから、リボンを交換してください。やけどの原因となることがあります。

用紙づまりのとき

■ 連続帳票用紙がつまったとき

用紙づまりを起こしたときは、用紙を無理に引っ張らず、ゆっくり取り除きます。
まず、はじめに取り出しやすいように連続帳票用紙をミシン目でカットします。
その後、用紙づまりの状態に合わせて次の手順で用紙を取り除きます。

◆ 前トラクタから吸入した用紙がつまったとき

1　オフライン状態にする

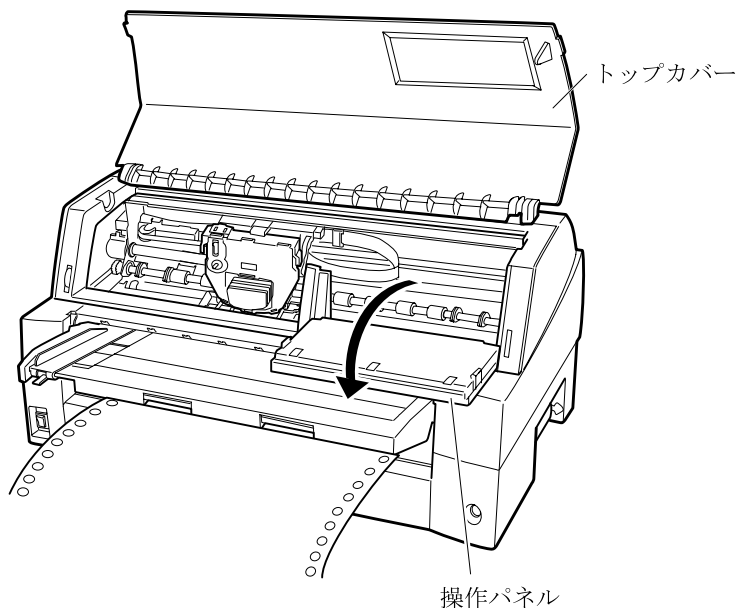
オンラインスイッチを押して、プリンタをオフライン状態（「オンライン」ランプ消灯）にします。
動作が停止し、印字ヘッドとプラテンとのすきまが最大となります。

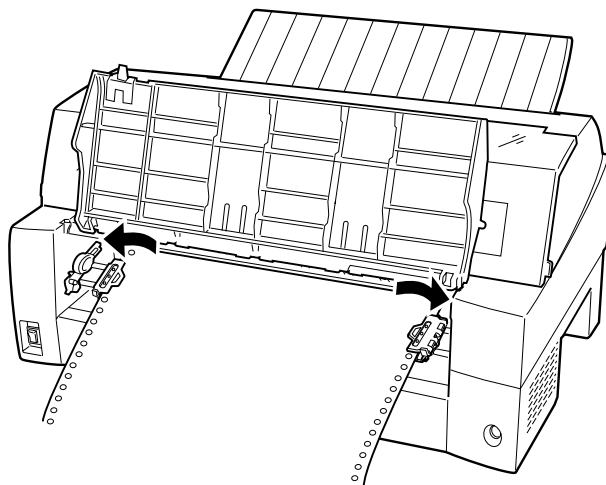
2　プリンタの電源を切る

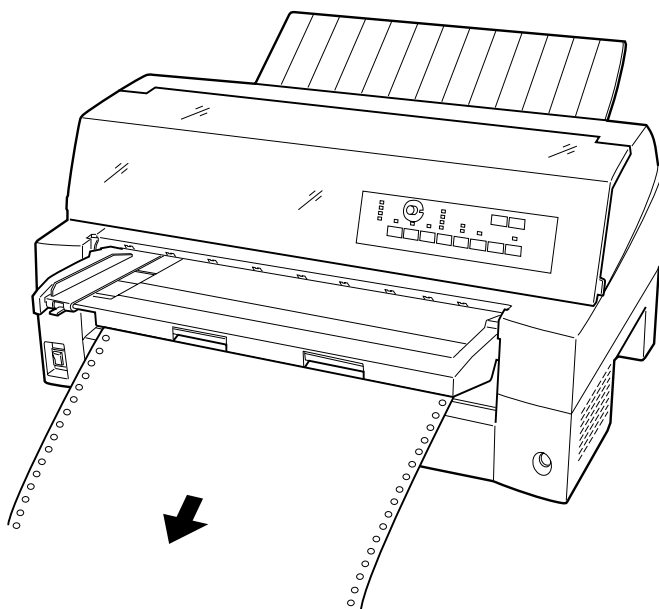
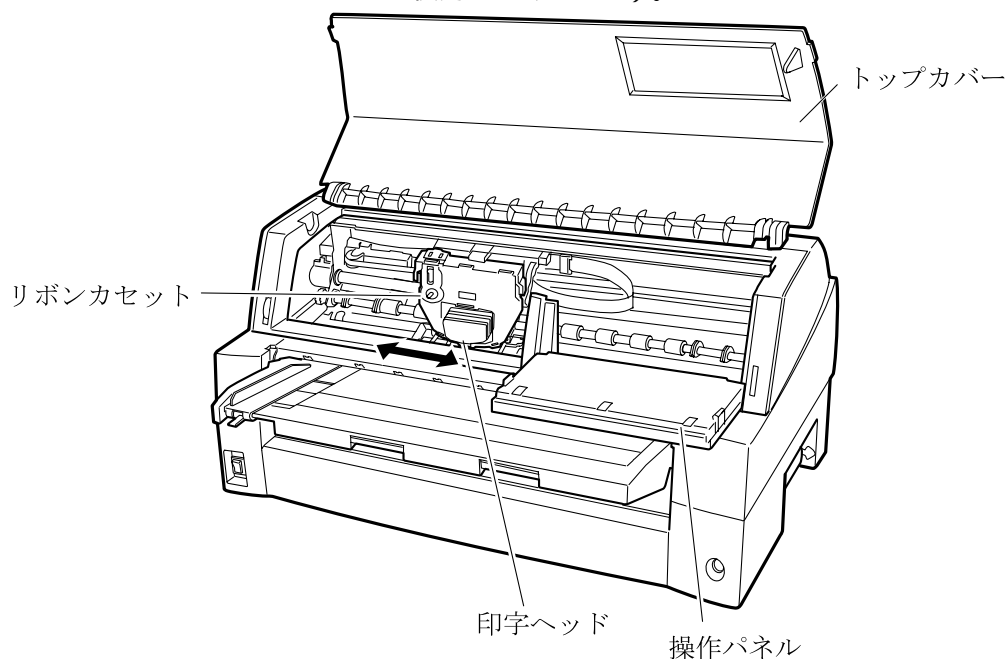
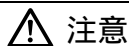
電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

3　トップカバーを開く

トップカバーを開き、装置内部の用紙づまりの状況を確認します。

4　必要に応じて操作パネルを手前に倒す

5　トラクタの左右の用紙押さえを開き、トラクタから用紙を外す

単票テーブルを上側に開き、用紙送りトラクタ左右用紙押さえを開いて、トラクタから用紙を外します。

6　用紙を取り除く

プリンタの前もしくは後から出ている用紙の端をゆっくり引いて、取り除きます。

用紙が印字部につまってうまく取り除けない場合や、小さな紙片が残ってしまった場合は、用紙を取り除きやすいように印字ヘッドを適当な位置に手で動かし（下図参照）、残った用紙を手で取り除きます。また、印字ヘッド先端付近の用紙が取り除きにくい場合は、リボンカセットを取り外してから用紙を取り除きます（取り除きにくい場合はピンセットなどを使用してください）。

7　操作パネルを手前に倒した場合は元に戻し、トップカバーを閉じる

⚠ 注意	高　温	印字した直後は、印字ヘッドが高温になります。温度が下がったことを確かめてから、印字ヘッドを動かしてください。やけどの原因となることがあります。

◆ 後トラクタから吸入した用紙がつまったとき

1　オフライン状態にする

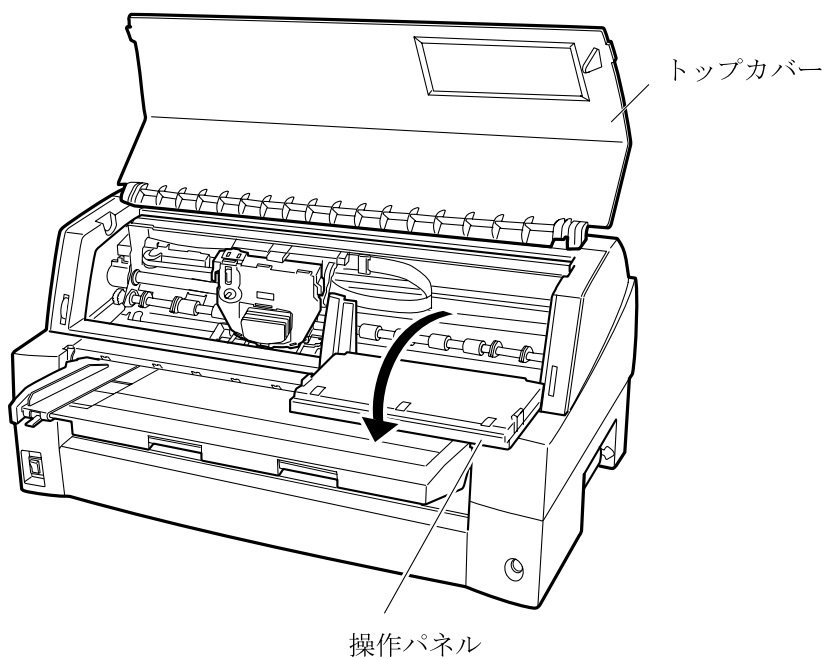
オンラインスイッチを押して、プリンタをオフライン状態（「オンライン」ランプ消灯）にします。

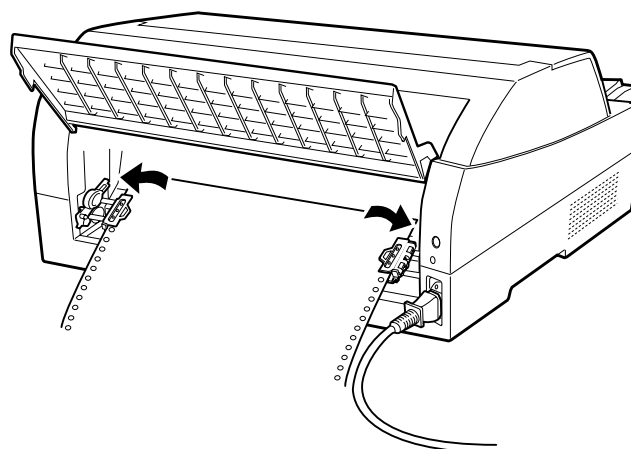
2　プリンタの電源を切る

電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

3　トップカバーを開く

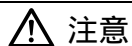
トップカバーを開き、装置内部の用紙づまりの状況を確認します。

4　必要に応じて操作パネルを手前に倒す

5　トラクタの左右の用紙押さえを開き、トラクタから用紙を外す

用紙送りトラクタ左右用紙押さえを開いて、トラクタから用紙を外します。

6　用紙を取り除く

プリンタの前もしくは後から出ている用紙の端をゆっくり引いて、取り除きます。

用紙が印字部につまってうまく取り除けない場合や、小さな紙片が残ってしまった場合は、用紙を取り除きやすいように印字ヘッドを適当な位置に手で動かし、残った用紙を手で取り除きます。また、印字ヘッド先端付近の用紙が取り除きにくい場合は、リボンカセットを取り外してから用紙を取り除きます（取り除きにくい場合はピンセットなどを使用してください）。

⚠ 注意

高　温　　印字した直後は、印字ヘッドが高温になります。温度が下がったことを確かめてから、印字ヘッドを動かしてください。やけどの原因となることがあります。

7　操作パネルを手前に倒した場合は元に戻し、トップカバーを閉じる

■　単票用紙がつまったとき

用紙づまりを起こしたときは、用紙を無理に引っ張らず、ゆっくり取り除きます。
用紙づまりの状態に合わせて、次の手順で用紙を取り除きます。

◆　手差しで吸入した単票用紙がつまったとき

1　オフライン状態にする

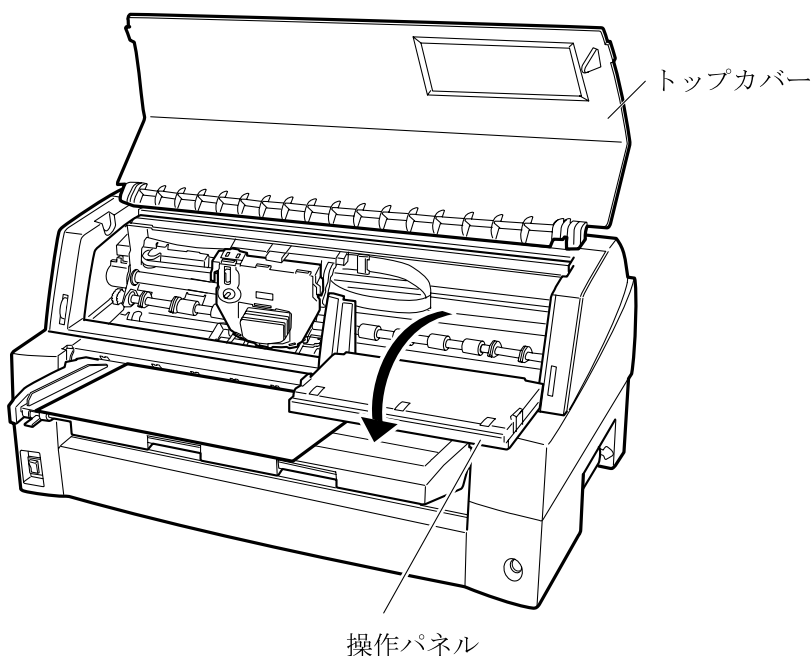
オンラインスイッチを押して、プリンタをオフライン状態（「オンライン」ランプ消灯）にします。
動作が停止し、印字ヘッドとプラテンのすきまが最大となります。

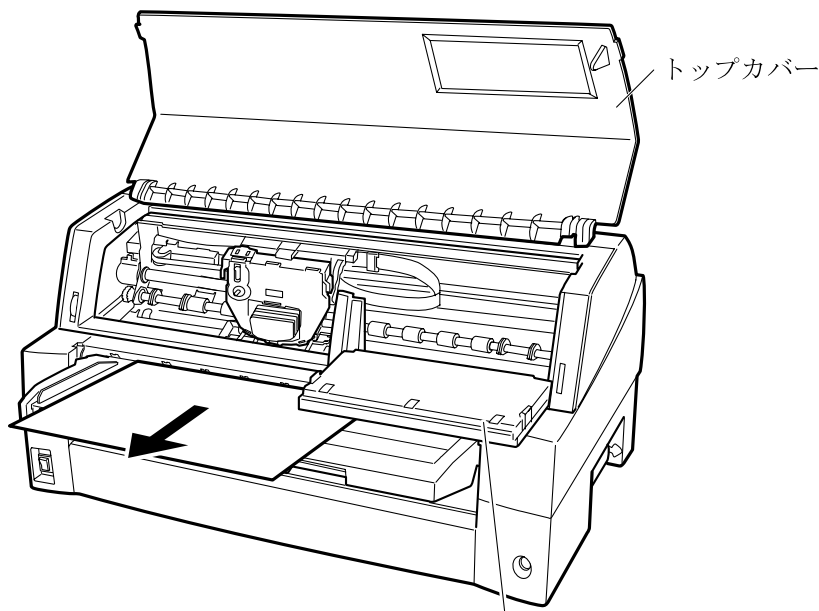
2　プリンタの電源を切る

電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

3　トップカバーを開く

トップカバーを開き、装置内部の用紙づまりの状況を確認します。

4　必要に応じて操作パネルを手前に倒す

5　用紙を取り除く

プリンタの前もしくは後から出ている用紙の端をゆっくり引いて、取り除きます。

用紙が印字部につまってうまく取り除けない場合や、小さな紙片が残ってしまった場合は、用紙を取り除きやすいように印字ヘッドを適当な位置に手で動かし、残った用紙を手で取り除きます。また、印字ヘッド先端付近の用紙が取り除きにくい場合は、リボンカセットを取り外してから用紙を取り除きます（取り除きにくい場合はピンセットなどを使用してください）。

⚠ 注意	高　温	印字した直後は、印字ヘッドが高温になります。温度が下がったことを確かめてから、印字ヘッドを動かしてください。やけどの原因となることがあります。

6　操作パネルを手前に倒した場合は元に戻し、トップカバーを閉じる

■ リアスタッカ部に用紙がつまったとき

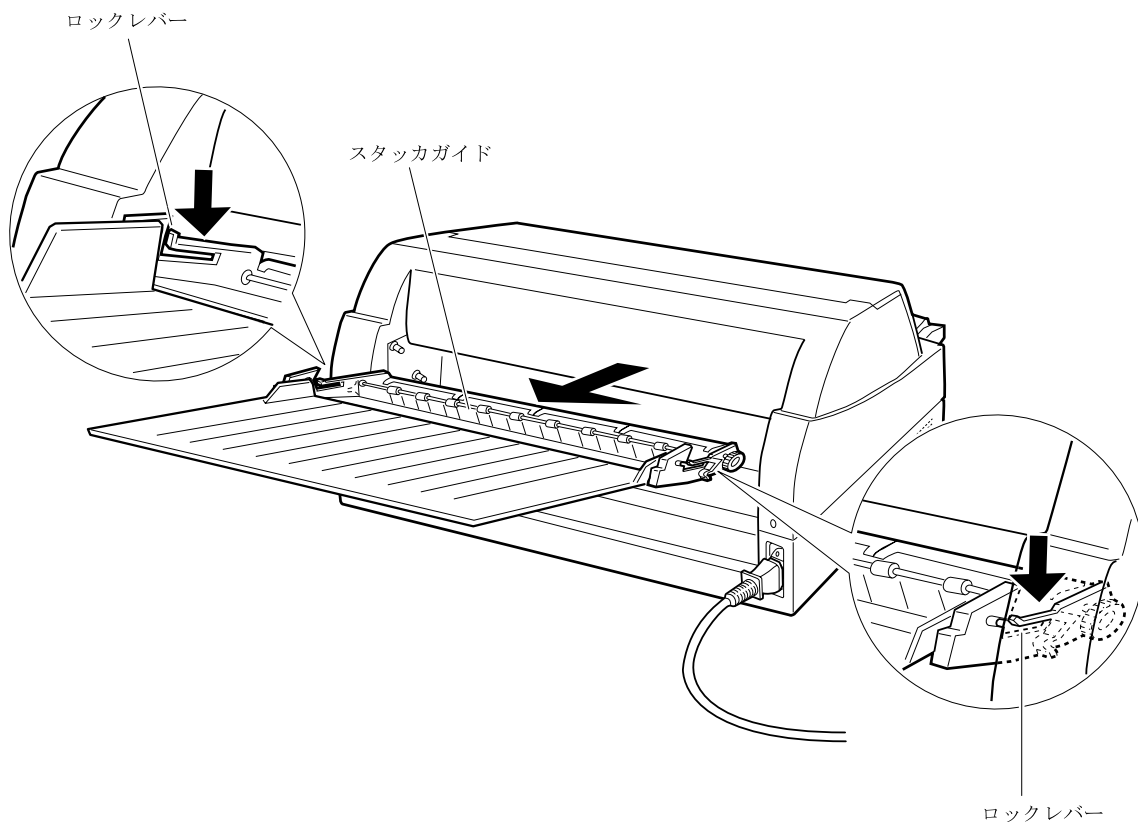
1　オフライン状態にする

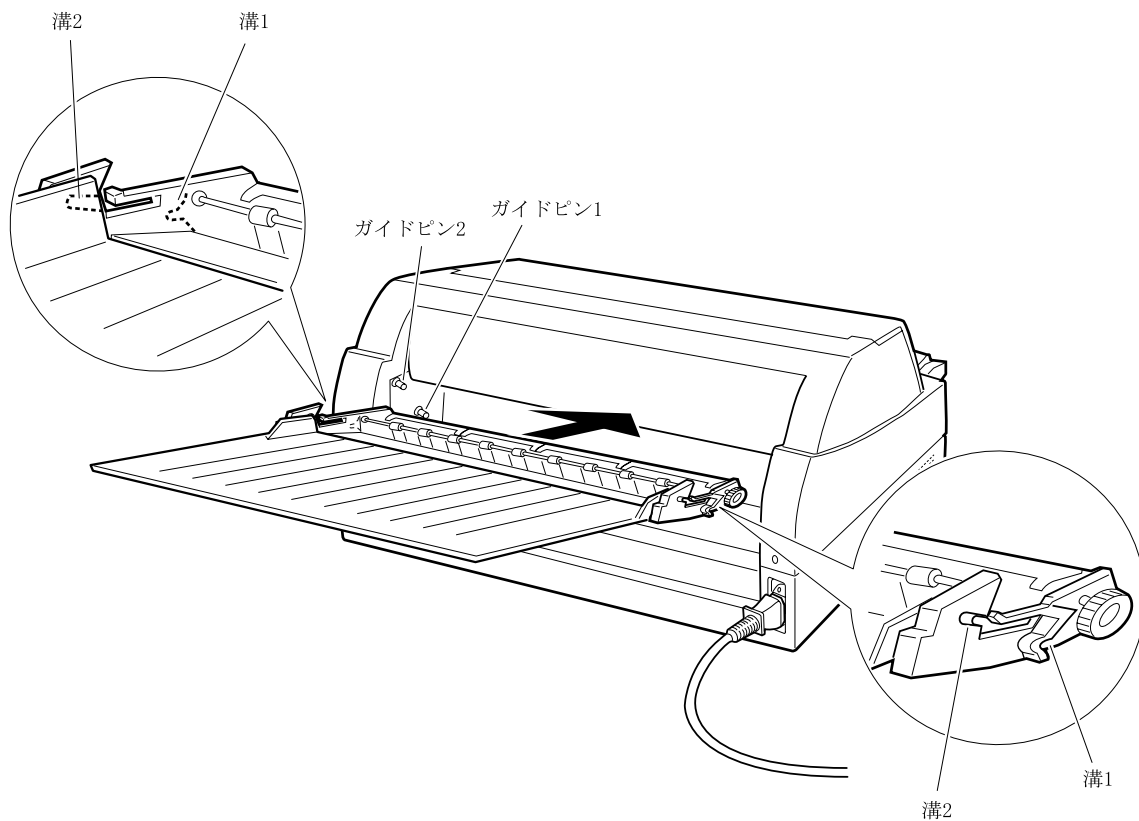
オンラインスイッチを押して、プリンタをオフライン状態（「オンライン」ランプ消灯）にします。
動作が停止し、印字ヘッドとプラテンのすきまが最大となります。

2　プリンタの電源を切る

電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

3　スタッカユニットを取り外す

スタッカガイドのロックレバーを押し下げながら、後方に取り外します。
装置内部の用紙づまりの状況を確認します。

4 スタッカユニットを取り付ける

スタッカユニット左右の溝 1 をガイドピン 1 に合わせ、ガイドピン 2 が溝 2 にロックされるまでスタッカユニットを押し込みます。

■ カットシートフィーダから吸入した用紙がつまったとき

1　オフラインにする

オンラインスイッチを押して、プリンタをオフライン状態（「オンライン」ランプ消灯）にします。

2　プリンタの電源を切る

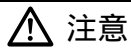
電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

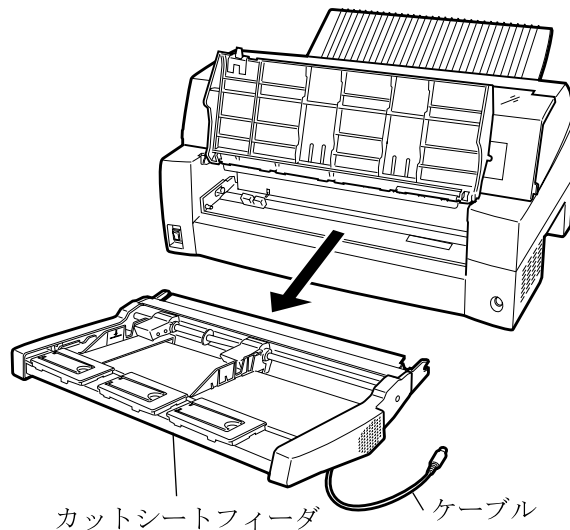
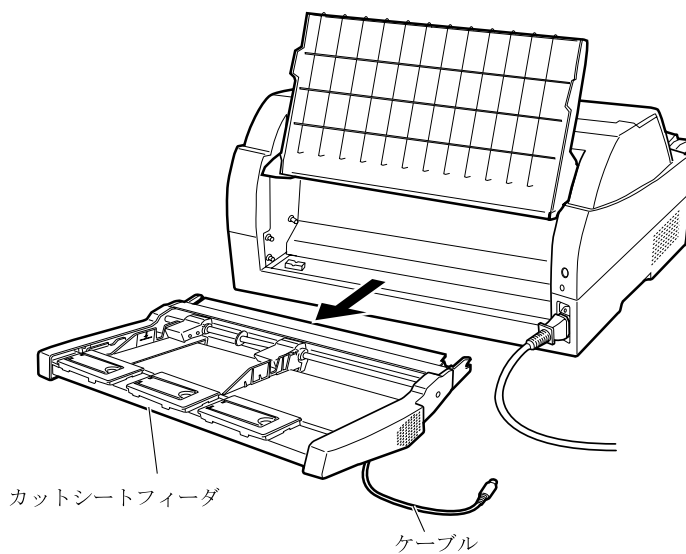
3　トップカバーを開く

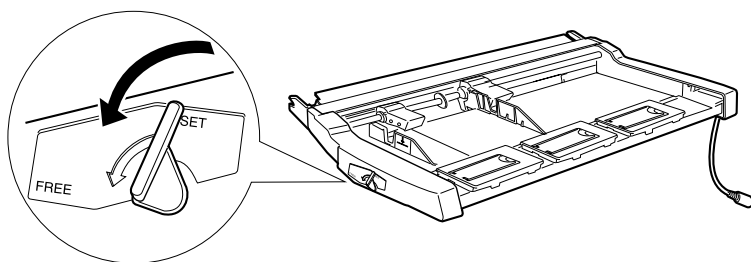
トップカバーを開き、装置内部の用紙づまりの状況を確認します。

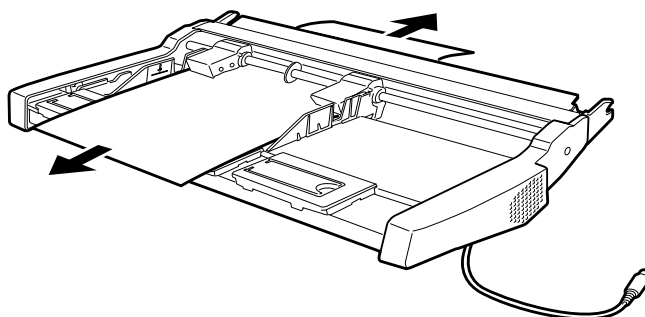
◆ カットシートフィーダユニット内での用紙づまりの場合

1　カットシートフィーダをプリンタ本体から取り外す

カットシートフィーダのケーブルをプリンタ本体のコネクタから抜いて、カットシートフィーダをプリンタ本体から取り外します。

⚠ 注意	**感　電**	**ケーブルを外すときは必ず電源を切ってください。電源を切らずに作業すると感電の原因となることがあります。**

プリンタ前部から取り外す場合

プリンタ後部から取り外す場合

2　セットレバーを「FREE」の位置にする

カットシートフィーダ側面のセットレバーを「FREE」の位置にします。

3　用紙を取り除く

カットシートフィーダの前もしくは後から用紙の端をゆっくり引いて取り除きます。

◆ プリンタ装置内部まで用紙が送られた後の用紙づまりの場合

カットシートフィーダをプリンタ本体から取り外す

カットシートフィーダのケーブルをプリンタ本体のコネクタから抜いて、カットシートフィーダをプリンタ本体から取り外します。（「カットシートフィーダを取り外す」155 ページ参照）

【つまった用紙がカットシートフィーダ側に残った場合は…】

1　セットレバーを「FREE」の位置にする

カットシートフィーダの側面のセットレバーを「FREE」の位置にします。（134 ページ参照）

2　用紙を取り除く

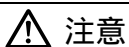
カットシートフィーダの前もしくは後から用紙の端をゆっくり引いて取り除きます。

【つまった用紙がプリンタ装置に残った場合は…】

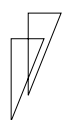
用紙を取り除く

プリンタの前もしくは後から出ている用紙の端をゆっくり引いて、取り除きます。

用紙が印字部につまってうまく取り除けない場合や、小さな紙片が残ってしまった場合は、用紙を取り除きやすいように印字ヘッドを適宜な位置に手で動かし、残った用紙を手で取り除きます。また、印字ヘッド先端付近の用紙が取り除きにくい場合は、リボンカセットを取り外してから用紙を取り除きます（取り除きにくい場合はピンセットなどを使用してください）。

⚠ 注意

高　温　　印字した直後は、印字ヘッドが高温になります。温度が下がったことを確かめてから、印字ヘッドを動かしてください。やけどの原因となることがあります。

お願い

一度紙づまりを起こした用紙の再使用はしないでください。

プリンタがうまく動かないとき

プリンタが動かなくなったり、きれいに印字できなくなったりした場合の処置方法を説明します。
処置を行っても機能が回復しない場合は、当社営業部にご相談ください。

■　電源投入時の不具合

電源を投入すると、操作パネルのランプが点灯し、各部機構の位置決め動作と自己診断を行います。

その際の異常動作に対する処置方法を説明します。

現象	原因	処置
電源を投入後「電源」ランプが点灯せず、プリンタが動作しない。	電源コードの接続が正しくない。	プリンタの電源を切り、電源コードの接続を確かめてください。(「電源コードの接続」18 ページ参照)
電源を投入後、いったん「電源」ランプが点灯するが消灯する。	電圧異常を検出し、電源が自動的に停止した。	電源を切って、5 分間放置後、再度電源を投入し、再現する場合は、修理を依頼してください。
電源投入後「用紙切れ」ランプを含む 3 つのランプが点滅する。	用紙やリボンが印字ヘッドにひっかかっているため、電源投入時の印字ヘッドの左右動作(イニシャル動作)が正常にできない。	電源を切って、印字ヘッドにひっかかているものを取り除いてください。
	印字ヘッドを固定している輸送用固定材が取り外されていないため、電源投入時の印字ヘッドの左右動作(イニシャル動作)が正常にできない。	電源を切って、輸送用固定材を取り外してください。(「輸送用固定材の取り外し」13 ページ参照)
	モータやセンサ、回路の故障、その他を検出した。	電源を切って、修理を依頼してください。
操作パネルのランプは点灯するが、プリンタが動作しない。	カバーが開いているため、動作を停止している。	カバーを閉じてください。
電源投入時「オンライン」ランプが点滅する	印字ヘッドの交換時期が近づいています。	印字ヘッドを交換する必要があります。

■　単票用紙吸入時の不具合

単票用紙吸入がうまくできない場合の、処置方法を説明します。

現象	原因	処置
吸入しない。	カバーが開いているため、動作を停止している。	カバーを閉じてください。
	プリンタがオンライン状態である。	**オンライン**スイッチを押してオフライン状態にしてください。
	給紙口の選択が、「前トラクタ」または「後トラクタ」になっている。	**給紙口**スイッチを押して、「単票手差し」または「カットシートフィーダ」を選択してください。
	「用紙抜取」ランプが点滅している(用紙抜き取り待ち状態となっている)。	一度用紙を抜き取り、1 秒待ってから再吸入してください。
	前回吸入した用紙を、手で引き抜いたため、プリンタの状態が紙有り状態となっている。	**用紙吸入/排出**スイッチを押し、一度排出動作をさせてから、再吸入してください。
	機能設定でオートローディングが無効になっている	**用紙吸入/排出**スイッチを押して吸入させるか、機能設定を変更してください。
吸入途中で排出される。	プラテン直前直後の用紙ガイド(斜面)上に紙粉がたまり、センサが誤検出している。	紙粉を清掃してください。(「清掃のしかた」149 ページ参照)
	単票セットフリーオフのときに、用紙のセットをゆっくり行なったため、規定時間内に吸入動作が完了しなかった。	より素早く用紙をセットしてください。 「装置機能設定」の「ｵｰﾄﾛｰﾃﾞｨﾝｸﾞ」の時間を変更してください。(43 ﾍﾟｰｼﾞ参照)
吸入後キャリアが移動したのちに排出される。	用紙が斜めに給紙された(吸入斜行)を検出した。	用紙を傾かない様に再セットしてください。
	プレプリントによりセンサが誤検出している(プレプリントのない用紙は問題無い)。	プレプリントに関しては、「プレプリント用紙を使用するとき」(115 ページ)を参照してください。
	単票セットフリーオンのとき、用紙幅に問題がある。	幅 100～364㎜(はがき～B4)の用紙を使用してください。
		幅 55～100㎜ 未満、365～420㎜ の用紙は単票セットフリーオフにして使用してください。

現象	原因	処置
吸入後キャリアが移動したのちに排出される。	単票セットフリーオンのとき、セット位置に問題がある。	76 ページを参照し、セット位置を修正してください。
	用紙の形状に問題があり、吸入斜行を誤検出している。	用紙の形状に関しては、「用紙の形状について」(118 ページ)を参照してください。

■　単票用紙排出時の不具合

単票用紙排出がうまくできない場合の、処置方法を説明します。

現象	原因	処置
用紙排出を手前排出(テーブル側)した場合に用紙下端が角折れする。	用紙下端部の印字デューティが高いため、用紙がカールした状態で排出されるため。	**手前排出**スイッチを押して、「手前排出」ランプを消灯して排出方向を後方排出(スタッカ側)にしてください。(33 ページ参照) または、「装置機能設定」の「排出方向(単票)」を「後方排出」に設定してください。(44 ページ参照)

■　連帳用紙吸入時の不具合

連帳用紙がうまく吸入できない場合の処置方法を説明します。

現象	原因	処置
吸入しない。	カバーが開いているため、動作を停止している。	カバーを閉じてください。
	プリンタがオンライン状態である。	**オンライン**スイッチを押してオフライン状態にしてください。
	給紙口が正しく選択されていない。	**給紙口**スイッチを押して、正しい給紙口(「前トラクタ」または「後トラクタ」)を選択してください。
	「用紙抜取」ランプが点灯している(単票テーブル上に放置された用紙を検出している)。	単票テーブル上に放置された用紙を取り除いてください。
	前回吸入した用紙を、手で引き抜いたため、プリンタが紙有り状態となっている。	**用紙吸入/排出**スイッチを押し、一度排出動作をさせてから、再吸入してください。
吸入途中で排出される。	プラテン直前直後の用紙ガイド(斜面)上に紙粉がたまり、センサが誤検出している。	紙粉を清掃してください。(「清掃のしかた」（149 ページ）参照)
吸入途中で用紙づまりとなる。	左右のトラクタ間で用紙が弛んでいる。	左右のトラクタ間隔を軽く用紙が張る程度に調整してください。
	前トラクタ給紙時、単票テーブルを開いている。	単票テーブルを閉じてください。
	用紙の上端部に損傷、折れ曲がりがある。	損傷したり、折れ、曲がりのある連帳を使用しないでください。
	トラクタへのセットで、左右で穴がズレている。	正しくセットし直してください。

■　印字中の問題点

印字中の問題点に対する対処方法を説明します。

現象	原因	処置
プリンタが動作しない。	カバーが開いているため、動作を停止している。	カバーを閉じてください。
印字が始まらない。	「オンライン」ランプが消えている。	**オンライン**スイッチを押して、「オンライン」ランプを点灯させてください。
オンライン状態であるのに、印字できない。	プリンタケーブルの接続に問題がある。	プリタンケーブルを正しく接続してください。
印字開始前に用紙パスが切り替わってしまう。	ドライバのプロパティで設定した用紙パスが正しくない。	ドライバのプロパティで正しく設定してください。
印字音はするのに印字しない。	リボンカセットを取り付けていない。	リホンカセットを取り付けてください。
プリンタ動作中に「用紙切れ」ランプが点滅し、プリンタが停止した。	印字ヘッドの左右動作に異常が発生した。 <要因> 1.段差のある用紙を使用している。 2.紙厚設定が正しくない。 3.用紙つまりが発生した。 4.リボンが印字ヘッドにひっかかった。	電源を切って、用紙仕様、紙厚設定を見直してください。
印字開始直前にアラームとなる。	用紙が厚過ぎる。	「第 4 章 用紙について」を参照し用紙を確認してください。
	段差のある用紙を使用しているため、正常に自動紙厚検出ができない。	手動紙厚調整で印字するか、ドライバのプロパティで用紙厚さを設定してください。

■　印字結果の問題点

印字結果の問題点に対する処置方法を説明します。

現象	原因	処置
リボン汚れが出る。	手動紙厚調整のとき、ダイヤル設定が適正値に対して狭くなっている。	広めに設定し直して(ダイヤルを時計方向にリボン汚れが出なくなるまで回して)ください。
	ドライバのプロパティで設定した用紙厚さが、適正値に対して狭い。	ドライバのプロパティ設定値(枚数)を、リボン汚れが出なくなるまで多くしてください。
	段差のある用紙を使用している。	手動紙厚調整にて印字してください。 (「用紙厚を調整する」87 ページ参照)

現象	原因	処置
リボン汚れが出る。	自動紙厚調整機構の故障。	応急処置として、手動紙厚調整に切り替えて使用することができます。 操作パネルの自動紙厚調整スイッチと微小改行▼スイッチを押しながら電源を入れると「手動」に変更できます。(87 ページ参照)
	リボンカセットの交換時期が近づいている。リボン生地の波うちが激しくなっている。	新しいリボンカセットと交換してください。 (「リボンカセットを交換する」122 ページ参照)
縦棒のつなぎの左右方向にズレが大きい(行間ズレが大きい)。	手動紙厚調整のとき、ダイヤル設定が適正値に対して狭いため、印字ヘッドの左右動作の精度が悪くなっている。	広めに設定し直して(ダイヤルを時計方向にリボン汚れが出なくなるまで回して)ください。
	ドライバのプロパティで設定した用紙厚さが、適正値に対して狭いため、印字ヘッドの左右動作の精度が悪くなっている。	ドライバのプロパティ設定値(枚数)を、リボン汚れが出なくなるまで多くしてください。
	段差のある用紙の段差部分で印字ヘッドの左右動作の精度が悪くなっている。	手動紙厚調整にて印字してください。 (「用紙厚を調整する」87 ページ参照)
	行間ズレ調整が正しくない。	「行間ズレを直す」(55 ページ)を参照し、行間ズレを直してください。
印字がうすい。	手動紙厚調整のとき、ダイヤル設定が適正値に対して広い。	狭めに設定し直してください。(ダイヤルを反時計方向に印字が濃くなるまで回します、狭くし過ぎると故障の原因となるので注意してください。)
	ドライバのプロパティで設定した用紙厚さが適正値に対して広い。	ドライバのプロパティ設定値(枚数)を印字が濃くなるまで少なくしてください。
	段差のある用紙を使用している。	手動紙厚調整で印字してください。 (「用紙厚を調整する」87 ページ参照)

現象	原因	処置
印字がうすい。	自動紙厚調整機構の故障。	応急処置として、手動紙厚調整に切り替えて使用することができます。 操作パネルの自動紙厚調整スイッチと微小改行▼スイッチを押しながら電源を入れると「手動」に変更できます。(87 ページ参照)
	リボンカセットの交換時期が近づいている。リボン生地の印字跡部の黒さが薄くなっている。	新しいリボンカセットと交換してください。
	印字ヘッドの交換時期が近づいています。	印字ヘッドの交換時期が近づくと電源投入時に操作ﾊﾟﾈﾙの「ｵﾝﾗｲﾝ」ﾗﾝﾌﾟが約 5 秒間点滅します。 電源を入れ直しても操作ﾊﾟﾈﾙの「ｵﾝﾗｲﾝ」ﾗﾝﾌﾟが約 5 秒間点滅される場合は、印字ヘッドを交換する必要があります。 当社営業部にご連絡ください。 機能設定の「ﾍｯﾄﾞ交換表示」が「無効」に設定されている場合は、表示を行いません。(53 ページ参照)

現象	原因	処置
印字を構成するドットが横一列に欠ける。	印字ヘッドのピンが折れています。	印字ヘッドを交換する必要があります。
前給紙の場合、印字の上側が欠ける。	リボンカセットが正しく取り付けられていません。	印字を中止して、リボンカセットを正しく取り付けてください。（「リボンカセットを取り付ける」21 ページ参照）
後給紙の場合、印字の下側が欠ける。		
印字が所々でよじれたように欠ける(用紙を変えても発生する)。	リボンがたるんだり、よじれたりしています。	印字を中止して、リボンカセットを点検してください(リボンつまみを回してリボンのよじれが無いか確認します)。
印字行の左端部や右端部で印字の上下が欠ける。(連帳用紙のみ発生する。)	連帳改行時に用紙の綴じ部や用紙送り穴の影響でリボンがズレて、印字左右端部が欠ける。	「その他の設定」の「連帳改行時のリボン保護制御」を「有効」にして使用してください。(53 ページ参照)

■　印字位置の問題点

印字位置に問題点がある場合の処置方法を説明します。

現象	原因	処置
印字開始位置が上、または下にズレる。	ドライバの余白設定に対してプリンタの設定が正しくない。	「余白量設定」の「上端余白量指定」を「ドライバ指定優先」にしてください。(45 ページ参照)
	ドライバでの給紙方法選択、余白の設定、プリンタの上端余白の設定がアプリケーションに適合していない。	アプリケーションに合わせて、ドライバの給紙方法、余白量設定、プリンタの機能設定を正しく設定してください。
	ソフトウェアによっては上端余白の設定を変更する必要が有ります	アプリケーションソフトの説明書で確認してみてください。
	用紙上端のプレプリント禁止領域にプレプリントがある。	プレプリントを修正するか、吸入後用紙の位置合わせを行なって印字してください。
単票セットフリー使用時に印字の左右の位置がズレる。	機能設定の単票左端余白量とドライバの余白設定が異なっている。	プリンタとドライバの設定を合わせてください。
	用紙の左端部に面取、プレプリントがあるために、用紙左端を正しく認識できない。	用紙を修正するか、単票セットフリーをオフにして使用してください。

■　印字位置がページによってズレる

印字位置がページによってズレる場合の処置方法を説明します。

現象	原因	処置
連続用紙の印字位置がページによってズレる。	仕様外用紙を使用しているため、正しく搬送できない。	「第 4 章 用紙について」を参照し、仕様にあった用紙を使用してください。
	連続用紙の置きかたが悪く、正しく搬送できない。	連続用紙はプリンタ給紙口の下に置き、斜めになったり、途中に引っかかりのない様にしてください。また、箱からスムーズに引きだされない用紙は、箱から出して設置してください。
	用紙のページ長さと、ソフトウェアのページ長設定値が異なる。	ソフトウェアのページ長指定に合う用紙を使用してください。
	用紙の特性により、吸入位置に対してわずかながら印字位置がずれる事がある。	機能設定で補正してください。補正の行いかたについては、「機能設定を変える」(38 ページ)を参照してください。

■　カットシートフィーダ使用時の不具合

カットシートフィーダ使用時の不具合点に対する処置方法を説明します。

現象	原因	処置
カットシートフィーダが動作しない。	カットシートフィーダのコネクタがプリンタに接続されていない。	プリンタ本体の電源を切断し、コネクタを接続してください。
用紙が吸入しない。	左右の用紙ガイドで用紙をきつくはさんでいる。	用紙に対して適正なゆとりを持って、用紙ガイドをセットしてください。
	用紙が厚すぎる。	仕様にあった用紙を使用してください。
	セットした用紙が多すぎる（赤線を越えている）。	用紙ガイドの赤線以内にセットしてください。
	用紙つまりが発生している。	つまった用紙を取り除いてください。
	セットレバーが「FREE」になっている。	セットレバーを「SET」にしてください。

現象	原因	処置
用紙が吸入しない。	操作パネルの「給紙口」ランプの表示が「前トラクタ」、「後トラクタ」または「単票手差し」になっている。	操作パネルの給紙口スイッチを操作し「カットシートフィーダ」にセットしてください。
用紙が吸入しない。	カットシートフィーダがプリンタにきちんとセットされていません。	正しくセットし直してください。（「カットシートフィーダを取り付ける」155 ページ参照）
複数枚の用紙が同時に送られてしまう。	用紙を十分にさばいていない。	用紙を十分にさばいてからセットしてください。
	用紙が薄すぎる。	仕様にあった用紙を使用してください。
	用紙に折れ曲がりがある。	折れ曲がりの無い用紙を使用してください。
	左右の用紙ガイドの隙間が狭すぎるか、広過ぎる。	用紙カイドを用紙幅に合わせて正しくセットしてください。
	紙置台内の用紙が不揃いの状態でセットされている。	用紙を揃えて紙置台内に正しくセットしてください。
	種類の異なった用紙が混在している。	用紙の種類は一種類にして紙置台へセットしてください。
紙づまりが起きる。	左右の用紙ガイドの隙間が狭すぎるか広過ぎる。	用紙カイドを用紙幅に合わせて正しくセットしてください。
	仕様以外の用紙を使用している。	仕様にあった用紙を使用してください。
	用紙に折れ曲がりがある。	折れ曲がりの無い用紙を使用してください。
	種類の異なった用紙が混在している。	用紙の種類は一種類にして紙置台へセットしてください。
	セットした用紙が多すぎる（赤線を越えている）。	用紙ガイドの赤線以内にセットしてください。
用紙排出を手前排出(テーブル側)した場合に用紙下端が角折れする。	用紙下端部の印字デューティが高いため、用紙がカールした状態で排出されるため。	**手前排出**スイッチを押して、「手前排出」ランプを消灯して排出方向を後方排出(スタッカ側)にしてください。(33 ページ参照) または、「装置機能設定」の「排出方向(CSF)」を「後方排出」に設定してください。(44 ページ参照)

テスト印字をする

テスト印字は、次の手順で行います。

1　**単票用紙または連続帳票用紙をセットする**

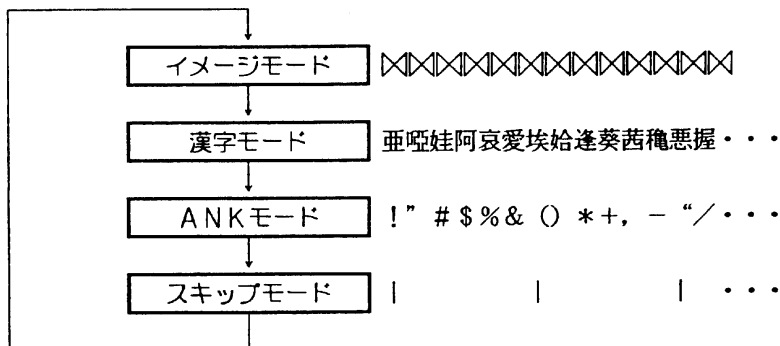
2　**電源を切る**

（電源スイッチが（〇）側に倒れていることを確認します。）

3　**手前排出/改行スイッチを押しながら電源を入れ、操作パネルのランプがすべて点灯したらスイッチを離す**

用紙が無くなるまで、連続して印字します。

・テストモードを切り替えるとき

印字中に**印字モード/改ページ**スイッチを押すと、印字ヘッドが左端または右端に移動したときに、順次テストモードが切り替わります。

漢字モードおよびANKモードのとき、電源投入時のエミュレーションにより印字内容が異なります。

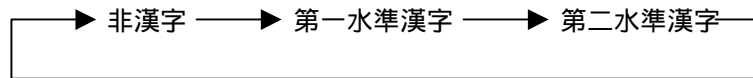
【FMエミュレーション】

・漢字モードのとき、

の印字を繰り返します。

・ANKモードのとき、ドラフト文字を印字します。

【ESC/P エミュレーション】

・漢字モードのとき、

の印字を繰り返します。

・ANK モードのとき、高品位文字を印字します。

• 印字速度を切り替えるとき

印字中に**印字モード/改ページ**スイッチを押すと、印字ヘッドが左端または右端に移動したときに、印字得度が切り替わります。

スイッチを押すたびに、高速印字モード、標準印字モード、低騒音モードが切り替わります。高速印字モードのときは、「高速」ランプ、低騒音モードのときは「低騒音」ランプが点灯します。

• 標準印字/高複写モードを切り替えるとき

印字中に**高複写**スイッチを押すと、印字ヘッドが左端または右端に移動したときに、印字密度が切り替わります。

スイッチを押すたびに、標準印字モードと高複写モードが交互に切り替わります。高複写モードのときは、「高複写」ランプが点灯します。

• 明朝体/ゴシック体を切り替えるとき

印字中に**用紙カット/用紙吸入/排出**スイッチを押すと、印字ヘッドが左端または右端に移動したときに、印字の字体が切り替わります。

スイッチを押すたびに、明朝体とゴシック体が交互に切り替わります。

4　テスト印字中にオンラインスイッチを押すと、テスト印字が終了する

HEX ダンプ印字をする

HEX ダンプ印字は、プログラムの診断に利用してください。パソコンからプリンタへ送られてきたデータを 16 進数のまま印字します。

HEX ダンプ印字は次の手順で行います。

1　単票用紙または連続帳票用紙をセットする

2　手前排出/改行と印字モード/改ページスイッチを同時に押しながら、電源を入れ、ランプがすべて点灯してからスイッチを離す

HEX ダンプを印字できる状態になります。

3　印字データを送る

パソコンから送られるデータは 16 進数のまま印字されます。1 行にみたないデータは印字されず、**オンライン**スイッチを押してオフライン状態にすると印字されます。

4　HEX ダンプ印字を解除する

電源をいったん切ってから、もう一度投入してください。

清掃のしかた

プリンタを良好な状態で使用できるように、定期的に清掃してください。

⚠ 注意

感　電	**プリンタの清掃を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずにプリンタの清掃を行うと、感電の原因となることがあります。**
高　温	**印字した直後は、印字ヘッドが高温になります。温度が下がったことを確かめてから、清掃してください。やけどの原因となることがあります。**

お願い

・シンナーやベンジンなど、揮発性の薬品は使用しないでください。プリンタの表面が変質したり、変形したりする恐れがあります。
・プリンタの内部を濡らさないでください。電気回路がショートする恐れがあります。
・プリンタに潤滑油を補給しないでください。プリンタの故障の原因となる場合があります。

清掃は、次の手順で行います。

1　プリンタの電源を切り、電源コンセントを抜く

2　トップカバーを開ける

3　プリンタを清掃する

印字した用紙が汚れたり、カバー部が汚れたりしているときは、中性洗剤を薄めた水に清潔な軟らかい布を浸し、よく絞ってカバー表面、プラテン、およびゴムローラの表面を拭いてください。プリンタ内の紙粉は除去してください。

お願い

印字ヘッドなどの壊れやすい部品には触らないように注意してください。破損の原因となります。

4　トップカバーを閉じて、電源を入れる

プリンタを輸送するとき

プリンタを衝撃から守るため、以下の手順で梱包してから輸送してください。

1 **プリンタの電源を一旦入れた後に切る**

（電源スイッチが（○）側に倒れていることを確認します。）

一旦電源を入れることで、印字ヘッドが移動し、以降の作業ができる状態になります。

2 **用紙を取り去り、リアスタッカを取り外す**

3 **プラグを電源コンセントから抜いて、プリンタケーブルをプリンタから外す**

4 **リボンカセットを取り外す**

（「リボンカセットを交換する」122 ページ参照）

5 **リアスタッカを包装する**

6 **印字ヘッドを手でゆっくりと右端まで移動する**

7 **印字ヘッドを保護するために、輸送用固定材を取り付ける**

8 **プリンタを衝撃から守るために梱包材などでくるみ、届いたときと同じ状態にして箱に入れる**

アフターサービス

・本製品に添付されている**「お客様登録カード」にご記入のうえ、必ずご返送ください**。ご返送くださったお客様に、「保証書」を送付いたします。

・保証書をお持ちのお客様には、次のサービスを実施させていただきます。保証書の規定による本製品の**無償修理サービス（お買い上げ日より６ヶ月間**に限ります。詳細につきましては、保証書をご覧ください。）

・プリンタのご使用にあたっては、純正のサプライ用品をお使いください。サプライ品以外の用品をお使いになったことによる製品の誤動作および故障に関しましては、当社は一切責任を負いかねますのでご了承ください。

・操作および機能についてのご不明な点や、修理につきましては、当社営業部に相談ください。

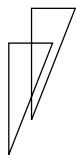
富士通アイソテック株式会社　営業部

〒206-8503　東京都稲城市大丸　1405

電話番号	お問い合わせ受付時間
ﾌﾘｰﾀﾞｲﾔﾙ　0120－106－722	月曜日～金曜日　 9:00　～　17:00 土、日、祝祭日、夏季、年末年始は休ませていただきます。（弊社都合により、これら以外に休ませていただく場合がございます）

第6章

オプション

この章では、オプションの種類および取り付け、取り外しについて説明します。

オプションの概要

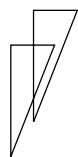
本プリンタには、次のオプションがあります。

◆ カットシートフィーダ（SF940）

単票用紙を一枚ずつ連続的に送る自動給紙装置です。プリンタの前部または後部に取り付けて使用します。

◆ トラクタユニット

連続帳票用紙をセットする装置です。プリンタに標準添付されているトラクタ同様にプリンタの前方、後方のどちらにでも取り付けることができます。トラクタユニットを追加することにより、同時に 2 種類の連続帳票用紙をセットすることができます。トラクタユニットの取り扱いについては、24〜27 ページ,163 ページ以降を参照してください。

⚠ 警告	**感　電　オプション機器を接続する場合には、当社推奨品以外の機器は接続しないでください。感電・火災または故障の原因となります。**

カットシートフィーダを取り付ける

カットシートフィーダは、プリンタの前部または後部に取り付けて使用します。前後両方に取り付けることもできます。本プリンタでは、カットシートフィーダ SF940 を使用できます。

⚠ 警告	**感　電**	**カットシートフィーダを取り付けたり、取り外したりするときは、必ずパソコンと本プリンタの電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いたあとに行なってください。感電の原因となります。**

ガイド

・プリンタの前側にカットシートフィーダを取り付けた場合は、トラクタユニットは取り付けられません。取り外したトラクタユニットはプリンタの後方に取り付けられます。

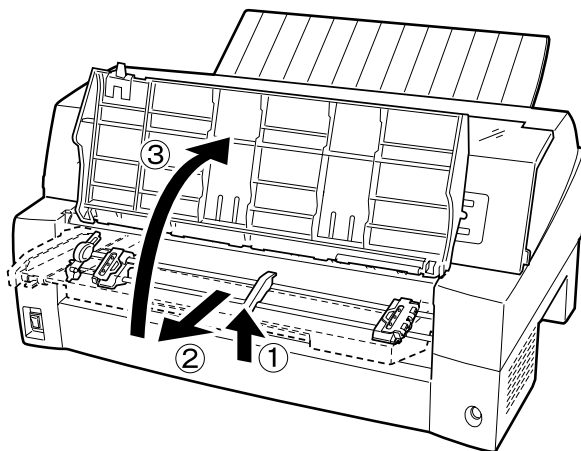
・カットシートフィーダをプリンタの前後両方に取り付けた場合は、「その他の設定」の「CSF ビン 1 選択」（52 ページ）でどちらを優先して使用するかを設定する必要があります。

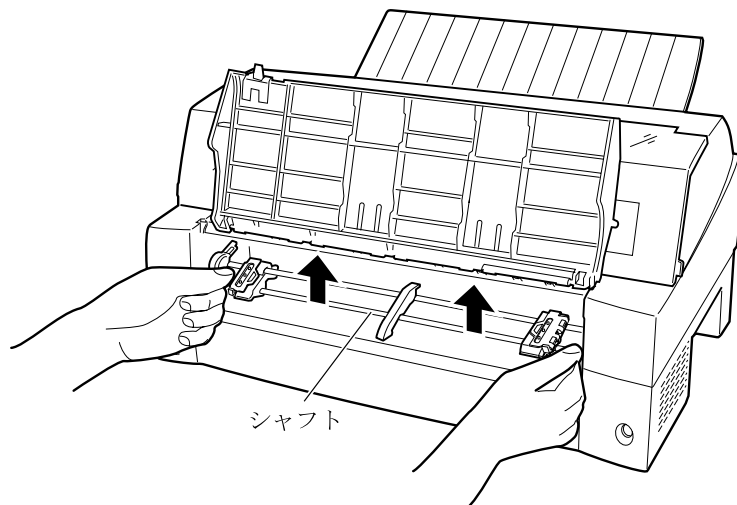
■　プリンタ前部に取り付ける

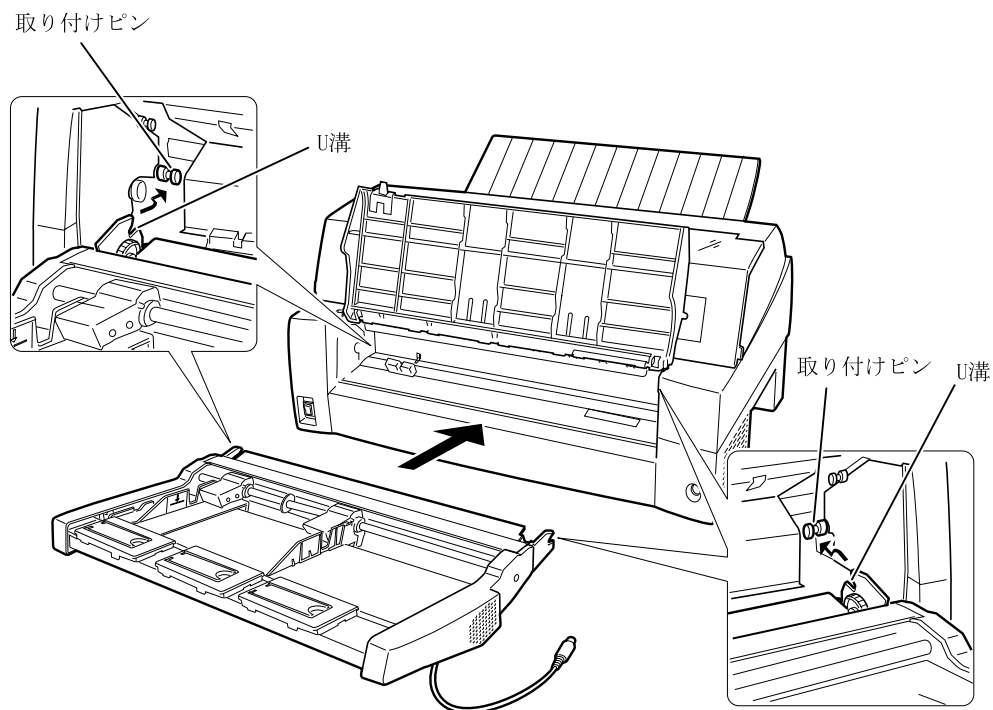
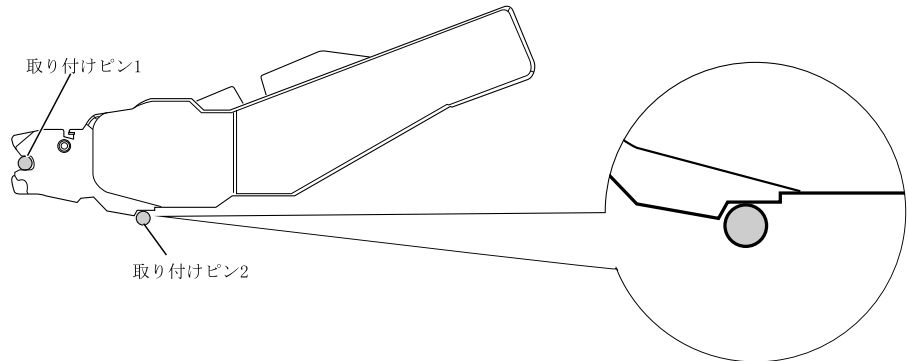
1　プリンタの電源を切る

プリンタの電源が「○」側に倒れていることを確認します。

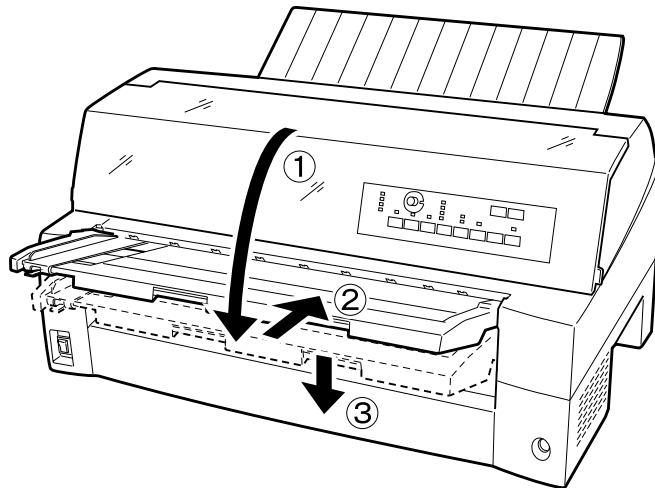
2　単票テーブルを開く

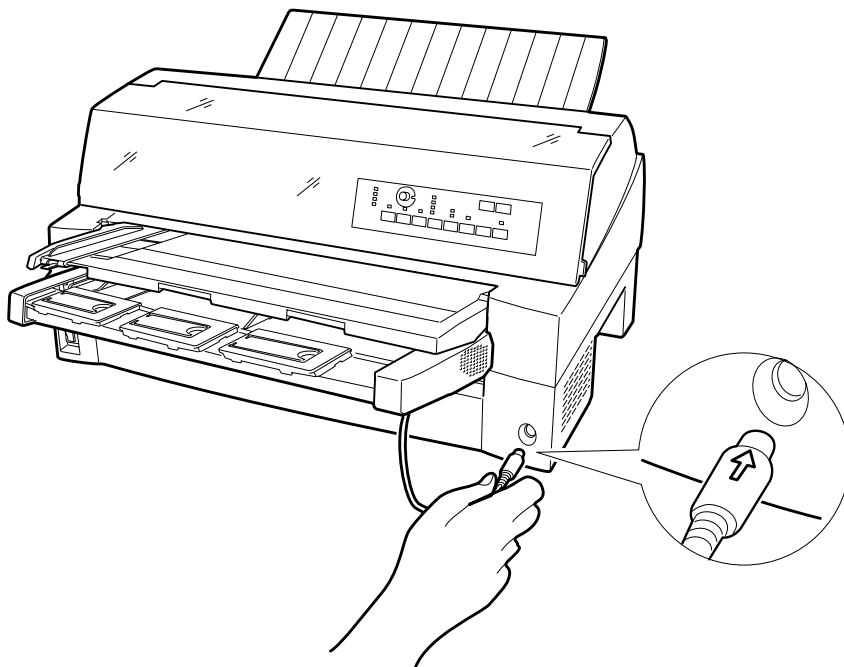
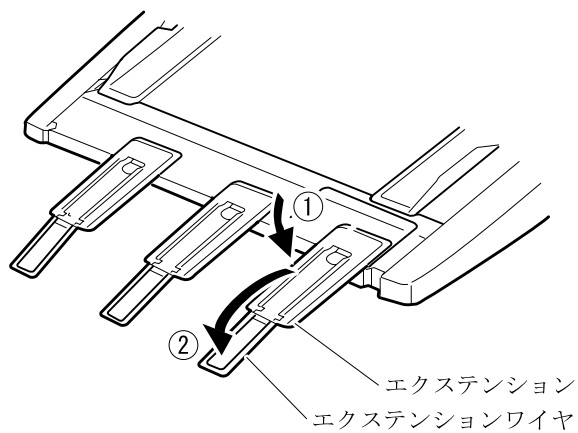
単票テーブルの先端を少し持ち上げ（①）、手前に引いた後（②）、回転させて開きます（③）。

3　トラクタユニットを取り外す

単票テーブルを開きます。トラクタユニット手前側のシャフトの左右を上方に持ち上げてロックを外し、トラクタユニットを取り外します。

4　カットシートフィーダを取り付ける

カットシートフィーダの両側にある U 溝を、プリンタの奥の取り付けピンに差し込み、ゆっくりと下ろします。

取り付けピン 2 にカットシートフィーダのフレームが正しく乗っていることを確認してください。

5　単票テーブルを元に戻す

単票テーブルを下図のように回転させた（①）のち、奥に押し込んで（②）閉じます（③）。

単票テーブルのセットが正しくないと、用紙づまりの原因となります。

6 ケーブルを接続する

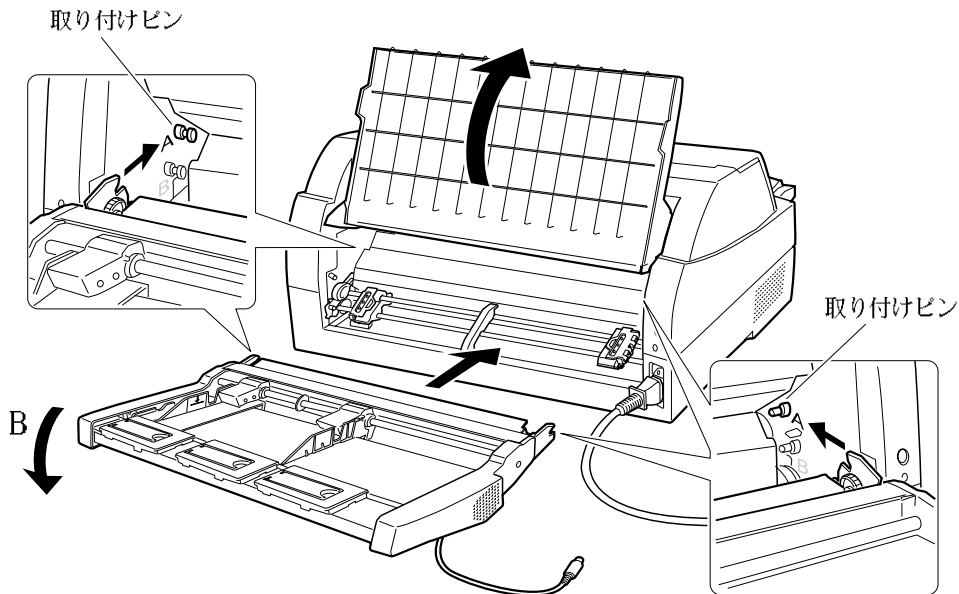
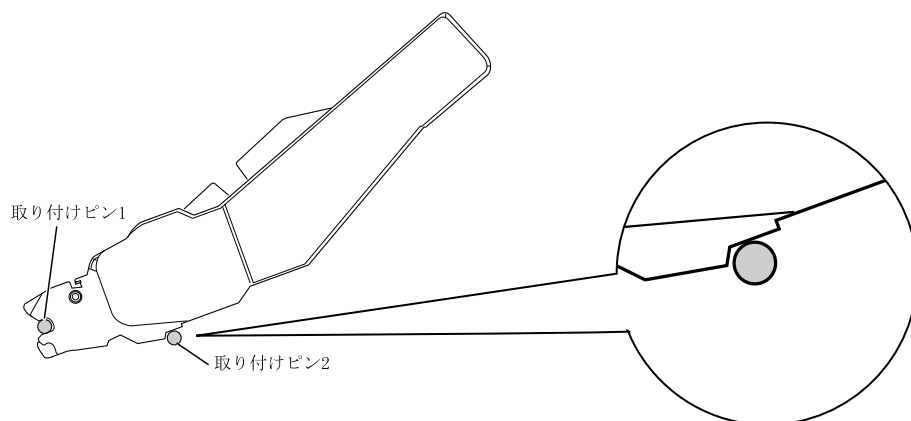
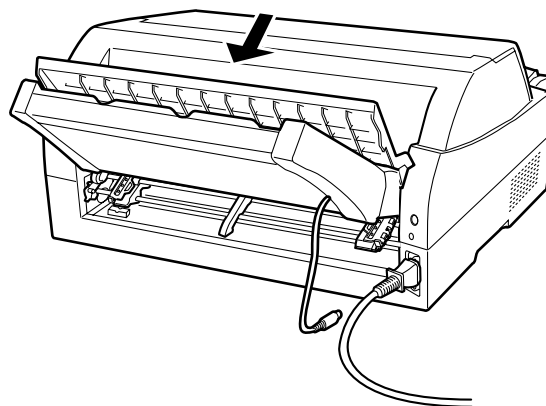
カットシートフィーダのケーブルを、プリンタ前面の右側にあるコネクタに接続します。コネクタの矢印を上にして挿入します。

7 使用する用紙サイズに合わせ、エクステンションおよびエクステンションワイヤを①、②の順に展開する

■ プリンタ後部に取り付ける

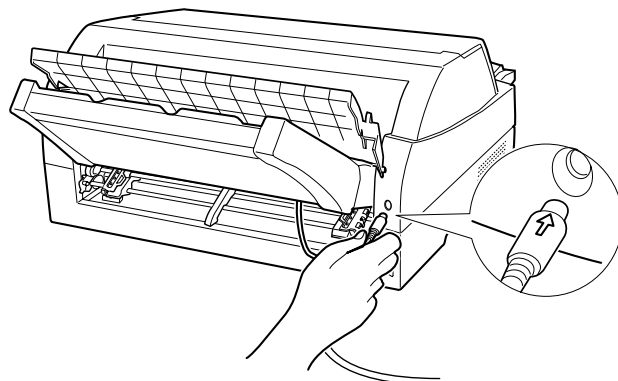
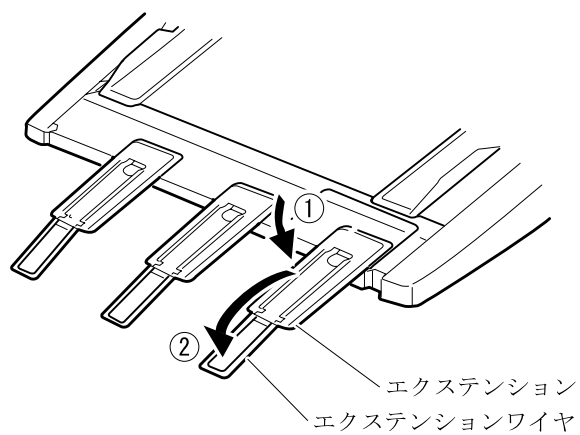
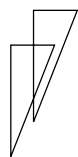
プリンタ後部は、カットシートフィーダとトラクタユニットの同時搭載が可能です。
カットシートフィーダの取り付けは、プリンタの電源を切ってから行います。

1 プリンタの電源を切る

プリンタの電源が「○」側に倒れていることを確認します。

2 カットシートフィーダを取り付ける

リアスタッカを開きます。カットシートフィーダの両側を持ち、カットシートフィーダの両側にある U 溝を、プリンタの奥にある取付けピンに差し込みます。（カットシートフィーダのラベル A をプリンタ側の刻印 A に合わせて差し込みます。）そのまま取付けピンを支点にして、矢印 B の方向に回転させるように下ろします。

取り付けピン２にカットシートフィーダのフレームが正しく乗っていることを確認してください。

3　リアスタッカを閉じる

4　ケーブルを接続する

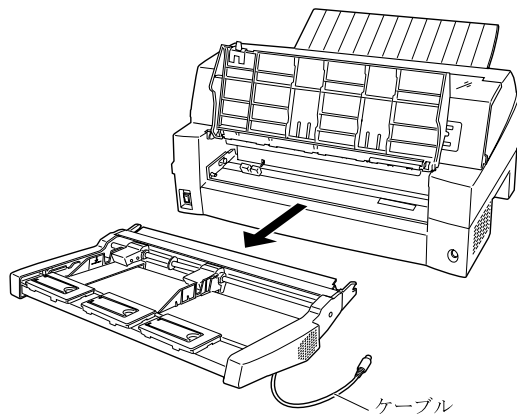
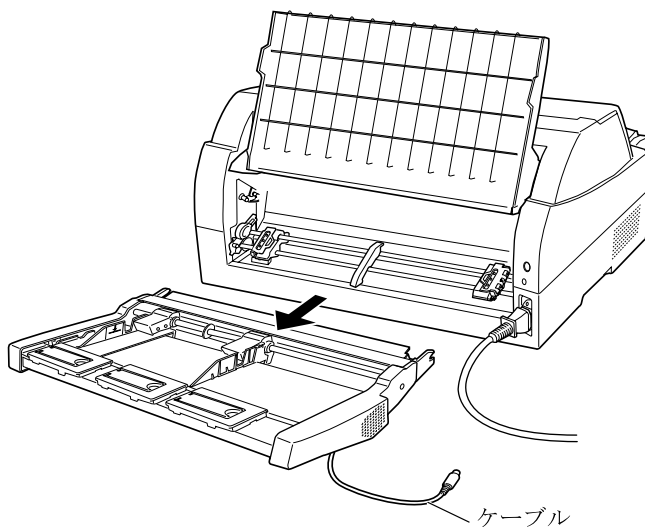
カットシートフィーダのケーブルを、プリンタ後面に向かって右側にあるコネクタに接続します。コネクタの矢印を上にして挿入します。

5　使用する用紙サイズに合わせ、エクステンションおよびエクステンションワイヤを①、②の順に矢印の方向に展開する

カットシートフィーダを取り外す

1　**プリンタの電源を切る**

2　**カットシートフィーダのケーブルを抜く**

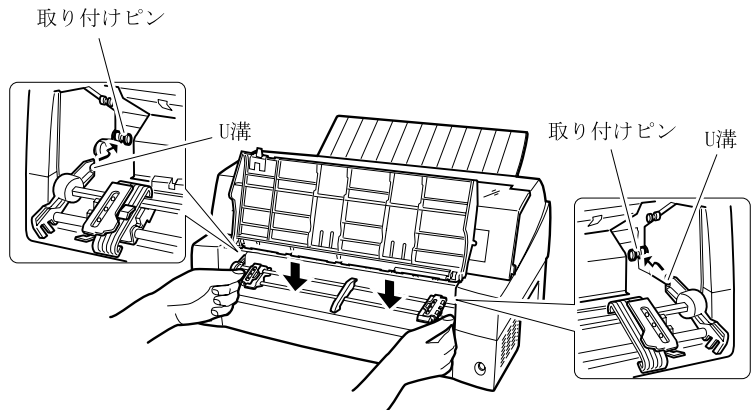
3　**カットシートフィーダを取り外す**

⚠ 警告	**感　電**　**カットシートフィーダを取り付けたり、取り外したりするときは、必ずパソコンと本プリンタの電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いたあとに行なってください。感電の原因となります。**

プリンタ前部に取り付けた場合

プリンタ後部に取り付けた場合

ガイド

トラクタユニットの取り付けを以下に示します。

1）トラクタユニット左右の U 溝をプリンタの取り付けピンに合わせます。（左側の取り付けピンの溝に合わせて取り付けます。右側の取り付けピンには、溝はありません。）

2）トラクタユニット手前側のシャフトをカチッと音がするまで押し下げてロックします。

3）下図のように取り付けピン 2 にトラクタユニットの左右のロック部が固定されていることを確認してください。

付　録

プリンタの概略仕様

・**印字方式**　ワイヤドットマトリックス

・**印字速度**

（文字/秒）

	FMモード	ESC/Pモード
漢字（27/180インチ）	80　(56)	80　(56)
漢字（高速印字）	160（112）	160（112）
ANKレギュラ（パイカ）	120　(84)	120　(84)
ANKレギュラ（エリート）	144（101）	144（101）
ANKドラフト（パイカ）	240（169）	360（254）
ANKドラフト（エリート）	288（203）	432（305）

注）　（　）の値は高複写モード時の速度

・**ドット径**　0.2㎜

・**ドットピッチ**　1/180インチ（縦、横共）

・**印字桁数**

漢字全角　：90（文字/行）
半角漢字　：180（文字/行）
ANK（パイカ）　：136（文字/行）
ANK（エリート）　：163（文字/行）

・**印字動作**　両方向最短距離印字

・**複写能力（コピー能力）**

標準モード：5枚、高複写モード：8枚

・**イメージ印字　行ドット数**

FMモード選択時　2448
ESC/Pモード選択時　4896

・**用紙送り**
用紙送り方式　：押込みトラクタ方式（連続帳票用紙）
　フリクション方式（単票用紙）
改行間隔　：1/360インチ×n
　（nはプログラム設定による）
改行速度　：約60ms（1/6インチ改行時）

・**スタッカ容量（単票）**　120枚以下（A4サイズ、1P用紙、連量55kg）
・用紙の種類、サイズ、カールの度合いや、印字デューティ、使用環境などにより減少しますので、ご注意ください。

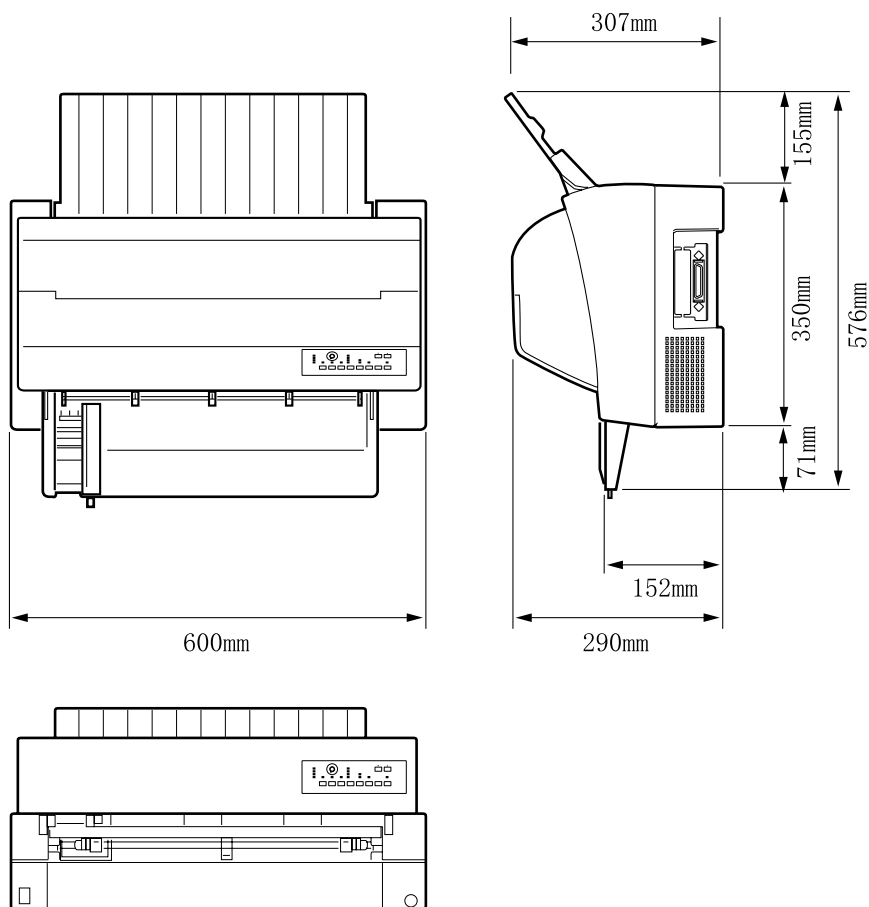
- **使用環境**　温度：稼動時　5～35°C
  非稼動時　－15～60°C
  湿度：稼動時　30～80%RH
  （最高湿球温度 29°C以下）
  非稼動時　5～95%RH
  （ただし、結露しないこと。湿度勾配 30%RH/日以下）
- **インタフェース**
  セントロニクス社準拠パラレルインタフェース
- **電源仕様**　入力電源種別：商用単相
  電源電圧　：AC100V±10%
  電源周波数　：50/60±1Hz
- **消費電力**　平均 70W（最大 165W）
  待機時 10W 以下
- **外形寸法**　600㎜（幅）×350㎜（奥行）×290㎜（高）
- **重　量**　約 17kg
- **稼動音**　60ｄB（A）以下
- **リボン**　種類：エンドレスリボンカセット
  （リボンカセットインク補給型）
  リボン寿命：
  500 万字（ANK ドラフト文字）

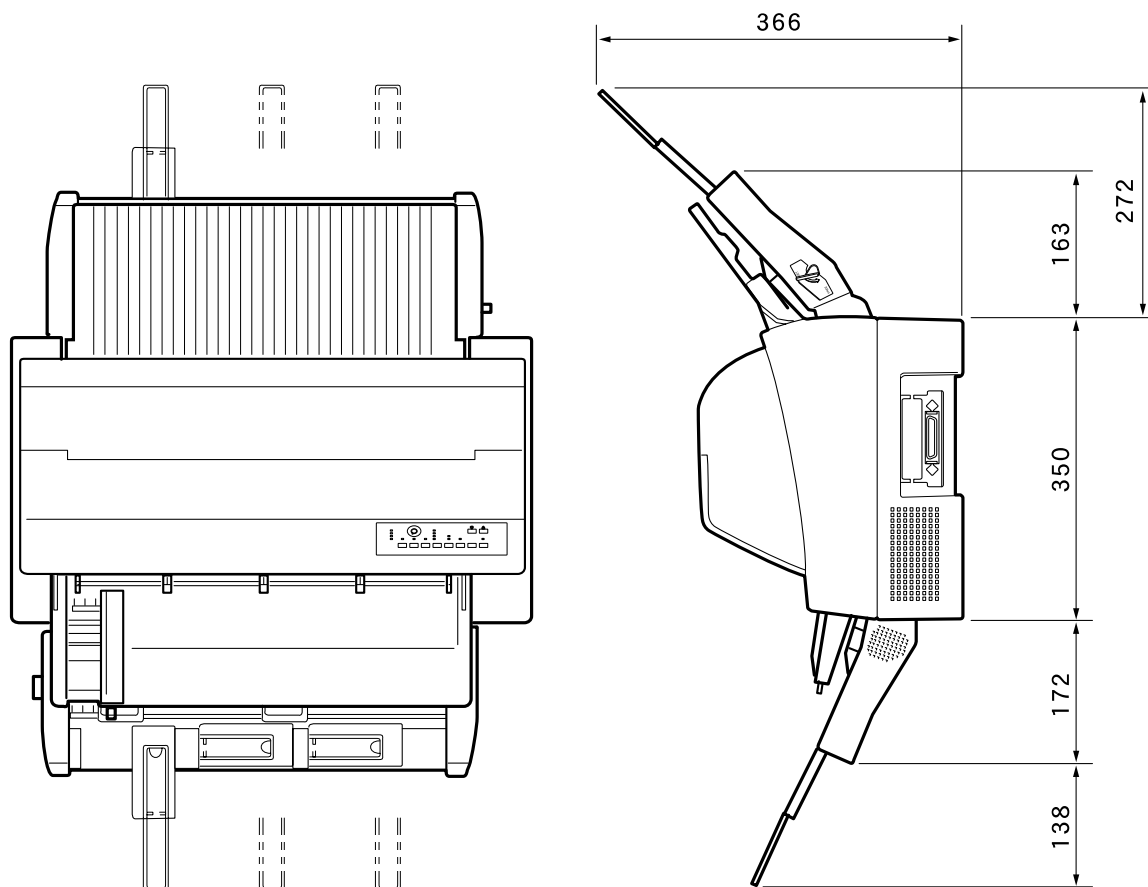
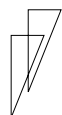
注）　上記の寿命は、製造後 2 年以内のものを下記の環境で保存した場合に保証する値です。
温度－10～50°C
湿度 20～90%RH
色：黒単色

- **耐用期間**　プリンタ装置：
  5 年（電源の通電条件:8 時間/日以内）
  または 500 万行（いずれか早い方）
  耐用期間はプリンタの設置環境、使用頻度により大幅に変動します。
  24 時間通電による運用の耐用期間は 1/3 に減少します。
  印字ヘッド：
  通常モード　3 億打/ピン
  高複写モード　2 億打/ピン
- **制限事項**
  連続改行　LF モータ劣化防止のため、連続改行、連続改ページ動作は 3 分間以上行なわないでください。
  高密度印字　印字ヘッド劣化防止のため、５０%デューティ以上のパターンを印刷すると、3 分割印字になることがあります。

逆改行動作	・逆改行動作は改行乱れの原因となる場合がありますので、十分確認の上ご使用ください。 ・カットシートフィーダ使用の場合は 1/3 インチ以上の逆改行はできません。 ・連帳用紙使用時に 22 インチを越える逆改行動作は、用紙づまりや用紙ガレの原因となるため行なわないでください。
連続印字	印字ヘッドの温度上昇による劣化を防止のため、連続印刷をおこなうと 3 分割印字になることがあります。

外観図

■　標準外観図

■　カットシートフィーダ(オプション)取り付け時の外観図

◆　カットシートフィーダを前面と後面に取り付けたときの外観図

インタフェース仕様

◆ インタフェースコネクタ

プリンタ側：レセプタクル：アンフェノール(DDK)57-40360 相当
ケーブル側：プラグ　　　：アンフェノール(DDK)57-30360 相当

◆ インタフェースケーブル

素　材　　：7/φ0.12 (AWG28 相当)以上
タイプ　　：シールド
長　さ　　：フラットケーブル：1.5m 以下
　　　　　　ツイストケーブル：3.0m 以下

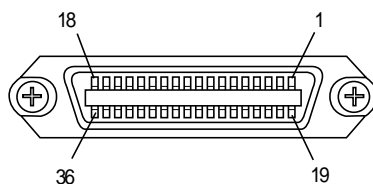
◆ 信号レベル

LOW　　　：0.0V～＋0.4
HIGH　　 ：＋2.4V～＋5.0V

◆ データ転送方式

8 ビットパラレル

◆ コネクタピン配列

インタフェースコネクタ（36 ピン）

● ESC/P モード

ピン No.	信　号	ピン No.	信　号
1	*STROBE	19	*STROBE-RET
2	DATA1	20	DATA1-RET
3	DATA2	21	DATA2-RET
4	DATA3	22	DATA3-RET
5	DATA4	23	DATA4-RET
6	DATA5	24	DATA5-RET
7	DATA6	25	DATA6-RET
8	DATA7	26	DATA7-RET
9	DATA8	27	DATA8-RET
10	*ACKNLG	28	*ACKNLG-RET
11	BUSY	29	BUSY-RET
12	PE	30	*INIT-RET
13	SLCT	31	*INIT
14	*AUTO FEED XT	32	*ERROR
15	NC	33	SG
16	SG	34	NC
17	FG	35	NC
18	NC	36	*SLCT IN

注 1） -RET 信号は、すべて SG に接続されています。

注 2） “*"は、負論理信号であることを示します。

・入力信号の説明

DATA1～8 プリンタの受信データです。
“Ｈ”で信号あり、“Ｌ”で信号なしです。

*STROBE DATA1～8 を読み込むためのパルス信号です。
定常状態では“Ｈ”です。“Ｈ”から“Ｌ”になるとき、データを読み込みます。

*INIT プリンタを初期状態にする信号です。
初期状態については、161 ページを参照してください。
“Ｌ”になるとプリンタは初期状態になります。

*SLCT IN DC1/DC3 を無効にする信号です。
電源投入時に“Ｌ”になっていると、DC1/DC3 コードが無効になります。

*AUTO FEED XT
復帰改行する信号です。
“Ｌ”になっていると、CR コードを受信して復帰改行します。

・出力信号の説明

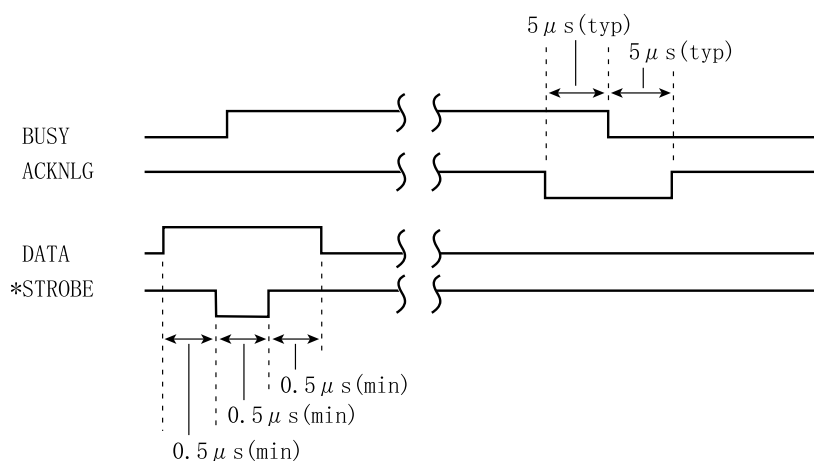
*ACKNLG　*STROBE に対する応答信号です。
データ入力完了時に出力される負のパルス信号です。

PE　用紙切れを通知する信号です。
用紙が残り少なくなると、この信号は“H”になり、「用紙切れ」ランプが点灯します。

BUSY　プリンタのビジー状態を通知する信号です。
この信号が“H”のとき、プリンタはビジー状態で、データは受信できません。
以下の状態のとき、この信号は“H”です。
受信データ処理中、アラーム状態、オフライン状態、電源投入時または*INIT 信号を受信しての初期化動作中

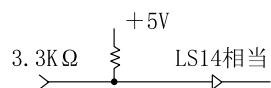
SLCT　常に“H”です。

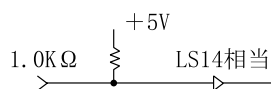
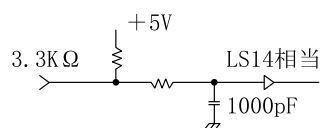
*ERROR　アラーム状態、オフライン状態を通知する信号です。
この信号が“L”のときは、アラーム状態、オフライン状態です。

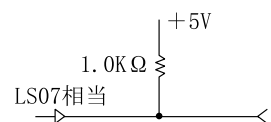
・タイミングチャート

◆ インタフェース回路

・入力回路

ピン No.	ESC/P モード
2〜9	DATA1〜8

＋5V
3.3KΩ
LS14相当

ピン No.	ESC/P モード
14	*AUTOFEED XT

＋5V
1.0KΩ
LS14相当

ピン No.	ESC/P モード
1	*STROBE
31	*INIT
34	NC

・出力回路

ピン No.	ESC/P モード
10	*ACKNLG
11	BUSY
12	PE
13	SLCT
15	NC
32	*ERROR
33	SG
18	NC

ESC/P モードの制限事項

このプリンタは、FM モードと ESC/P モードの 2 種類のプリンタの動作モードに対応しています。
ここでは、このプリンタを ESC/P モードで運用するときの制限事項について説明します。

◆ サポートコマンド

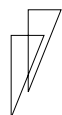
このプリンタは、ESC/P 24-J84 に準拠していますが、印字方式、解像度の違いによりサポートしていないコマンドがあるので注意してください。
(「ESC/P モードコマンド一覧表」186 ページ参照)

◆ プリンタの動作モードの切り替え

機能設定で、プリンタの動作モードを FM モードまたは、ESC/P モードに設定することができます。
(38 ページ参照)

◆ ソフトウェアの設定

次のプリンタドライバを使用してください。
Windows のとき　：fit7400 プリンタドライバ（プリンタ添付）

MS-DOS とき　　：VP-1700 または VP-1000 用

初期状態

■　FMモード

電源投入時、*INIT/*INPRM受信時、およびリセットコマンド（RIS/RBS）受信時の初期状態を下表に示します。

	電源投入、*INIT	**リセットコマンド**
解像度	180dpi	同左
行受信バッファ	クリア	〃
左端、右端の設定	左端＝左端1 ＝左端2 ＝1ドット（始端） 右端＝2448ドット （終端）	〃
タブ設定（水平，垂直）	すべて解除	〃
ページ長	11インチ	〃
スキップパーフォレーション行	0行	〃
改行ピッチ	1/6インチ	〃
書　体（ANK）	ドラフト	〃
ANK文字ピッチ	1/10インチ	〃
ANK文字サイズ	標準	〃
ANKアンダーライン	なし	〃
スーパ/サブスクリプト指定	解除	〃
プロポーショナル指定	解除	〃
プロポーショナル空白幅	1/10インチ	〃
書　体	明朝/ゴシック（注	〃
漢字指定	ANKモード	〃
漢字文字ピッチ	3/20インチ	〃
漢字縦書き	横書き	〃
漢字縦書き時の文字回転	物理的に左90°回転	〃
半角縦書きの制御	2文字ペア	〃
漢字アンダーライン	なし	〃
漢字文字サイズ	標準	〃
漢字縦拡大の基準	上端合わせ	〃
罫線接続	接続しない	〃
漢字未定義コード	■印字	〃
外字登録	すべてクリア	保　持
フロント/リアシートフィーダ搭載時	用紙排出	同　左
フロント/リアシートフィーダのホッパから吸入する用紙の指定	一般紙	〃

注）　機能設定の「書体」の設定によります。

■ ESC/P モード

電源投入時、*INIT 受信時、およびリセットコマンド(ESC@）受信時の初期状態を下表に示します。

	電源投入、*INIT	ESC@
ページ先頭位置	初期化時に印字ヘッドのある位置	同左
印刷バッファ	クリア	〃
メカニズム	印字ヘッドをホームポジションに移動	しない
ダウンロード文字 外字定義文字	クリア	クリアしない
ページ長	11 インチ（注 1）	
ミシン目スキップ	解除（注 1）	
右マージン	136 桁(10CPI の文字幅による)	
左マージン	0	
改行量	1/6 インチ/行（注 1）	
水平タブ位置	8 文字ごとの水平タブ	
垂直タブ位置	無指定	
文字ピッチ	10 文字/インチ（注 1）	
プロポーショナル	解除	
英数カナ文字書体	クーリエ（注 1）	
文字品位	高品位（注 1）	
国際文字選択	日本（注 1）	
文字コード表	カタカナコード表（注 1）	
文字間スペース量	0	
文字装飾	解除	
縮小	解除（注 1）	
漢字モード	解除	
漢字書体	明朝体（注 1）	
縦書き/横書き	横書き	
全角文字/半角文字/・角文字	全角文字	
全角漢字の左右スペース量	左スペース量：0 右スペース量：3	
半角漢字の左右スペース量	左スペース量：0 右スペース量：2	
1/4 角文字の左右スペース量	左スペース量：0 右スペース量：2	
漢字装飾	解除	
単方向印字	解除（注 1）	
漢字高速印字	解除（注 2）	
カットシートフィーダモード	第 1 ビン選択	

注 1） 機能設定の内容により、初期状態が異なります。上記は、機能設定が出荷時の状態の場合です。

注 2） ただし、**印字モード/改ページ**スイッチにより高速印字モードにしていた場合、ESC@受信では高速印字を解除しません。

コマンド一覧表

本プリンタで使用できるコマンドについて、簡単に説明します。FM モードのコマンドの詳細は、別売の「FM プリンタシーケンスリファレンスマニュアル（シリアルプリンタ編）」(マニュアルコード：80HP-0700-＊)をご覧ください。
（マニュアルコード：80HP-0700-＊の末尾「＊」は版数を表します。）

お願い

本プリンタでは、1 インチ以上の逆改行を行わないでください。これを行うと、印字が乱れたり、用紙づまりの原因になったりします。

ガイド

フロント/リアシートフィーダ給紙の場合、逆改行のトータル量は 1/3 インチ以下とします。

◆ 表の見方

・＜　　＞$_{16}$内の文字は 16 進表記です。

・コマンド欄の記号は、次のコードを意味します。
ESC＝＜1B＞$_{16}$　　CSI＝＜1B＞$_{16}$＋＜5B＞$_{16}$
CEX＝＜1C＞$_{16}$　　PUI＝＜1B＞$_{16}$＋＜51＞$_{16}$

・␣は、スペース（空白$<20>_{16}$）を示します。

・Pa、P_1、P_2、…、Pn はパラメータを示します。

■ FMモードコマンド一覧表

このプリンタは、基本ピッチが1/180インチです。FMモードでは180dpiモードで動作します。
また、このプリンタのドット位置は次のとおりです。
始端：1ドット
終端：2448ドット

FMモードのコマンドは、下表のとおりです。

※欄の記号は次の意味を表します。
○：本プリンタで使用できる
×：本プリンタではサポートしていない

機能名称		名　称		コマンド	機　能	※
装置制御	リセット	RIS	リセット	ESC+c	プリンタを初期状態にします。 初期状態については「初期状態」(188ページ)を参照してください。	○
		RBS	リセット	CEX+]		
	動作モード設定	DCH	解像度変更指定	PU1+Pa+!+A	解像度を変更します。	×
	装置制御	DC1	デバイス・コントロール1	<11>$_{16}$	オンライン状態にします。	○
		DC3	デバイス・コントロール3	<13>$_{16}$	印字後、オフライン状態にします。	
		PDIR	印字方向指定	PU1+Pa+␣+`	印字方向を指定します。 Pa＝　0　両方向印字指定（初期値） 1　片方向印字指定	○
		HSPR	高速印字指定	PU1+Pa+␣+ー	高速印字を指定します。 Pa　＝0　通常印字（初期値） 1　高速印字	
		BEL	ベ　ル	<07>$_{16}$	ブザーが鳴ります。 装置機能設定の「ブザー」の設定がオフに設定してある場合は無効です。	○
		CAN	抹　消	<18>$_{16}$	バッファ内のデータをクリアします。	
		DEL	削　除	<7F>$_{16}$	1文字削除します。	

機能名称		名　称		コマンド	機　能	※
ページ制御	用紙制御	CSF	カットシート フィーダ制御	PU1+Pa+␣+[	カットシートフィーダの動作（吸入・排出)、吸入する用紙の種類と吸入口を指定します。 Pa＝　0　用紙を吸入 1　用紙を排出 10　一般紙 （上端余白約 22.0㎜) (注 1) 11　はがき縦 （上端余白約 12.7㎜) 12　はがき横 （上端余白約 9.7㎜) 20　第 1 ビン 21　第 2 ビン 22　無効	○
		CSF2	カットシート フィーダ制御 2	PU1+Pa+␣+\	カットシートフィーダの自動給紙を指定します。 Pa＝　0　自動給紙を解除 3　自動給紙を指定	
	印字領域	SPF	自動改ページ指定	PU1+Pa+␣+K	スキップパーフォレーション行を指定します	○
		LMRG	左端指定	PU1+P1+;+P2+␣+Q	左端位置を指定します。	
	ページ長設定	PGL1	ページ長指定 1	PU1+Pa+␣+A	行単位でページ長を指定します。	○
		PGL2	ページ長指定 2	PU1+Pa+␣+B	インチ単位でページ長を指定します。	
印字位置制御	基本制御	CR	復　帰	<0D>$_{16}$	印字後、受信位置を同一行の左端にします。	○
		BS	後　退	<08>$_{16}$	印字後、受信位置を 1 文字分後退します。	
		LF	改　行	<0A>$_{16}$	印字後、受信位置を次の行の左端にします。	
		NEL	復　改	ESC+E		
		NEL	復　改	CEX+@		
		FF	改ページ	<0C>$_{16}$	印字後、受信位置を次のページの左端にします。	

注 1)　上端余白とは、用紙の上端から印字開始行の文字上端までのことをいいます。

機能名称		名　称		コマンド	機　能	※
印字位置制御	ピッチ制御	CP	漢字文字ピッチ指定	CEX+$+Pa	漢字文字ピッチを指定します。	○
		LP	改行ピッチ指定	CEX+%+Pa	改行ピッチを指定します。	
		LP2	改行ピッチ指定2	PU1+P1+;+P2+␣+G	P1/P2 インチで改行ピッチを指定します。	
		SPI	改行ピッチ/ANK 文字ピッチ指定	CSI+P1+;+P2+␣+G	改行ピッチおよびANK文字ピッチを指定します。	
	タブ位置設定	HTS	水平タブセット	ESC+H	現在位置に水平タブストップを設定します。	○
		SCT	水平タブセット	CEX+F		
		STF	水平タブ位置指定	CEX+#+P1+ …+Pn	水平タブストップを指定します。	
		HTSA	水平タブ位置指定	CSI+P1+;+…+Pn+␣+N		
		VTS	垂直タブセット	ESC+J	現在行に垂直タブストップを設定します。	
		SLT	垂直タブセット	CEX+H		
		VTSA	垂直タブ位置指定	PU1+P1+;+…+Pn+␣+@	垂直タブストップを指定します。	
	タブ位置解除	RCT	水平タブリセット	CEX+G	現在位置の水平タブストップを解除します。 ＴBCでPa＝0を指定したときと同じです。	○
		RLT	垂直タブリセット	CEX+I	現在行の垂直タブストップを解除します。 ＴBCでPa＝1を指定したときと同じです。	
		TBC	タブクリア	CSI+Pa+g	タブストップを解除します。 Pa＝ 0 現在位置の水平タブストップを解除 （RCＴと同じ） （初期値） 1 現在行の垂直タブストップを解除 （RLＴと同じ） 3 すべての水平タブストップを解除 4 すべての垂直タブストップを解除	

機能名称		名　称		コマンド	機　能	※
印字位置制御	タブ移動	HT	水平タブ	<09>$_{16}$	受信位置を、次の水平タブストップに進めます。	
		CHBT	水平逆タブ	CEX+D	印字後、受信位置を手前の水平タブストップにします。	
		HPA	絶対水平タブ	CSI+Pa+␣	受信位置を指定した位置にします。	
		HPA2	絶対水平タブ 2	PU1+Pa+␣+P	受信位置を指定します。	
		HPR	相対水平タブ	CSI+Pa+a	受信位置を指定した分だけ進めます。	
		PS	指定間隔	CEX+!+Pa		
		HPB	相対水平逆タブ	CSI+Pa+j	同一行内で、指定した分だけ受信位置を戻します。	○
		VT	垂直タブ	<0B>$_{16}$	印字後、受信位置を次の垂直タブストップにします。	
		VPA	絶対垂直タブ	CSI+Pa+d	印字後、受信位置を指定した行の左端にします。（注 2）	
		VPR	相対垂直タブ	CSI+Pa+e	印字後、受信位置を指定した行の左端にします。	
		SAP	動作位置指定	CEX+"+P1+P2	印字後、受信位置を指定した位置にします。（注 2）	
		HVP	動作位置指定	CSI+P1+;+P2+f		
	行組み	LC	行組み指定	CEX+)+P1+P2+P3+P4	右端、左端 1、左端 2 を指定します。	
		KNL1	漢字復改 1	CEX+A	印字後、受信位置を次の行の左端 1 にします	
		KNL2	漢字復改 2	CEX+B	印字後、受信位置を次の行の左端 2 にします	○
		NPH	段　落	CEX+C	印字後、受信位置を次の行の左端から漢字 1 文字分進めます。	
文字印字制御	漢字/ANK	SCS	漢字指定	ESC+$+@	JIS^{-78} 漢字モードを指定します。	
				ESC+$+B	JIS^{-83} 漢字モードを指定します。	○
			ANK 指定	ESC+(+H	ANK モードを指定します。	

注 2）　このプリンタは、逆改行動作に制限があります。（168 ページ参照）印字位置に誤差が生じたり、他のプリンタでは逆改行動作をできなかったりする場合がありますので、逆改行動作を伴うコマンドは使用しないことをおすすめします。

<table>
<tr><th colspan="2">機能名称</th><th colspan="2">名　称</th><th>コマンド</th><th>機　能</th><th>※</th></tr>
<tr><td rowspan="13">印字位置制御</td><td rowspan="2">漢字/ANK</td><td>TF</td><td>書体指定</td><td>CEX+(+P1+P2</td><td>ANK 文字と漢字文字の書体を指定します。
・レギュラ文字はドラフト文字より印字速度が低下します。
・レギュラ文字で文字ピッチを1/10 インチ未満にすると文字の右側が欠けることがあります。<table><tr><td></td><td>P_1=0
(ANK)</td><td>P_1=1
(漢字)</td></tr><tr><td>P_2=0</td><td>ドラフト</td><td>明朝</td></tr><tr><td>P_2=1</td><td>レギュラ</td><td>ゴシック</td></tr></table>←初期値（P_2=0 行）</td><td rowspan="2">○</td></tr>
<tr><td>HSS2</td><td>半角指定 2</td><td>PU1+Pa+␣+｜</td><td>1 バイト半角文字を指定します。
Pa＝　0　標準文字（ANK 文字）
（初期値）
1　半角文字</td></tr>
<tr><td rowspan="2">プロポーショナル</td><td>SPS</td><td>欧文ピッチ処理開始</td><td>CEX+T</td><td>プロポーショナル印字を指定します。</td><td rowspan="2">○</td></tr>
<tr><td>EPS</td><td>欧文ピッチ処理終了</td><td>CEX+U</td><td>プロポーショナル印字を解除します。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">上つき/下つき文字</td><td>SSP</td><td>上つき文字開始</td><td>CEX+N</td><td>上つき文字を指定します。</td><td rowspan="4">○</td></tr>
<tr><td>ESP</td><td>上つき文字終了</td><td>CEX+O</td><td>上つき文字を解除します。</td></tr>
<tr><td>SSB</td><td>下つき文字開始</td><td>CEX+P</td><td>下つき文字を指定します。</td></tr>
<tr><td>ESB</td><td>下つき文字終了</td><td>CEX+Q</td><td>下つき文字を解除します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">拡大/縮小</td><td>KGM</td><td>漢字拡大印字指定</td><td>CEX+'+P1+P2</td><td>漢字文字の拡大（縮小）印字のサイズを指定します。
SFC コマンドのスケーラーブル指定が無効の場合
P_1,P_2 の範囲 50,100,200%
SFC コマンドのスケーラーブル指定が有効の場合
P_1,P_2 の範囲 1～999%</td><td rowspan="2">○</td></tr>
<tr><td>GSM</td><td>ANK 倍幅拡大印字指定</td><td>CSI+P1+;+P2+␣+B</td><td>ANK 文字の倍幅拡大印字を指定します。
縦方向に 100%、横方向に 100、200% を指定できます。</td></tr>
</table>

機能名称		名　称		コマンド	機　能	※
文字印字制御	拡大/縮小	SFC	スケーラブル文字制御	PU1+P1+;+P2+;+P3+;+P4+;+P5+!+Q	スケーラブル文字を制御します。 P_1＝　0　スケーラブル無効（初期値） 　　　1　スケーラブル有効 P_2＝　0　ドットフォント優先 　　　1　アウトラインフォント優先 P_3＝　0　固定 P_4＝　0　固定 P_5＝　0　200%拡大時にアウトラインフォント使用 　　　1　200%拡大時にドットフォント使用	×
	強調	HL	カラー/漢字アンダーライン指定	CEX+*+Pa	漢字アンダーラインを指定します。 Pa＝　0　通常印字（初期値） 　　　4漢字アンダーライン 　　　10 　　　13 　　　15　無　効 　　　16	○
		SGR	カラー/ANK アンダーライン指定	CSI+Pa+m	ANK アンダーラインを指定します。 Pa＝　0　通常印字（初期値） 　　　4ANK アンダーライン 　　　30 　　　33 　　　35　無　効 　　　36	
	縦書き横書き	VWF	漢字縦書き指定	CEX+J	漢字の縦書きを指定します。	○
		VWF2	漢字縦書き指定2	PU1+Pa+␣+q	漢字縦書き時の文字の回転の扱いを指定します。 Pa＝　0　物理的に 90 度回転（初期値） 　　　1　パターンによる最適変換	
		HWF	漢字横書き指定	CEX+K	漢字の横書きを指定します。	
		HVWF	半角文字縦書き指定	PU1+Pa+␣+p	漢字縦書き時の半角文字の扱いを指定します。 Pa＝　0　2 文字ペア（初期値） 　　　1　1 文字中心	

機能名称		名　称		コマンド	機　能	※
文字印字制御	その他	KC	罫線接続指定	PU1+Pa+␣+t	罫線接続を指定します。 Pa　＝0　接続しない （初期値） 1　接続する	○
		KUDC	漢字未定義ｺｰﾄﾞ	PU1+Pa+␣+x	漢字未定義コードの扱いを指定します。 Pa　＝0　■印字（初期値） 1　漢字スペース	
		TSS	スペース幅指定	CSI+Pa+␣+E	プロポーショナル文字のときの、スペースコードの幅を指定します。	
イメージデータ印字	イメージ処理	NIMG	イメージ転送	PU1+Pa+␣+W+データ	イメージを印字します。	○
		SIMG	単密度倍幅イメージ転送	PU1+Pa+␣+V+データ	単密度倍幅イメージを印字します。	
		DIMG	倍幅イメージ転送	PU1+Pa+␣+X+データ	倍幅イメージを印字します。	
外字登録	外字登録	CPT	外字登録	CEX+2+0+P1+P2+D1+…+D144	24×24 ドットの、ユーザ定義文字を登録します。	○
		CPT2	外字登録 2	CEX+2+1+P1+P2+D1+…+D576	48×48 ドットの、ユーザ定義文字を登録します。	×

【非推奨コマンド】

以下のコマンドは逆改行動作を伴います。

このプリンタは、逆改行動作に制限があります。(168 ページ参照)印字位置に誤差が生じたり、他のプリンタでは逆改行動作をできない場合がありますので、以下のコマンドは使用しないことをおすすめします。

<table>
<tr><th colspan="2">機能名称</th><th colspan="2">名　称</th><th>コマンド</th><th>機　能</th><th>※</th></tr>
<tr><td rowspan="5">非推奨コマンド</td><td rowspan="2">逆改行タブ</td><td>LBT</td><td>垂直逆タブ</td><td>CEX+E</td><td>印字後、受信位置を手前の垂直タブストップの左端にします。</td><td rowspan="2">○</td></tr>
<tr><td>VPB</td><td>相対垂直逆タブ</td><td>CSI+Pa+k</td><td>印字後、指定した行だけ逆改行して受信位置を左端にします。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">印字位置</td><td>KSM</td><td>漢字モードセット</td><td>CEX+－+t</td><td>文字中心合わせを指定します。</td><td rowspan="3">○</td></tr>
<tr><td>KRM</td><td>漢字モードリセット</td><td>CEX+.+t</td><td>文字下端合わせを指定します。</td></tr>
<tr><td>KUPF</td><td>漢字基準線指定</td><td>PU1+Pa+␣+d</td><td>文字中心/下端/上端合わせを指定します。</td></tr>
</table>

■ ESC/P モードコマンド一覧表

ESC/P モードコマンドは、下表のとおりです。

機能名称		名　称	コマンド	機　能
書式設定・実行	印字領域設定	行単位ページ長設定	ESC＋C＋Pa	行単位でページ長を設定します。
		インチ単位ページ長設定	ESC＋C＋NUL＋Pa	インチ単位でページ長を設定します。
		ミシン目スキップ設定	ESC＋N＋Pa	ページ長下端からのミシン目スキップ位置を設定します。
		ミシン目スキップ解除	ESC＋O	ミシン目スキップ設定を解除します。
		右マージン設定	ESC＋Q＋Pa	右マージン位置を桁数で設定します。
		左マージン設定	ESC＋ l ＋Pa	左マージン位置を桁数で設定します。
	改行量設定	1/8 インチ改行量指定	ESC＋0	改行量を 1/8 インチに設定します。
		1/6 インチ改行量指定	ESC＋2	改行量を 1/6 インチに設定します。
		n/180 インチ改行量指定	ESC＋3＋Pa	改行量を Pa/180 インチに設定します。
		n/60 インチ改行量指定	ESC＋A＋Pa	改行量を Pa/60 インチに設定します。
		n/360 インチ改行量指定	ESC ＋ ＋＋Pa	改行量を Pa/360 インチに設定します。
	タブ設定	垂直タブ位置設定	ESC＋B＋P_1＋P_2＋…Pn＋NUL	ページ先頭行からの垂直タブ位置を設定します。
		水平タブ位置設定	ESC＋D＋P_1＋P_2＋…Pn＋NUL	左マージン位置からの水平タブ位置を設定します。
		VFU チャネル選択	ESC＋/＋Pa	チャネル番号を指定します。
		VFU タブ位置設定	ESC＋ b ＋Pa＋P_1＋…Pn＋NUL	Pa で指定されたチャネル番号に対して、ページ先頭行からの垂直タブ位置を設定します。
	印字・紙送り	印字復帰	CR	バッファ内のデータを印字後、受信位置を同一行の左マージン位置にします。
		改行	LF	バッファ内のデータを印字後、現在の改行ピッチに従って受信位置を次行の左マージン位置にします。
		改ページ	FF	バッファ内のデータを印字後、設定されているページ長にしたがって改ページします

機能名称			名　称	コマンド	機　能
書式設定・実行	印字・紙送り		n/180 インチ順方向紙送り	ESC＋J＋Pa	1/180 インチ単位で、受信位置を現在位置からの移動量で指定します。
	印字位置設定		水平タブ実行	HT	受信位置を同一行の次の水平タブ位置へ移動します。
			垂直タブ実行	VT	バッファ内のデータを印字後、受信位置を次の垂直タブ位置の左マージン位置へ移動します。
			後退	BS	受信位置を直前の文字の文字ピッチに従って１文字分左へ移動します。
			絶対位置指定	ESC＋＄＋P_1＋P_2	受信位置を左マージン位置からの移動量で指定します。
			相対位置指定	ESC＋￥＋P_1＋P_2	受信位置を現在位置からの移動量で指定します。
テキスト処理	ANK文字	文字セット	12CPI 指定	ESC＋M	ANK 文字のピッチを 12CPI に設定します
			10CPI 指定	ESC＋P	ANK 文字のピッチを 10CPI に設定します。
			15CPI 指定	ESC＋ｇ	ANK 文字のピッチを 15CPI に設定します。
			プロポーショナル指定/解除	ESC＋ｐ＋Pa	プロポーショナル印字の指定、解除を行います。
			国際文字選択	ESC＋R＋Pa	各国別の文字セットを選択します。
			スーパー/サブスクリプト指定	ESC＋S＋Pa	ANK 文字のスーパー/サブスクリプトを指定します。
			スーパー/サブスクリプト解除	ESC＋Ｔ	スーパー/サブスクリプトの指定を解除します。
			文字品位選択	ESC＋ｘ＋Pa	ANK 文字の文字品位を指定します。
			書体選択	ESC＋ｋ＋Pa	ANK 文字の書体を指定します。
			文字コード表選択	ESC＋ｔ＋Pa	ANK 文字のコード表を選択します。
		文字定義	ダウンロード文字セット指定/解除	ESC＋%＋Pa	ANK 文字のダウンロード文字セットの指定、解除を行います。
			ダウンロード文字定義	ESC ＋ ＆ ＋ NUL＋P_1＋P_2＋｛Pa_1＋Pb_1＋Pc_1＋D_1～Dn｝×ｎ	ダウンロード文字を定義するコードを指定し、定義開始コードおよび定義終了コードを指定します。
			文字セットコピー	ESC＋：＋NUL＋P_1＋P_2	ダウンロード文字セットへコピーする書体を選択します。

機能名称			名　称	コマンド	機　能
テキスト処理	ANK文字	文字ピッチ調整	文字間スペース量設定	ESC＋␣＋Pa	ANK 文字幅に付加するスペース量を指定します。
		位置揃え選択	位置揃え選択	ESC＋ａ＋Pa	文字の印字位置の揃えかたを指定します。
		装飾	縮小指定	SI	ANK 文字の縮小印字を指定します。どちらのコマンドも同一内容の ANK 文字縮小印字をします。
			縮小指定	ESC＋SI	
			縮小解除	DC2	ANK 文字の縮小印字指定を解除します。
			アンダーライン指定/解除	ESC＋－＋Pa	ANK 文字のアンダーラインの指定、解除を行います。
			縦倍拡大指定/解除	ESC＋ｗ＋Pa	ANK 文字の縦倍拡大の指定、解除を行います。
	共通	装飾	自動解除付き倍幅拡大指定	SO	ANK および漢字文字の自動解除付き倍幅拡大を指定します。
			自動解除付き倍幅拡大指定	ESC＋SO	
			自動解除付き倍幅拡大解除	DC4	ANK および漢字文字の自動解除付き倍幅拡大の指定を解除します。
			倍幅拡大指定/解除	ESC＋W＋Pa	ANK および漢字文字の倍幅拡大の指定、解除を行います。
			強調指定	ESC＋E	ANK および漢字文字の強調文字を指定します。
			強調解除	ESC＋F	ANK および漢字文字の強調文字指定を解除します。
			二重印字指定	ESC＋G	ANK および漢字文字の二重印字を指定します。
			二重印字解除	ESC＋H	ANK および漢字文字の二重印字指定を解除します。
			自動解除付き倍幅拡大指定	FS＋SO	ANK および漢字文字の自動解除付き倍幅拡大を指定します。
			自動解除付き倍幅拡大解除	FS＋DC4	ANK および漢字文字の自動解除付き倍幅拡大の指定を解除します。
			一括指定	ESC＋！＋Pa	ANK 文字および漢字の文字修飾を一括指定します。

機能名称			名　称	コマンド	機　能
テキスト処理	共通	装飾	イタリック指定	ESC＋4	ANK および漢字文字のイタリック印字を指定します。
			イタリック解除	ESC＋5	ANK および漢字文字のイタリック印字指定を解除します。
			文字スタイル選択	ESC＋ｑ＋Pa	ANK および漢字文字の文字スタイルを選択します。
	漢字	装飾	縦書き指定	FS＋J	漢字文字の縦書きを指定します。
			横書き指定	FS＋K	漢字文字の横書きを指定します。
			半角縦書き 2 文字指定	FS＋D	漢字文字 2 文字の半角組み文字を指定します。
			4 倍角指定/解除	FS＋W＋Pa	漢字文字の 4 倍角の指定、解除を行います。
			漢字アンダーライン指定/解除	FS＋－＋Pa	漢字アンダーラインの指定、解除を行います。
			漢字一括指定	FS＋！＋Pa	漢字文字および ANK 文字の文字修飾を一括指定します。
		文字セット	漢字モード指定	FS＋＆	漢字モードを指定します。
			漢字モード解除	FS＋.	漢字モード指定を解除します。
			半角文字指定	FS＋SI	漢字文字の半角印字を指定します。
			半角文字解除	FS＋DC2	漢字文字の半角印字指定を解除します。
			1/4 角文字指定	FS＋ｒ＋Pa	漢字文字の 1/4 角文字の印字を指定します。
			漢字書体選択	FS＋ｋ＋Pa	漢字文字の書体を選択します。
		文字定義	外字定義	FS＋2＋P_1＋P_2＋D_1～D_{72}	外字登録コード、登録パターンを指定します。
		文字ピッチ調整	全角文字スペース量設定	FS＋S＋P_1＋P_2	漢字全角文字に付加するスペース量を指定します。
			半角文字スペース量設定	FS＋T＋P_1＋P_2	漢字半角文字および 1/4 角文字に付加するスペース量を指定します。
			半角文字スペース量補正	FS＋U	漢字半角文字のスペース量を 2 文字ごとに補正します。
			半角文字スペース量補正解除	FS＋V	漢字半角文字のスペース量補正の指定を解除します。

機能名称		名　称	コマンド	機　能
イメージ処理		8ドット単密度ビットイメージ	ESC＋K＋P_1＋P_2＋D_1～Dn	8ビット単密度のビットイメージを指定します。
		8ドット倍密度ビットイメージ	ESC＋L＋P_1＋P_2＋D_1～Dn	8ビット倍密度のビットイメージを指定します。
		8ドット倍速倍密度ビットイメージ	ESC＋Y＋P_1＋P_2＋D_1～Dn	8ビット倍速倍密度のビットイメージを指定します。
		8ドット4倍密度ビットイメージ	ESC＋Z＋P_1＋P_2＋D_1～Dn	8ビット4倍密度のビットイメージを指定します。
		ビットイメージ選択	ESC＋＊＋Pa＋P_1＋P_2＋D_1～Dn	ビットイメージのモードおよびカラム数を指定します。
		ビットイメージ変換	ESC＋？＋P_1＋P_2	8ビット系のビットイメージ(ESC＋K,ESC＋L,ESC＋Y,ESC＋Z)のビットイメージを変換します。
補助機能	初期化	初期化	ESC＋@	プリンタを初期状態にします。
	キャリッジ制御	単方向印字指定/解除	ESC＋U＋Pa	単方向印字の指定、解除を行います。
		漢字高速印字指定/解除	FS＋ｘ＋Pa	漢字高速印字の指定、解除を行います。
		リターンホーム	ESC＋＜	プリントヘッドを左端まで移動します。
	データ入力制御	デバイスコントロール1	DC1	プリンタを選択状態にします。
		デバイスコントロール3	DC3	プリンタを非選択状態にします。
		1文字削除	DEL	直前のデータを1文字クリアします。
		データ抹消	CAN	バッファ内のデータをクリアします。
	CSF制御	カットシートフィーダ制御	ESC＋EM＋Pa	プリンタの給紙方法を選択します。
	カラー選択	カラー選択	ESC＋ｒ＋Pa	このコマンドは無効です。
	ブザー	ブザー	BEL	ブザーを鳴動させます。

キャラクタコード一覧表

■ FM モードキャラクタコード一覧表

FM モードのキャラクタコードは以下のとおりです。

下位＼上位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0				0	@	P	`	p	▁	┴		ー	タ	ミ	═	×
1		DC1	!	1	A	Q	a	q	▂	┬	。	ア	チ	ム	╞	円
2			"	2	B	R	b	r	▃	┤	「	イ	ツ	メ	╪	年
3		DC3	#	3	C	S	c	s	▄	├	」	ウ	テ	モ	╡	月
4			$	4	D	T	d	t	▅	▔	、	エ	ト	ヤ	◢	日
5			%	5	E	U	e	u	▆	─	・	オ	ナ	ユ	◣	時
6			&	6	F	V	f	v	▇	│	ヲ	カ	ニ	ヨ	◥	分
7	BEL		'	7	G	W	g	w	█	▕	ァ	キ	ヌ	ラ	◤	秒
8	BS	CAN	(	8	H	X	h	x	▏	┌	ィ	ク	ネ	リ	♠	〒
9	HT		)	9	I	Y	i	y	▎	┐	ゥ	ケ	ノ	ル	♥	市
A	LF		*	:	J	Z	j	z	▍	└	ェ	コ	ハ	レ	♦	区
B	VT	ESC	+	;	K	〔	k	{	▌	┘	ォ	サ	ヒ	ロ	♣	町
C	FF	CEX	,	<	L	¥	l	|	▋	╭	ャ	シ	フ	ワ	●	村
D	CR		−	=	M	〕	m	}	▊	╮	ュ	ス	ヘ	ン	○	人
E			.	>	N	^	n	‾	▉	╰	ョ	セ	ホ	゛	╱	▒
F			／	?	O	_	o	DEL	┼	╯	ッ	ソ	マ	゜	╲	

■ ESC/P モードキャラクタコード一覧表

ESC/P モードのキャラクタコードは以下のとおりです。

◆ カタカナコード

下位＼上位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	NUL		SP	0	@	P	'	p	▁	┴		ー	タ	ミ	═	×
1		DC1	!	1	A	Q	a	q	▂	┬	。	ア	チ	ム	╞	円
2		DC2	”	2	B	R	b	r	▃	┤	「	イ	ツ	メ	╪	年
3		DC3	#	3	C	S	c	s	▄	├	」	ウ	テ	モ	╡	月
4		DC4	$	4	D	T	d	t	▅	▔	、	エ	ト	ヤ	◢	日
5			%	5	E	U	e	u	▆	─	.	オ	ナ	ユ	◣	時
6			&	6	F	V	f	v	▇	│	ヲ	カ	ニ	ヨ	◥	分
7	BEL		’	7	G	W	g	w	█	▕	ァ	キ	ヌ	ラ	◤	秒
8	BS	CAN	(	8	H	X	h	x	▏	┌	ィ	ク	ネ	リ	♠	〒
9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y	▎	┐	ゥ	ケ	ノ	ル	♥	市
A	LF		*	:	J	Z	j	z	▍	└	ェ	コ	ハ	レ	♦	区
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{	▌	┘	ォ	サ	ヒ	ロ	♣	町
C	FF	FS	,	<	L	¥	l	¦	▋	╭	ャ	シ	フ	ワ	●	村
D	CR		−	=	M	]	m	}	▊	╮	ュ	ス	ヘ	ン	○	人
E	SO		.	>	N	^	n	~	▉	╰	ョ	セ	ホ	゛	╱	▒
F	SI		/	?	O	_	o		┼	╯	ッ	ソ	マ	゜	╲	

注 1） 〈15〉1$_6$ を除く、〈00〉$_{16}$〜〈7F〉$_{16}$ はカタカナコード、拡張グラフィックスコードに共通です。

注 2） 〈23〉$_{16}$、〈24〉$_{16}$、〈40〉$_{16}$、〈5B〉$_{16}$〜〈5E〉$_{16}$、〈60〉$_{16}$、〈7B〉$_{16}$〜〈7E〉$_{16}$ のコードは国際文字選択によって入れ替わります。

【国際文字コード】

国＼コード16進	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
アメリカ	#	$	@	[	＼	]	^	`	{	¦	}	~
フランス	#	$	à	°	ç	§	^	`	é	ù	è	¨
ドイツ	#	$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
イギリス	£	$	@	[	＼	]	^	`	{	¦	}	~
デンマーク I	#	$	@	Æ	Ø	Å	^	`	æ	ø	å	~
スウェーデン	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü
イタリア	#	$	@	°	＼	é	^	ù	à	ò	è	ì
スペイン I	Pt	$	@	¡	Ñ	¿	^	`	¨	ñ	}	~
日本	#	$	@	[	¥	]	^	`	{	¦	}	~
ノルウェー	#	¤	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
デンマーク II	#	$	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
スペイン II	#	$	á	¡	Ñ	¿	é	`	í	ñ	ó	ú
ラテンアメリカ	#	$	á	¡	Ñ	¿	é	ü	í	ñ	ó	ú

◆ 拡張グラフィックスコード

下位＼上位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	NUL		SP	0	@	P	`	p	Ç	É	á	░	└	╨	α	≡
1		DC1	!	1	A	Q	a	q	ü	æ	í	▒	┴	╤	ß	±
2		DC2	”	2	B	R	b	r	é	Æ	ó	▓	┬	╥	Γ	≥
3		DC3	#	3	C	S	c	s	â	ô	ú	│	├	╙	π	≤
4		DC4	$	4	D	T	d	t	ä	ö	ñ	┤	─	╘	Σ	⌠
5		§	%	5	E	U	e	u	à	ò	Ñ	╡	┼	╒	σ	⌡
6			&	6	F	V	f	v	å	û	ª	╢	╞	╓	µ	÷
7	BEL		’	7	G	W	g	w	ç	ù	º	╖	╟	╫	τ	≈
8	BS	CAN	(	8	H	X	h	x	ê	ÿ	¿	╕	╚	╪	Φ	°
9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y	ë	Ö	⌐	╣	╔	┘	θ	•
A	LF		*	:	J	Z	j	z	è	Ü	¬	║	╩	┌	Ω	·
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{	ï	¢	½	╗	╦	█	δ	√
C	FF	FS	,	<	L	¥	l	¦	î	£	¼	╝	╠	▄	∞	ⁿ
D	CR		−	=	M	]	m	}	ì	¥	¡	╜	═	▌	φ	²
E	SO		.	>	N	^	n	~	Ä	Pt	«	╛	╬	▐	∈	■
F	SI		／	?	O	_	o		Å	ƒ	»	┐	╧	▀	∩	SP

注）　$\langle 23\rangle_{16}$、$\langle 24\rangle_{16}$、$\langle 40\rangle_{16}$、$\langle 5B\rangle_{16}$〜$\langle 5E\rangle_{16}$、$\langle 60\rangle_{16}$、$\langle 7B\rangle_{16}$〜$\langle 7E\rangle_{16}$ のコードは国際文字選択によって入れ替わります。

【国際文字コード】

国＼コード16進	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
アメリカ	#	$	@	[	＼	]	^	`	{	¦	}	~
フランス	#	$	à	°	ç	§	^	`	é	ù	è	¨
ドイツ	#	$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
イギリス	£	$	@	[	＼	]	^	`	{	¦	}	~
デンマークⅠ	#	$	@	Æ	Ø	Å	^	`	æ	ø	å	~
スウェーデン	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü
イタリア	#	$	@	°	＼	é	^	ù	à	ò	è	ì
スペインⅠ	Pt	$	@	¡	Ñ	¿	^	`	¨	ñ	}	~
日本	#	$	@	[	¥	]	^	`	{	¦	}	~
ノルウェー	#	¤	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
デンマークⅡ	#	$	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
スペインⅡ	#	$	á	¡	Ñ	¿	é	`	í	ñ	ó	ú
ラテンアメリカ	#	$	á	¡	Ñ	¿	é	ü	í	ñ	ó	ú

非漢字一覧表

モードによって、コードが割り当てられている文字が異なるものがありますので、注意してください。

◆ FM モードおよび ESC/P モード共通文字コード一覧表

区$	区＼点$	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
20	0																																
21	1		[illegible]	、	。	，	．	・	：	；	？	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―	‐	／
22	2		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	〓	─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤	┴	┼	∈	∋	⊆	⊇	⊂	⊃
23	3																	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9						
24	4		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ	ぞ	た
25	5		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ
26	6		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω							
27	7		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э

区$	区＼点$	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
		32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
20	0																																
21	1	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】	＋	－	±	×
22	2	∪	∩									∧	∨	¬	⇒	⇔	∀	∃												∠	⊥	⌒	∂
23	3		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z					
24	4	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ	ぼ	ぽ	ま	み
25	5	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ	ボ	ポ	マ	ミ
26	6		α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω							
27	7	Ю	Я																а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н

区$	区＼点$	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E
		64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94
20	0																															
21	1	÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥	＄	¢	£	％	＃	＆	＊	＠	§	☆	★	○	●	◎	◇
22	2	∇	≡	≒	≪	≫	√	∽	∝	∵	∫	∬								Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶					◯
23	3		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z				
24	4	む	め	も	ゃ	や	ゅ	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ	ゐ	ゑ	を	ん											
25	5	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ								
26	6																															
27	7	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э	ю	я													

JIS コードはすべて 16 進形式

注 1）　区点コードは点の部分を加算して求めます。％の区点コードは 0180＋03 で 0183 となります。区点コードは 10 進数です。例えば、％の JIS コードは 2173 と読みます。実際の使用には、“&H”をつけて、「&H2173」とします。

注 2）　コード表の空白部分を印字させますと、何らかの文字が出力される場合があります。

◆ FM モード文字コード一覧表

	点$	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
区$	区	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
28	8	※																															
29	9	※																															

JIS-78 モード外字登録領域

注）　※部(2820,287F,2920,297F)は登録できません。

	点$	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
区$	区	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
28	8																																
29	9																																

	点$	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E	7F
区$	区	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95
28	8																																※
29	9																																※

JIS-83 モード

追加文字

区$ \ 点$	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
区 \ 点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
28 ¦ 8		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰	┥	┸

区$ \ 点$	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
区 \ 点	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
28 ¦ 8	╂																															

区$ \ 点$	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
区 \ 点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
74 ¦ 84		堯	槇	遙	瑤																											

外字登録領域

区$	区 ＼ 点$	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
	点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
29	9	※																															
2A	10	※																															

区$	区 ＼ 点$	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
	点	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
29	9																																
2A	10																																

区$	区 ＼ 点$	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E	7F
	点	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95
29	9																																※
2A	10																																※

注 1）　※部（2920,297F,2A20,2A7F）は登録できません。

注 2）　JIS-83 の 2A21～2A7E と JIS-78 の 2821～287E は同一エリアです。

半角漢字

区$	区	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
点$ / 点		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
2D	13		!	"	#	$	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
2E	14		。	「	」	、	・	ヲ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	ャ	ュ	ョ	ッ	ー	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ
2F	15	▁	▂	▃	▄	▅	▆	▇	█	▏	▎	▍	▌	▋	▊	▉	┼	┴	┬	┤	├	▔	─	│	▕	┌	┐	└	┘	╭	╮	╰	╯

区$	区	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
点$ / 点		32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
2D	13	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	〔	¥	〕	^	_
2E	14	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ン	゛	゜
2F	15																																

区$	区	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E
点$ / 点		64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94
2D	13	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{			}	‾
2E	14	═	╞	╪	╡	◢	◣	◥	◤	♠	♥	♦	♣	●	○	╱	╲	×	円	年	月	日	時	分	秒	〒	市	区	町	村	人	▩
2F	15																															

◆ ESC/P モード文字コード一覧表

区$	区	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
点$ / 点		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
28	8		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰	┥	┸
～	～																																～
74	80		堯	槇	遙	瑤	凜	熙																									

区$	区	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
点$ / 点		32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
28	8	╂																															

区$	区	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
点$ / 点		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
2D	13		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	Ⅹ	

区$	区	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
点$ / 点		32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
2D	13	㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡									㍻

区$	区	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E
点$ / 点		64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94
2D	13	〝	〟	№	㏍	℡	㊤	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿	∵	∩	∪		

外字登録領域

点$		20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
区$		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
77	87	※																															
78	88	※																															

点$		40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
区$		32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
77	87																																
78	88																																

点$		60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E	7F
区$		64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95
77	87																																※
78	88																																※

注）　※部（7720,777F,7820,787F）は登録できません。

JIS-90 第一水準漢字一覧表

JIS コードはすべて 16 進形式

区$＼点$		20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
20	0																																
21	1		空白	、	。	，	．	・	：	；	？	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―	‐	／
22	2		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	〓												∈	∋	⊆	⊇	⊂	⊃
23	3																	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9						
24	4		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ	ぞ	た
25	5		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ
26	6		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω							
27	7		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э
28	8		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰	┥	┸
29	9																																
2A	10																																
2B	11																																
2C	12																																
2D	13		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	Ⅹ	
2E	14																																
2F	15																																
30	16		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾	鮎	或
31	17		院	陰	隠	韻	吋	右	宇	烏	羽	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂	云	運
32	18		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音	下	化	仮	何
33	19		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬	馨	蛙
34	20		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺	款	歓
35	21		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺	犠	疑
36	22		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興	蕎	郷
37	23		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍	郡	卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭	珪	型
38	24		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現	絃	舷
39	25		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構	江	洪
3A	26		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	些	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂	詐	鎖
3B	27		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕	讃	賛
3C	28		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉	湿	漆
3D	29		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十	従	戎
3E	30		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶	松	梢
3F	31		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申	疹	真
40	32		澄	摺	寸	世	瀬	畝	是	凄	制	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製	西	誠
41	33		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然	全	禅	繕	膳	糎	噌	塑	岨	措	曾	曽	楚
42	34		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜	他	多
43	35		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪	綻	耽
44	36		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗	直	朕
45	37		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼	転	顛
46	38		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠	鴇	匿
47	39		如	尿	韮	任	妊	忍	認	濡	禰	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能	脳	膿
48	40		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判	半	反
49	41		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表	評	豹
4A	42		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮	粉	糞	紛	雰	文	聞	丙	併	兵	塀	幣	平
4B	43		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴	望	某
4C	44		漫	蔓	味	未	魅	巳	箕	岬	密	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	務	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	冥	名	命
4D	45		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	予	余	与
4E	46		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚	両	凌
4F	47		蓮	連	錬	呂	魯	櫓	炉	賂	路	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄	肋	録

注）　「茜」の JIS コードは 302B と読みます。実際の使用には、“&H”をつけて、「&H302B」とします。

区 $ \ 点 $	区	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
		32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
20	0																																
21	1	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】	＋	－	±	×
22	2	∪	∩									∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃												∠	⊥	⌒	∂
23	3		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z					
24	4	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ	ぼ	ぽ	ま	み
25	5	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ	ボ	ポ	マ	ミ
26	6		α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω							
27	7	Ю	Я																а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н
28	8	┼																															
29	9																																
2A	10																																
2B	11																																
2C	12																																
2D	13	㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡									㍻
2E	14																																
2F	15																																
30	16	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇	鞍	杏	以	伊	位	依	偉	囲	夷	委	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異	移	維	緯	胃
31	17	雲	荏	餌	叡	営	嬰	影	映	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越	閲	榎	厭	円
32	18	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓	蝦	課	嘩	貨
33	19	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額	顎	掛	笠	樫
34	20	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館	舘	丸	含	岸
35	21	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸	宮	弓	急	救
36	22	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊	芹	菌	衿	襟
37	23	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚	鶏	芸	迎	鯨
38	24	言	諺	限	乎	個	古	呼	固	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇	顧	鼓	五	互
39	25	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱	砿	鋼	閤	降
3A	26	裟	坐	座	挫	債	催	再	最	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁	載	際	剤	在
3B	27	酸	餐	斬	暫	残	仕	仔	伺	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯	施	旨	枝	止
3C	28	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺	尺	杓	灼	爵
3D	29	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循	旬	楯	殉	淳
3E	30	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔	詳	象	賞	醤
3F	31	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭	笥	諏	須	酢	図	厨
40	32	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙	接	摂	折	設
41	33	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想	捜	掃	挿	掻
42	34	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎	腿	苔	袋	貸
43	35	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断	暖	檀	段	男	談	値	知	地	弛	恥	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築	畜	竹	筑	蓄
44	36	沈	珍	賃	鎮	陳	津	墜	椎	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷	嬬	紬	爪	吊
45	37	点	伝	殿	澱	田	電	兎	吐	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴	怒	倒	党	冬
46	38	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁	頓	呑	曇	鈍
47	39	農	覗	蚤	巴	把	播	覇	杷	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配	倍	培	媒	梅
48	40	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	匪	卑	否	妃	庇
49	41	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻	敏	瓶	不	付	埠	夫	婦	富	冨	布	府	怖	扶	敷
4A	42	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁	鞭	保	舗	鋪
4B	43	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔	本	翻	凡	盆
4C	44	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅	免	棉	綿	緬	面	麺	摸	模	茂	妄	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙	目	杢	勿	餅
4D	45	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽	養	慾	抑	欲
4E	46	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟	瑠	塁	涙	累
4F	47	論	倭	和	話	歪	賄	脇	惑	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾	碗	腕												

区$	区＼点	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E
点$		64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94
20	0																															
21	1	÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥	＄	¢	£	％	＃	＆	＊	＠	§	☆	★	○	●	◎	◇
22	2	∇	≡	≒	≪	≫	√	∽	∝	∵	∫	∬								Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶					◯
23	3		ａ	ｂ	ｃ	ｄ	ｅ	ｆ	ｇ	ｈ	ｉ	ｊ	ｋ	ｌ	ｍ	ｎ	ｏ	ｐ	ｑ	ｒ	ｓ	ｔ	ｕ	ｖ	ｗ	ｘ	ｙ	ｚ				
24	4	む	め	も	ゃ	や	ゅ	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ	ゐ	ゑ	を	ん											
25	5	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ								
26	6																															
27	7	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э	ю	я													
28	8																															
29	9																															
2A	10																															
2B	11																															
2C	12																															
2D	13	〝	〟	№	㏍	℡	㊤	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿	∵	∩	∪		
2E	14																															
2F	15																															
30	16	萎	衣	謂	違	遺	医	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻	引	飲	淫	胤	蔭
31	17	園	堰	奄	宴	延	怨	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩	於	汚	甥	凹	央	奥	往	応
32	18	迦	過	霞	蚊	俄	峨	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔	恢	懐	戒	拐	改
33	19	樫	梶	鰍	潟	割	喝	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌	噛	鴨	栢	茅	萱
34	20	巌	玩	癌	眼	岩	翫	贋	雁	頑	顔	願	企	伎	危	喜	器	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机	旗	既	期	棋	棄
35	21	朽	求	汲	泣	灸	球	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁	禦	魚	亨	享	京
36	22	謹	近	金	吟	銀	九	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅	串	櫛	釧	屑	屈
37	23	劇	戟	撃	激	隙	桁	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌	建	憲	懸	拳	捲
38	24	伍	午	呉	吾	娯	後	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功	効	勾	厚	口	向
39	25	項	香	高	鴻	剛	劫	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑	忽	惚	骨	狛	込
3A	26	材	罪	財	冴	坂	阪	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜	鮭	笹	匙	冊	刷
3B	27	死	氏	獅	祉	私	糸	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児	字	寺	慈	持	時
3C	28	酌	釈	錫	若	寂	弱	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹	綬	需	囚	収	周
3D	29	準	潤	盾	純	巡	遵	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐	恕	鋤	除	傷	償
3E	30	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲	醸	錠	嘱	埴	飾
3F	31	逗	吹	垂	帥	推	水	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉	椙	菅	頗	雀	裾
40	32	窃	節	説	雪	絶	舌	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎	煽	旋	穿	箭	線
41	33	操	早	曹	巣	槍	槽	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗	霜	騒	像	増	憎
42	34	退	逮	隊	黛	鯛	代	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁	諾	茸	凧	蛸	只
43	35	逐	秩	窒	茶	嫡	着	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯	丁	兆	凋	喋	寵
44	36	釣	鶴	亭	低	停	偵	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締	艇	訂	諦	蹄	逓
45	37	凍	刀	唐	塔	塘	套	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等	答	筒	糖	統	到
46	38	奈	那	内	乍	凪	薙	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠	軟	難	汝	二	尼	弐	迩	匂	賑	肉	虹	廿	日	乳	入
47	39	楳	煤	狽	買	売	賠	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠	爆	縛	莫	駁	麦
48	40	彼	悲	扉	批	披	斐	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微	枇	毘	琵	眉	美
49	41	斧	普	浮	父	符	腐	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗	伏	副	復	幅	服
4A	42	圃	捕	歩	甫	補	輔	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖	抱	捧	放	方	朋
4B	43	摩	磨	魔	麻	埋	妹	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭	繭	麿	万	慢	満
4C	44	尤	戻	籾	貰	問	悶	紋	門	匁	也	冶	夜	爺	耶	野	弥	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮	鑓	愉	愈	油	癒
4D	45	沃	浴	翌	翼	淀	羅	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧	利	吏	履	李	梨	理	璃
4E	46	類	令	伶	例	冷	励	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐	漣	煉	簾	練	聯
4F	47																															

JIS^{-90}第二水準漢字一覧表

区 $	区 \ 点 $	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
50	48		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆	仂	仗
51	49		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔	兢	競
52	50		辦	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳	匸	區
53	51		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀	咯	喊
54	52		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆	埔	埒
55	53		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾	嫋	嫂
56	54		屐	屏	屓	屬	屮	乢	屶	屹	岌	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕	崗	嵜
57	55		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌	彎	弯
58	56		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱	愍	愎
59	57		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿	拆	擔
5A	58		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴	攵	攷
5B	59		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤	枉	杰
5C	60		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽	楙	椰
5D	61		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃	歉	歐
5E	62		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊	涵	淇
5F	63		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬	濔	濘
60	64		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃	狆	狄
61	65		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚	畩	畤
62	66		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻	眈	眇
63	67		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉	秕	秧
64	68		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏	箴	篆
65	69		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵	緇	綽
66	70		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹	羮	羶
67	71		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀	臂	膺
68	72		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉	莨	菴
69	73		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹	蘊	蘓
6A	74		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒	蠑	蠖
6B	75		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸	訃	訖
6C	76		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊	貍	貎
6D	77		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆	躱	躾
6E	78		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈	郛	鄂
6F	79		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔	鐓	鐃
70	80		陜	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆	霈	霓
71	81		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅	饐	饋
72	82		髫	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟	鮠	鮨
73	83		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭	鷯	鷽
74	84		堯	槇	遙	瑤																											
75	85																																
76	86																																
77	87																																
78	88																																
79	89																																
7A	90																																
7B	91																																
7C	92																																
7D	93																																
7E	94																																

区 $	区	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
点 $		32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
50	48	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛	俑	俚	俐	俤
51	49	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛	几	處	凩	凭
52	50	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨	叭	叺	吁	吽
53	51	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營	嘴	嘶	嘲	嘸
54	52	埒	垤	埖	埣	堋	堙	堝	塲	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑	壗	壙	壘	壥
55	53	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵	學	斈	孺	宀
56	54	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍	巓	巒	巖	巛
57	55	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝	悳	忿	怡	恠
58	56	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖	憇	憬	憔	憚
59	57	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏	掉	掟	掵	捫
5A	58	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无	旡	旱	杲	昊
5B	59	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩	桀	桍	栲	桎
5C	60	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂	樛	槿	權	槹
5D	61	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟	毬	毫	毳	毯
5E	62	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟	湃	渺	湎	渤
5F	63	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳	炮	烟	烋	烝
60	64	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻	獺	珈	玳	珎
61	65	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙	痣	痞	痾	痿
62	66	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼	瞽	瞻	矇	矍
63	67	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘	窖	窩	竈	窰
64	68	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐	籘	籟	籤	籖
65	69	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻	縵	縹	繃	縷
66	70	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘	聚	聟	聢	聨
67	71	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘	艝	艚	艟	艤
68	72	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮	蒂	葩	葆	萬
69	73	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫	蛔	蛞	蛩	蛬
6A	74	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢	袍	袤	袰	袿
6B	75	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂	諚	諫	諳	諧
6C	76	貎	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓	賍	贔	贖	赧
6D	77	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉	轆	轎	轗	轜
6E	78	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖	釟	釡	釛	釼
6F	79	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊	閔	閖	閘	閙
70	80	雯	霈	霏	霖	霙	霤	霪	霰	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁	靺	鞆	鞋	鞏
71	81	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷	驅	驂	驀	驃
72	82	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮	鰛	鰥	鰤	鰡
73	83	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝	黠	黥	黨	黯
74	84																																
75	85																																
76	86																																
77	87																																
78	88																																
79	89																																
7A	90																																
7B	91																																
7C	92																																
7D	93																																
7E	94																																

区 $	区	60 64	61 65	62 66	63 67	64 68	65 69	66 70	67 71	68 72	69 73	6A 74	6B 75	6C 76	6D 77	6E 78	6F 79	70 80	71 81	72 82	73 83	74 84	75 85	76 86	77 87	78 88	79 89	7A 90	7B 91	7C 92	7D 93	7E 94
50	48	俥	倚	倨	倔	倪	倥	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸	傀	傚	傅	傴	傲
51	49	凰	凵	凾	刄	刋	刔	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔	劒	剱	劈	劑	辨
52	50	呀	听	吭	吼	吮	吶	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸	咥	咬	哄	哈	咨
53	51	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮	囹	圀	囿	圄	圉
54	52	壘	壤	壟	壯	壺	壹	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘	奢	奠	奧	奬	奩
55	53	它	宦	宸	寃	寇	寉	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸	尹	屁	屆	屎	屓
56	54	巫	已	巵	帋	帚	帙	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠	廁	廂	廈	廐	廏
57	55	怙	怐	怩	怎	怱	怛	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙	悁	悍	惧	悃	悚
58	56	德	憑	憫	憮	懌	懊	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈	戉	戍	戌	戔	戛
59	57	捩	掾	揩	揀	揆	揣	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕	撓	撥	撩	撈	撼
5A	58	昃	旻	杳	昵	昶	昴	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝	曁	暹	曉	暾	暼
5B	59	梳	栫	桙	档	桷	桿	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘	椢	椦	棡	椌	棍
5C	60	槲	槧	樅	榱	樞	槭	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐	檍	檠	檄	檢	檣
5D	61	麾	氈	氓	气	氛	氤	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗	泅	泝	沮	沱	沾
5E	62	滿	渝	游	溂	溪	溘	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿	滲	漱	滯	漲	滌
5F	63	烙	焉	烽	焜	焙	煥	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎	燠	燬	燧	燵	燼
60	64	玻	珀	珥	珮	珞	璢	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞	璧	瓊	瓏	瓔	珱
61	65	痼	瘁	痰	痺	痲	痳	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨	癩	癪	癧	癬	癰
62	66	矗	矚	矜	矣	矮	矼	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔	碾	碼	磅	磊	磬
63	67	窶	竅	竄	窿	邃	竇	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙	笞	笵	笨	笶	筐
64	68	籥	籬	籵	粃	粐	粤	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯	糲	糴	糶	糺	紆
65	69	縲	縺	繧	繝	繖	繞	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖	纎	纛	纜	缸	缺
66	70	聳	聲	聰	聶	聹	聽	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱	脛	脩	脣	脯	腋
67	71	艢	艨	艪	艫	舮	艱	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹	苞	茆	苜	茉	苙
68	72	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈
69	73	蛟	蛛	蛯	蜓	蜆	蜈	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙
6A	74	袱	裃	裄	裔	裘	裙	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶	褸	襌	褝	襠	襞
6B	75	諤	諱	謔	諠	諢	諷	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎	證	譖	譛	譚	譫
6C	76	赭	赱	赳	趁	趙	跂	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟	蹂	踵	踰	踴	蹊
6D	77	轢	轣	轤	辜	辟	辣	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋	逧	逶	逵	逹	迸
6E	78	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷	鋩	錏	鋺	鍄	錮
6F	79	閨	閠	閧	閭	閼	閻	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌	陏	陋	陷	陜	陞
70	80	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆	顏	顋	顫	顯	顰
71	81	驃	驕	驍	驛	驗	驟	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯	髫	髮	髴	髱	髷
72	82	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈
73	83	黴	黶	黷	黹	黻	黼	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷	齲	齶	龕	龜	龠
74	84																															
75	85																															
76	86																															
77	87																															
78	88																															
79	89																															
7A	90																															
7B	91																															
7C	92																															
7D	93																															
7E	94																															

■　ご注意

このプリンタが印字する漢字はJIS C6226-1983（情報交換用漢字符号系）に準拠していますが、JIS C6234-1983（ドットプリンタ用24ドット字形）は採用していません。したがって、コンピュータ本体の表示画面の文字および記号なども必ずしも一致いたしませんのでご了承ください。
JIS C6234-1983の字体との違いはおおむね次の表の通りです。

JISコード（区点）	プリンタ	JIS	JISコード（区点）	プリンタ	JIS	JISコード（区点）	プリンタ	JIS
3022(1602)	啞	唖	3979(2589)	甑	甑	4578(3788)	禱	祷
303B(1627)	飴	飴	3A67(2671)	榊	榊	4642(3834)	瀆	涜
306E(1678)	溢	溢	3A74(2684)	柵	柵	4654(3852)	瀞	瀞
3135(1721)	欝	欝	3B2A(2710)	鯖	鯖	466A(3874)	楢	楢
3139(1725)	廐	厩	3B2C(2712)	錆	錆	4729(3909)	禰	禰
313D(1729)	噂	噂	3B39(2725)	珊	珊	4739(3925)	囊	嚢
3142(1734)	餌	餌	3C48(2840)	屢	屡	482E(4014)	潑	溌
316B(1775)	焰	焔	3D2B(2911)	繡	繍	4830(4016)	醱	醗
322A(1810)	鷗	鴎	3D36(2922)	酋	酋	4B4B(4343)	頰	頬
327A(1890)	恢	恢	3E55(3053)	蔣	蒋	4B70(4380)	鱒	鱒
336B(1975)	葛	葛	3E5F(3063)	醬	醤	4C4D(4445)	麵	麺
337A(1990)	嚙	噛	3F2A(3110)	蝕	蝕	4C5F(4463)	餠	餅
3442(2034)	澗	澗	4066(3270)	蟬	蝉	4D32(4518)	猷	猷
3540(2132)	祇	祇	4139(3325)	噌	噌	4D69(4573)	萊	莱
3622(2202)	俠	侠	4169(3373)	瘦	痩	4E7B(4691)	煉	煉
362A(2210)	卿	卿	424D(3445)	驒	騨	4F31(4717)	榔	榔
366D(2277)	軀	躯	4263(3467)	黛	黛	4F39(4725)	蠟	蝋
367B(2291)	櫛	櫛	432E(3514)	樽	樽	5622(5402)	屛	屏
3737(2323)	祁	祁	433D(3529)	簞	箪	5960(5764)	搌	搌
3771(2381)	倦	倦	444F(3647)	摑	掴	5A39(5825)	攢	攅
377E(2394)	捲	捲	4522(3702)	鄭	鄭	6546(6938)	綟	綟
3834(2420)	鹼	鹸	4536(3722)	塡	填			
396D(2577)	麴	麹	453F(3731)	顚	顛			

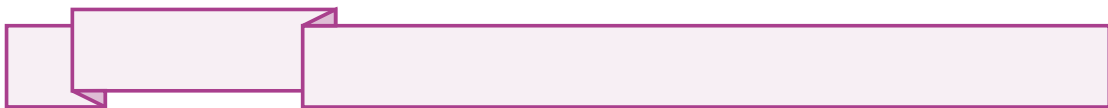
◆ 第一水準と第二水準が入れ替わった文字

コード（区点）	新第1水準	新第2水準	コード（区点）	コード（区点）	新第1水準	新第2水準	コード（区点）
3083 (1619)	鯵	鰺	724D (8245)	4128 (3308)	賎	賤	6C4D (7645)
3229 (1809)	鴬	鶯	7274 (8284)	445B (3659)	壷	壺	5464 (5268)
3342 (1934)	蛎	蠣	695A (7358)	4557 (3755)	砺	礪	626A (6674)
3349 (1941)	撹	攪	5978 (5788)	456E (3778)	梼	檮	5B6D (5977)
3376 (1986)	竃	竈	635E (6762)	4573 (3783)	涛	濤	5E39 (6225)
3443 (2035)	潅	灌	5E75 (6285)	4676 (3886)	迩	邇	6D6E (7778)
3452 (2050)	諌	諫	6B5D (7561)	4768 (3972)	蝿	蠅	6A24 (7404)
375B (2359)	頚	頸	7074 (8084)	4930 (4116)	桧	檜	5B58 (5956)
395C (2560)	砿	礦	6268 (6672)	4B79 (4389)	侭	儘	5056 (4854)
3C49 (2841)	蕊	蘂	6922 (7302)	4C79 (4489)	薮	藪	692E (7314)
3F59 (3157)	靭	靱	7057 (8055)	4F36 (4722)	篭	籠	6446 (6838)

◆ 第二水準に追加された文字

コード（区点）	追加文字	コード（区点）	追加文字
7421 (8401)	堯	7424 (8404)	瑤
7422 (8402)	槇	7425 (8405)	凜
7423 (8403)	遙	7426 (8406)	熙

注）　「凜」と「熙」の 2 文字は ESC/P モードではサポートされていません。

ソフトウェア編

第1章

ソフトウェアの概要

この章では、プリンタに添付されているソフトウェアの基本的なことがらおよびインストール方法について説明します。

添付ソフトウェアの機能

◆ プリンタドライバ

Windows 環境でプリンタ装置をお使いいただくには、プリンタドライバが必要になります。
fit7400 プリンタ装置では、Windows 95、98、Me、NT4.0、2000 用に専用のプリンタドライバを用意しています。
プリンタドライバのインストール方法および設定方法については、第１章、第２章の該当箇所をお読みください。

プリンタドライバの動作環境

対象機種	ＯＳ
FMV シリーズ 各社 DOS/V 互換機	Windows 95（日本語版） Windows 98（日本語版） Windows Me（日本語版） Windows NT 4.0（日本語版） Windows 2000（日本語版）

プリンタの動作環境

本プリンタドライバは ESC/P モードで動作します。プリンタのモード設定を必ず「ESC/P モード」にしてご使用ください。

CD-ROM の内容

■ fit プリンタドライバセットアップディスク

本プリンタには、「fit プリンタドライバセットアップディスク」(CD-ROM)が同梱されています。

「fit プリンタドライバセットアップディスク」は以下の内容になっています。

```
fit プリンタドライバセットアップディスク
 │
 ├── Readme.txt          プログラムの説明が書かれているファイルです。
 │                       はじめにお読みください。
 ├── UTILITY             fitプリンタユーティリティが格納されているフォルダです。
 │    └ Setup.exe        ユーティリティソフトのセットアッププログラムです。
 │                       ステータスモニタとリモートパネルがインストールされます。
 └── Driver              プリンタドライバが格納されているフォルダです。
       ├ fit7800         fit7800プリンタドライバが格納されている
       │  │              フォルダです。
       │  ├Win95         Windows95用のプリンタドライバが格納されている
       │  │ │            フォルダです。
       │  │ └Readme.txt  プログラムの説明が書かれているファイルです。
       │  ├Win98me       Windows98/Me用のプリンタドライバが格納されている
       │  │ │            フォルダです。
       │  │ └Readme.txt  プログラムの説明が書かれているファイルです。
       │  ├WinNT40       Windows NT4.0用のプリンタドライバが格納されている
       │  │ │            フォルダです。
       │  │ └Readme.txt  プログラムの説明が書かれているファイルです。
       │  └Win2K         Windows 2000用のプリンタドライバが格納されている
       │    │            フォルダです。
       │    └Readme.txt  プログラムの説明が書かれているファイルです。
       ├fit7600          fit7600プリンタドライバが格納されている
       │  │              フォルダです。
       │  ├Win95         Windows95用のプリンタドライバが格納されている
       │  │ │            フォルダです。
       │  │ └Readme.txt  プログラムの説明が書かれているファイルです。
       │  ├Win98me       Windows98/Me用のプリンタドライバが格納されている
       │  │ │            フォルダです。
       │  │ └Readme.txt  プログラムの説明が書かれているファイルです。
       │  ├WinNT40       Windows NT4.0用のプリンタドライバが格納されている
       │  │ │            フォルダです。
       │  │ └Readme.txt  プログラムの説明が書かれているファイルです。
       │  └Win2K         Windows 2000用のプリンタドライバが格納されている
       │    │            フォルダです。
       │    └Readme.txt  プログラムの説明が書かれているファイルです。
       │
```

fit7400
fit7400プリンタドライバが格納されている
フォルダです。
Win95
Windows95用のプリンタドライバが格納されている
フォルダです。
Readme.txt
プログラムの説明が書かれているファイルです。
Win98me
Windows98/Me用のプリンタドライバが格納されている
フォルダです。
Readme.txt
プログラムの説明が書かれているファイルです。
WinNT40
Windows NT4.0用のプリンタドライバが格納されている
フォルダです。
Readme.txt
プログラムの説明が書かれているファイルです。
Win2K
Windows 2000用のプリンタドライバが格納されている
フォルダです。
Readme.txt
プログラムの説明が書かれているファイルです。
fit5100
fit5100プリンタドライバが格納されている
フォルダです。
Win95
Windows95用のプリンタドライバが格納されている
フォルダです。
Readme.txt
プログラムの説明が書かれているファイルです。
Win98me
Windows98/Me用のプリンタドライバが格納されている
フォルダです。
Readme.txt
プログラムの説明が書かれているファイルです。
WinNT40
Windows NT4.0用のプリンタドライバが格納されている
フォルダです。
Readme.txt
プログラムの説明が書かれているファイルです。
Win2K
Windows 2000用のプリンタドライバが格納されている
フォルダです。
Readme.txt
プログラムの説明が書かれているファイルです。

fit3200
fit3200プリンタドライバが格納されているフォルダです。
Win95
Windows95用のプリンタドライバが格納されているフォルダです。
Readme.txt
プログラムの説明が書かれているファイルです。
Win98me
Windows98/Me用のプリンタドライバが格納されているフォルダです。
Readme.txt
プログラムの説明が書かれているファイルです。
WinNT40
Windows NT4.0用のプリンタドライバが格納されているフォルダです。
Readme.txt
プログラムの説明が書かれているファイルです。
Win2K
Windows 2000用のプリンタドライバが格納されているフォルダです。
Readme.txt
プログラムの説明が書かれているファイルです。
fit3100
fit3100プリンタドライバが格納されているフォルダです。
Win95
Windows95用のプリンタドライバが格納されているフォルダです。
Readme.txt
プログラムの説明が書かれているファイルです。
Win98me
Windows98/Me用のプリンタドライバが格納されているフォルダです。
Readme.txt
プログラムの説明が書かれているファイルです。
WinNT40
Windows NT4.0用のプリンタドライバが格納されているフォルダです。
Readme.txt
プログラムの説明が書かれているファイルです。
Win2K
Windows 2000用のプリンタドライバが格納されているフォルダです。
Readme.txt
プログラムの説明が書かれているファイルです。

プリンタドライバのインストール

■ Windows 95/98 のとき

ここでは、Windows 95/98 が動作するパソコンにプリンタドライバをインストールする方法について説明します。

インストール手順は通常のインストールと Plug&Play で異なります。
それぞれの手順に従ってください。
Plug&Play でプリンタが検出されない場合は、通常のインストールでプリンタドライバをインストールしてください。

ガイド

- ご使用のパソコンにインストールされている Windows 95/98 のバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。

◆ 通常のインストール

プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。
添付の fit プリンタドライバセットアップディスクを準備してください。

ここでは、Windows 98 の画面を例に説明しています。

1 **Windows 95/98 を起動する**

2 **マイコンピュータの〔プリンタ〕をダブルクリックし、次に〔プリンタの追加〕をダブルクリックする**

3 **〔次へ〕をクリックする**

4　「ローカルプリンタ」を選択し、〔次へ〕をクリックする

この画面は、パソコンがネットワークに接続されているときのみ表示されます。

ガイド

・スタンドアロン（パソコンとプリンタを１対１で接続）のときや、パソコンをプリントサーバとして使うときは、ローカルプリンタを選択します。
　印刷先（ポート）を後で変更する場合も、ローカルプリンタを選択してください。ただし、正しい印刷先に設定するまでテストページ等の印刷は行わないでください。

・「ネットワークプリンタ」を選んでインストールするには、プリントサーバ上に、対応するプリンタドライバがあらかじめインストールされている必要があります。
　また、「代替ドライバとネットワークインストール」はサポートしていません。

5　〔ディスク使用〕をクリックする

6　**添付の fit プリンタドライバセットアップディスクをパソコンの CD-ROM ドライブにセットする**

7　**<配布ファイルのコピー元：>に**

「D:\Driver\fit7400\Win98Me」と入力する、または〔参照〕をクリックして「D:\Driver\fit7400\Win98Me」を選択する

注 1）上記は CD-ROM ドライブが D:のときの入力例です。
Windows 95 の場合は、“Win98Me”を“Win95”に変えて入力してください。

入力が終わったら〔OK〕をクリックします。

8　**プリンタを選択し、〔次へ〕をクリックする**

実際の画面では、インストール可能なプリンタ名が表示されます。

注 2）「このプリンタにはドライバが既にインストールされています。現在のドライバをそのまま使いますか？ 新しいドライバを使うと、印刷結果が異なることがあります。」という画面が表示される場合は、「新しいドライバに置き換える」を選択します。

9　使用するポートを選択し、〔次へ〕をクリックする

使用するポートがまだ作成されていない場合は、仮のポートとしてローカルポート（LPT1）などを選択してください。

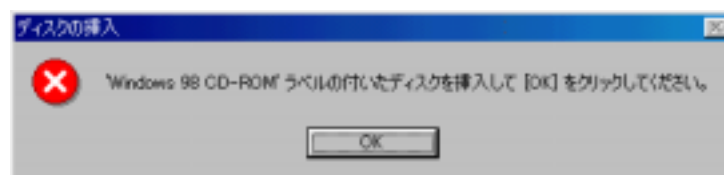
10　<プリンタ名：>にプリンタの名前を入力し、通常のプリンタに設定する場合は「はい」を選択し、〔次へ〕をクリックする

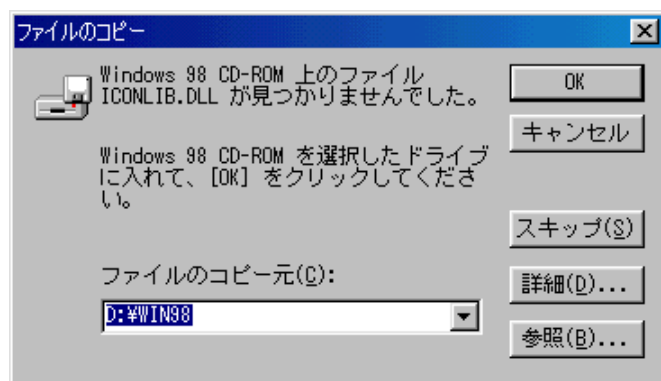
他にインストールされているプリンタがない場合は、自動的に通常のプリンタとして設定されます。

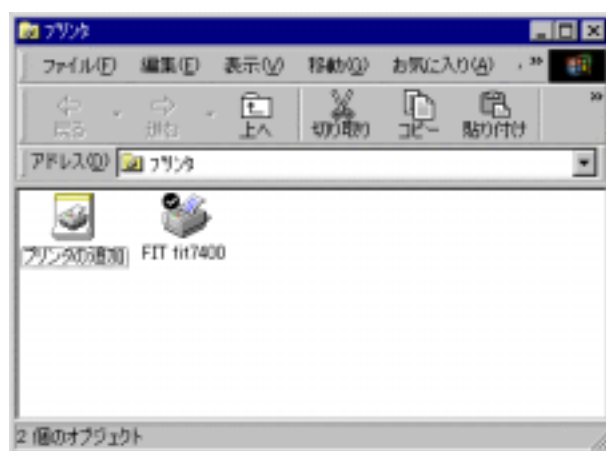
11 テストページを印刷するか、しないかを選択して〔完了〕をクリックする

手順 *9*で仮のポートを選択した場合は、「いいえ」を選択してください。

ファイルのコピーが開始されます。

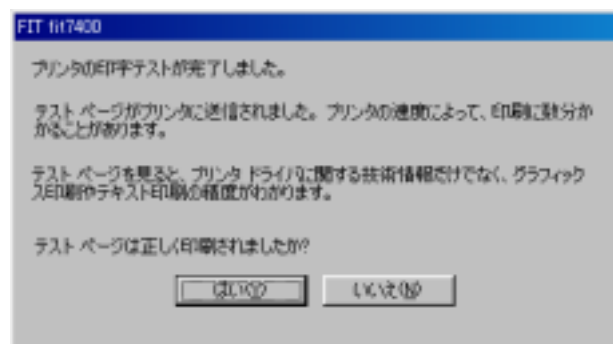
12 〔ディスクの挿入〕ウィンドウが表示されたら、Windows 95/98 セットアップディスクをパソコンの CD-ROM ドライブにセットし、〔OK〕をクリックする

13 **＜ファイルのコピー元：＞に「D:\WIN98」と入力する、または〔参照〕をクリックして「D:\WIN98」を選択する**

注）　上記は CD-ROM ドライブが D:のときの入力例です。
　　　Windows 95 の場合は、“WIN98”を“WIN95”に変えて入力してください。

入力が終わったら〔OK〕をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

コピーが終了すると、〔プリンタ〕フォルダにプリンタ名が表示され、ドライバが有効になります。

「印字テストを行いますか？」で「はい（推奨）」を選択した場合は以下の操作をおこないます。

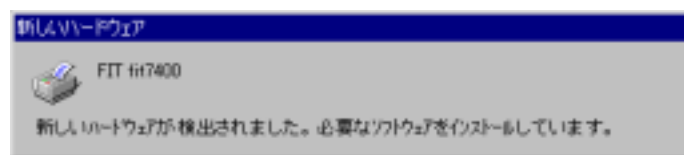
テストページを印刷する前にプリンタに A4 タテ以上の用紙をセットしてください。用紙のセット方法については、『プリンタ編』「第 3 章 用紙のセット」を参照してください。

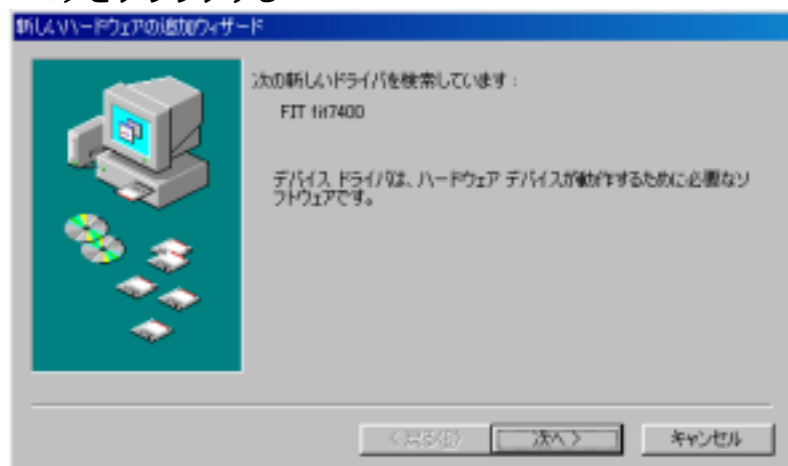
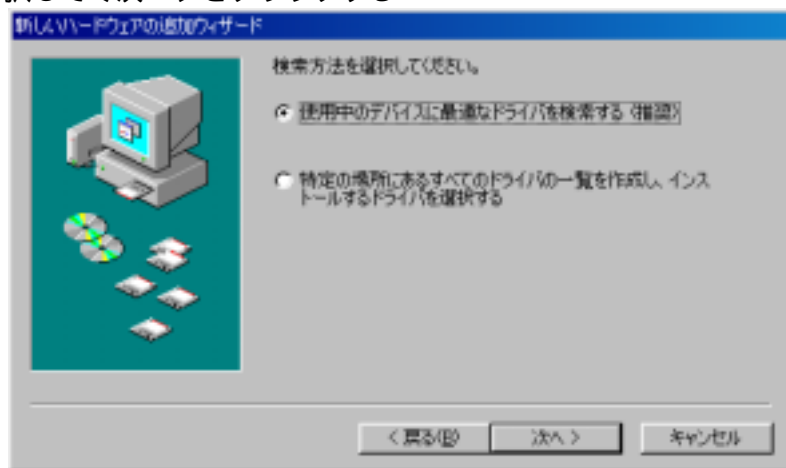
14 テストページが正しく印刷されたら〔はい〕をクリックし、インストールを終了する

◆ Plug&Playによるインストール

プリンタドライバのPlug&Playによるインストールは、次の手順で行います。
添付のプリンタドライバディスクを準備してください。

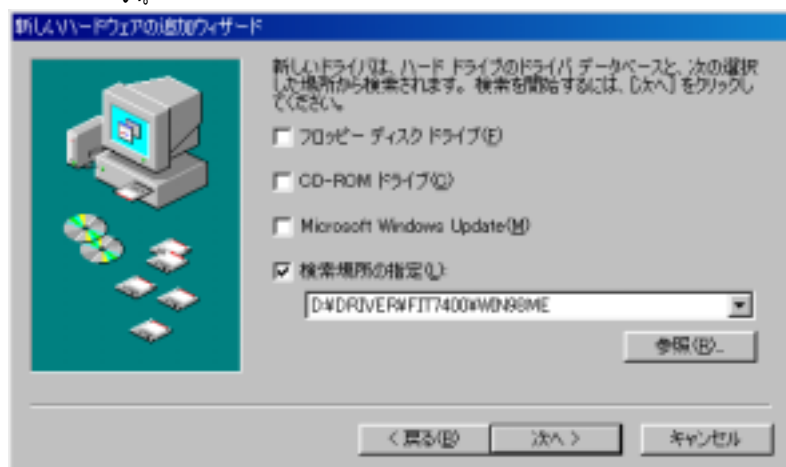
1　プリンタとパソコンを接続し、プリンタの電源を入れた状態でWindows 95/98を起動する

パソコン起動時に「FIT fit7400 新しいハードウェアが検出されました。必要なソフトウェアを探しています」と表示されます。

ガイド

Plug&Playはプリンタがパソコンに直接つながっている場合のみ行われます。
プリンタが検出されない場合は、「通常のインストール」（217ページ）でインストールしてください。

2　「新しいハードウェアの追加」ウィザードが表示されたら、〔次へ〕をクリックする

3 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択して〔次へ〕をクリックする

4 添付の fit プリンタドライバセットアップディスクをパソコンの CD-ROM ドライブにセットして「検索場所の指定」をチェックし、「D:\Driver\fit7400\Win98Me」と入力して〔次へ〕をクリックする

注 1）上記は CD-ROM ドライブが D:のときの入力例です。

Windows 95 の場合は、“Win98Me”を“Win95”に変えて入力してください。

5 プリンタドライバが見つかったことを確認し、〔次へ〕をクリックする

6 画面の指示に従って、インストールを続ける

プリンタドライバのインストールが完了すると、追加したプリンタのアイコンが「プリンタウィンドウ」に表示されます。

■ Windows Me のとき

ここでは、Windows Me が動作するパソコンにプリンタドライバをインストールする方法について説明します。

インストール手順は通常のインストールと Plug&Play で異なります。
それぞれの手順に従ってください。
Plug&Play でプリンタが検出されない場合は、通常のインストールでプリンタドライバをインストールしてください。

ガイド

・ ご使用のパソコンの環境により、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。

◆ 通常のインストール

プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。
添付の fit プリンタドライバセットアップディスクを準備してください。

1 **Windows Me を起動する**

2 **マイコンピュータの〔プリンタ〕をダブルクリックし、次に〔プリンタの追加〕をダブルクリックする**

3 **〔次へ〕をクリックする**

4　「ローカルプリンタ」を選択し、〔次へ〕をクリックする

この画面は、パソコンがネットワークに接続されているときのみ表示されます。

ガイド

・スタンドアロン（パソコンとプリンタを１対１で接続）のときや、パソコンをプリントサーバとして使うときは、ローカルプリンタを選択します。
印刷先（ポート）を後で変更する場合も、ローカルプリンタを選択してください。ただし、正しい印刷先に設定するまでテストページ等の印刷は行わないでください。

・「ネットワークプリンタ」を選んでインストールするには、プリントサーバ上に、対応するプリンタドライバがあらかじめインストールされている必要があります。
また、「代替ドライバとネットワークインストール」はサポートしていません。

5　〔ディスク使用〕をクリックする

6　**添付の fit プリンタドライバセットアップディスクをパソコンの CD-ROM ドライブにセットする**

7　**＜配布ファイルのコピー元：＞に**

「D:\Driver\fit7400\Win98Me」と入力する、または〔参照〕をクリックして「D:\Driver\fit7400\Win98Me」を選択する

注 1)　上記は CD-ROM ドライブが D:のときの入力例です。

入力が終わったら〔OK〕をクリックします。

8　**プリンタを選択し、〔次へ〕をクリックする**

実際の画面では、インストール可能なプリンタ名が表示されます。

注 2)「このプリンタにはドライバが既にインストールされています。現在のドライバをそのまま使いますか？ 新しいドライバを使うと、印刷結果が異なることがあります。」という画面が表示される場合は、「新しいドライバに置き換える」を選択します。

9　使用するポートを選択し、〔次へ〕をクリックする

使用するポートがまだ作成されていない場合は、仮のポートとしてローカルポート（LPT1）などを選択してください。

10　＜プリンタ名：＞にプリンタの名前を入力し、通常のプリンタに設定する場合は「はい」を選択し、〔次へ〕をクリックする

他にインストールされているプリンタがない場合は、自動的に通常のプリンタとして設定されます。

11 テストページを印刷するか、しないかを選択して〔完了〕をクリックする

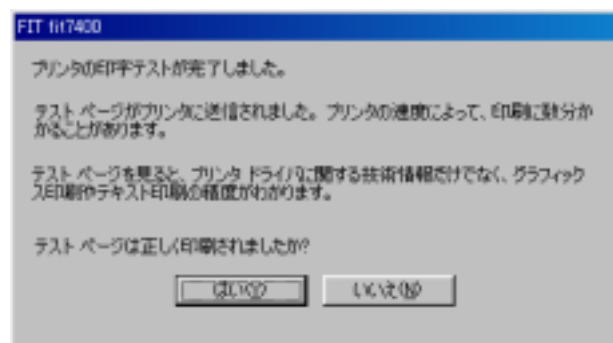
手順 *9* で仮のポートを選択した場合は、「いいえ」を選択してください。

ファイルのコピーが開始されます。

コピーが終了すると、〔プリンタ〕フォルダにプリンタ名が表示され、ドライバが有効になります。

「印字テストを行いますか？」で「はい（推奨）」を選択した場合は以下の操作をおこないます。

テストページを印刷する前にプリンタに A4 タテ以上の用紙をセットしてください。用紙のセット方法については、『プリンタ編』「第 3 章 用紙のセット」を参照してください。

12 テストページが正しく印刷されたら〔はい〕をクリックし、インストールを終了する

◆ Plug&Play によるインストール

プリンタドライバの Plug&Play によるインストールは、次の手順で行います。
添付のプリンタドライバディスクを準備してください。

1　プリンタとパソコンを接続し、プリンタの電源を入れた状態で Windows Me を起動する

パソコン起動時に「FIT fit7400 新しいハードウェアが検出されました。必要なソフトウェアを探しています」と表示されます。

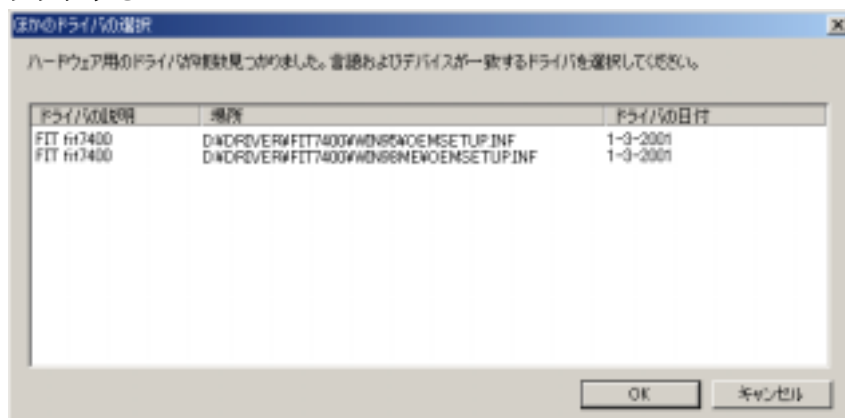
ガイド

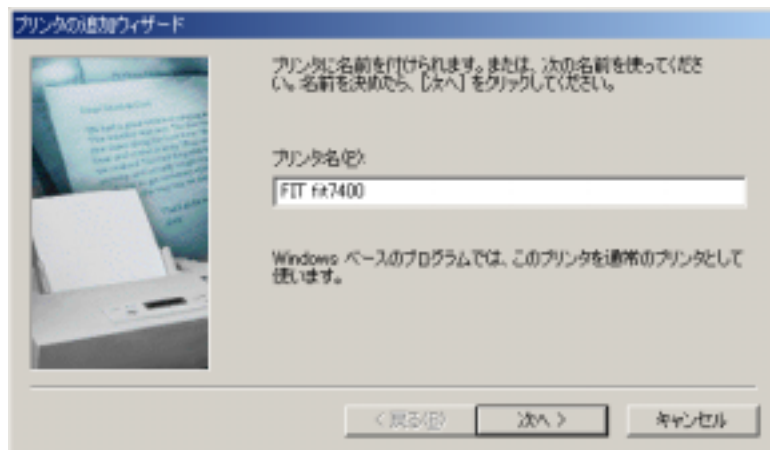
Plug&Play はプリンタがパソコンに直接つながっている場合のみ行われます。
プリンタが検出されない場合は、「通常のインストール」（228 ページ）でインストールしてください。

2　添付の fit プリンタドライバセットアップディスクをパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

3　「新しいハードウェアの追加」ウィザードが表示されたら、「適切なドライバを自動的に検索する（推奨）」を選択して〔次へ〕をクリックする

　ここで、「ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）を選択したならば、手順８へ進みください。

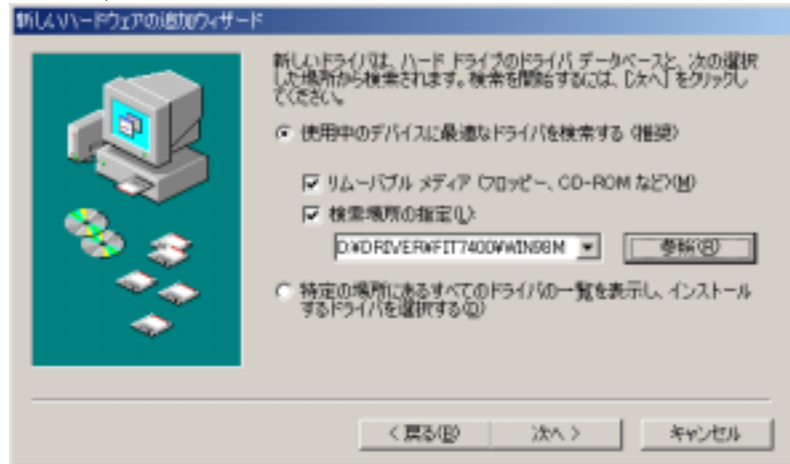
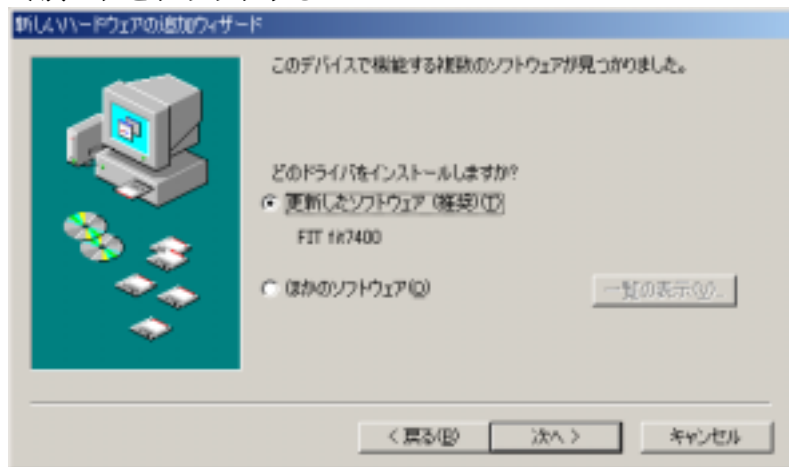
4 **「他のドライバの選択」画面が表示されたなら、場所の説明にて ”Win98Me” のディレクトリ側のドライバを選択し〔ＯＫ〕をクリックする**

5 **＜プリンタ名：＞にプリンタの名前を入力し、通常のプリンタに設定する場合は「はい」を選択し、〔次へ〕をクリックする**

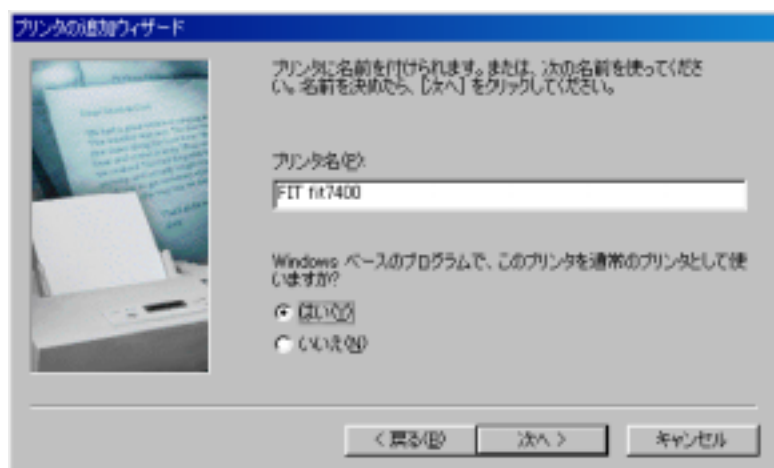
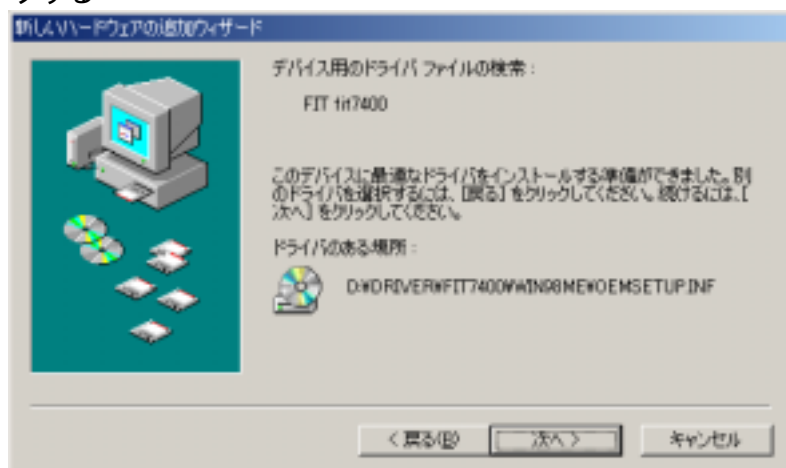
他にインストールされているプリンタがない場合は、自動的に通常のプリンタとして設定されます。

6 プリンタドライバが見つかったことを確認し、〔次へ〕をクリックする

7 画面の指示に従って、インストールを続ける

プリンタドライバのインストールが完了すると、追加したプリンタのアイコンが「プリンタウィンドウ」に表示されます。

8 **手順３にて「ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）を選択したならば、「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択し、「リームバブルメディア（フロッピー、CD-ROM など）」と「検索場所の指定」をチェックし〔次へ〕をクリックする**

注1）上記は CD-ROM ドライブが D:のときの入力例です。

9 **「更新したソフォトウェア（推奨）」FIT fit7400 をチェックし〔次へ〕をクリックする**

10 **＜プリンタ名：＞にプリンタの名前を入力し、通常のプリンタに設定する場合は「はい」を選択し、〔次へ〕をクリックする**

他にインストールされているプリンタがない場合は、自動的に通常のプリンタとして設定されます。

11 **プリンタドライバが見つかったことを確認し、〔次へ〕をクリックする**

12 画面の指示に従って、インストールを続ける

プリンタドライバのインストールが完了すると、追加したプリンタのアイコンが「プリンタウィンドウ」に表示されます。

■ Windows NT4.0 のとき

ここでは、Windows NT4.0 が動作するパソコンにプリンタドライバをインストールする方法について説明します。

ガイド

・ご使用のパソコンにインストールされている Windows NT4.0 のバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。

◆ インストール

プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。
添付の fit プリンタドライバセットアップディスクを準備してください。

1 **Windows NT4.0 を起動し、管理者グループのメンバーとしてログオンする**

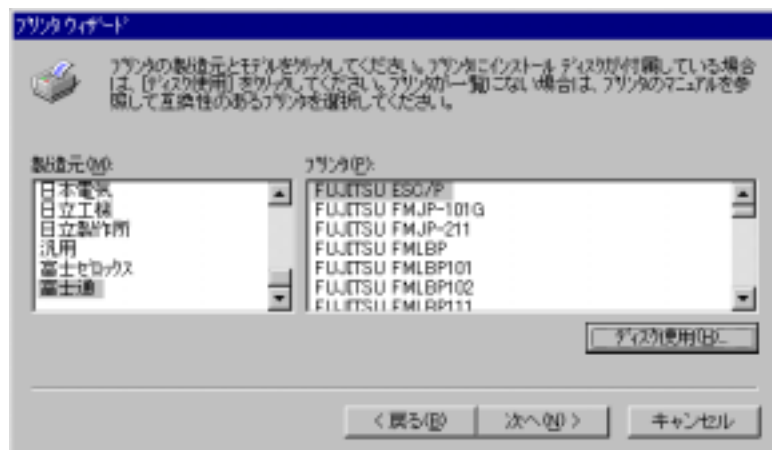
2 **マイコンピュータの〔プリンタ〕をダブルクリックし、次に〔プリンタの追加〕をダブルクリックする**

3　「このコンピュータ」を選択して〔次へ〕をクリックする

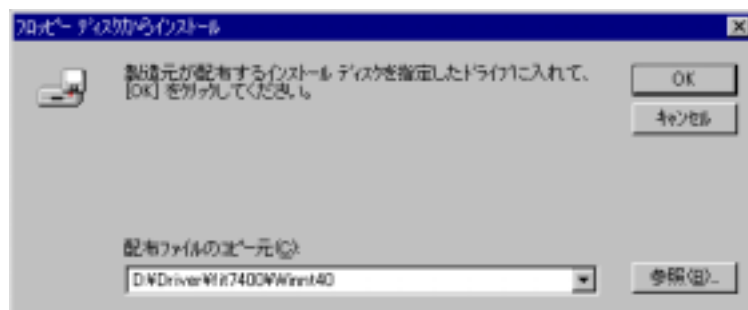
〔ネットワークプリントサーバー〕を選んでインストールするには、プリントサーバー上に対応するプリンタドライバがあらかじめインストールされている必要があります。

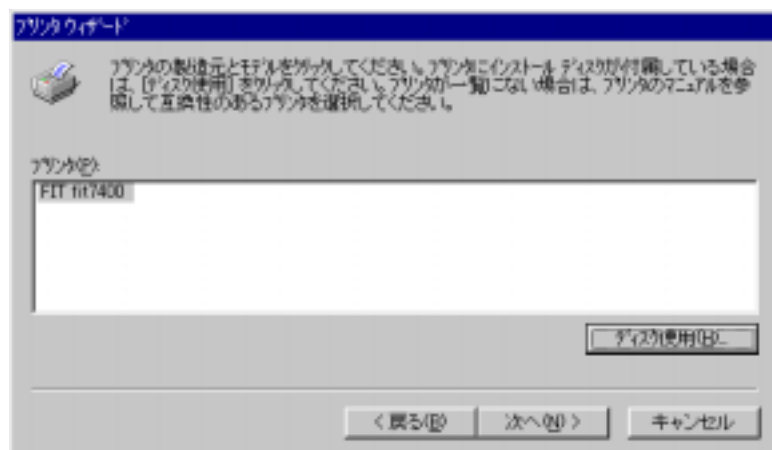
4　プリンタを接続したポートを選択して〔次へ〕をクリックする

利用可能なポートから、プリンタを接続したポートを選択します。まだ、ポートを作成していない場合は、仮のポートを選択してください。ただし、この場合は正しいポートを設定するまでテストページ等の印刷は行わないでください。

5　**〔ディスク使用〕をクリックする**

6　**添付の fit プリンタドライバセットアップディスクをパソコンの CD-ROM ドライブにセットする**

7　**＜配布ファイルのコピー元：＞に「D:\Driver\fit7400\Winnt40」と入力するか、または〔参照〕をクリックして「D:\Driver\fit7400\Winnt40」を選択し、〔開く〕をクリックする**

注 1)　上記は CD-ROM ドライブが D:のときの入力例です。

8　該当するプリンタを選択して〔次へ〕をクリックする

実際の画面では、インストール可能なプリンタ名が表示されます。

注 1）「このプリンタにはドライバが既にインストールされています。現在のドライバをそのまま使いますか？ 新しいドライバを使うと、印刷結果が異なることがあります。」という画面が表示される場合は、「新しいドライバに置き換える」を選択します。

9　＜プリンタ名：＞にプリンタの名前を入力し、通常のプリンタに設定する場合は、「はい」を選択し、〔次へ〕をクリックする

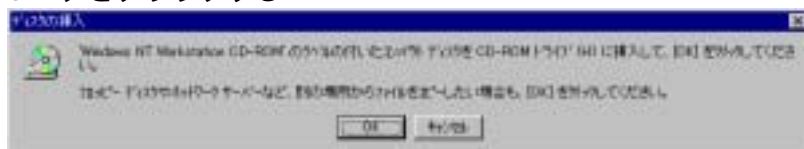
他にインストールされているプリンタがない場合は、自動的に通常のプリンタとして設定されます。

10 「共有しない」を選択し、〔次へ〕をクリックする

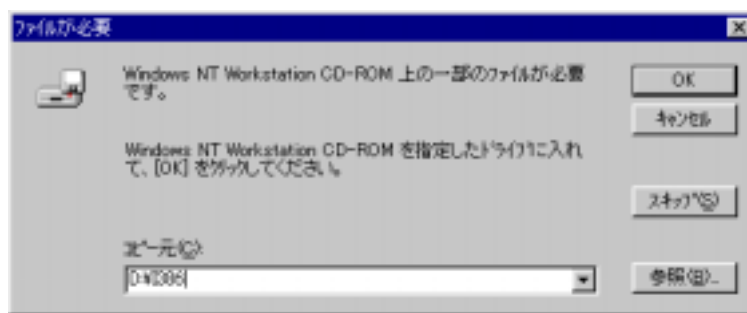
プリンタを共有するかしないかの設定は、プリンタドライバをインストールした後でも変更できます。ここでは「共有しない」を選択します。

11 テストページを印刷するか、しないかを選択して〔完了〕をクリックする

手順 *4* で仮のポートを選択した場合は「いいえ」を選択してください。ファイルのコピーが開始されます。

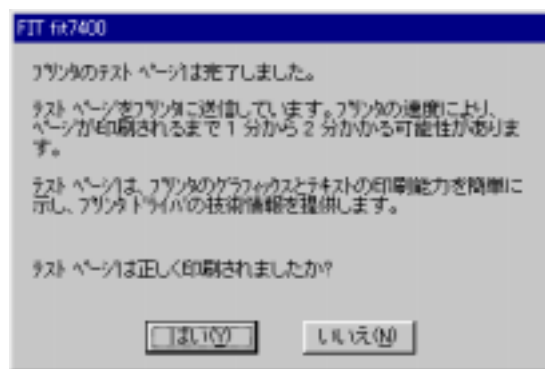
12 **〔ディスク挿入〕ウィンドウが表示されたら、Windows NT4.0 セットアップディスクをパソコンの CD-ROM ドライブにセットし、〔ＯＫ〕をクリックする**

13 **＜ファイルのコピー元：＞に「D:\I386」と入力する。または〔参照〕をクリックして「D:\I386」を選択する**

注)　上記は CD-ROM ドライブが D:のときの入力例です。

入力が終わったら〔OK〕をクリックします。

ファイルのコピーが終了すると、〔プリンタ〕フォルダにプリンタ名が表示され、ドライバが有効になります。

「テストページを印刷しますか？」で「はい（推奨）」を選択した場合は、次へ進みます。

テストページを印刷する前にプリンタに A4 タテ以上の用紙をセットしてください。用紙のセット方法については、『プリンタ編』「第 3 章 用紙のセット」を参照してください。

14 テストページが正しく印刷されたら、〔はい〕をクリックし、インストールを終了する

■ Windows 2000 のとき

ここでは、Windows 2000 が動作するパソコンにプリンタドライバをインストールする方法について説明します。

インストール手順は、プリンタを、プリンタフォルダから手動で指定するか、プリンタフォルダから Plug&Play で検出するか、または Plug&Play で検出するかで異なります。それぞれの手順に従ってください。また、Plug&Play でプリンタが検出されない場合は、プリンタフォルダから手動で指定してプリンタドライバをインストールしてください。

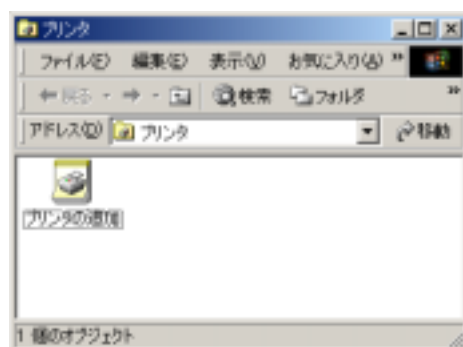
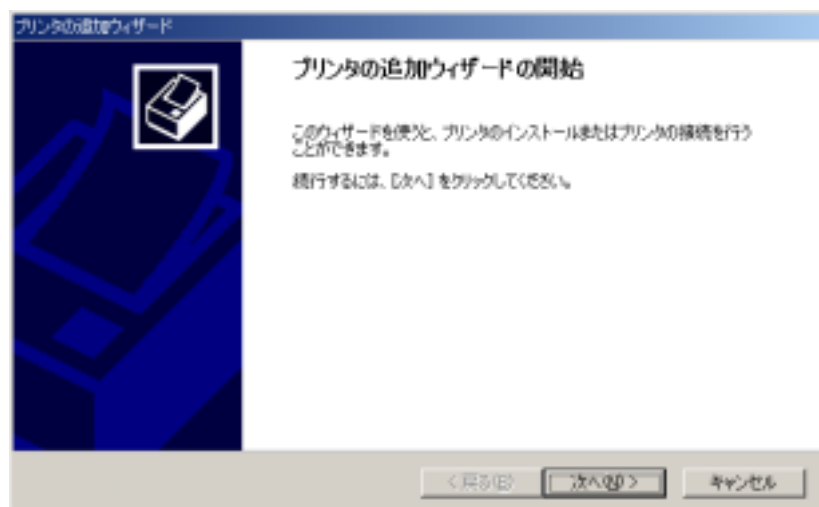
ガイド

・ご使用のパソコンにインストールされている Windows 2000 のバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。

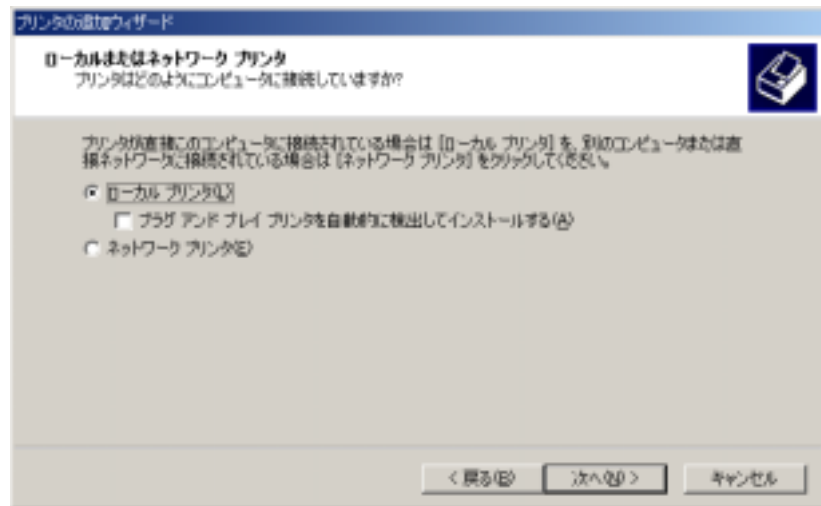
◆ 通常のインストール

プリンタフォルダからのインストールには、手動でプリンタを指定する場合と、Plug&Play で検出する場合があります。
添付の fit プリンタドライバセットアップディスクを準備してください。

1 **Windows 2000 を起動する**

2 **マイコンピュータのコントロールパネルより〔プリンタ〕をダブルクリックし、次に〔プリンタの追加〕をダブルクリックする**

3 **〔次へ〕をクリックする**

4　手動でプリンタを指定する場合は、「ローカルプリンタ」を選択して〔次へ〕をクリックする
Plug&Play で検出する場合は「ローカルプリンタ」を選択し、「プラグ アンド プレイ プリンタを自動的に検出してインストールする」にチェックを付け、〔次へ〕をクリックする

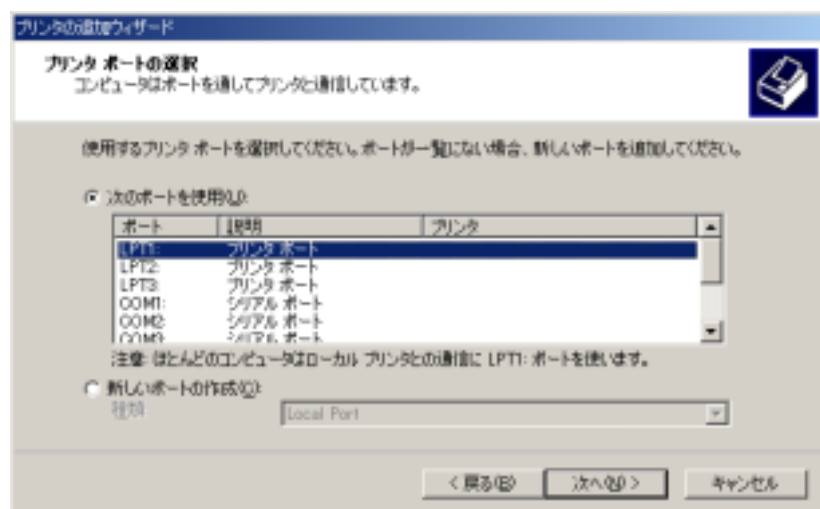
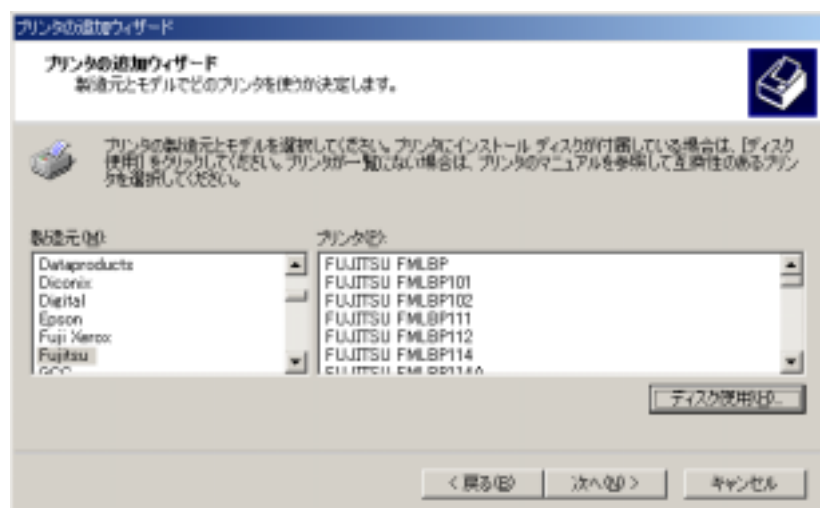
この画面は、パソコンがネットワークに接続されているときのみ表示されます。

手動でプリンタを指定する場合は「手動で指定する場合」(250 ページ) に、Plug&Play でプリンタを検出する場合は「Plug&Play で検出する場合」(255 ページ) 手順１に進んでください。

ガイド

・スタンドアロン（パソコンとプリンタを１対１で接続）のときや、パソコンをプリントサーバとして使うときは、ローカルプリンタを選択します。
　印刷先（ポート）を後で変更する場合も、ローカルプリンタを選択してください。ただし、正しい印刷先に設定するまでテストページ等の印刷は行わないでください。
・「ネットワークプリンタ」を選んでインストールするには、プリントサーバ上に、対応するプリンタドライバがあらかじめインストールされている必要があります。
　また、「代替ドライバとネットワークインストール」はサポートしていません。

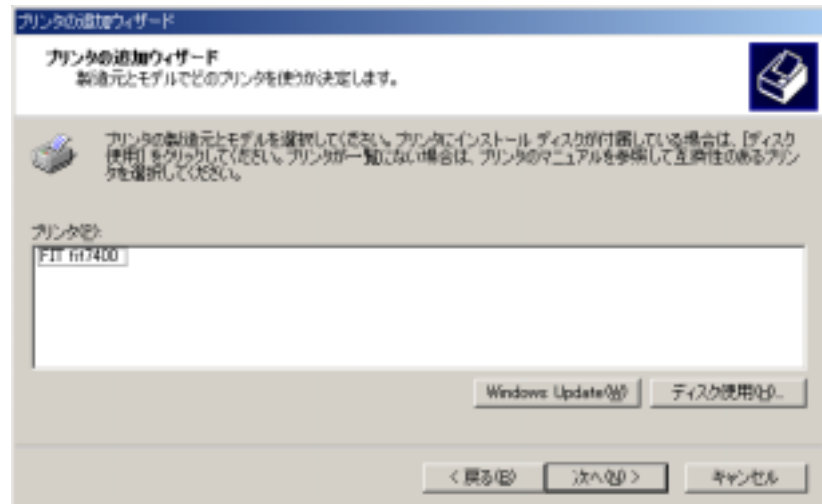
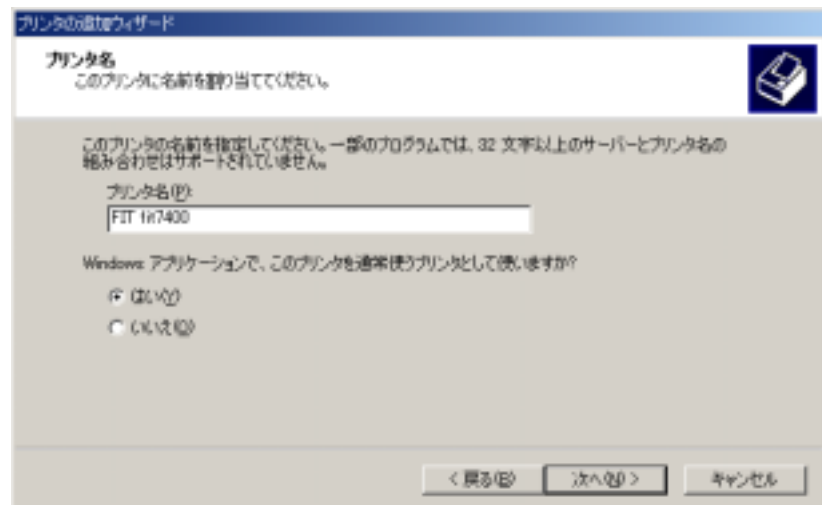
◆ 手動で指定する場合

5　使用するポートを選択し、〔次へ〕をクリックする

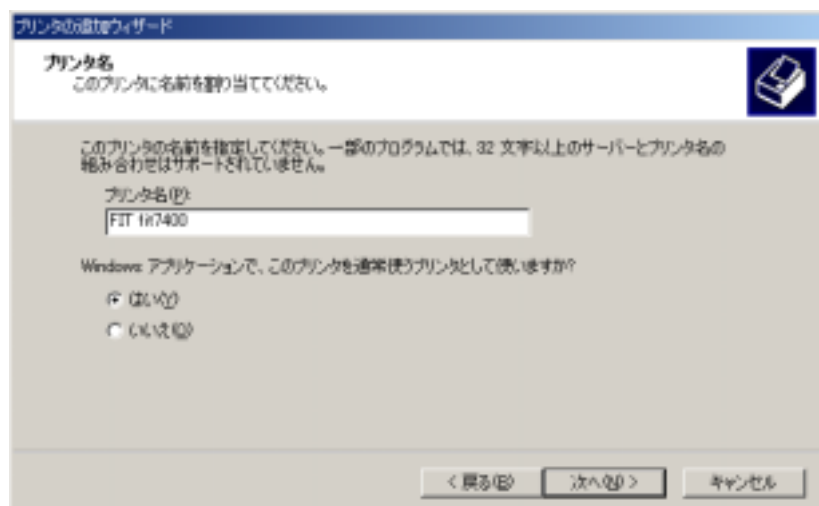
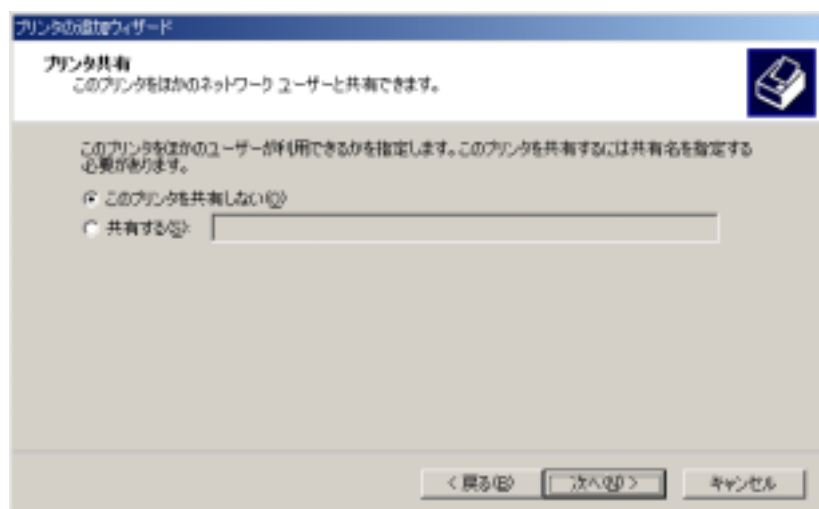
使用するポートがまだ作成されていない場合は、仮のポートとしてローカルポート（LPT1）などを選択してください。

6　〔ディスク使用〕をクリックする

7　添付の fit プリンタドライバセットアップディスクをパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

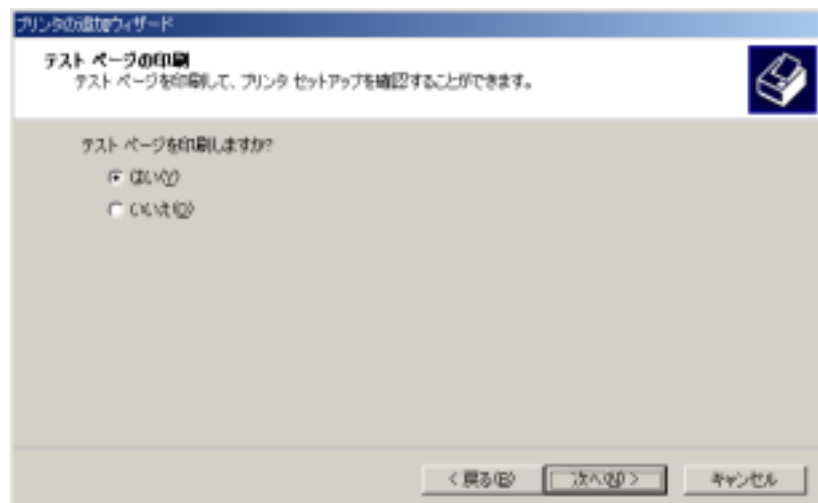
8 <製造元のファイルのコピー元：>に「D:\Driver\fit7400\Win2k」と入力する、または〔参照〕をクリックして「D:\Driver\fit7400\Win2k」を選択する

注 1)　上記は CD-ROM ドライブが D:のときの入力例です。

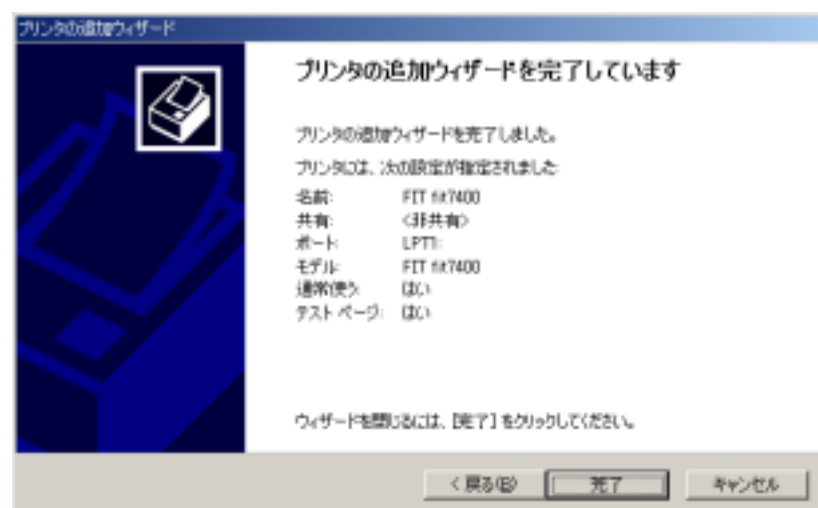
入力が終わったら〔OK〕をクリックします。

9 プリンタを選択して〔次へ〕をクリックする

注 2)　「このプリンタにはドライバが既にインストールされています。現在のドライバをそのまま使いますか？ 新しいドライバを使うと、印刷結果が異なることがあります。」という画面が表示される場合は、「新しいドライバに置き換える」を選択します。

10 ＜プリンタ名：＞にプリンタの名前を入力し、通常使うプリンタに設定する場合は「はい」を選択し、〔次へ〕をクリックする

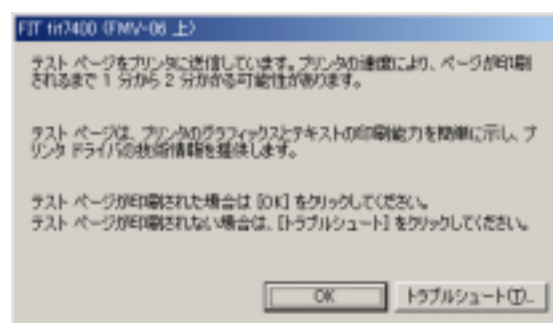
他にインストールされているプリンタがない場合は、自動的に通常使うプリンタとして設定されます。

11 プリンタを共有するか、しないかを選択して〔次へ〕をクリックする

12 テストページを印刷するか、しないかを選択して〔次へ〕をクリックする

手順 *5* で仮のポートを選択した場合は、「いいえ」を選択してください。

「はい」を選択した場合は以下の操作をおこないます。

テストページを印刷する前にプリンタに A4 タテ以上の用紙をセットしてください。用紙のセット方法については、取扱説明書『プリンタ編』「第 3 章 用紙のセット」を参照してください。

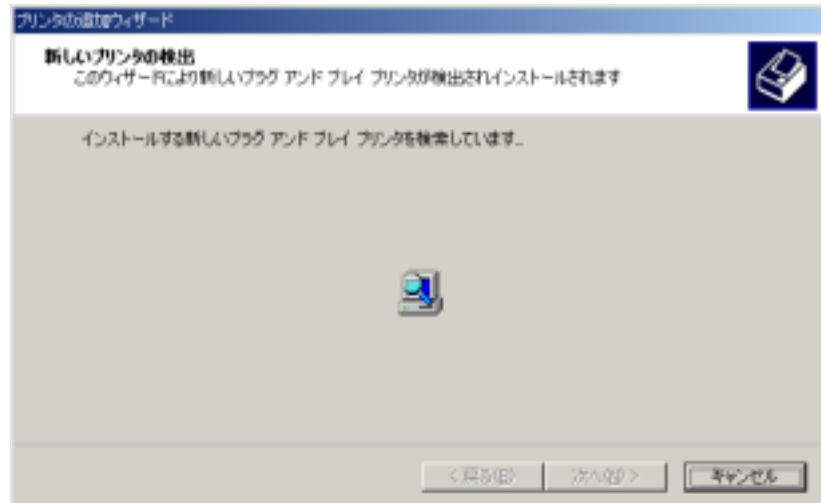
13 〔完了〕をクリックする

14 〔はい〕をクリックする

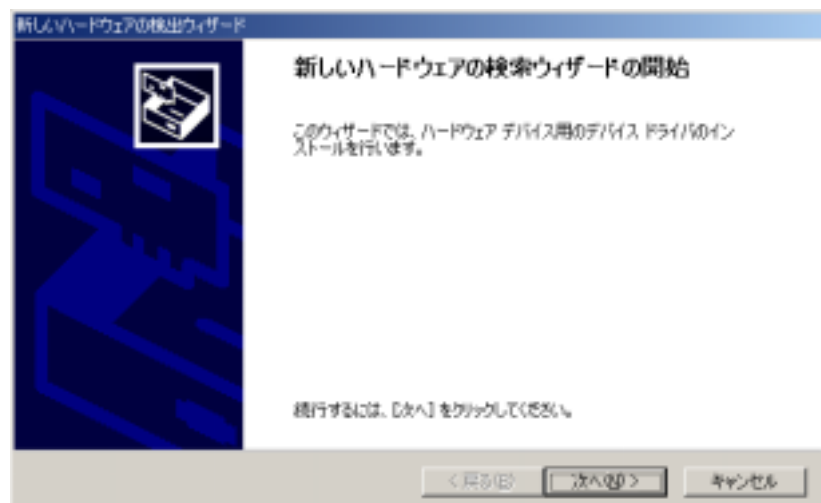
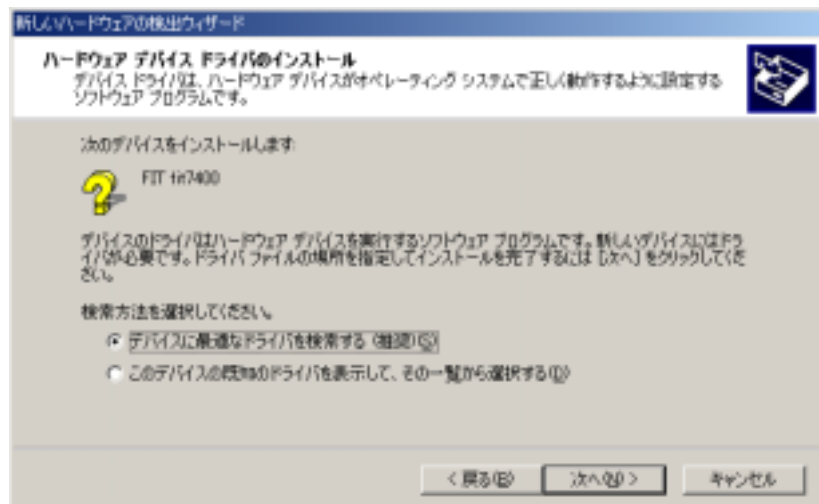
ファイルのコピーが開始されます。手順 12 でテストページを印刷しない設定にした場合は、この手順でインストールは終了です。テストページを印刷する設定にした場合は、手順 15 に進んでください。

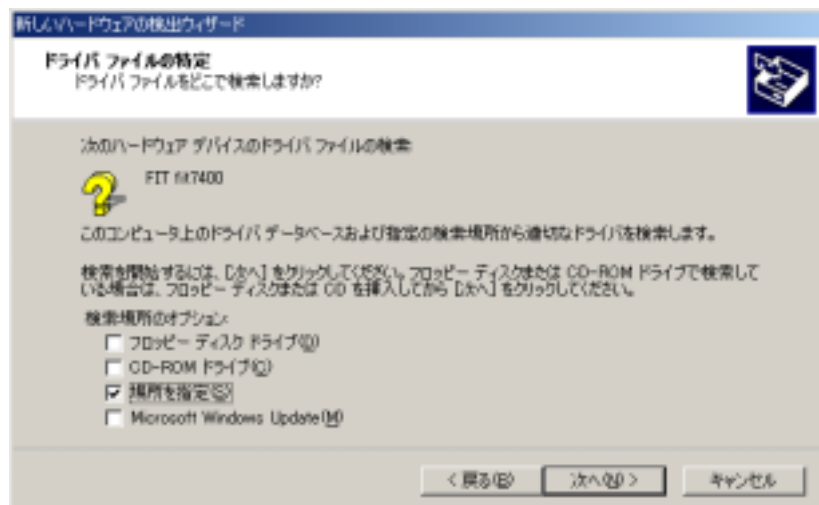
15 テストページが正しく印刷されたら〔OK〕をクリックし、インストールを終了する

インストールが終了すると〔プリンタ〕フォルダにプリンタ名が表示され、ドライバが有効になります。

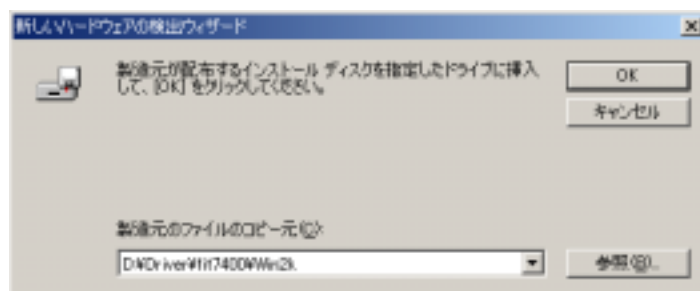
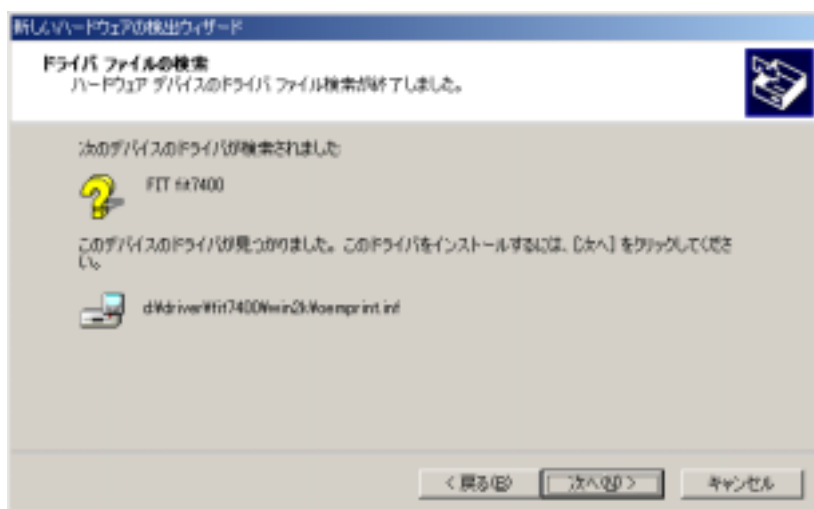
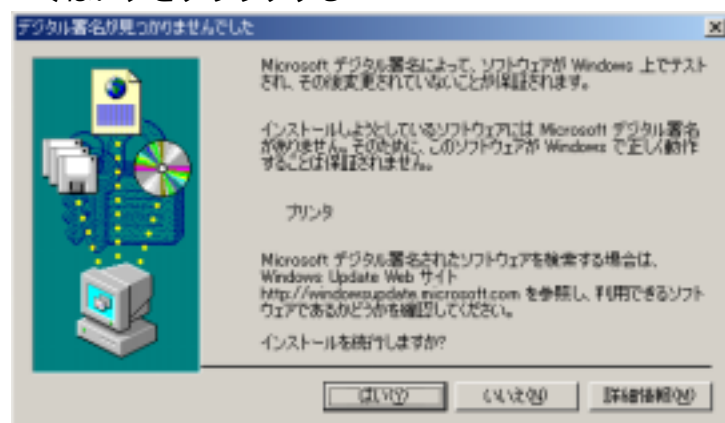
◆ Plug&Play で検出する場合

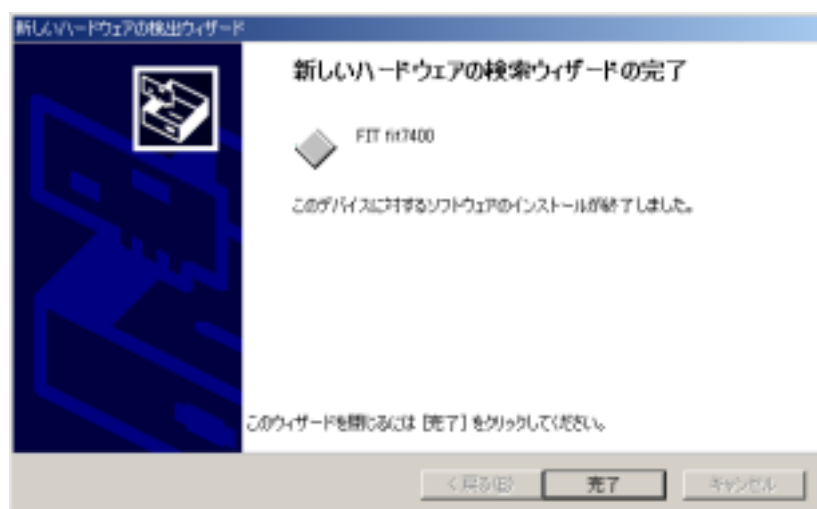
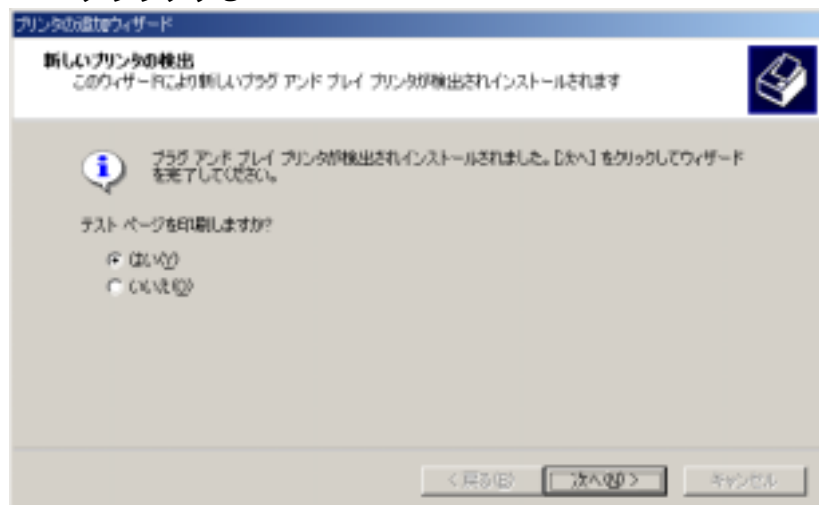
1 **プリンタとパソコンを接続し、プリンタの電源を入れた状態でWindows2000 を起動する**

2 **新しいプリンタを検出する画面が表示される**

プリンタが検出されると以下の画面が表示されます。

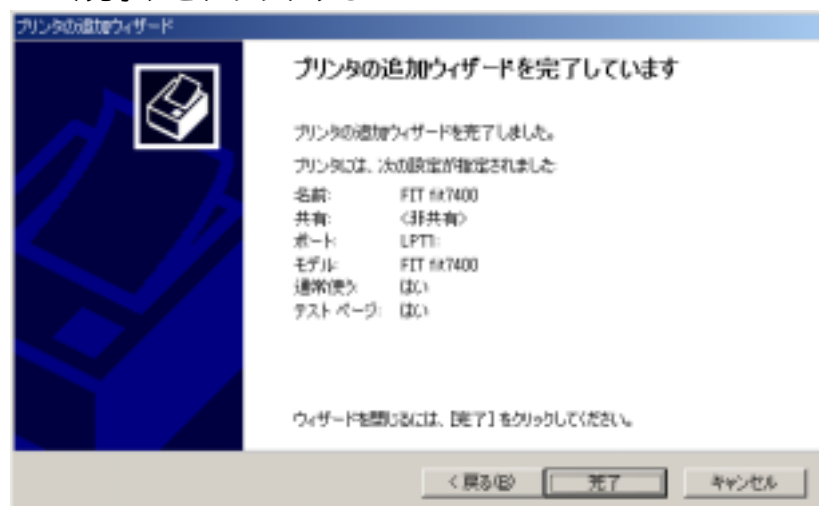
3 **〔次へ〕をクリックする**

4 **「デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」を選択して〔次へ〕をクリックする**

5 **添付の fit プリンタドライバセットアップディスクをパソコンの CD-ROM ドライブにセットする**

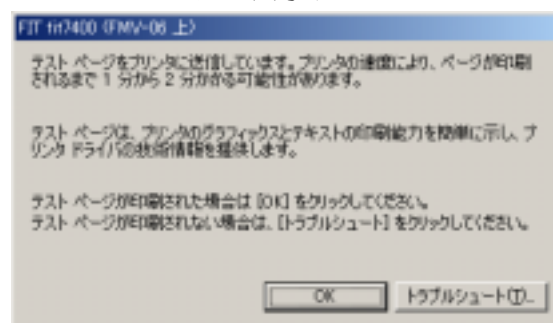
6 **「フロッピーディスクドライブ」および「CD-ROM ドライブ」のチェックを外し、「場所を指定」を選択して〔次へ〕をクリックする**

7　＜製造元のファイルのコピー元：＞に「D:\Driver\fit7400\Win2k」と入力する、または〔参照〕をクリックして「D:\Driver\fit7400\Win2k」を選択する

注 1）　上記は CD-ROM ドライブが D:のときの入力例です。
入力が終わったら〔OK〕をクリックします。

8　〔次へ〕をクリックする

９　〔はい〕をクリックする

ファイルのコピーが開始されます。

１０　〔完了〕をクリックする

１１　テストページを印刷するか、しないかを選択して〔次へ〕をクリックする

「はい」を選択した場合は以下の操作を行います。

テストページを印刷する前にプリンタにＡ４タテ以上の用紙をセットしてください。用紙のセット方法については、取扱説明書『プリンタ編』「第３章 用紙のセット」を参照してください。

１２　〔完了〕をクリックする

手順 14 でテストページを印刷しない設定にした場合は、この手順でインストールは終了です。テストページを印刷する設定にした場合は、手順 16 に進んでください。

１３　テストページが正しく印刷されたら〔OK〕をクリックし、インストールを終了する

インストールが終了すると、「プリンタ」フォルダにプリンタ名が表示され、ドライバが有効になります。

◆ Plug&Play によるインストール

プリンタドライバの Plug&Play によるインストールは、次の手順で行います。
添付の fit プリンタドライバセットアップディスクを準備してください。

1　プリンタとパソコンを接続し、プリンタの電源を入れた状態で Windows 2000 を起動する

パソコン起動時に「FIT fit7400 新しいハードウェアが検出されました。必要なソフトウェアを探しています。」と表示されます。
以降の手順は「プリンタフォルダからのインストール」の「Plug&Play で検出する場合」手順 4 から 10 の指示に従ってください。

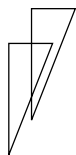
ガイド

Plug&Play はプリンタがパソコンに直接つながっている場合のみ行われます。
プリンタが検出されない場合は、「プリンタフォルダからのインストール」の「手動で指定する場合」（250 ページ）でインストールしてください。

第2章

プリンタドライバの設定

この章では、プリンタドライバの設定方法や設定項目について説明します。

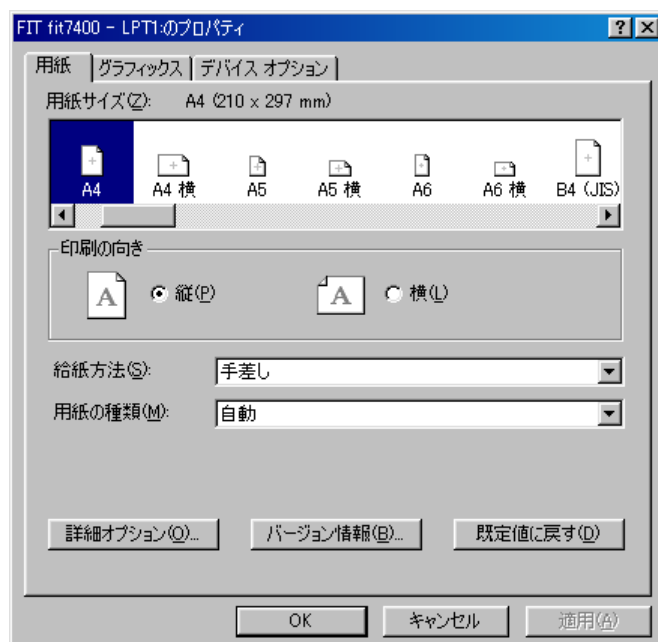
プリンタドライバの設定

ここでは、プリンタドライバの設定画面について説明します。

■ Windows 95/98/Me の設定画面

Windows 95/98/Me でのプリンタドライバの設定は、「プリンタのプロパティ」で行います。
プリンタのプロパティは、アプリケーションソフトから表示させる方法と、Windows のスタートメニューから表示させる方法があります。
表示方法によって設定できる項目が変わりますので、ご注意ください。

ガイド

・アプリケーションソフトによっては、データ保存時に印刷に関する設定（プリンタドライバの設定を含む）を保存します。このため、アプリケーションソフト側から変更するまで、保存してある設定値で印刷されることがあります。また、アプリケーション側で用紙サイズなどを設定できるものもあります。
・画面は Windows98 を例に説明しています。

◆ アプリケーションソフトからの設定画面（プリンタ設定のプロパティ）

アプリケーションソフトから印刷を実行するときに表示できる設定画面です。
用紙サイズや解像度などを印刷時に設定できます。

【設定画面の表示と設定の変更】

プリンタ設定のプロパティを表示する方法は、アプリケーションソフトごとに異なります。

ここでは、ワードパットを例に説明します。

1　ワードパットの〔ファイル〕メニューから、〔印刷〕を選択する

2　〔印刷〕ダイアログで、〔プロパティ〕をクリックする

3　目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する

〔OK〕をクリックすると、変更した設定を保存してプロパティを終了します。
〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないでプロパティを終了します。
〔既定値に戻す〕のあるダイアログでは、これをクリックすると現在設定中のダイアログの内容を標準値に戻します。

◆ 〔スタート〕からの設定画面（プリンタのプロパティ）

プリンタドライバやポートの選択などが行えます。
また、用紙サイズや解像度などの印刷に関する既定値の設定が行えます。
アプリケーションソフトで用紙やプリンタなどの印刷に関する設定を行わない場合は、この設定値で印刷します。

【設定画面の表示と設定の変更】

1　〔スタート〕から、〔設定〕〔プリンタ〕の順に選択する

2　該当するプリンタのアイコンをクリックし、〔ファイル〕メニューから〔プロパティ〕を選択する

3　目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する

〔OK〕をクリックすると、変更した設定を保存してプロパティを終了します。〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないでプロパティを終了します。
〔既定値に戻す〕のあるダイアログでは、これをクリックすると、現在設定中のダイアログの内容を標準値に戻します。

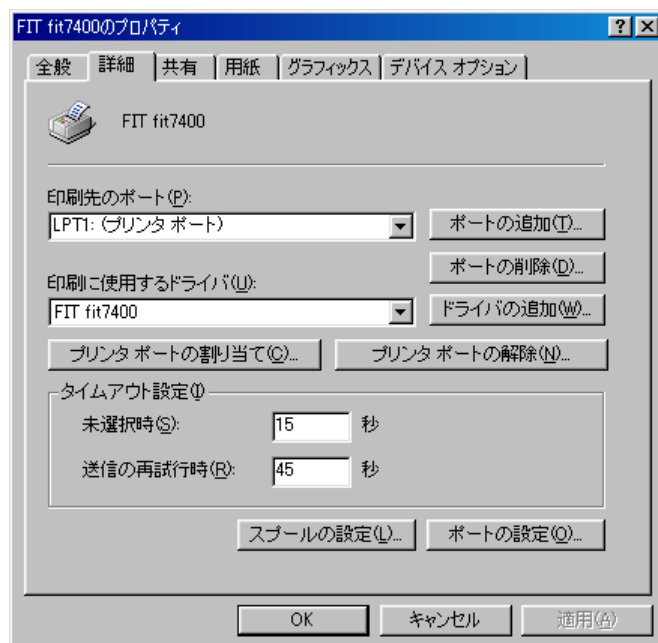
◆ ダイアログ一覧

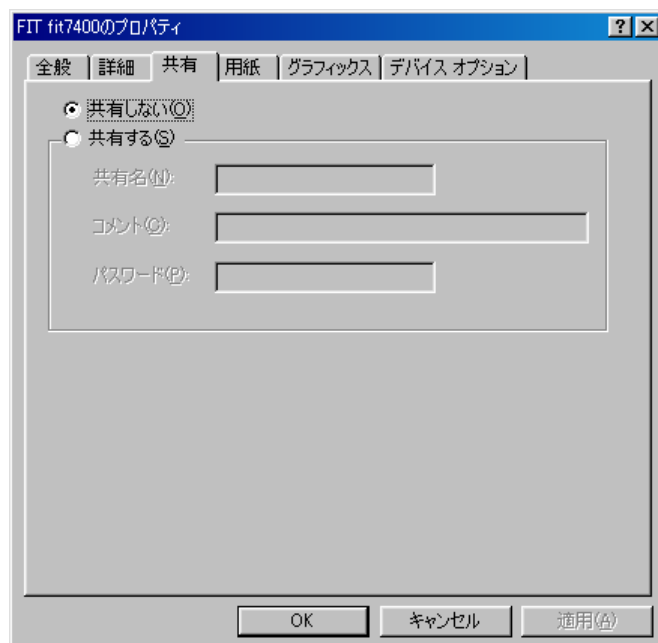
（注）とあるダイアログは「プリンタのプロパティ」にのみ表示されます。

〔全般〕（または〔情報〕）（注）

プリンタに関するコメントの入力や区切りページの指定、テストページ印刷を行います。

区切りページは、印刷を行うパソコンにプリンタが直接接続されている場合のみ使用できます。また、B5 サイズより小さいサイズの用紙では、周囲の一部が欠けて印刷されます。

〔詳細〕（注）

印刷先のポートに関する設定や、使用しているプリンタドライバの表示を行います。

〔共有〕（注）

プリンタの共有に関する設定を行います。
このダイアログは、ネットワークの設定でプリンタを共有に設定したときのみ表示されます。

〔用紙〕

用紙サイズ、印刷の向き、給紙方法などの用紙に関する設定を行います。

設定項目	内　容
用紙サイズ	用紙サイズを選択します。 ・特別なサイズの用紙を使う場合、ユーザー定義サイズを選択し、用紙の幅と長さを設定します。「プリンタ編　第 4 章　用紙について」の「用紙サイズおよび印字領域」の範囲で使用してください。 ・複数のユーザー定義サイズの用紙を使いたい場合は、プリンタドライバをユーザー定義サイズごとにインストールしてください。ドライバの名前にサイズ名を指定すれば、ドライバの切り替えで使用できます。 ・選択できる用紙サイズについては、「印刷可能領域」（297 ページ）を参照してください。
印刷の向き	印刷の向きを選択します。 ・縦　：　用紙を縦長に使って印刷します。 ・横　：　用紙を横長に使って印刷します。
給紙方法	用紙の給紙方法を選択します。詳細は「給紙方法」（302 ページ）を参照してください。
用紙の種類	用紙厚調整の方法を設定します。
余白の編集	余白の編集を行います。 選択した用紙サイズに最適な値が設定されています。 設定を変更すると印刷位置がずれる場合があります。 本機能はアプリケーションソフトからは設定できません。

設定項目	内　容
詳細オプション	単票用紙の排出方法を指定します。 ・自動排出： プリンタの操作パネルで指定した排出方法になります。 ・手前排出： 単票テーブル側に排出します。 ・後方排出 リアスタッカに排出します
バージョン情報	本プリンタドライバに関する情報を表示します。
標準に戻す	現在開いているプロパティ内のすべての設定を標準の状態に戻します。

〔グラフィックス〕

解像度やディザパターンなどを設定します。

設定項目	内　容
解像度	印刷するデータの解像度を次の中から指定できます。 180×180dpi（既定値）、120×180dpi、360×180dpi
ディザリング	ディザリングとは､中間色をドットの組み合わせで表現することです。選んだディザリングの設定によって、グラフィックイメージがどの程度に細かく印刷されるかが決まります。 なし　　　　：ディザリングをおこないません。 粗く　　　　：グラフィックイメージを粗いパターンで表現します。 細かく　　　：グラフィックイメージを細かいパターンで表現します。（既定値） ラインアート：グラフィックイメージを線の太さで表現します。印刷をするグラフィックイメージの、黒・白・グレーの間にはっきりした境界線がある場合に指定してください。 誤差拡散法　：はっきりした境界のない写真や絵を印刷するときに指定します。
濃度	濃度を変えると、印刷濃度が調整できます。

〔デバイスオプション〕

印刷密度、印刷品質の設定を行います。

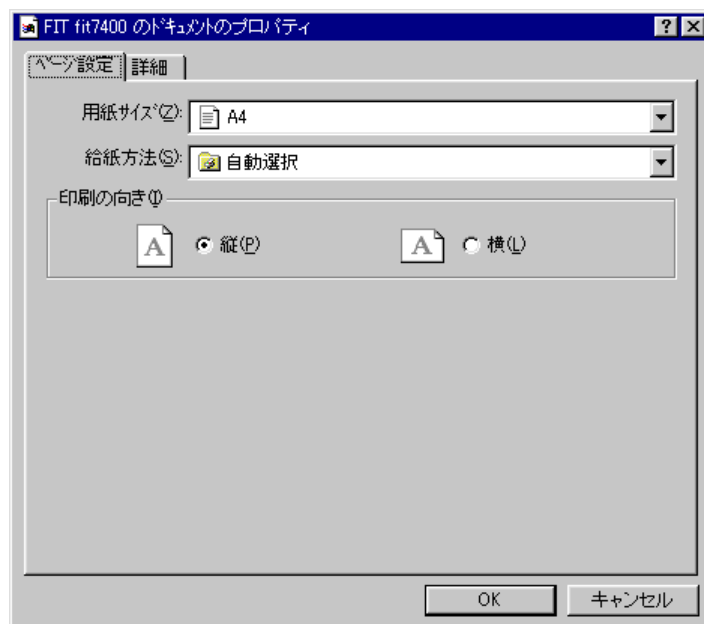
設定項目	内　容
印刷密度	印刷密度(印字圧)の設定をします。 ・標準　：標準の印字圧で印刷します。 ・高複写：印字圧を高めて印刷します。標準より高い複写能力が必要な場合に選択します。
印刷品質	印字品質および印字方向の設定をします。 ・高品質（両方向）：高品質モードで両方向印字を行います。 ・高品質（片方向）：高品質モードで片方向印字を行います。 ・高速（両方向）：高速モードで両方向印字を行います。 ・高速（片方向）：高速モードで片方向印字を行います。

■ Windows NT4.0 の設定画面

Windows NT4.0 でのプリンタドライバの設定は、「プリンタ設定のプロパティ」、「ドキュメントの既定値」、「プリンタのプロパティ」の３つのプロパティで行います。
プロパティによって設定できる項目が変わりますので、ご注意ください。

 ガイド

・一般ユーザは、アプリケーションソフトからのプリンタ設定のプロパティのみ変更できます。
　また、サーバ共有のプリンタの全ての設定値をクライアントから変更するには、サーバとクライアントの両方で管理者権限が必要です。
・アプリケーションソフトによっては、データ保存時に印刷に関する設定（プリンタドライバの設定を含む）を保存します。
　このため、アプリケーションソフト側から変更するまで、保存してある設定値で印刷されることがあります。また、アプリケーション側で用紙サイズなどを設定できるものもあります。

◆ アプリケーションからの設定画面（プリンタ設定のプロパティ）

各アプリケーションソフトでのプリンタの設定項目から表示するプリンタのプロパティです。
印刷時に用紙サイズや解像度などの印刷に関する設定が行えます。

【設定画面の表示と設定の変更】

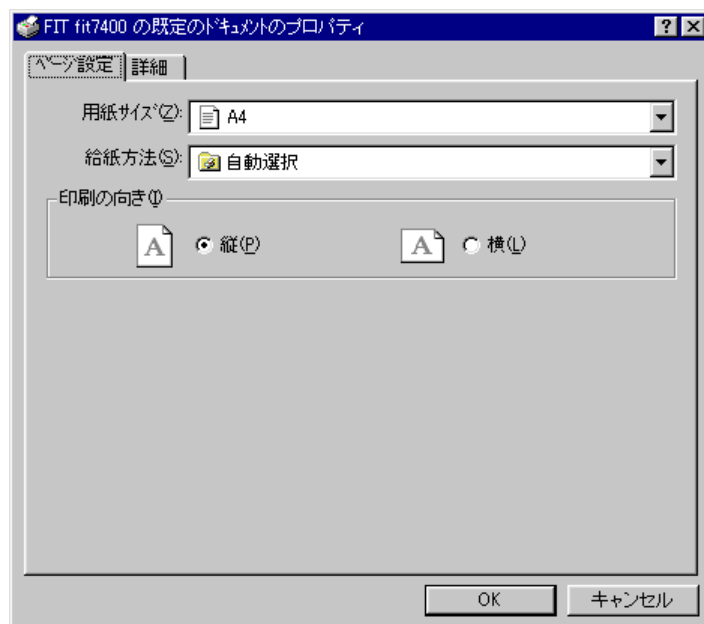
プリンタ設定のプロパティを表示する方法は、アプリケーションソフトごとに異なります。
ここでは、ワードパットを例に説明します。

1　**ワードパットの〔ファイル〕メニューから、〔印刷〕を選択する**

2　**〔印刷〕ダイアログで、〔プロパティ〕をクリックする**

3　**目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する**

〔OK〕をクリックすると、変更した設定を保存してプロパティを終了します。
〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないでプロパティを終了します。

◆ 〔スタート〕からの設定画面（ドキュメントの既定値）

用紙サイズや解像度などの印刷に関する既定値を設定します。
アプリケーションソフトで用紙やプリンタの設定を行わない場合は、この設定値で印刷します。

【設定画面の表示と設定の変更】

1　〔スタート〕から、〔設定〕〔プリンタ〕の順に選択する

2　該当するプリンタのアイコンをクリックし、〔プリンタ〕フォルダの〔ファイル〕メニューから〔ドキュメントの既定値〕を選択する

3　目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する

〔OK〕をクリックすると、変更した設定を保存してプロパティを終了します。
〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないでプロパティを終了します。

◆ プリンタのプロパティ

プリンタドライバやポートの選択などが行えます。

【設定画面の表示と設定の変更】

1　**〔スタート〕から、〔設定〕〔プリンタ〕の順に選択する**

2　**該当するプリンタのアイコンをクリックし、〔プリンタ〕フォルダの〔ファイル〕メニューから〔プロパティ〕を選択する**

3　**目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する**

〔OK〕をクリックすると、変更した設定を保存してプロパティを終了します。
〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないでプロパティを終了します。

◆ ダイアログ一覧

（注 1）とあるダイアログは「プリンタ設定のプロパティ」または「ドキュメントの既定値」でのみ表示されます。
（注 2）とあるダイアログは「プリンタのプロパティ」でのみ表示されます。

〔ページ設定〕 （注 1）

用紙サイズ、印刷の向き、給紙方法などの用紙に関する設定を行います。

設定項目	内　容
用紙サイズ	用紙サイズを選択します。 ・選択できる用紙サイズについては、「印刷可能領域」（297 ページ）を参照してください。 ・特別なサイズの用紙を使う場合、[プリンタ]フォルダの[ファイル]メニューから[サーバーのプロパティ]を選択し、[用紙]タブの「新しい用紙を作成する」によって登録した用紙名を選択してください。用紙の幅と長さは「プリンタ編 第 4 章 用紙について」の「用紙サイズおよび印字領域」の範囲で使用してください。 ・用紙の登録方法については 278 ページを参照願います。

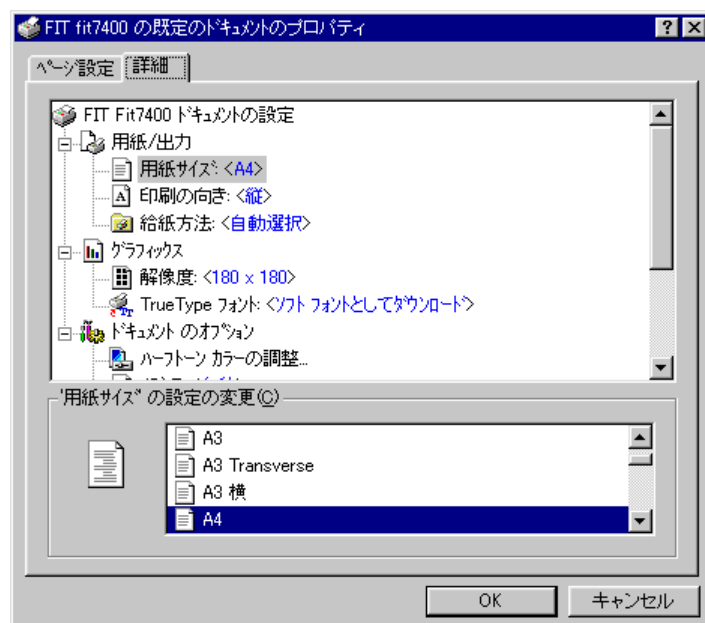
設定項目	内　容
印刷の向き	印刷の向きを選択します。 ・縦 ： 用紙を縦長に使って印刷します。 ・横 ： 用紙を横長に使って印刷します。
給紙方法	用紙の給紙方法を選択します。 ・「自動選択」のまま印刷すると、〔デバイスの設定〕タブで、同じ用紙のサイズが割り当てられている給紙方法で印刷します。同じ用紙サイズがどの給紙方法にも割り当てられていない場合は、手差しで印刷します。

用紙の登録方法

1.「プリンタ」フォルダで「ファイル」-「サーバーのプロパティを選択して、「プリントサーバのプロパティ」を開きます。

2.「プリントサーバのプロパティ」の「用紙」プロパティシートの「新しい用紙を作成する」をチェックします。

3.　用紙名とサイズを入力して、「用紙の保存」をクリックします。

〔**詳細**〕（注 1）

次の項目の設定が行えます。

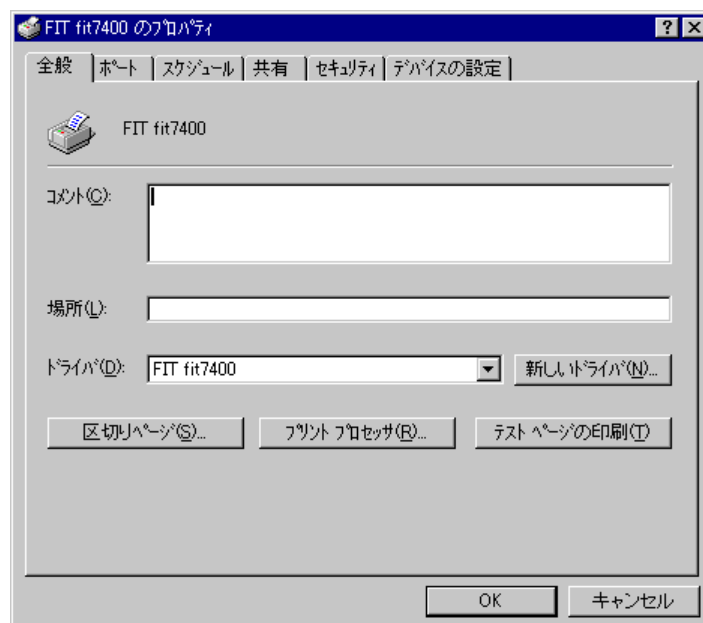
設定項目	設定内容	備　考
用紙/出力	用紙サイズ	用紙サイズを選択します。
	印刷の向き	印刷の向きを指定します。
	給紙方法	給紙方法を選択します。
グラフィックス	解像度	解像度を設定します。
ドキュメントのオプション	ハーフトーンカラーの調整	ハーフトーンカラーを設定します。「ハーフトーンカラーの調整」ボタンをクリックすると「ハーフトーンカラーの調整」ダイアログボックスが表示されます。
	メディア	用紙厚調整の方法を設定します。
	用紙/出力	単票用紙の排出方法を指定します。 ・自動排出： プリンタの操作パネルで指定した排出方法になります。 ・手前排出： 単票テーブル側に排出します。 ・後方排出： リアスタッカに排出します

設定項目	設定内容	備　考
ドキュメントのオプション	印刷品質	印字品質および印字方向の設定をします。 ・高品質（両方向）： 高品質モードで両方向印字を行います。 ・高品質（片方向）： 高品質モードで片方向印字を行います。 ・高速（両方向）： 高速モードで両方向印字を行います。 ・高速（片方向）： 高速モードで片方向印字を行います。
	濃淡	印字圧の設定をします。 ・標準　： 標準の印字圧で印刷します。 ・高複写　： 印字圧を高めて印刷します。標準より高い複写能力が必要な場合に選択します。
	テキストをグラフックスとして印刷	テキストをグラフィックスとして印刷するかどうかの設定をします。 ・オフ　： テキストを設定されているフォントで印刷します。 ・オン　： プリンタフォントを使用せず、グラフィックスでテキストを印刷します。
	メタファイルスプーリング	メタファイルのスプーリングの設定をします。 ・オフ　： 印刷データをスプールしてから印刷します。 ・オン　： 印刷データを直接プリンタに送ります。

「FIT fit7400 ドキュメントの設定」を選択すると、次のボタンが表示されます。

変更したオプションを元に戻す	変更した設定をプロパティシートを開いたときの状態に戻します。
ラスタプリンタドライバのバージョン情報	本プリンタに関する情報を表示します。

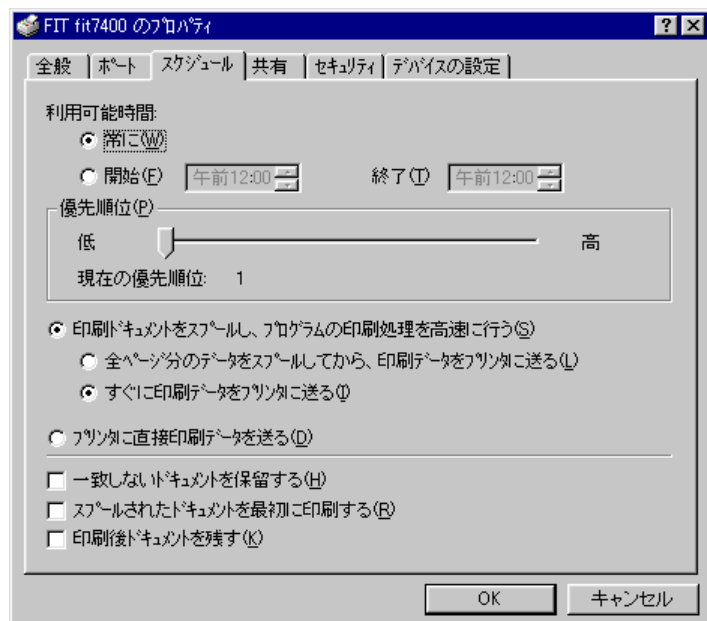
〔全般〕（注 2）

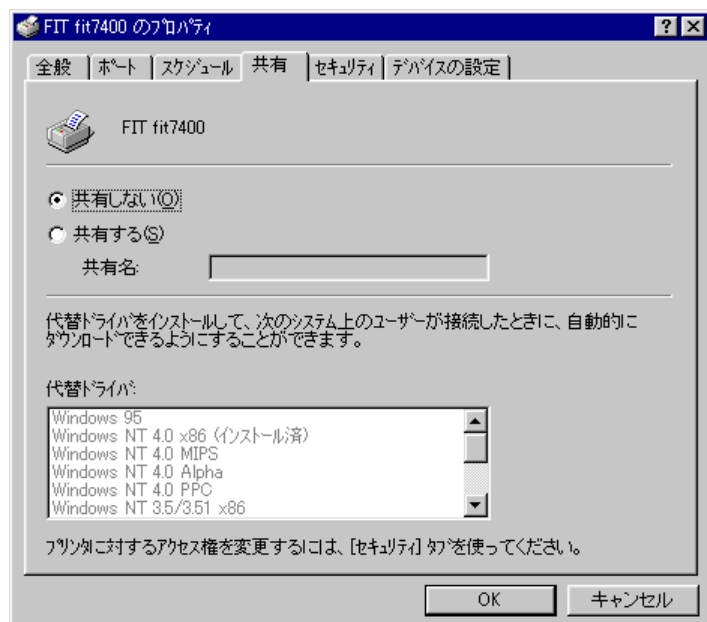
FIT fit7400 のﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ
全般 | ﾎﾟｰﾄ | ｽｹｼﾞｭｰﾙ | 共有 | ｾｷｭﾘﾃｨ | ﾃﾞﾊﾞｲｽの設定
FIT fit7400
ｺﾒﾝﾄ(C):
場所(L):
ﾄﾞﾗｲﾊﾞ(D): FIT fit7400　新しいﾄﾞﾗｲﾊﾞ(N)...
区切りﾍﾟｰｼﾞ(S)...　ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾌﾟﾛｾｯｻ(R)...　ﾃｽﾄ ﾍﾟｰｼﾞの印刷(T)
OK　キャンセル

プリンタに関するコメントの入力や区切りページの指定、テストページ印刷を行います。

〔ポート〕（注 2）

印刷先のポートに関する設定を行います。

〔スケジュール〕（注 2）

FIT fit7400 のﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ
全般 | ﾎﾟｰﾄ | ｽｹｼﾞｭｰﾙ | 共有 | ｾｷｭﾘﾃｨ | ﾃﾞﾊﾞｲｽの設定
利用可能時間:
常に(W)
開始(F) 午前12:00　終了(T) 午前12:00
優先順位(P)
低　高
現在の優先順位:　1
印刷ﾄﾞｷｭﾒﾝﾄをｽﾌﾟｰﾙし、ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑの印刷処理を高速に行う(S)
全ﾍﾟｰｼﾞ分のﾃﾞｰﾀをｽﾌﾟｰﾙしてから、印刷ﾃﾞｰﾀをﾌﾟﾘﾝﾀに送る(L)
すぐに印刷ﾃﾞｰﾀをﾌﾟﾘﾝﾀに送る(I)
ﾌﾟﾘﾝﾀに直接印刷ﾃﾞｰﾀを送る(D)
一致しないﾄﾞｷｭﾒﾝﾄを保留する(H)
ｽﾌﾟｰﾙされたﾄﾞｷｭﾒﾝﾄを最初に印刷する(R)
印刷後ﾄﾞｷｭﾒﾝﾄを残す(K)
OK　キャンセル

プリンタの利用可能時間やスプールに関する設定を行います。

〔共有〕（注 2）

プリンタの共有に関する設定や代替ドライバのインストールを行います。

〔セキュリティ〕（注 2）

プリンタのセキュリティに関する設定を行います。

〔デバイスの設定〕（注 2）

給紙方法と用紙の割り当て、ハーフトーンの設定を行います。

設定項目	内　容
給紙方法と用紙の割り当て	給紙方法に対して、用紙を割り当てます。給紙方法で「自動選択」を指定した場合は、同一サイズの用紙を複数の給紙方法に割り当てないでください。
ハーフトーンセットアップ	「ハーフトーンセットアップ」ボタンをクリックすると「デバイスカラー/ハーフトーンのプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

「FIT fit7400 ドライバデバイスの設定」を選択すると、次のボタンが表示されます。

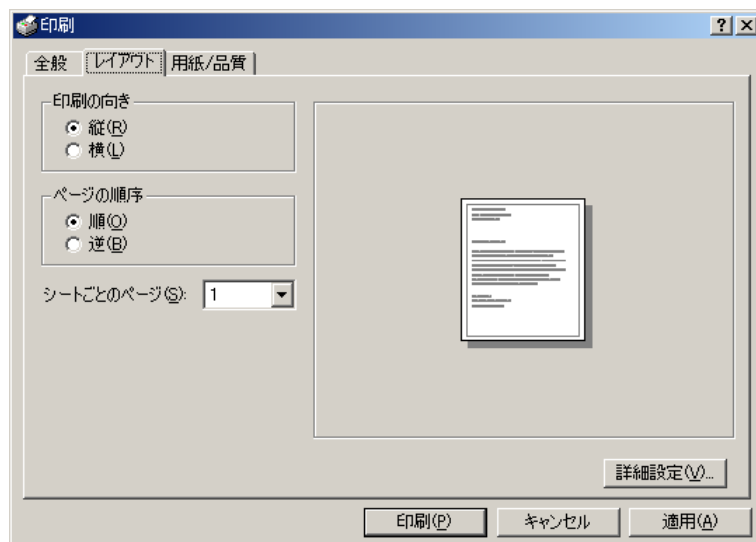
変更したオプションを元に戻す	変更した設定をプロパティシートを開いたときの状態に戻します。
ラスタプリンタドライバのバージョン情報	本プリンタに関する情報を表示します。

■　Windows 2000 の設定画面

Windows 2000 でのプリンタドライバの設定は、「印刷」、「印刷設定」、「プリンタのプロパティ」プロパティで行います。
各プロパティで、設定できる項目が変わりますので、ご注意ください。

 ガイド

・アプリケーションソフトによっては、データ保存時に印刷に関する設定（プリンタドライバの設定を含む）を保存します。このため、アプリケーションソフト側から変更するまで、保存してある設定値で印刷されることがあります。また、アプリケーション側で用紙サイズなどを設定できるものもあります。

◆ アプリケーションからの設定画面（印刷）

各アプリケーションソフトでのプリンタの設定項目から表示するプリンタのプロパティです。
印刷時に用紙サイズや解像度などの印刷に関する設定が行えます。

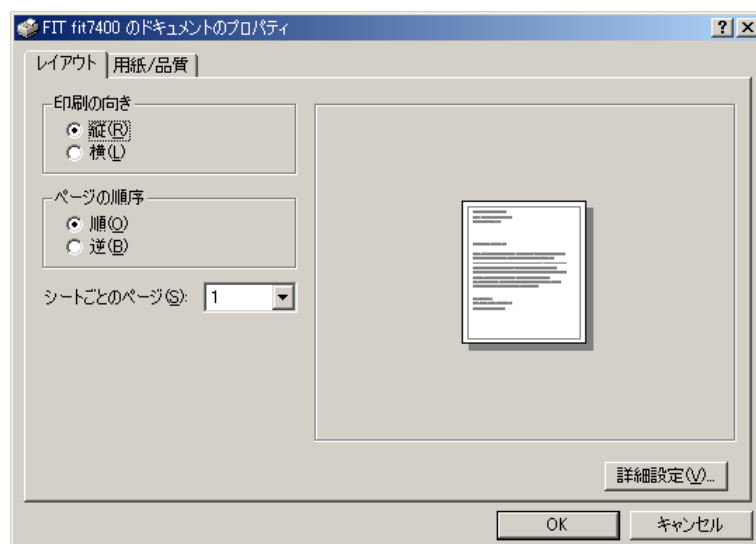
【設定画面の表示と設定の変更】

プリンタ設定のプロパティを表示する方法は、アプリケーションソフトごとに異なります。
ここでは、ワードパットを例に説明します。

1　ワードパットの〔ファイル〕メニューから、〔印刷〕を選択する

2　目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する

〔印刷〕をクリックすると変更した設定で印刷が開始されます。
〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないで「印刷」ダイアログボックスを終了します。
〔適用〕をクリックすると、変更した設定を保存します。このときダイアログボックスは開いたままです。

◆ 〔スタート〕からの設定画面（印刷設定）

用紙サイズや解像度などの印刷に関する既定値を設定します。
アプリケーションソフトで用紙やプリンタの設定を行わない場合は、この設定値で印刷します。

【設定画面の表示と設定の変更】

1　**〔スタート〕から、〔設定〕〔プリンタ〕の順に選択する**

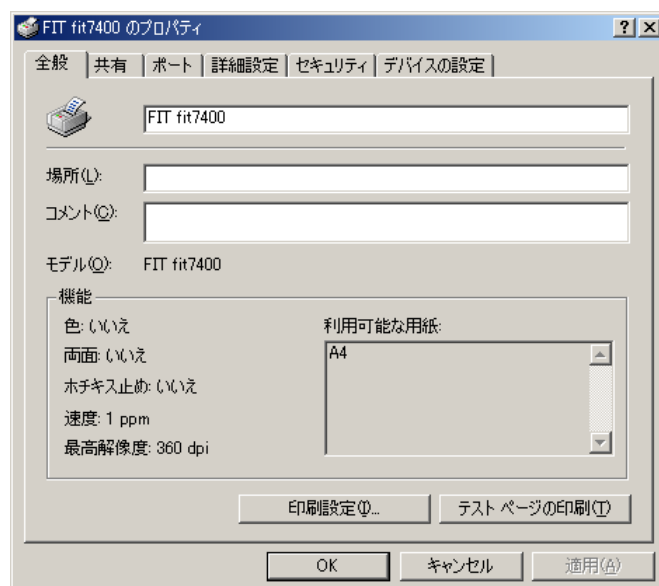
2　**該当するプリンタのアイコンをクリックし、〔ファイル〕メニューから〔印刷設定〕を選択する**

3　**目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する**

用紙サイズ、出力部数、印刷品質、オプション機能などに関する詳細な設定を行う場合は、〔詳細設定〕をクリックし、設定を変更する。
〔OK〕をクリックすると、変更した設定を保存して「印刷設定」ダイアログボックスを終了します。
〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないで「印刷設定」ダイアログボックスを終了します。
〔適用〕をクリックすると、変更した設定を保存します。このときダイアログボックスを開いたままです。

ガイド

・変更した設定を以前の設定に戻すには以下の方法があります。
　(1)「レイアウト」「用紙/品質」タブの場合、設定を変更した後、変更した項目で右クリックして〔変更したオプションを元に戻す〕ボタンを表示し、クリックする。
　(2)〔詳細設定〕の場合、「FIT fit7400 詳細なドキュメントの設定」を右クリックして〔変更したオプションを元に戻す〕ボタンを表示し、クリックする。

◆ プリンタのプロパティ

プリンタドライバやポートの選択などが行えます。

【設定画面の表示と設定の変更】

1 **〔スタート〕から、〔設定〕〔プリンタ〕の順に選択する**

2 **該当するプリンタのアイコンをクリックし、〔ファイル〕メニューから〔プロパティ〕を選択する**

3 **目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する**

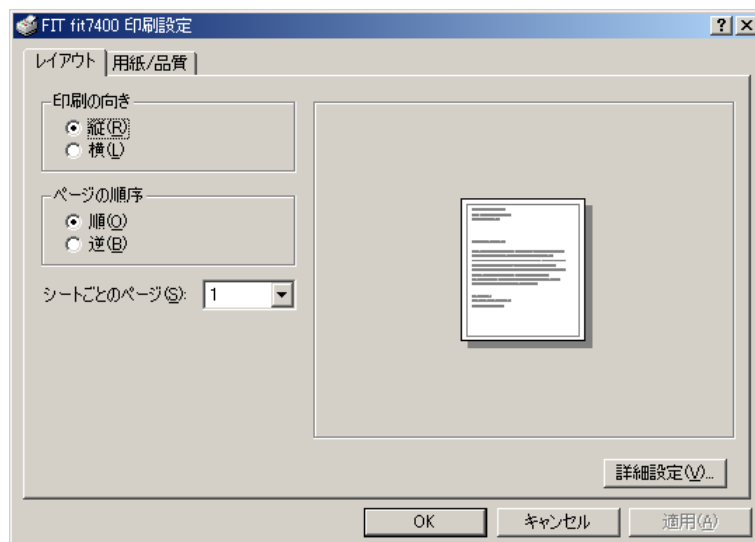
〔OK〕をクリックすると、変更した設定を保存してプロパティを終了します。
〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないでプロパティを終了します。
〔適用〕をクリックすると、変更した設定を保存します。このときプロパティは開いたままです。

ガイド

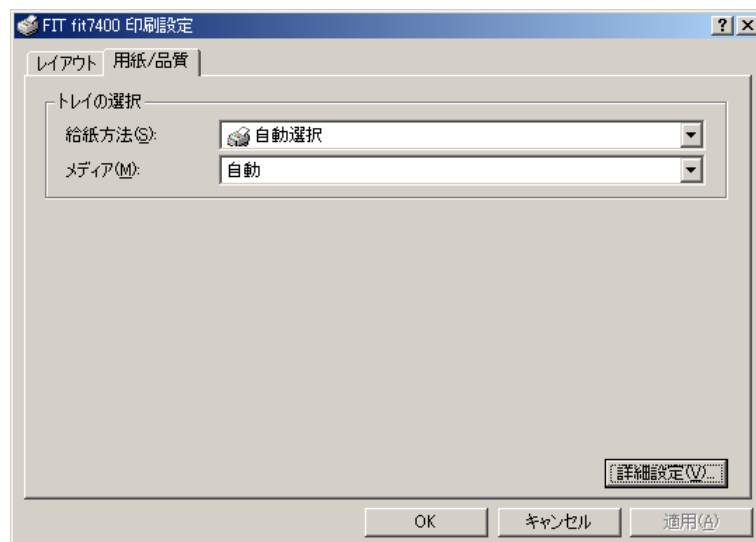
・変更した設定を以前の設定に戻すには以下の方法があります。（〔デバイスの設定〕タブのみ有効 ）
　設定を変更した後、〔デバイスの設定〕タブの〔FIT fit7400 デバイスの設定〕を右クリックします。〔変更したオプションを元に戻す〕ボタンが表示されますので、クリックします。

◆ ダイアログ一覧

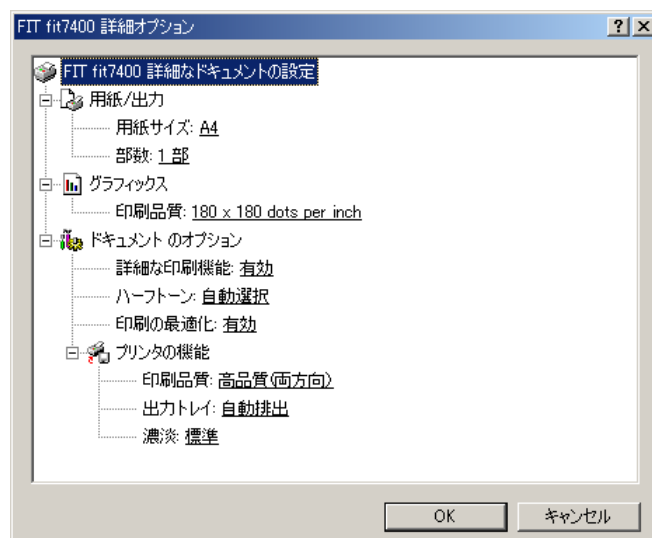
（注 1）とあるダイアログは「印刷」、「印刷設定」ダイアログボックスで表示されます。
（注 2）とあるダイアログは「プリンタのプロパティ」ダイアログボックスでのみ表示されます。

〔レイアウト〕（注 1）

印刷の向き、ページ順序、シートごとの印刷ページなど、レイアウトに関する設定などを行います。

設定項目	内　容
印刷の向き	印刷の向きを指定します。
ページの順序	印刷するページの順序を指定します。
シートごとのページ	1 枚の用紙に何ページ分印刷するのかを指定します。

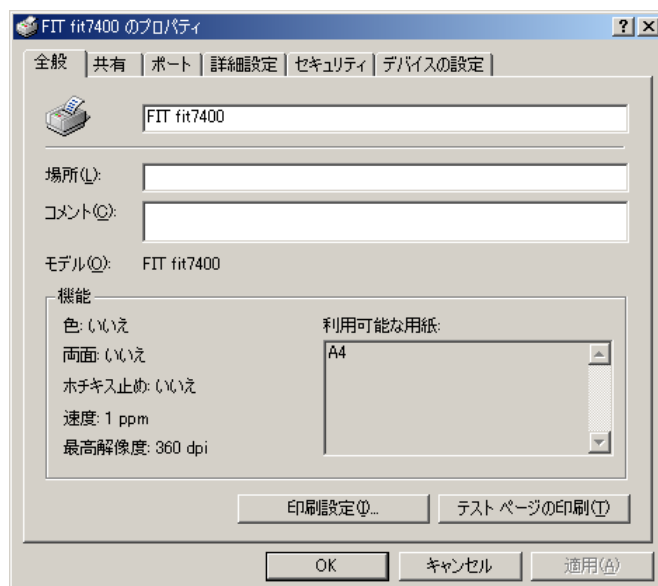
〔用紙/品質〕（注 1）

給紙方法・メディアなどの用紙に関する設定を行います。

設定項目	内　容
給紙方法	用紙の給紙方法を選択します。 ・「自動選択」のまま印刷すると、〔デバイスの設定〕タブで、同じ用紙のサイズが割り当てられている給紙方法で印刷します。同じ用紙サイズがどの給紙方法にも割り当てられていない場合は、手差しで印刷します。
メディア	用紙厚調整の方法を選択します。

〔詳細〕（注 1）

次の項目の設定が行えます。

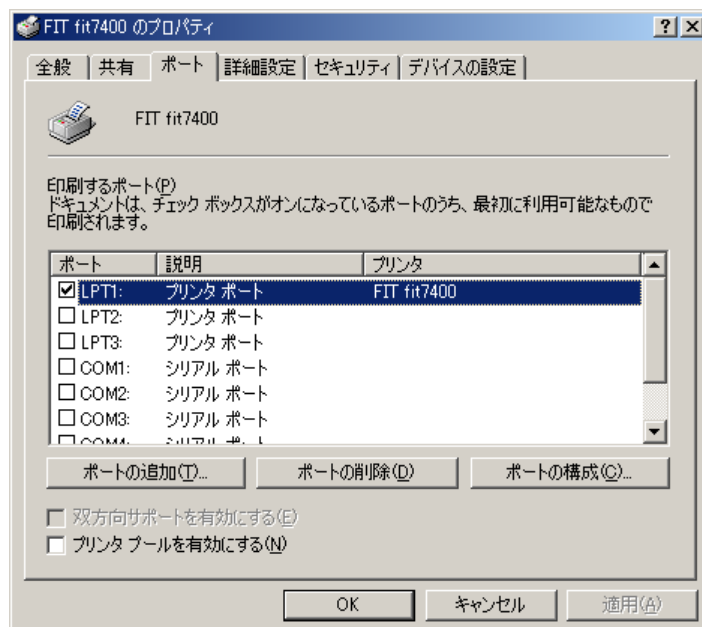
設定項目	設定内容	備　考
用紙/出力	用紙サイズ	用紙サイズを選択します。
	部数	印刷部数を設定します。
グラフィックス	印刷品質	解像度を設定します。
ドキュメントのオプション	詳細な印刷機能	印刷機能の設定を有効にするかしないかを設定します。 有効:〔ページの順序〕〔シートごとのページ〕および〔部数〕の設定が有効になります。 無効:〔ページの順序〕〔シートごとのページ〕および〔部数〕の設定が無効になります。
	ハーフトーン	ハーフトーンの種類を設定します。プリンタによって最適な品質を決定するには「自動選択」を選択します。
	印刷の最適化	印刷の最適化を有効にするかしないかを設定します。印刷結果が正しくないときは、この機能を「無効」にすることができます。

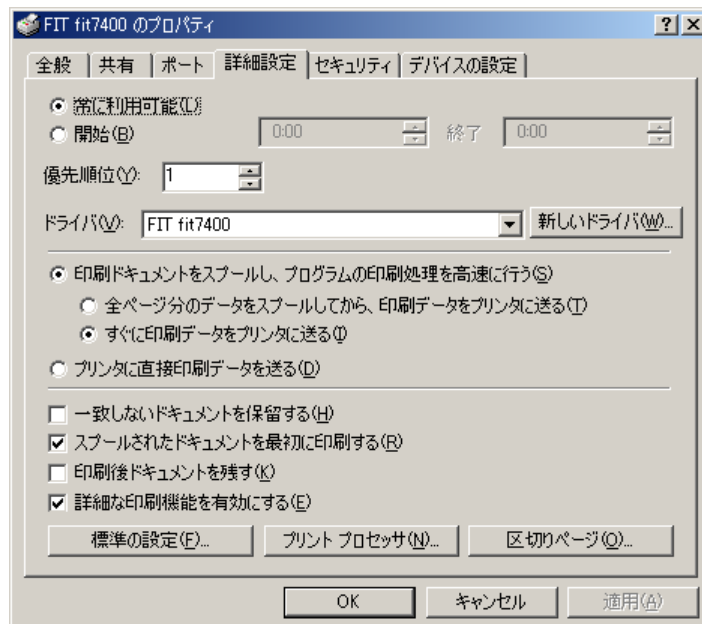
設定項目	設定内容		備　考
ドキュメントのオプション	プリンタの機能	印刷品質	印字品質および印字方向の設定をします。 ・高品質（両方向）： 高品質モードで両方向印字を行います。 ・高品質（片方向）： 高品質モードで片方向印字を行います。 ・高速（両方向）： 高速モードで両方向印字を行います。 ・高速（片方向）： 高速モードで片方向印字を行います。
		出力トレイ	単票用紙の排出方法を指定します。 ・自動排出： プリンタの操作パネルで指定した排出方法になります。 ・手前排出： 単票テーブル側に排出します。 ・後方排出： リアスタッカに排出します。
		濃淡	印字圧の設定をします。 ・標準　： 標準の印字圧で印刷します。 ・高複写　： 印字圧を高めて印刷します。標準より高い複写能力が必要な場合に選択します。

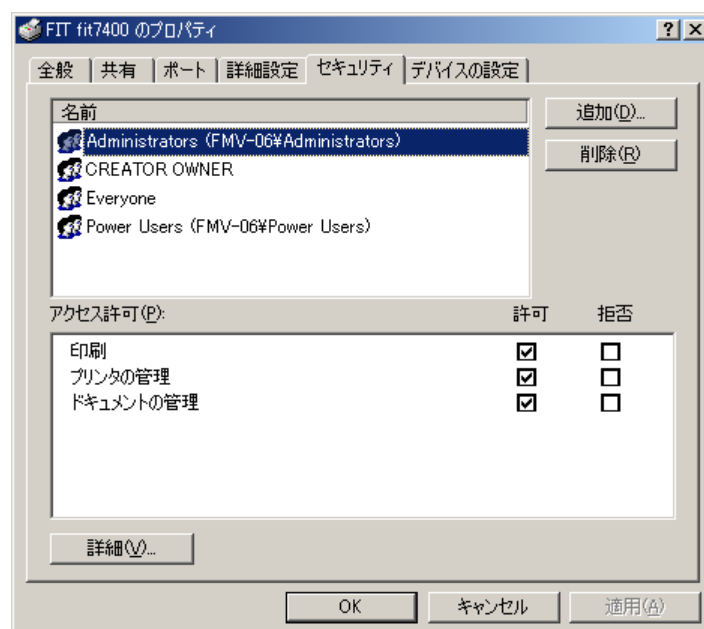
〔全般〕（注 2）

プリンタの場所の入力、コメントの入力、機能一覧の表示、印刷設定、テストページの印刷を行います。

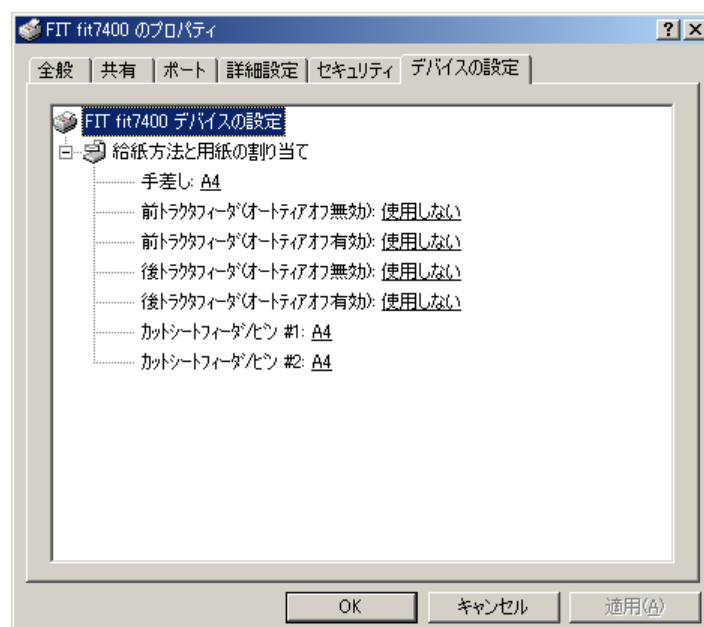
〔共有〕（注 2）

プリンタの共有に関する設定や代替ドライバのインストールを行います。ただし、代替ドライバはサポートしません。

〔ポート〕（注 2）

印刷先のポートに関する設定を行います。

〔詳細設定〕（注 2）

プリンタの利用可能時間、優先順位、プリントプロセッサ、区切りページを設定します。

〔セキュリティ〕（注 2）

プリンタのセキュリティに関する設定を行います。

〔デバイスの設定〕（注 2）

給紙方法と用紙の割り当ての設定を行います。

設定項目	内　容
給紙方法と用紙の割り当て	給紙方法に対して、用紙を割り当てます。給紙方法で「自動選択」を指定した場合は、同一サイズの用紙を複数の給紙方法に割り当てないでください。

印刷可能領域

このプリンタドライバで使用できる用紙サイズおよび印刷範囲は、次のようになっています。

◆ 用紙サイズ

単位：mm

用紙	縦（ポートレート）		横（ランドスケープ）	
	用紙幅	用紙長	用紙幅	用紙長
A3	297.00	420.00	420.00	297.00
A4	210.00	297.00	297.00	210.00
A5	148.00	210.00	210.00	148.00
A6	105.00	148.00	148.00	105.00
B4	257.00	364.00	364.00	257.00
B5	182.00	257.00	257.00	182.00
レター	215.90	279.40	279.40	215.90
リーガル	215.90	355.60	355.60	215.90
官製はがき	100.00	148.00	148.00	100.00
往復はがき	200.00	148.00	148.00	200.00
封筒（長形４号）	90.00	205.00	——	——
封筒（長形３号）	120.00	235.00	——	——
封筒（角形３号）	216.00	277.00	——	——
封筒（角形２号）	240.00	332.00	——	——
名刺	55.00	90.00	——	——
連続紙　10×11inch	254.00	279.40	——	——
連続紙　12×11inch	304.80	279.40	——	——
連続紙　15×11inch	381.00	279.40	——	——
連続紙　2.5inch	381.00	63.50	——	——
連続紙　3inch	381.00	76.20	——	——
連続紙　4inch	381.00	101.60	——	——
連続紙　4.5inch	381.00	114.30	——	——
連続紙　5inch	381.00	127.00	——	——
連続紙　6inch	381.00	152.40	——	——
連続紙　7inch	381.00	177.80	——	——
連続紙　8inch	381.00	203.20	——	——
連続紙　9inch	381.00	228.60	——	——
連続紙　10inch	381.00	254.00	——	——
連続紙　10.5inch	381.00	266.70	——	——
連続紙　11inch	381.00	279.40	——	——
連続紙　12inch	381.00	304.80	——	——
連続紙　13inch	381.00	330.20	——	——

用紙	縦（ポートレート）		横（ランドスケープ）	
	用紙幅	用紙長	用紙幅	用紙長
連続紙　14inch	381.00	355.60	——	——
ユーザ定義サイズ(注)	55.00	70.00	——	——

注)　この値はデフォルト値です。設定可能範囲(mm)は、用紙幅が 55.00〜420.00 で、用紙長が 70.00〜420.00 です。

ユーザ定義サイズは、プリンタにセット可能な最大用紙幅まで指定できますが、本取扱説明書の用紙規格を参照して、印刷可能範囲内で使用してください。

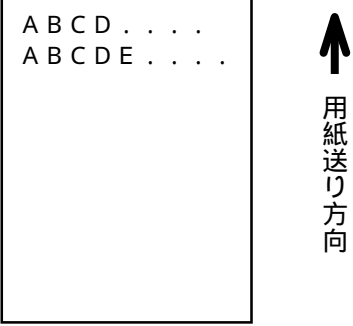
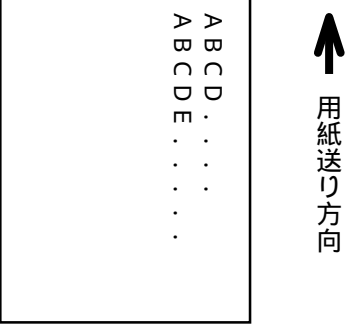
◆ 印刷領域

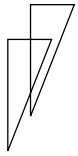
単位：mm

用紙	余白（既定値）			
	上端	下端	左端	右端
A3	（注）	（注）	5.08	5.08
A3 横	（注）	（注）	37.32	37.32
A4，A4 横	（注）	（注）	5.08	5.08
A5，A5 横	（注）	（注）	5.08	5.08
A6，A6 横	（注）	（注）	5.08	5.08
B4	（注）	（注）	5.08	5.08
B4 横	（注）	（注）	5.08	13.48
B5，B5 横	（注）	（注）	5.08	5.08
レター	（注）	（注）	5.08	5.08
リーガル	（注）	（注）	5.08	5.08
官製はがき	（注）	（注）	5.08	5.08
往復はがき	（注）	（注）	5.08	5.08
封筒（長形４号）	（注）	（注）	5.08	5.08
封筒（長形３号）	（注）	（注）	5.08	5.08
封筒（角形３号）	（注）	（注）	5.08	5.08
封筒（角形２号）	（注）	（注）	5.08	5.08
名刺	（注）	（注）	5.08	5.08
連続紙　10×11inch	（注）	（注）	0	25.4
連続紙　12×11inch	（注）	（注）	0	25.4
連続紙　15×11inch	（注）	（注）	0	35.56
連続紙　3inch	（注）	（注）	0	35.56
連続紙　4inch	（注）	（注）	0	35.56
連続紙　4.5inch	（注）	（注）	0	35.56
連続紙　5inch	（注）	（注）	0	35.56
連続紙　6inch	（注）	（注）	0	35.56
連続紙　7inch	（注）	（注）	0	35.56
連続紙　8inch	（注）	（注）	0	35.56
連続紙　9inch	（注）	（注）	0	35.56
連続紙　10inch	（注）	（注）	0	35.56
連続紙　10.5inch	（注）	（注）	0	35.56
連続紙　11inch	（注）	（注）	0	35.56
連続紙　12inch	（注）	（注）	0	35.56
連続紙　13inch	（注）	（注）	0	35.56
連続紙　14inch	（注）	（注）	0	35.56
ユーザ定義サイズ	（注）	（注）	5.08	5.08

注）　給紙方法によって上端、下端余白が異なります。

単位：mm

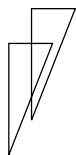
給紙方法	余白（既定値）	
	上端	下端
手差し指定時	4.23	4.23
トラクタフィーダ指定時	0	0
カットシートフィーダ指定時	4.23	4.23

お願い

- 封筒を使用する場合の余白量については、『プリンタ編』「第４章　用紙について」の用紙規格に合わせて調整してください。
- 「連続紙　縦 2.5inch」～「連続紙　縦 14inch」の連続紙については、用紙幅を全て 15inch に規定してありますので、使用する場合には『プリンタ編』「第４章　用紙について」の用紙規格を参照し、規格範囲内で右端余白を適宜設定してください。また、これらの連続紙を使用する場合、アプリケーションによりヘッダ、フッタの位置がずれる場合があります。この場合、アプリケーションでヘッダ、フッダの位置を調節して印刷してください。

印刷の向き

印刷方向は、プリンタドライバの設定画面の「印刷の向き」の設定により次のようになります。

印刷方向：縦	印刷方向：横
ABCD.... ABCDE.... ↑ 用紙送り方向	ABCD.... ABCDE.... ↑ 用紙送り方向

ガイド

アプリケーションにより、Windows 画面への表示方法や印刷方法が異なる場合があります。

給紙方法

印刷のときに、どこから用紙を給紙するかを指定します。次のいずれかを指定することができます。

• 手差し

単票テーブルから給紙します。

• 前トラクタフィーダ（オートティアオフ無効）

単票テーブルの下に装備されている用紙送りトラクタから給紙します。

• 前トラクタフィーダ（オートティアオフ有効）

単票テーブルの下に装備されている用紙送りトラクタから給紙します。
前トラクタフィーダ（オートティアオフ無効）の給紙と同様ですが、
印刷終了時にミシン目カット位置まで搬送します。

• 後トラクタフィーダ（オートティアオフ無効）

プリンタ後面に装備されている用紙送りトラクタから給紙します。

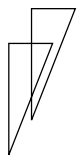
• 後トラクタフィーダ（オートティアオフ有効）

プリンタ後面に装備されている用紙送りトラクタから給紙します。
後トラクタフィーダ（オートティアオフ無効）の給紙と同様ですが、
印刷終了時にミシン目カット位置まで搬送します。

• カットシートフィーダ/ビン１

カットシートフィーダから給紙します。
前/後シートフィーダを両方搭載しているときは、プリンタ装置の「機能設定」の「CSF ビン１選択」でビン１に設定されているシートフィーダから給紙します。初期状態では前シートフィーダがビン１に設定されています。

• カットシートフィーダ/ビン２

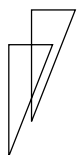
カットシートフィーダから給紙します。
前/後シートフィーダを両方搭載しているときは、プリンタ装置の「機能設定」の「CSF ビン１選択」でビン１に設定されていないシートフィーダから給紙します。初期状態では後シートフィーダがビン２に設定されています。

用紙の種類またはメディア

印刷する用紙の厚さに応じて設定します。

• 自動

プリンタ装置が用紙の厚さを自動的に判断します。

• １枚厚、…８枚厚

印刷する用紙の厚さを指定します。

印刷品質

印刷の品位を設定します。

• 高品質（両方向）

高品質モードで両方向印字を行います。

• 高品質（片方向）

高品質モードで片方向印字を行います。

• 高速（両方向）

高速モードで両方向印字を行います。

• 高速（片方向）

高速モードで片方向印字を行います。

印字圧

印字圧を設定します。

お使いのＯＳにより、印刷密度または濃淡と表示されます。

• 標準

標準の印字圧で印刷します。

・高複写

標準より高い複写能力が必要な場合に選択します。

索　引～プリンタ編

き

こ

さ

し

す

せ

そ

た

て

と

索　引～ソフトウェア編

fit7400 プリンタ

取扱説明書

CA05462-Y875-01

発行日　　2001 年 4 月

発行責任　富士通アイソテック株式会社

Printed in Japan